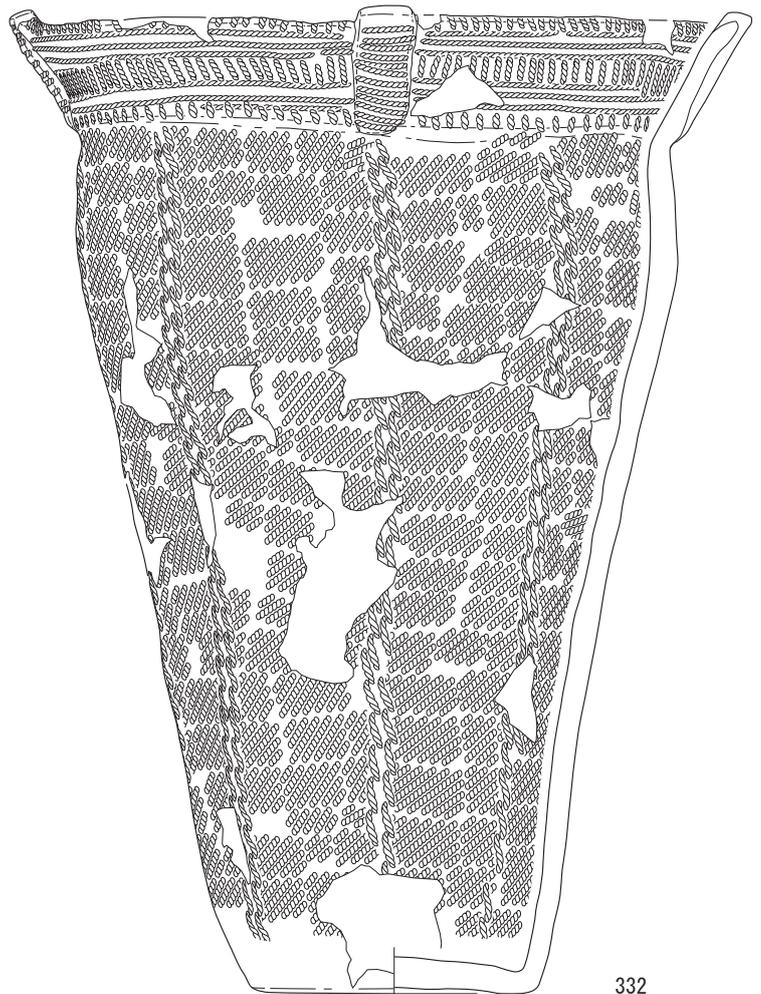


331

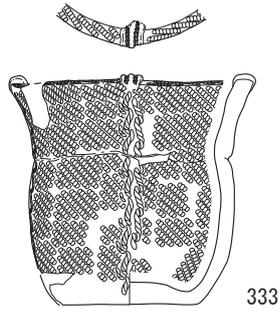


332

第 198 号土坑

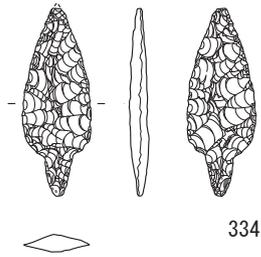
0 1:4 10cm

图 241 土坑出土遺物

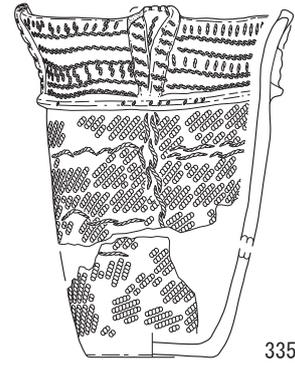


333

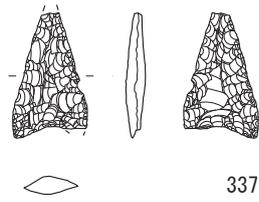
第201号土坑



334

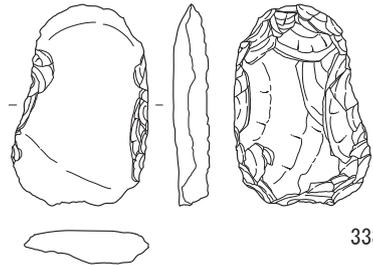


335

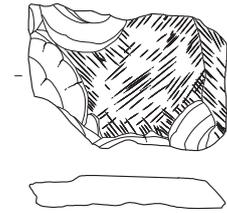


337

第208号土坑

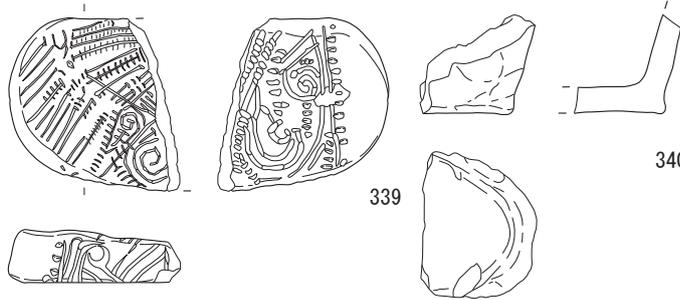


338



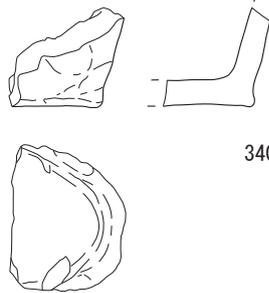
336

第204号土坑

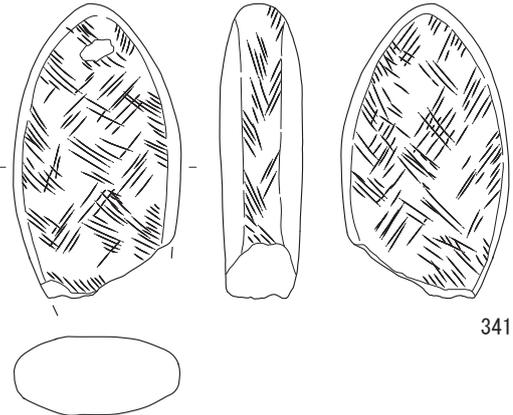


339

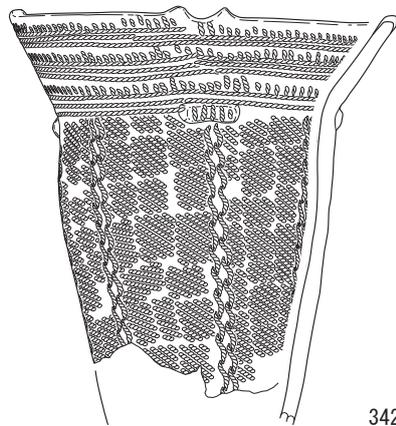
第210号土坑



340

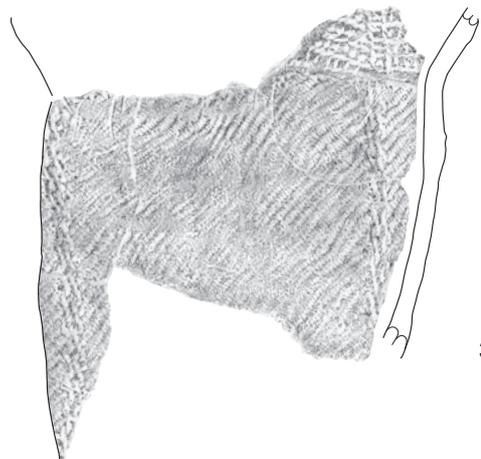


341



342

第214号土坑



343

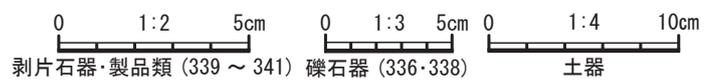


图242 土坑出土遺物

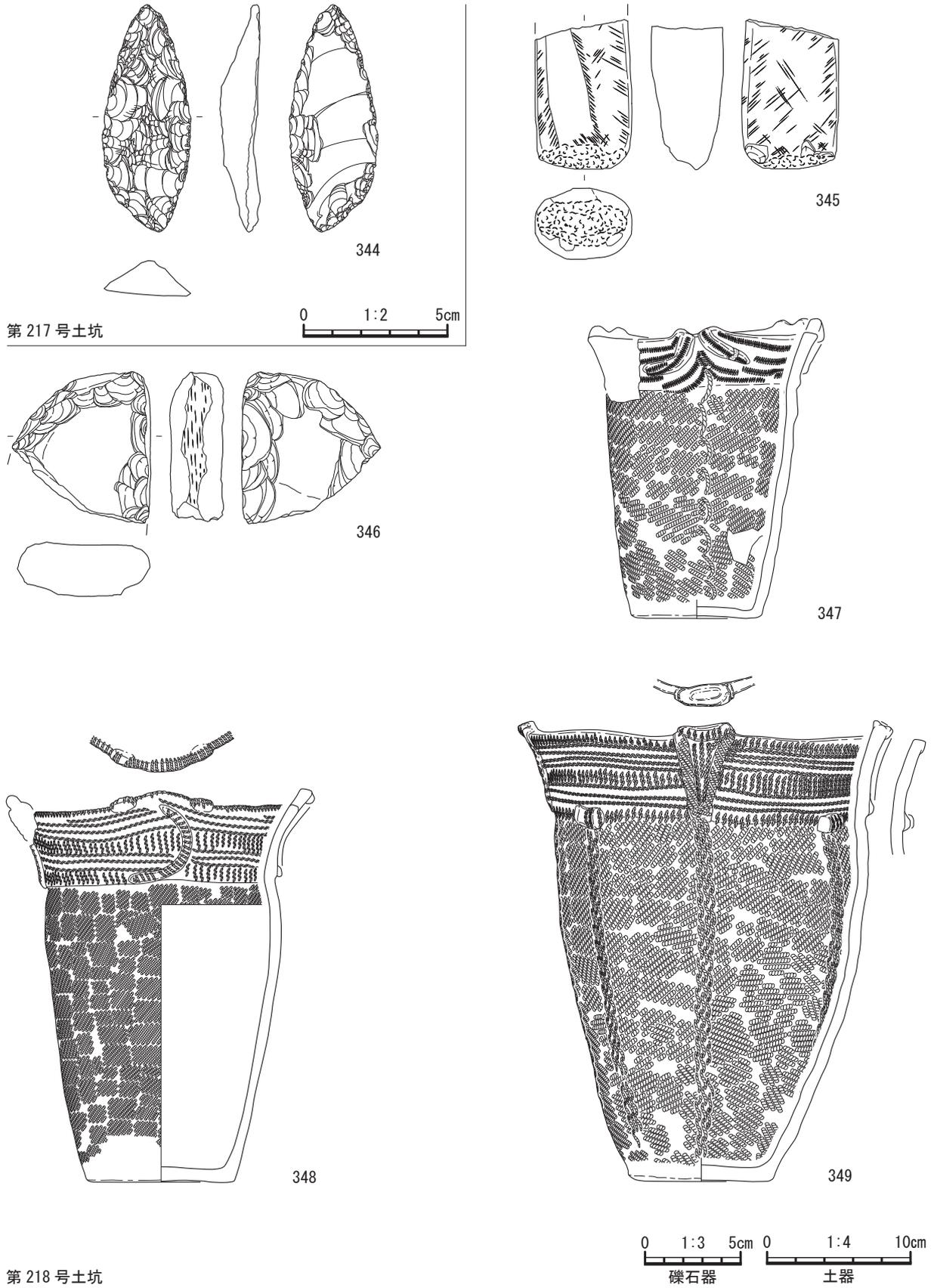
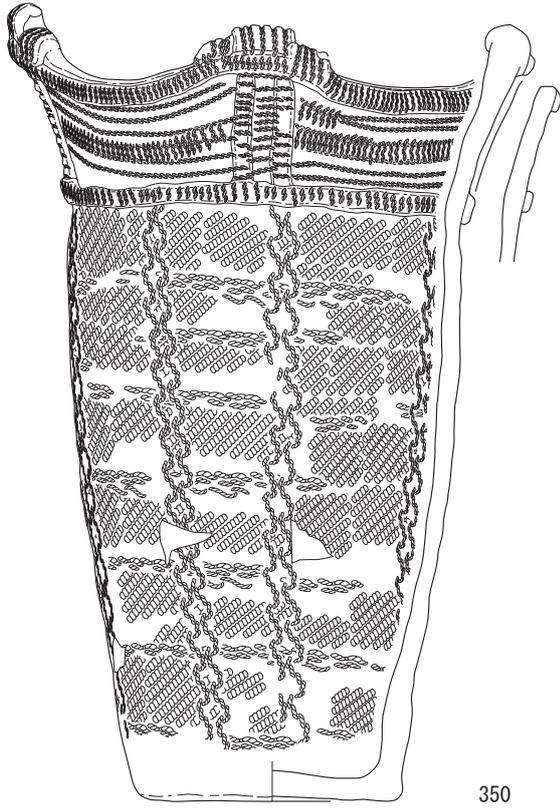
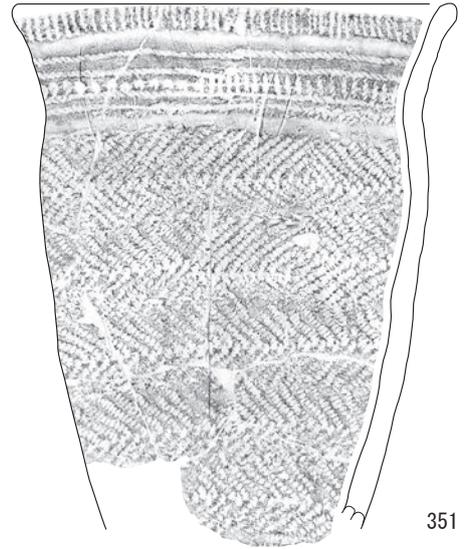


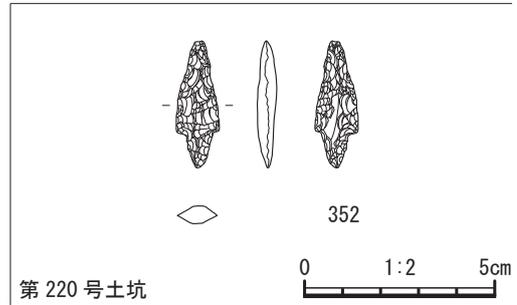
図 243 土坑出土遺物



第 219 号土坑



351



第 220 号土坑



353

第 221 号土坑



图 244 土坑出土遺物

### (3) 埋設土器

#### 第1号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-207グリッドに位置しており、V層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕掘方の平面形状は楕円形と推定され、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は横位の状態で出土し、上部は欠損する(1・2)。検出面における掘方の長軸は100cm残存しており、短軸は86cmである。深さは14cmであった。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土、掘方は褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕1・2は同一個体であり、円筒下層d～上層a式と考えられる。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末～中期前葉と考えられる。

#### 第2号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-209グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕掘方の平面形状は円形と推定され、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、上部は欠損する(3)。検出面における掘方の長軸は50cm、短軸は41cm残存している。深さは29cmであった。

〔堆積土〕土器内は褐色土や暗褐色土を主体に、焼土や炭化物が混入する。掘方は褐色土やローム土を主体とする。

〔出土遺物〕3は円筒下層d式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第3号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-209グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕掘方の平面形状は円形と推定され、断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。口縁部の破片が部分的に正立した状態で埋設される(4)。その内側から、破片が重なった状態で出土した(5・6)。また、破片の上から、礫器が出土した(7)。検出面における掘方の長軸は36cm残存しており、短軸は35cm残存している。深さは17cmであった。

〔堆積土〕土器内はにぶい黄褐色土を主体とする。掘方は褐色土を主体に、検出面に焼土を確認した。検出面に焼土を確認したことから、炉の可能性も考えられる。

〔出土遺物〕4は円筒下層d2～上層a1式と考えられる。5・6についても同型式と思われ、同一個体の可能性が考えられる。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

#### 第4号埋設土器 (図245・247、写真125・199)

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-216グリッドに位置する。IV層で埋設された土器と暗褐色土の掘方を確認した。

〔構造〕土器は倒立状態で埋設され、口縁部のみが残存する。掘方は円形を呈すると考えられ、確認時における残存部分の長軸は39cm、短軸は20cm残存し、深さは8cmである。掘方の断面形状は底面か

らやや外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕土器内には褐色土、掘方には暗褐色土が堆積する。

〔出土遺物〕埋設された土器は円筒下層d2式（8）である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末（円筒下層d2式期）と考えられる。

#### 第5号埋設土器（図245・247、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-215グリッドに位置する。第26号竪穴建物跡精査中に埋設された土器と暗褐色土の掘方を確認した。

〔重複〕第26号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕土器は倒立状態で埋設され、胴部下半が欠損する。掘方は円形を呈すると考えられ、確認時における残存部分の長軸は34cm、短軸は18cm残存し、深さは23cmである。掘方は土器の外形に沿うように掘り込まれ、断面形状はやや内傾して立ち上がる、台形を呈する。

〔堆積土〕土器内には褐色土と暗褐色土、掘方には暗褐色土が堆積する。

〔出土遺物〕埋設された土器は円筒下層d2～上層a1式（9）である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末から中期初頭（円筒下層d2から上層a1式期）と考えられる。

#### 第6号埋設土器（図245・248、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VIU-208グリッドに位置しており、V層で土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕ピットと重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕掘方の平面形状は、円形と推定されるが、詳細は不明である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は口縁を下に、斜位の状態で出土し、底部は欠損する（10）。土器内から、磨石が出土した（11）。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土や褐色土、掘方は黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕10は円筒上層a2式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代中期前葉と考えられる。

#### 第7号埋設土器（図245・248、写真126・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-213グリッドに位置しており、IV層で土器を含む褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、上部は欠損する（12）。検出面における掘方の長軸は43cm残存しており、短軸は42cmである。深さは13cmであった。

〔堆積土〕土器内は暗褐色土、掘方は褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕12は円筒下層d式である。

〔時期〕埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第8号埋設土器（図246・248、写真127・199）

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第21号竪穴住居と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕 掘方の平面形状は楕円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設され、口縁部は欠損する（13）。検出面における掘方の長軸は33cm、短軸は26cmである。

〔堆積土〕 土器内は暗褐色土、掘方は黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 13は円筒下層d2式と考えられる。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第9号埋設土器（図246・248、写真127・199）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕 掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁がやや外傾する形状である。土器は正立した状態で埋設される（14）。検出面における掘方の長軸は27cm、短軸は25cmである。深さは29cmであった。

〔堆積土〕 黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 14は円筒下層d2式である。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第10号埋設土器（図246・248、写真127・200）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI K-219グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕 掘方の平面形状は円形、断面は平坦な底面から壁がやや外傾する形状である。土器は底部を下に、斜位の状態で出土し、上部は欠損する（15）。検出面における掘方の長軸は23cm、短軸は20cmである。深さは11cmであった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 15は円筒下層d式と考えられる。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第11号埋設土器（図246・249、写真127・200）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI J-218グリッドに位置しており、第21号竪穴住居跡の堆積土から土器を含む暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第21号竪穴住居跡と重複しており、本埋設土器が新しい。

〔構造〕 掘方の平面形状は楕円形、断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。南側に胴部の破片が巡り、内部には同一個体の破片が重なった状態であった（16）。検出面における掘方の長軸は30cm、短軸は21cmである。深さは14cmであった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 16は円筒上層a1式である。

〔時期〕 埋設土器から、縄文時代中期初頭と考えられる。

#### 第12号埋設土器（図246・249、写真128・200）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI O-216グリッドに位置しており、漸移層のIV層中で黒色土の落ち込み

と、それに伴う土器を確認した。

[構造]南西側を失っており不明であるが、検出面での掘方長軸30.3cm、短軸21.6cm、深さ20.7cmで、円形の平面と推定される。断面形状は南東方向に傾く逆台形である。土器は正立状態で出土し、底部及び上部は欠損する。

[堆積土] 土器内は黒色土、掘方は暗褐色土を主体とする。

[出土遺物] 埋設された土器は、円筒下層d1式又はd2式と考えられる(17)。

[時期] 埋設土器から、縄文時代前期末と考えられる。

#### 第13号埋設土器 (図246・249、写真128・200)

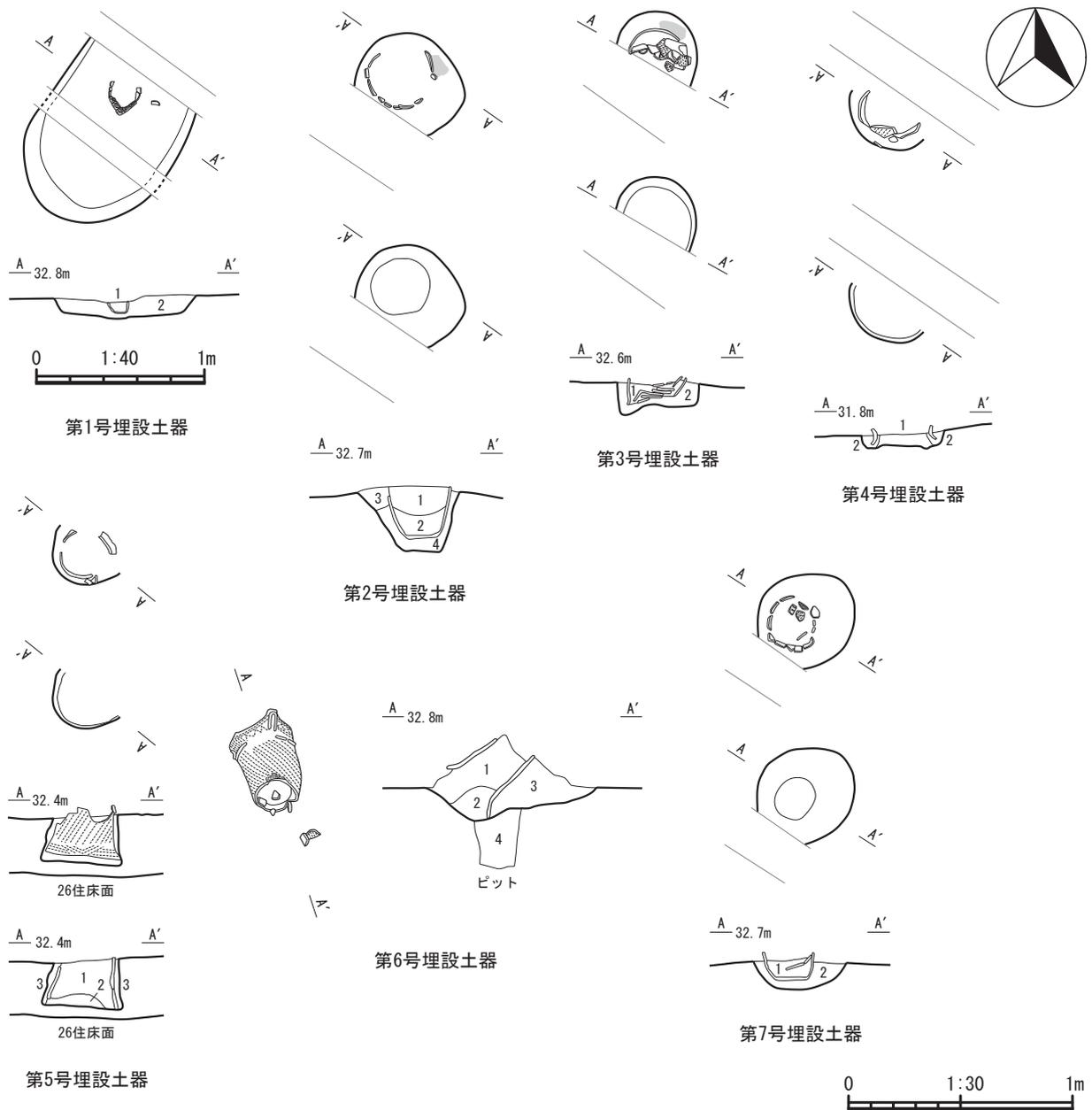
[位置・確認] 南側調査区、VI J-216グリッドに位置しており、ローム層のV層上面において黒褐色土の落ち込みと、それに伴う土器を確認した。

[構造]南西側を失っており不明であるが、検出面での掘方長軸36.6cm、短軸27.6cm、深さ11.2cmで、平面形は円形と推測される。断面形状は逆台形である。土器は底部及び上部を欠損し正立状態で埋設されている。草木痕の影響か、北西側の土器片配置には乱れが生じている。

[堆積土] 土器内は黒褐色土、掘方は暗褐色土を主体とする。

[出土遺物] 埋設された土器は型式不明であるが、縄文時代前期後葉から中期前葉の何れかに属すると考えられる(18)。

[時期] 埋設土器から、縄文時代前期後葉～中期前葉の範疇と考えられる。



**第1号埋設土器**

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土

**第2号埋設土器**

- 1層 10YR4/4 褐色土 5YR4/4にぶい赤褐色焼土1~5mm2%、中礫軽石1~5mm2%、炭化物1~5mm1%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 5YR4/4にぶい赤褐色焼土1~5mm2%、中礫軽石1~10mm2%、炭化物1~5mm1%
- 3層 10YR4/6褐色土 中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%
- 4層 10YR5/6黄褐色土 炭化物1~10mm1%

**第3号埋設土器**

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 2層 10YR4/4褐色土 10YR5/6黄褐色土10%

**第4号埋設土器**

- 1層 10YR4/4褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土

**第5号埋設土器**

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 2層 10YR4/4褐色土 炭化物微量
- 3層 10YR3/4暗褐色土 炭化物微量

**第6号埋設土器**

- 1層 10YR3/3暗褐色土 10YR7/6明黄褐色土ブロック状5%、炭化物1~5mm1%
- 2層 10YR4/4褐色土 10YR5/8黄褐色土7%、10YR8/6黄橙色土1%
- 3層 10YR3/2黒褐色土 10YR3/4暗褐色土10%、10YR8/6浅黄橙色土1%、炭化物1~5mm1%
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR4/4褐色土7%、炭化物1~3mm1%(ピット)

**第7号埋設土器**

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土

図 245 埋設土器

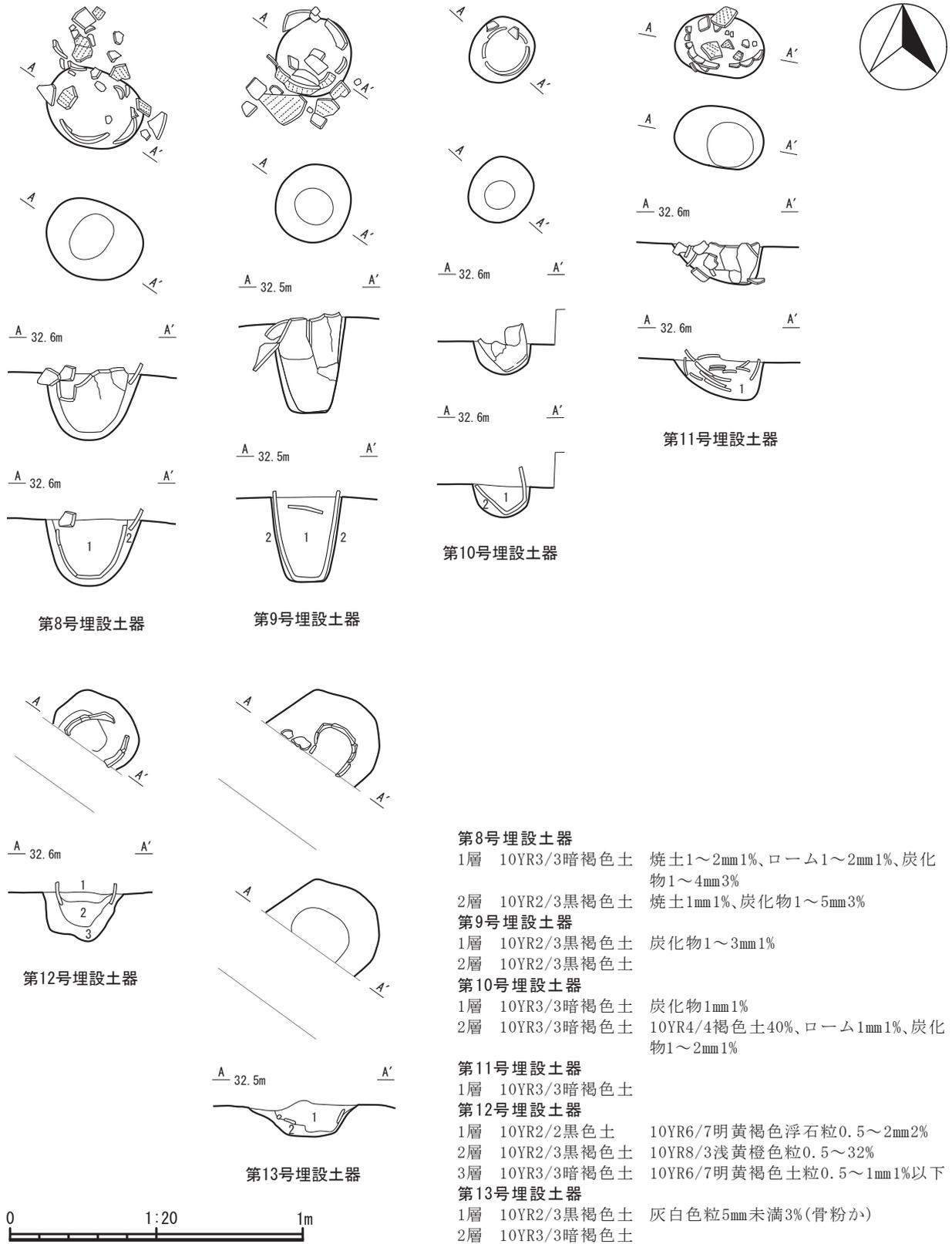
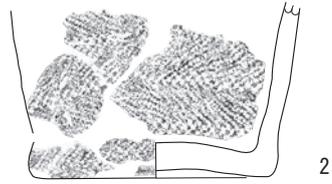
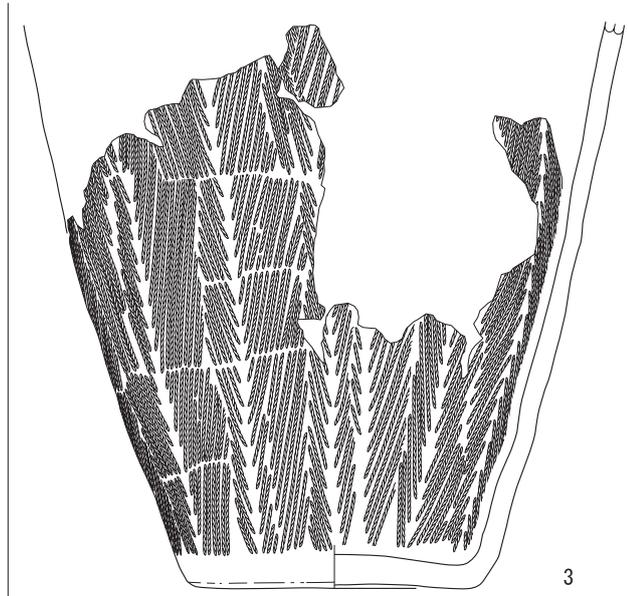


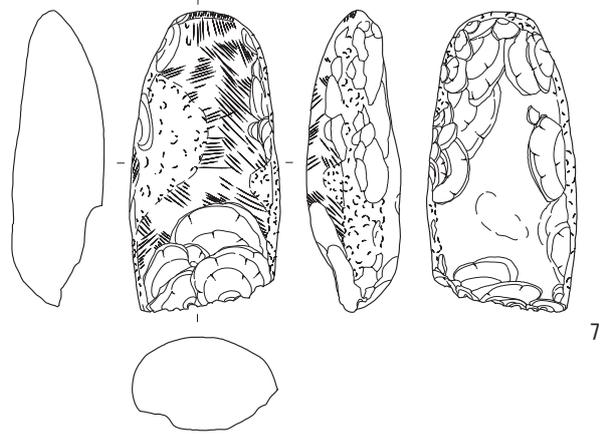
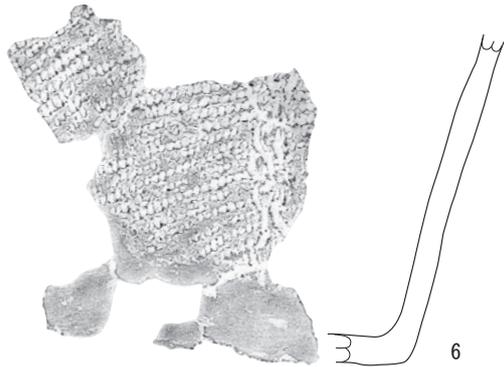
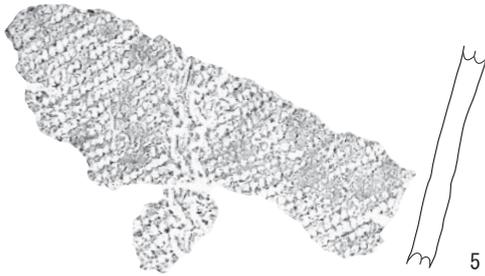
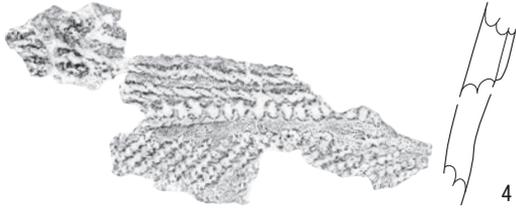
図 246 埋設土器



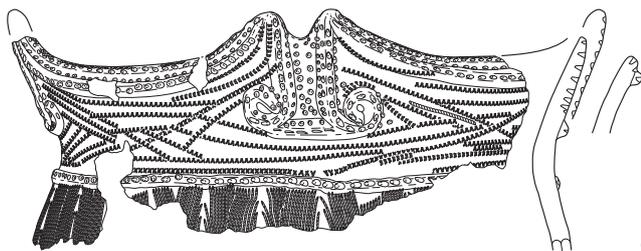
第1号埋設土器



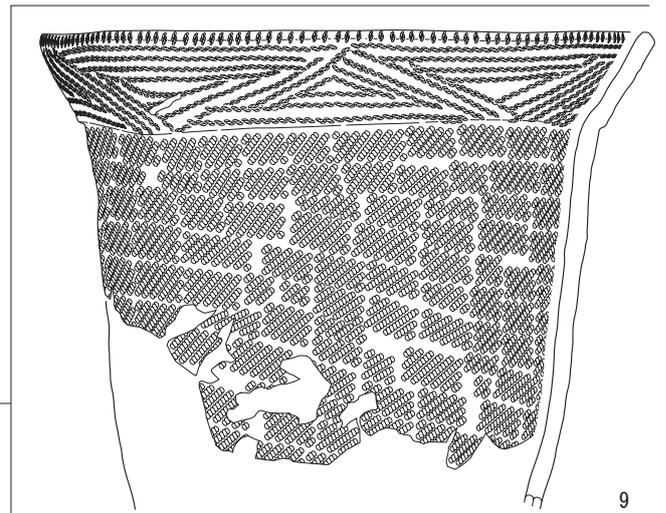
第2号埋設土器



第3号埋設土器



第4号埋設土器



第5号埋設土器

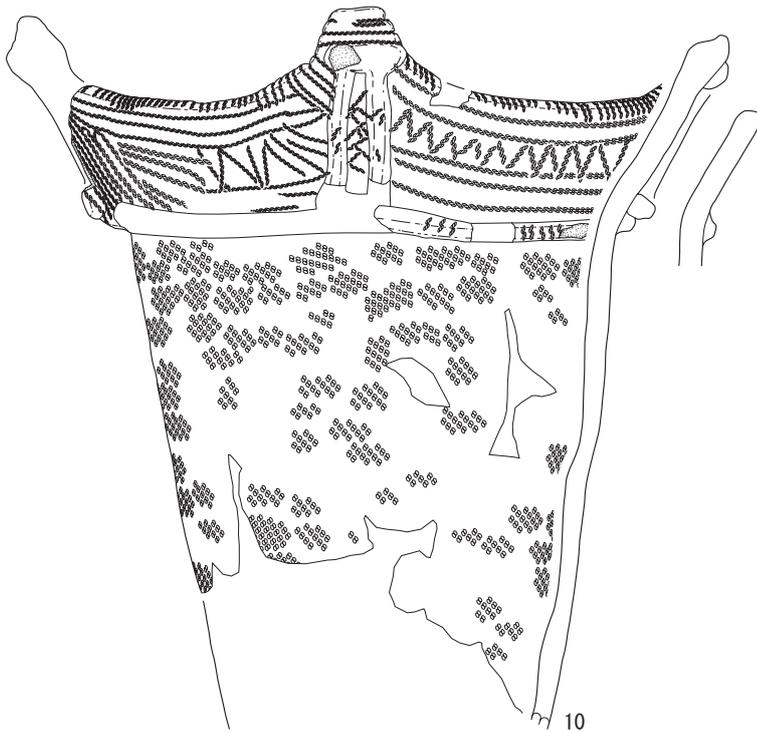
0 1:3 5cm

第1・3号埋設土器出土遺物

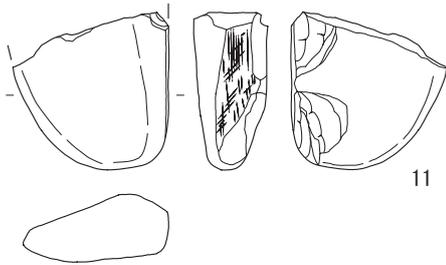
0 1:4 10cm

第2・4・5号埋設土器出土遺物

図247 埋設土器出土遺物

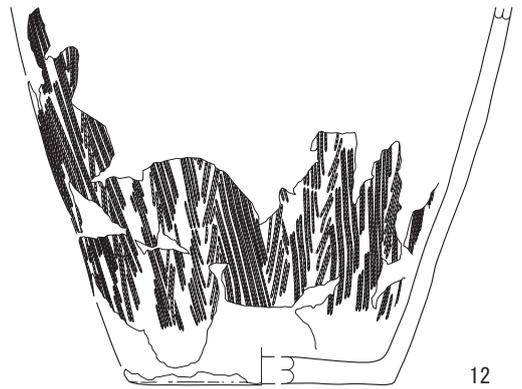


10



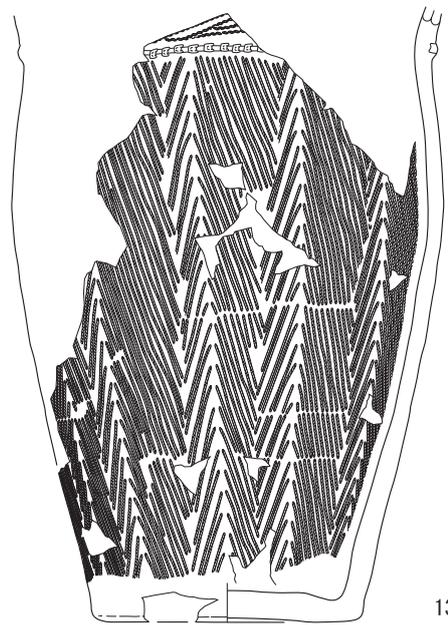
11

第6号埋設土器



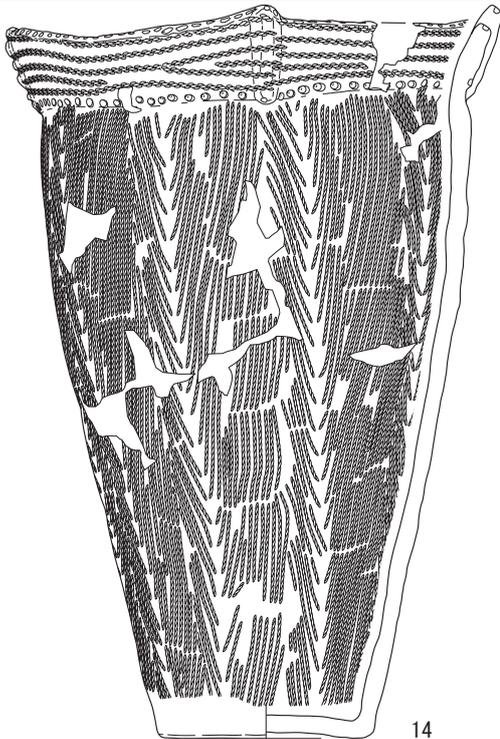
12

第7号埋設土器



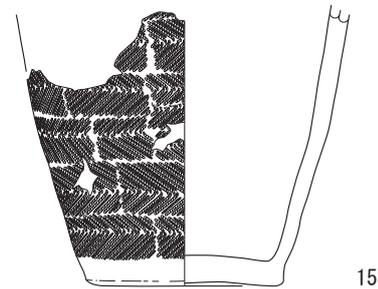
13

第8号埋設土器



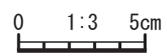
14

第9号埋設土器



15

第10号埋設土器



石器



第6~9号埋設土器出土遺物

図248 埋設土器出土遺物

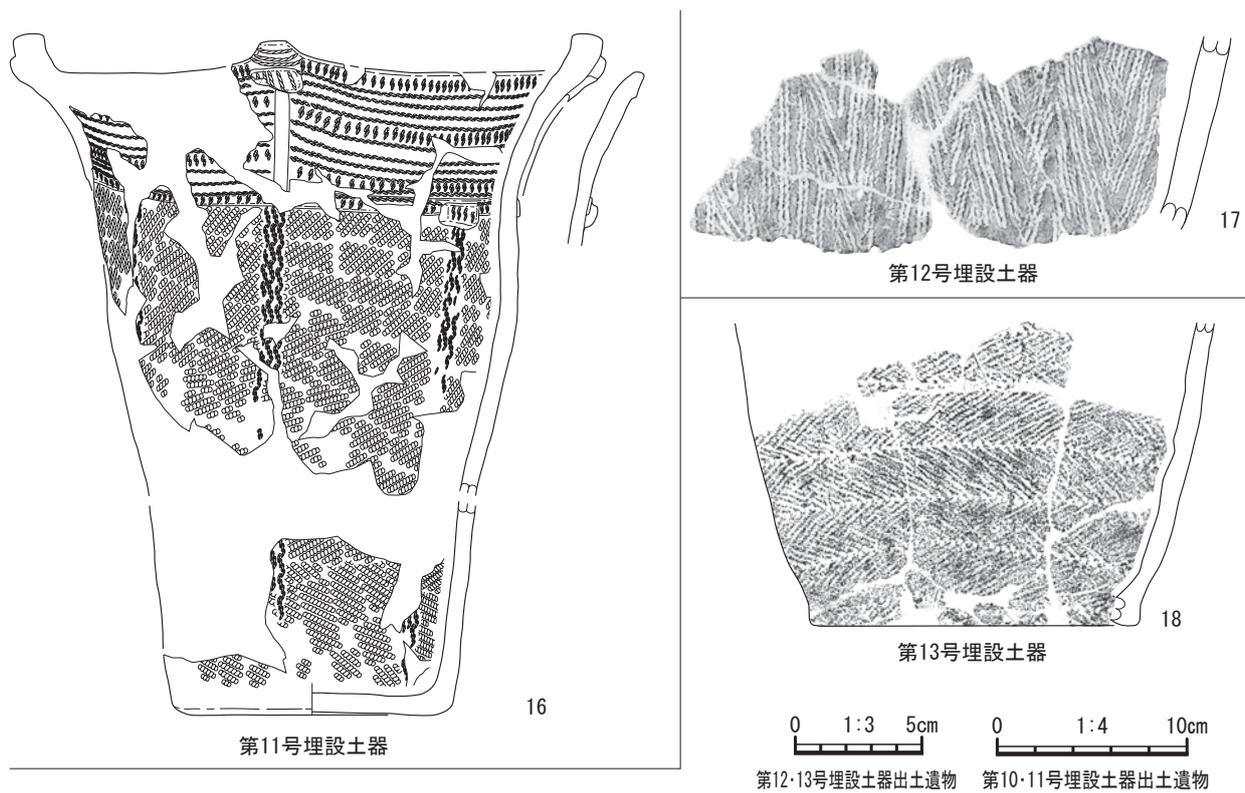


図249 埋設土器出土遺物

## (4) 焼土遺構

### 第1号焼土遺構 (図250、写真128)

[位置・確認] 南側調査区、VIS-206グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は円形である。検出面の長軸は50cm、短軸は44cmである。

[出土遺物] 縄文土器の破片が出土した。

[時期] 出土遺物や検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

### 第2号焼土遺構 (図250、写真128)

[位置・確認] 南側調査区、VIS-207グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[重複] 第86号土坑と重複しており、本焼土遺構が新しい。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は楕円形である。検出面の長軸は56cm、短軸は38cmである。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

### 第3号焼土遺構 (図250、写真128)

[位置・確認] 南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は楕円形である。検出面の長軸は32cm残存しており、短軸は32cmである。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

### 第4号焼土遺構 (図250、写真128)

[位置・確認] 南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は円形である。検出面の長軸は50cm、短軸は48cmである。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

### 第5号焼土遺構 (図250、写真129)

[位置・確認] 南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 暗褐色土がにぶい橙色に焼けている。平面形状は円形か楕円形と推定される。検出面の長軸は46cm、短軸は22cm残存している。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

#### 第6号焼土遺構 (図250、写真129)

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[重複] ピットと重複しており、本焼土遺構が古い。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は82cm、短軸は70cm残存している。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

#### 第7号焼土遺構 (図250)

[位置・確認] 南側調査区、VIN-205グリッドに位置しており、V層で焼土の広がりとして確認した。

[重複] 第160号土坑と重複しており、本焼土遺構が古いと考えられる。

[構造] 検出面の長軸は58cm残存しており、短軸は40cm残存している。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

#### 第8号焼土遺構 (図250、写真129)

[位置・確認] 南側調査区、VIK-211グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 東側と西側の2ヶ所に分かれる。東側は不整形を呈し、残存部分の長軸は126cm、短軸は58cmである。西側は楕円形を呈すると考えられ、残存部分の長軸は28cm、短軸は20cm残存する。それぞれ橙色の焼土が形成されている。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 確認された層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

#### 第9号焼土遺構 (図250、写真129)

[位置・確認] 南側調査区、VIN-214グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。

[重複] 第45号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。

[構造] 楕円形を呈する。確認時における長軸は60cm、短軸は48cmである。中央やや南側が凹み橙色の焼土が形成されている。

[出土遺物] 縄文土器片が出土している。

[時期] 遺構の重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

#### 第10号焼土遺構 (図250、写真129)

[位置・確認] 南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。

[構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は54cm、短軸は42cmである。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

**第11号焼土遺構** (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は不整形である。検出面の長軸は30cm、短軸は26cmである。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

**第12号焼土遺構** (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIR-209グリッドに位置しており、IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [構造] 暗褐色土が橙色に焼けている。平面形状は北側が円形、南側が楕円形である。北側は検出面の長軸が28cm、短軸が24cmである。南側は検出面の長軸が34cm、短軸が16cmである。
- [出土遺物] 縄文土器の破片が出土した。
- [時期] 出土遺物や検出層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

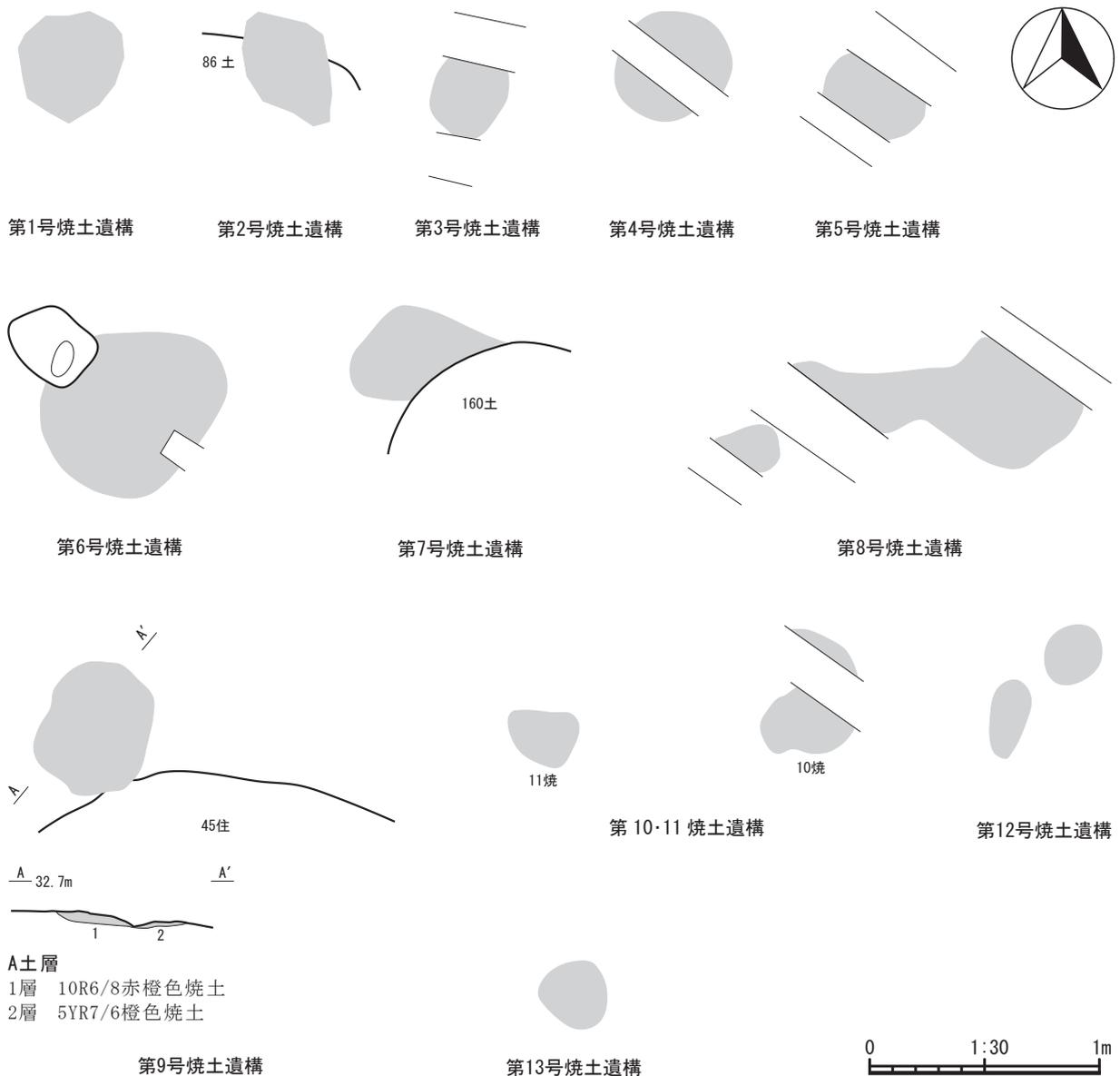
**第13号焼土遺構** (図250、写真129)

- [位置・確認] 南側調査区、VIO-214グリッドに位置する。IV層で焼土の広がりとして確認した。
- [構造] 円形を呈し、確認時における長軸は30cm、短軸は28cmである。内側が楕円形に浅く凹み、橙色の焼土が形成されている。
- [出土遺物] 出土していない。
- [時期] 確認された層位から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

**(5) ピット**

本遺跡では約175基のピットが確認・精査されている。紙幅の都合上全てを掲載することはできないため、本項で概略を記載する。

- [位置・確認] 調査区全体に明確な粗密なく分布する。一部には密集する区域も見られるが、掘立柱建物を構成するかどうかについては、不明である。
- [構造] 中には柱痕を有するものもあるが、大半の構造は不明である。
- [出土遺物] 円筒下層d～上層a式の土器が堆積土中から出土したピットもあるが、特徴的な出土状況を示すものはない。石器は、石鏃2点、スクレイパー類、U・F、磨製石斧2点、敲石、凹石、半円状扁平打製石器、磨石2点が出土した(図251- 1～5)。
- [小結] 検出層位と出土遺物から、大半が縄文時代に構築されたと考えられるが、詳細は不明である。



- 第1号焼土遺構**  
2. 5YR7/8橙色焼土 炭化物2~5mm 1%
- 第2号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm 1%
- 第3号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm 1%
- 第4号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~5mm 1%
- 第5号焼土遺構**  
7. 5YR6/4にぶい橙色土 2. 5YR7/6橙色焼土ブロック状30%、炭化物2~10mm 1%
- 第6号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 焼土5~20mm 2%、炭化物2~5mm 1%
- 第8号焼土遺構**  
2. 5YR6/8橙色焼土
- 第10号焼土遺構**  
2. 5YR7/8橙色焼土 焼土2~5mm 1%、炭化物2mm 1%
- 第11号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 焼土2~5mm 1%、炭化物2~5mm 1%
- 第12号焼土遺構**  
2. 5YR7/6橙色焼土 炭化物2~10mm 1%
- 第13号焼土遺構**  
2. 5YR6/8橙色焼土

図 250 焼土遺構

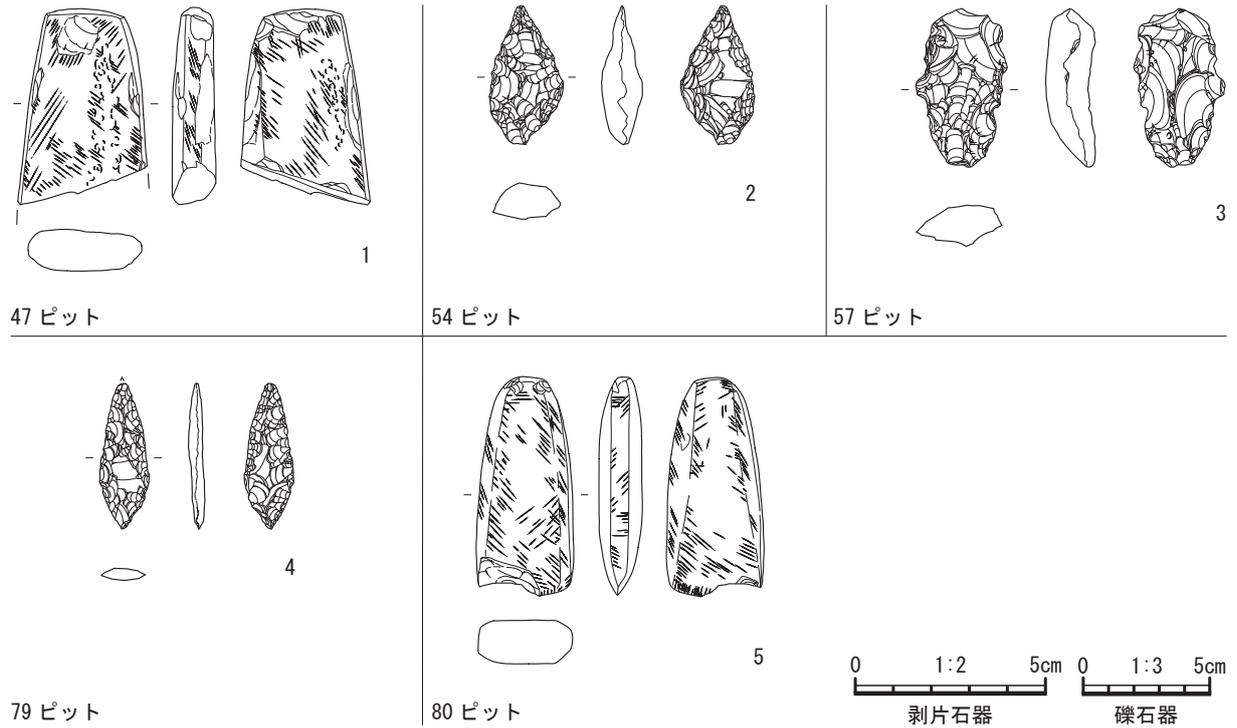


図251 ピット出土遺物

## (6) 捨て場

### 第1号捨て場 (図252～264、写真130～133・201～206)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIU-206～VIX-206・VIU-207～VIX-207・VIU-208グリッドに位置しており、Ⅲ層で個体土器が廃棄された範囲として確認した。

〔構造〕 東西が調査区外に及び、全容は不明であるが、南北の範囲は15m程である。Ⅲ層中に土器を主体とした遺物が、重層的に廃棄されている。総重量は土器が約347kg、剥片石器が約0.5kg、礫石器が約4kgであった。

〔出土遺物〕 土器は主に円筒下層d式が出土した(1～49)。それらは、個体土器が横位で潰れた状態や、破片が散在した状態であった。石器は石鏃7点、石槍2点、石筥、石匙7点、石錐、楔形石器、スクレイパー類20点、R・F4点、U・F2点、磨製石斧2点、凹石、敲石、磨石、半円状扁平打製石器16点、擦切具、砥石2点、礫器が出土した(55～102)。また、砥石は第152号土坑から出土した破片と接合している(図229-251)。土製品は土器片利用円盤が5点出土した(50～54)。石製品は石棒が出土した。

〔時期〕 縄文時代前期末を主体とする。

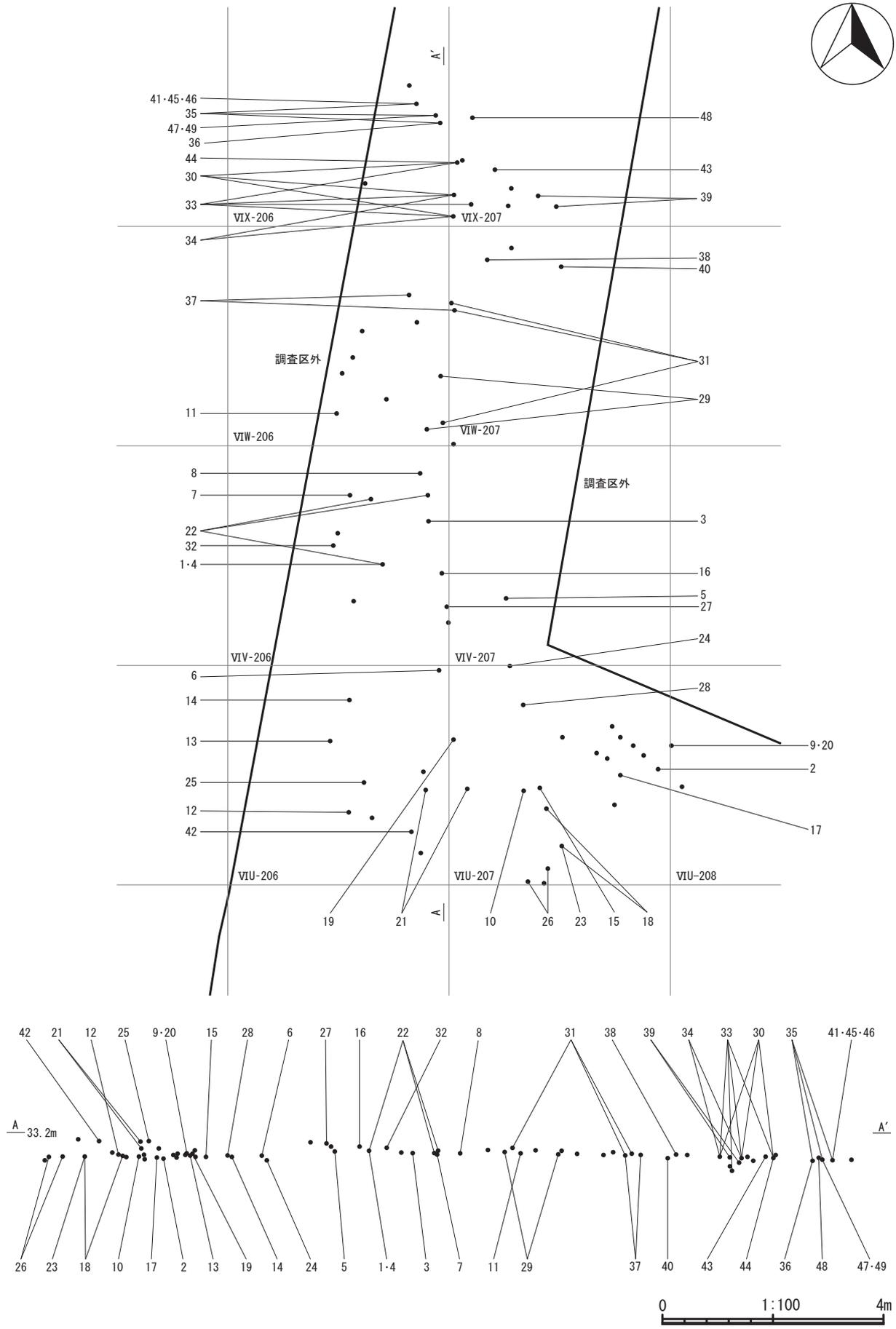
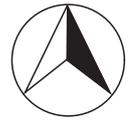


図252 第1号捨て場土器出土状況

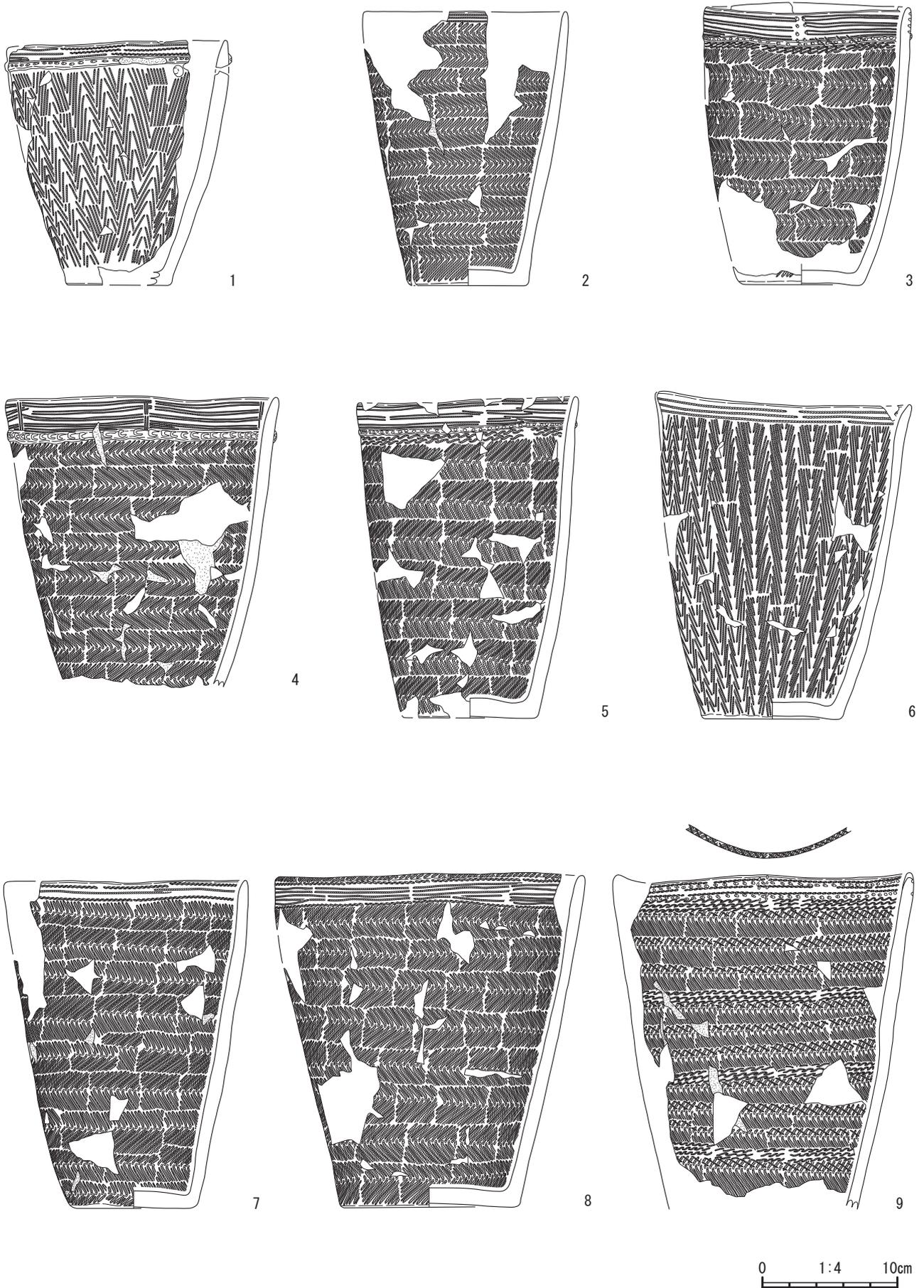


図 253 第 1 号捨て場出土遺物

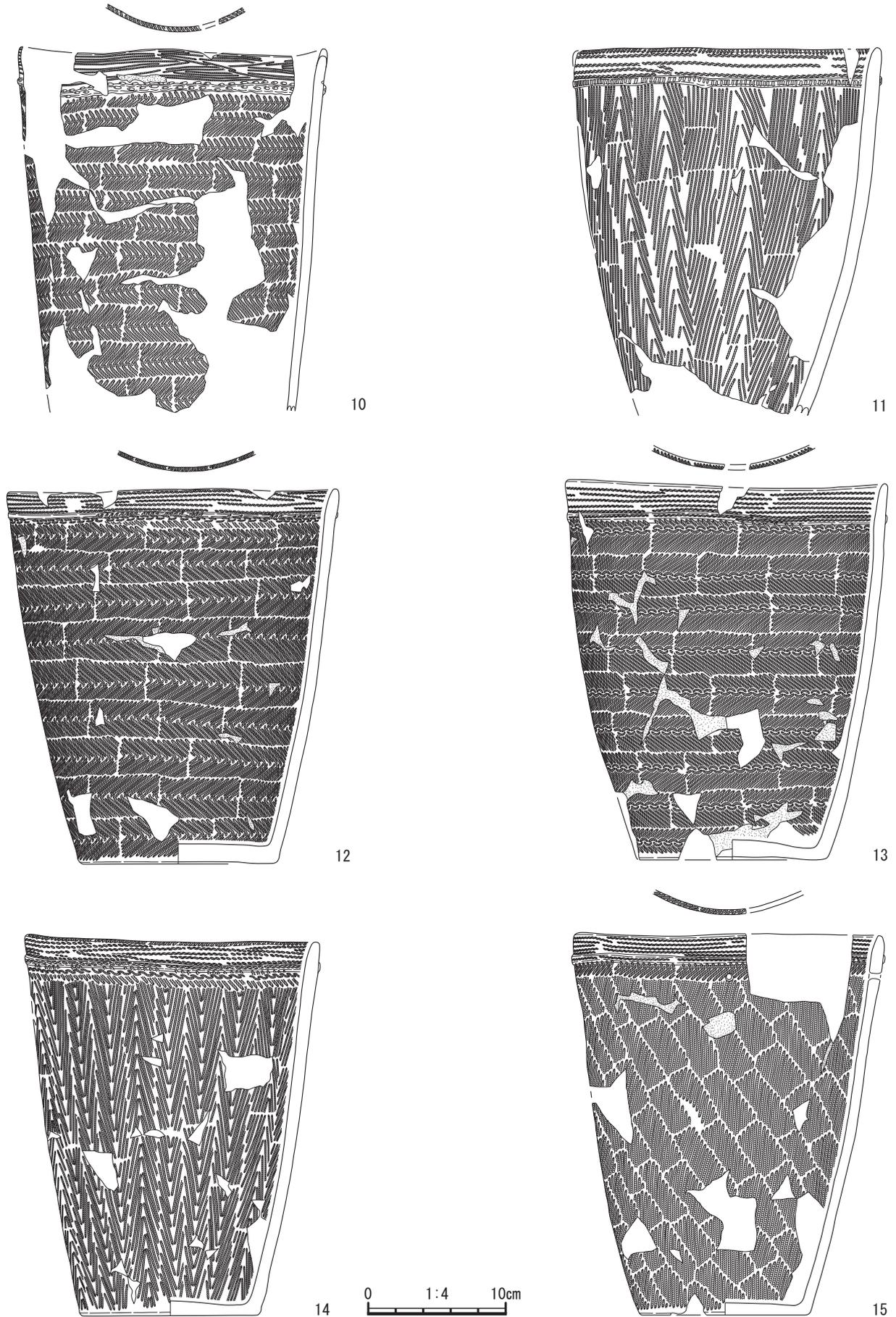


図 254 第 1 号捨て場出土遺物

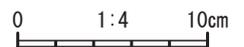
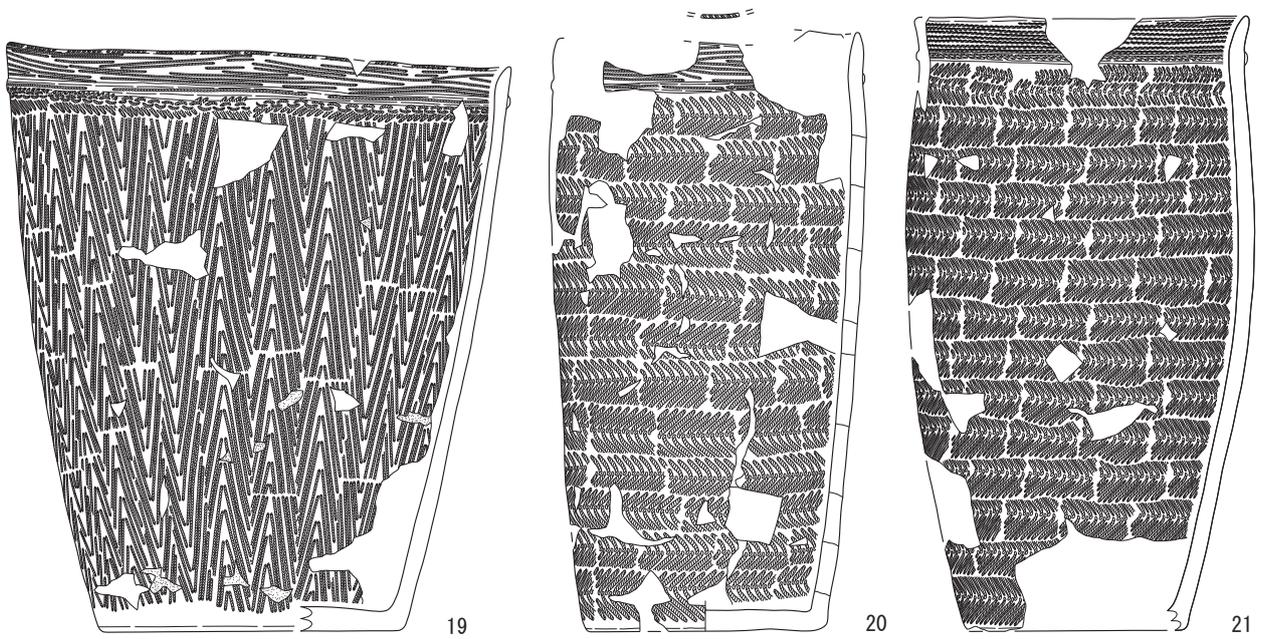
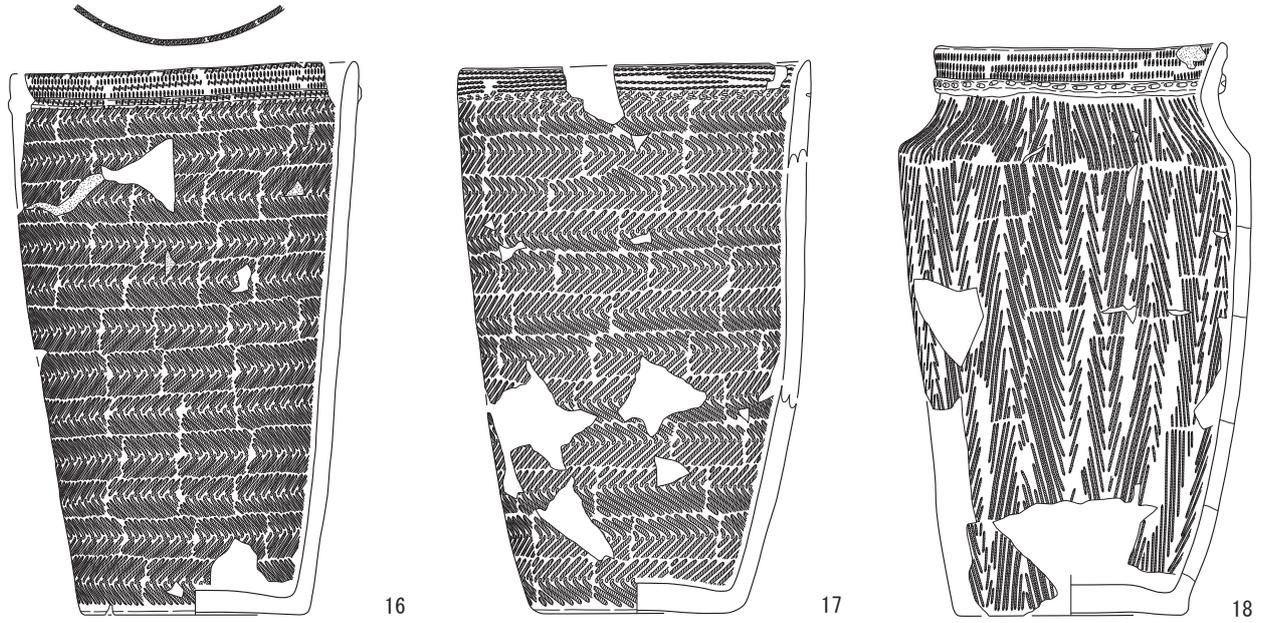
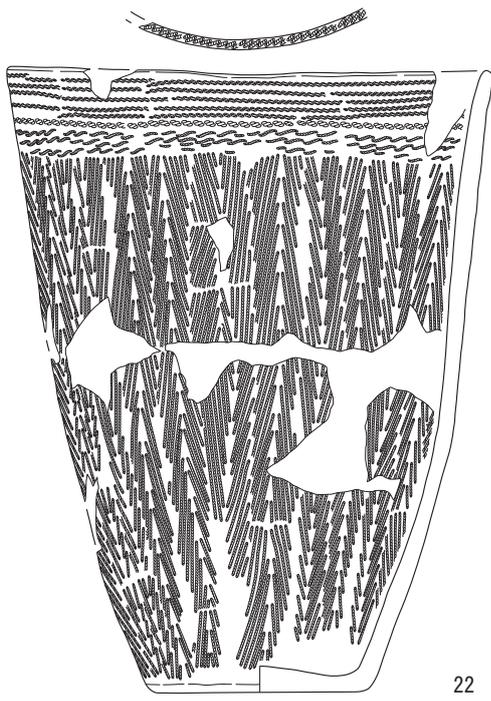
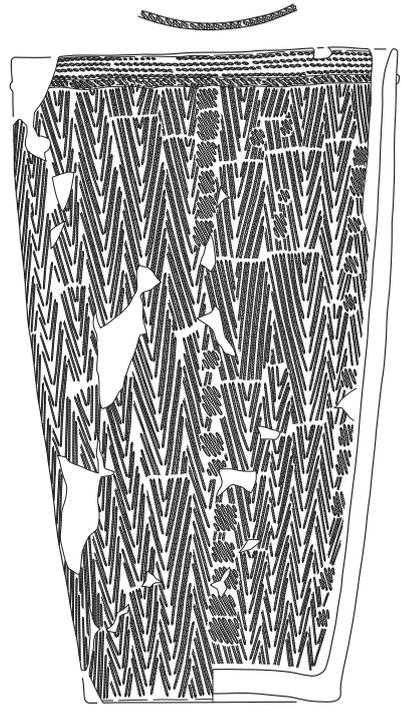


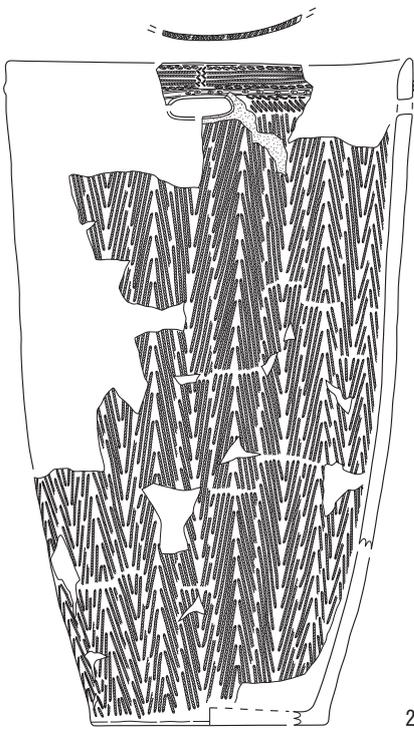
図 255 第1号捨て場出土遺物



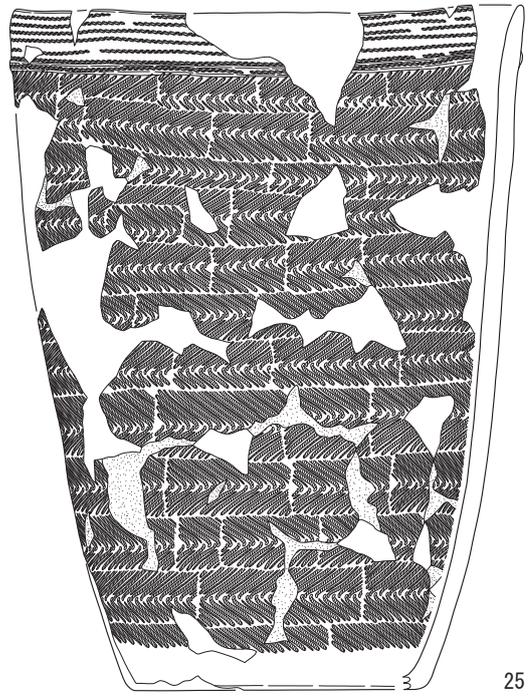
22



23



24



25

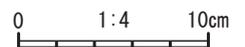
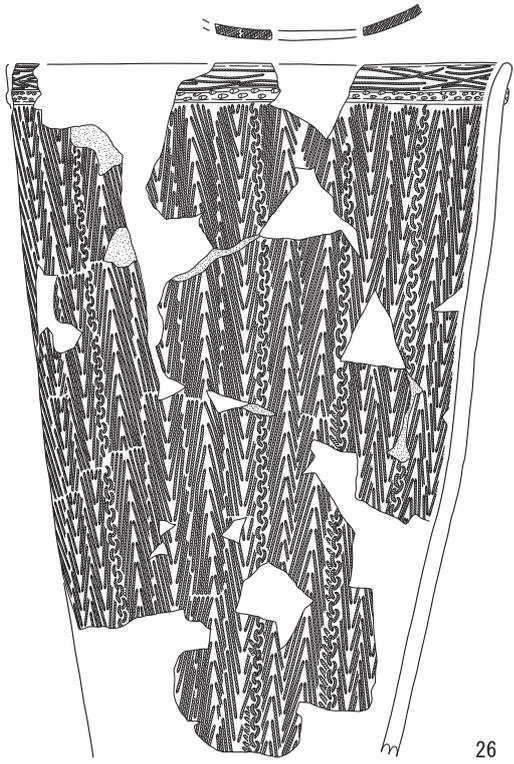
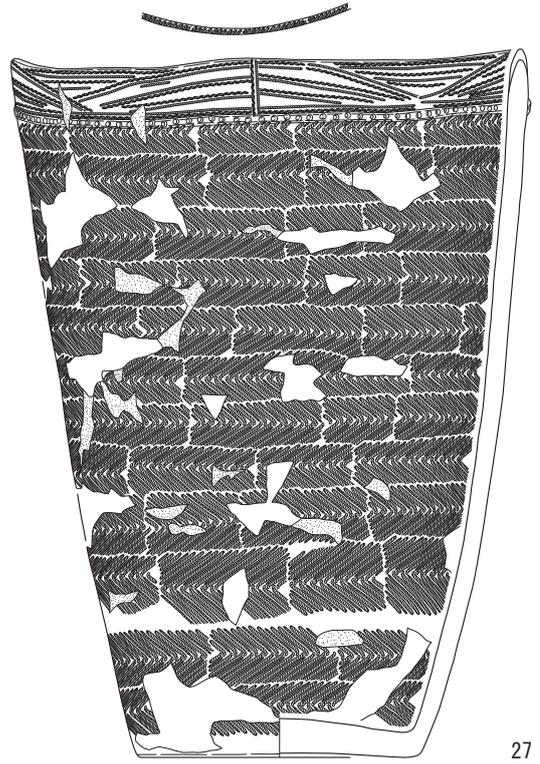


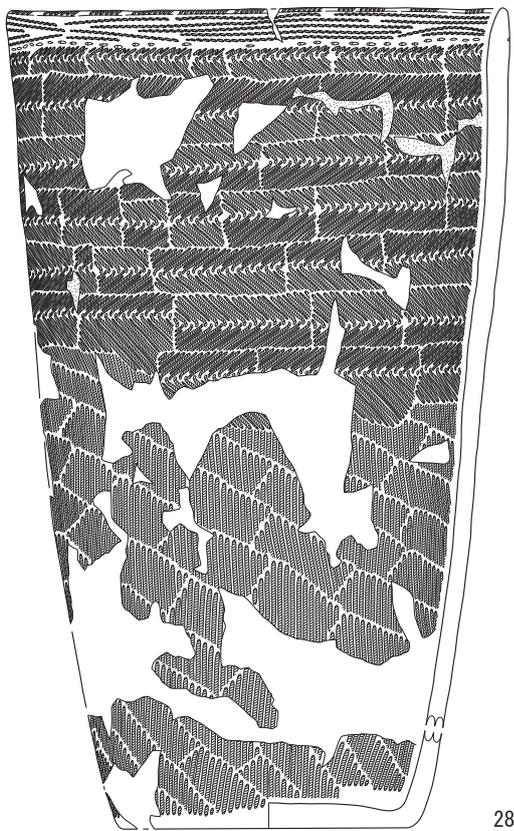
図 256 第 1 号捨て場出土遺物



26



27



28



29

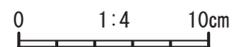


図 257 第 1 号捨て場出土遺物

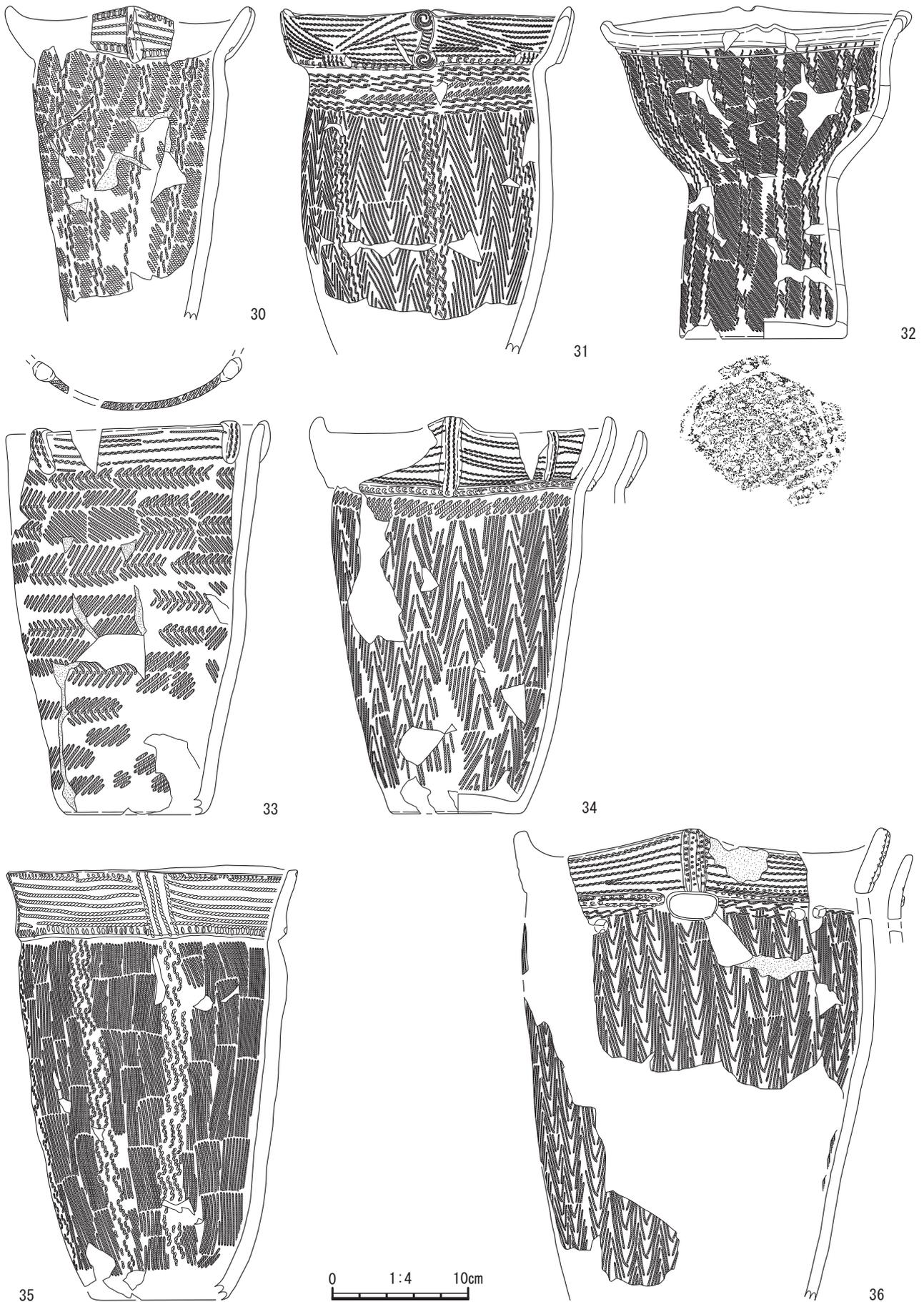


図 258 第 1 号捨て場出土遺物

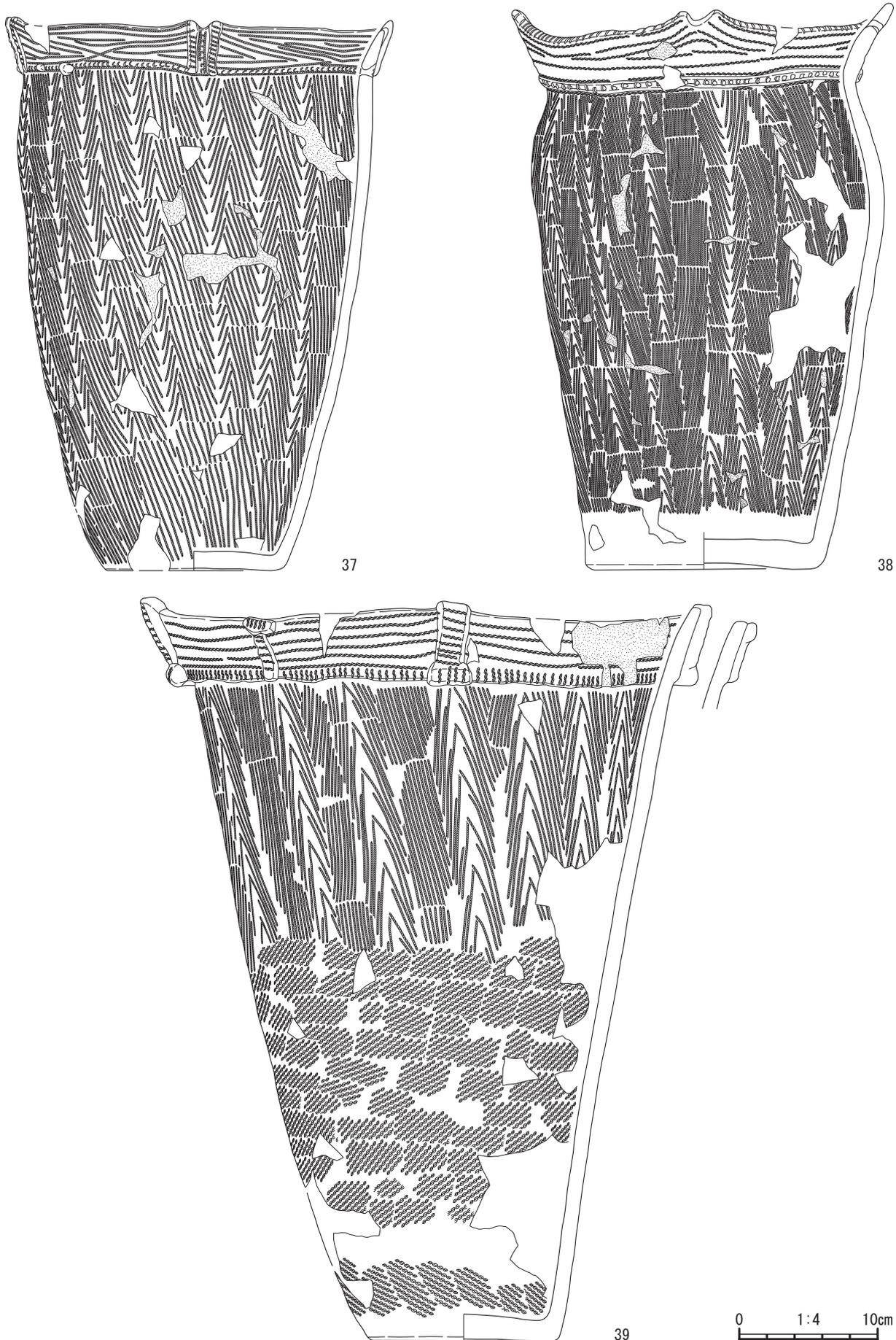
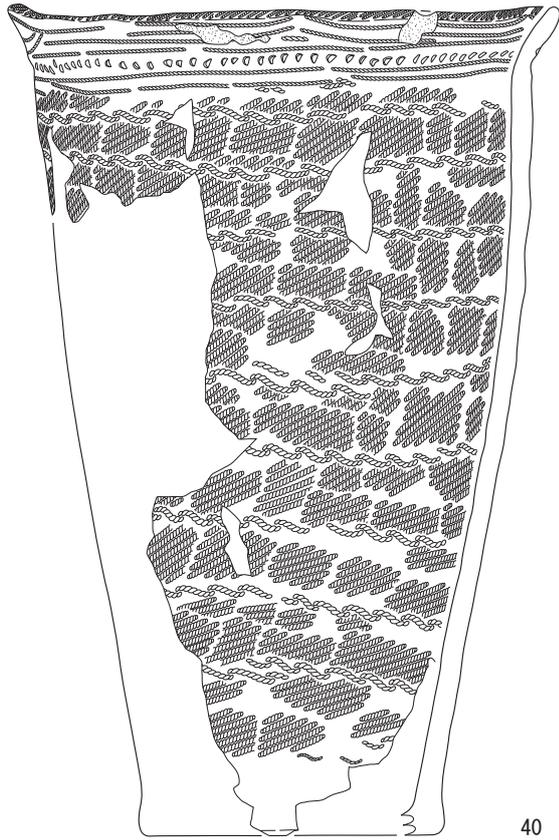
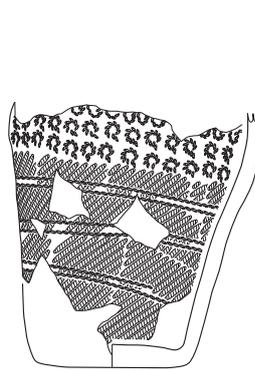


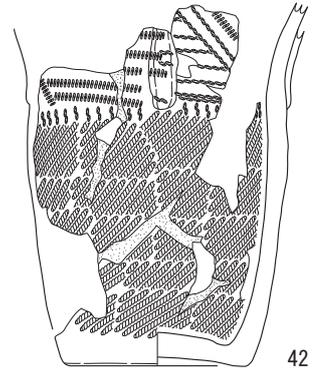
図 259 第 1 号捨て場出土遺物



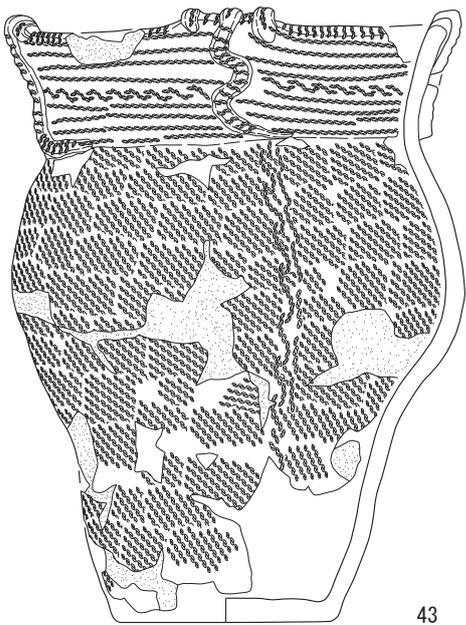
40



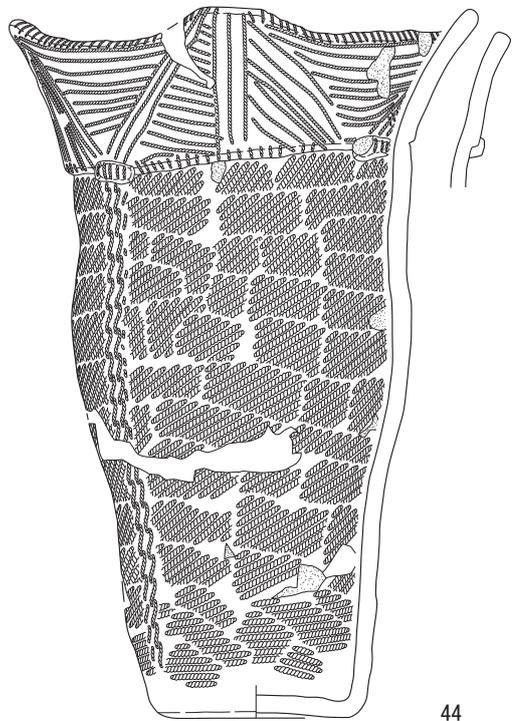
41



42



43



44



図 260 第 1 号捨て場出土遺物

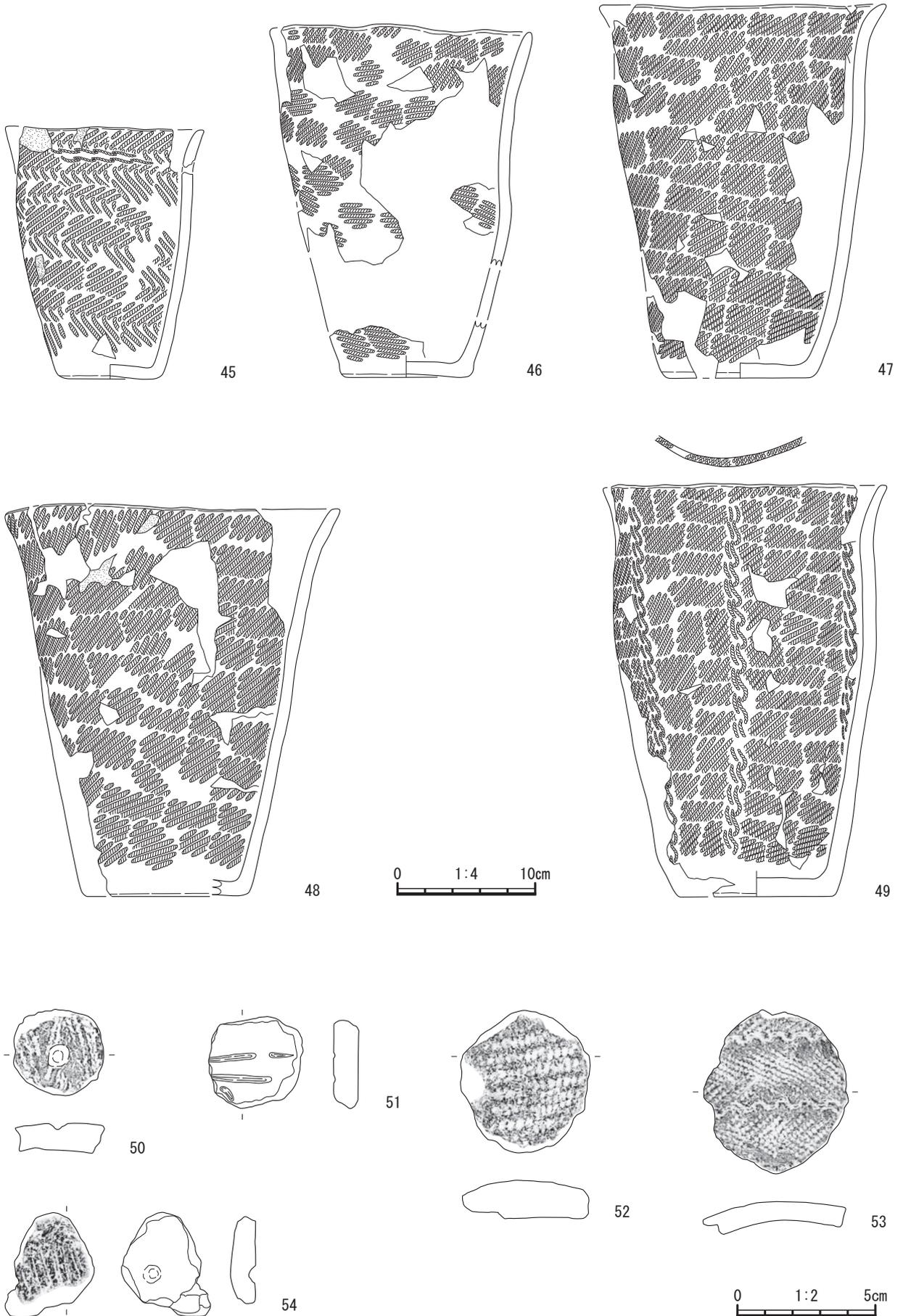


図 261 第 1 号捨て場出土遺物

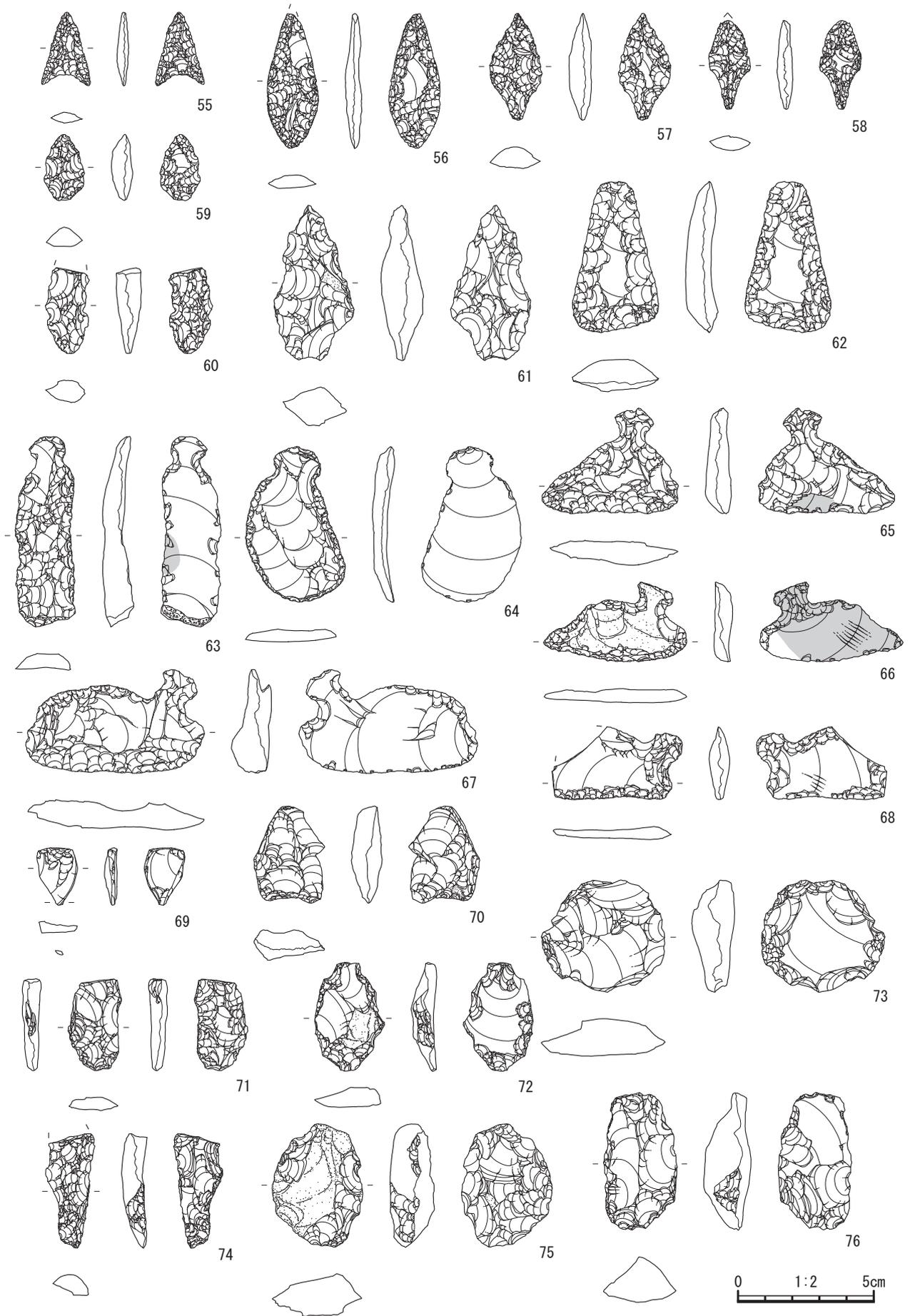


図 262 第 1 号捨て場出土遺物

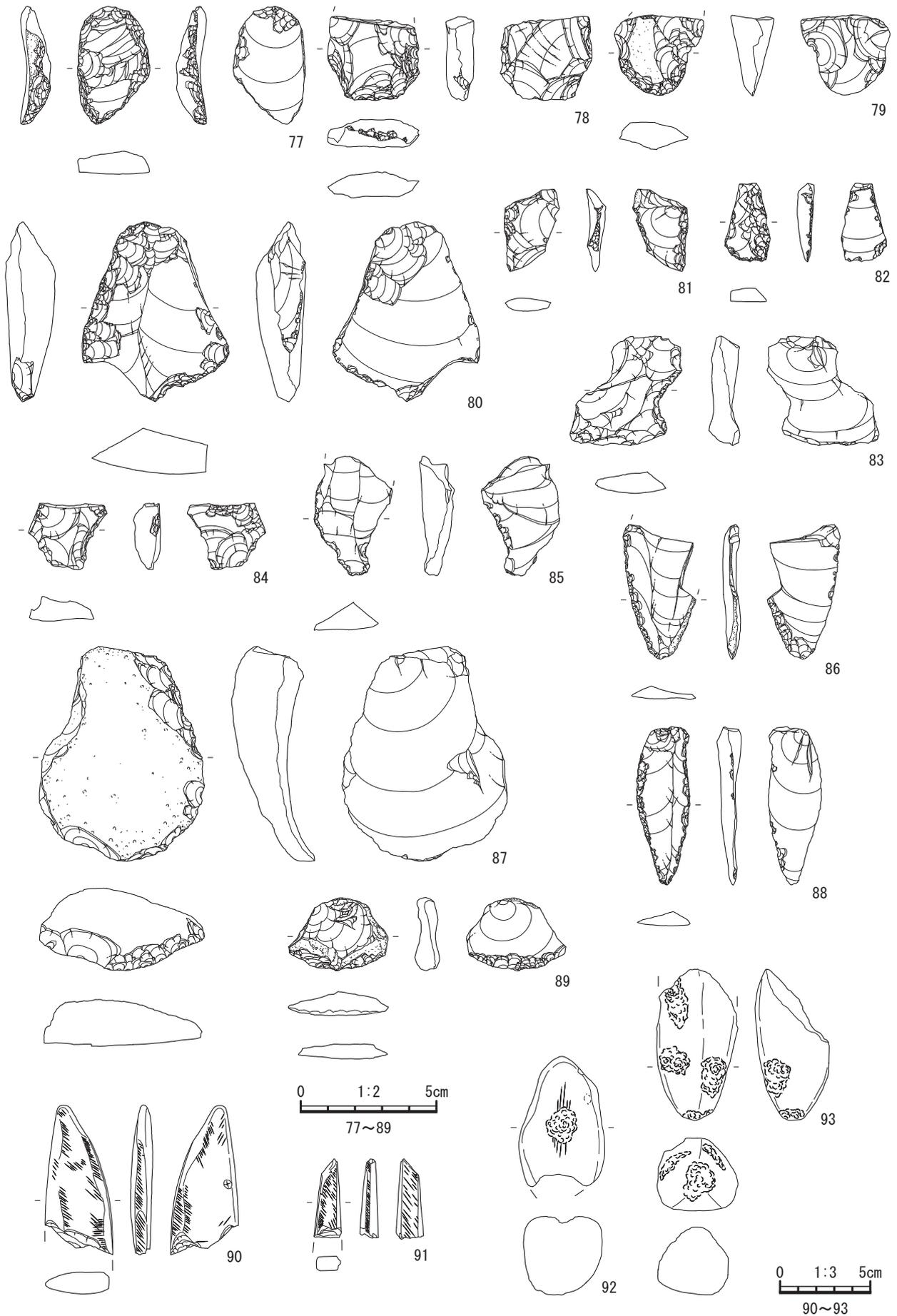


図 263 第 1 号捨て場出土遺物

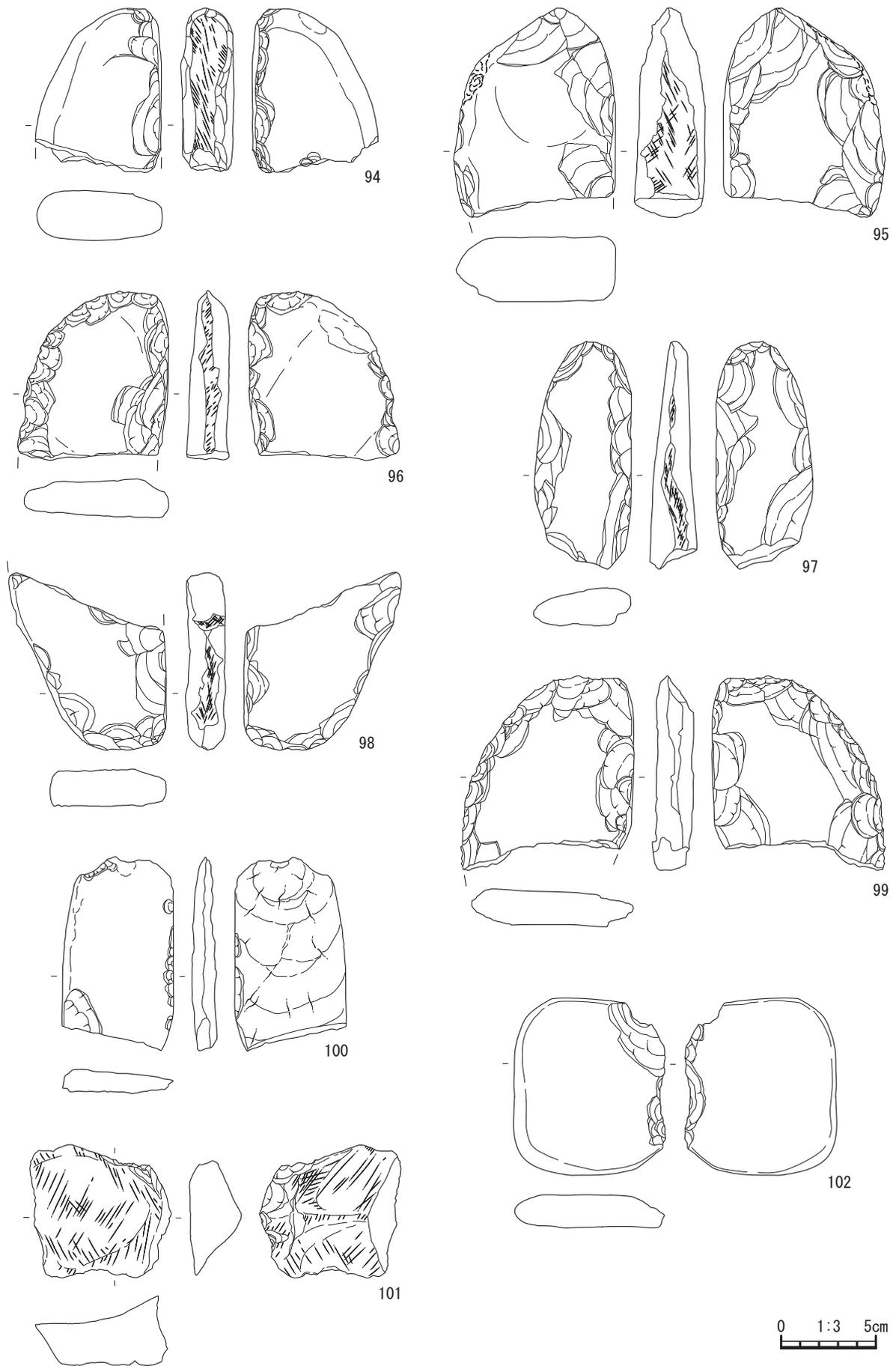


図 264 第 1 号捨て場出土遺物

## (7) 溝状土坑

### 第1号溝状土坑 (図265、写真134)

[位置・確認] 北側調査区、VII T-203グリッドに位置しており、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-25° -Eである。検出面の長軸は340cm、短軸は56cmである。底面の長軸は306cm、短軸は20cmである。深さは158cmであった。

[堆積土] 黒色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[小結] 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

### 第2号溝状土坑 (図265、写真134)

[位置・確認] 北側調査区、VII Q-201グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 南西側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-56° -Eである。検出面の長軸は338cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は330cm残存しており、短軸は16cm残存している。深さは140cmであった。

[堆積土] 暗褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[小結] 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

### 第3号溝状土坑 (図265、写真134)

[位置・確認] 北側調査区、VII N-202グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-94° -Eである。検出面の長軸は380cm、短軸は62cmである。底面の長軸は360cm、短軸は20cmである。深さは138cmであった。

[堆積土] 暗褐色土やローム土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 縄文土器の破片が出土した。

[小結] 出土遺物や形状から、縄文時代の落とし穴と考えられる。

### 第4号溝状土坑 (図265、写真135)

[位置・確認] 南側調査区、VIM-223グリッドに位置し、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-100° -Eである。検出面の長軸は397cm、短軸は47cm、底面の長軸は388cm、短軸は14cmで、深さは120cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

[堆積土] 黒褐色土や壁面崩落土と考えられる明黄褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[小結] 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

#### 第5号溝状土坑 (図266、写真135・200)

[位置・確認] 北側調査区、ⅦD-208グリッドに位置しており、Ⅲ層で黒色土の広がりとして確認した。

[重複] 第5号竪穴住居跡と重複しており、本溝状土坑が新しい。

[構造] 平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-125° -Eである。検出面の長軸は350cm、短軸は80cmである。底面の長軸は340cm、短軸は24cmである。深さは112cmであった。

[堆積土] 黒色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石錐が出土した(1)。

[小結] 重複関係や形状から、縄文時代前期末以降に構築された落とし穴と考えられる。

#### 第6号溝状土坑 (図266、写真135)

[位置・確認] 南側調査区、ⅥJ-229グリッドに位置し、Ⅳ層で黒色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-45° -Eである。検出面の長軸は、残存部分で294cm、短軸が43cm、底面の長軸は286cm、短軸が6cmで、深さは98cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

[堆積土] 壁面崩落土と考えられるにぶい黄褐色土や褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[小結] 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

#### 第7号溝状土坑 (図266、写真136)

[位置・確認] 南側調査区、ⅥP-214グリッドに位置しており、Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 上部が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は細長い楕円形、断面は狭小な底面から壁が外傾する形状である。主軸方位は、N-91° -Eである。検出面の長軸は350cm残存しており、短軸は38cmである。底面の長軸は346cm、短軸は10cmである。深さは70cmであった。

[堆積土] 黒褐色土やローム土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[小結] 形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

#### 第8号溝状土坑 (図266、写真136)

[位置・確認] 南側調査区、ⅥI-212グリッドに位置し、Ⅳ層で黒色土の広がりとして確認した。

[重複] 第123号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[構造] 平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-120° -Eである。検出面の長軸は368cm、短軸の残存部分は39cm、底面の長軸は366cm、短軸は7cmで、深さは100cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

[堆積土] 黒褐色土や暗褐色土を主体とし、壁面崩落土と考えられる褐色土を含む。自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 堆積土中から円筒下層式土器が出土している。

[小結] 遺構の重複関係や形状から、縄文時代前期末以降の落とし穴と考えられる。

**第9号溝状土坑**（図267、写真137）

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-220グリッドに位置し、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-21° -Eである。検出面の長軸は344cm、短軸は49cm、底面の長軸は339cm、短軸は7cmで、深さは118cmである。底面はほぼ垂直に立ち上がり、中央やや下部から幅が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土や壁面崩落土と考えられる明黄褐色土を主体とする。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から縄文土器が出土している。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

**第10号溝状土坑**（図267、写真137）

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-222グリッドに位置し、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈する。主軸方位はN-90° -Eである。検出面の長軸は398cm、短軸は27cm、底面の長軸は384cm、短軸は16cm、深さ98cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体とした、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕形状などから、縄文時代の落とし穴と考えられる。

**第11号溝状土坑**（図267、写真137）

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-211グリッドに位置し、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

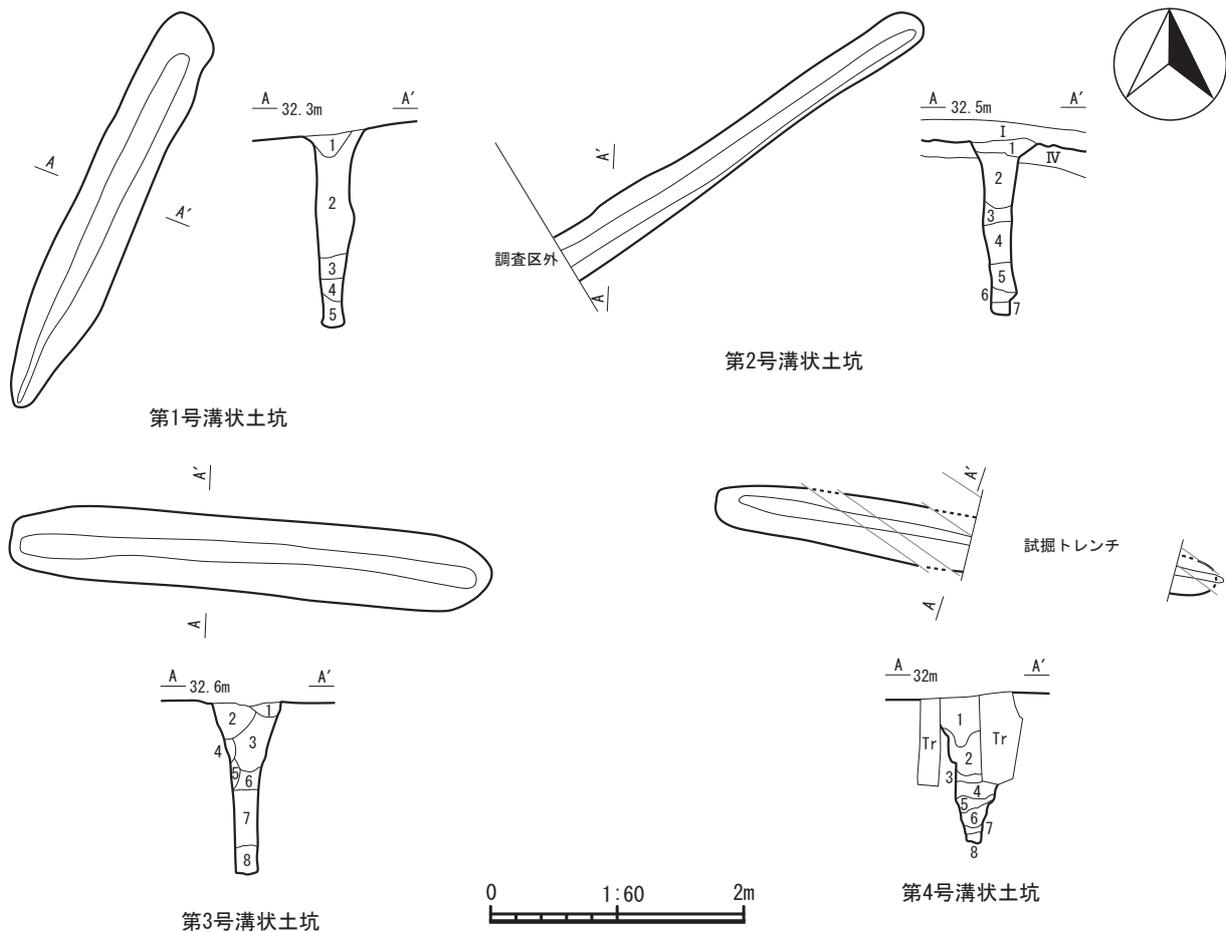
〔重複〕第63号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕平面形は長楕円形を呈し、南東側でやや北側に屈曲する。主軸方位はN-116° -Eである。検出面の長軸は370cm、短軸は36cm、底面の長軸は354cm、短軸は12cm、深さ88cmである。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部が広がる「Y」字状を呈する。

〔堆積土〕未実測だが、暗褐色土や黒褐色土を主体とする、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔小結〕遺構の重複関係や形状から、縄文時代前期末以降の落とし穴と考えられる。



**第1号溝状土坑**

- |    |             |                                      |
|----|-------------|--------------------------------------|
| 1層 | 10YR2/1黒色土  | 千曳軽石5~10mm1%、中掬軽石1~2mm1%             |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR4/4褐色土30%、千曳軽石3~12mm1%、中掬軽石1%    |
| 3層 | 10YR2/1黒色土  | 10YR5/6黄褐色土25%、千曳軽石5mm1%、中掬軽石1~3mm1% |
| 4層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土5%、千曳軽石3~5mm1%            |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/8黄褐色土5%、千曳軽石10mm1%             |

**第2号溝状土坑**

- |    |             |   |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR2/1黒色土  | 中掬軽石1%  |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR3/3暗褐色土7%、10YR4/6褐色土5%、千曳軽石2~3mm2%、中掬軽石1% |
| 3層 | 10YR4/4褐色土  | 10YR2/3黒褐色土10%                                |
| 4層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/4褐色土10%、千曳軽石15mm1%                      |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/4褐色土3%、中掬軽石1%                           |
| 6層 | 10YR4/6褐色土  | 10YR2/2黒褐色土2%                                 |
| 7層 | 10YR2/3黒褐色土 |   |

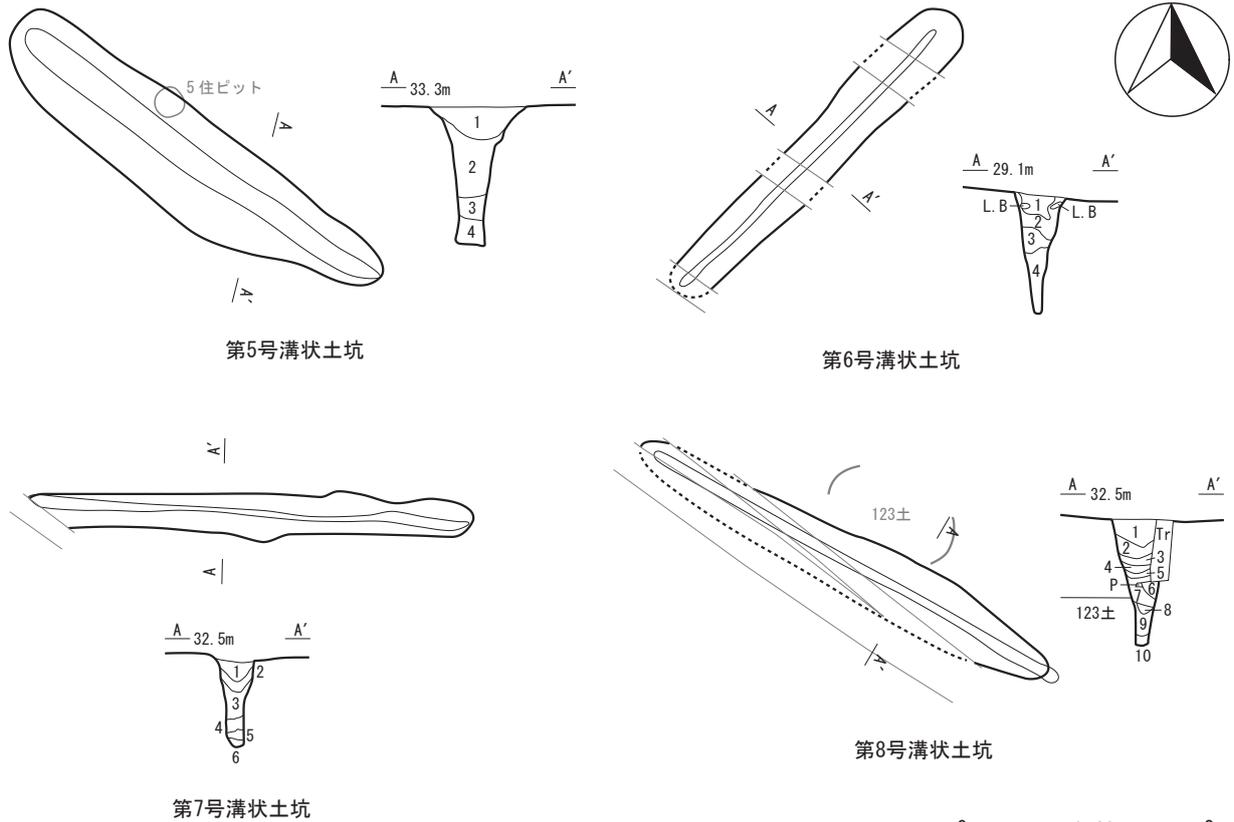
**第3号溝状土坑**

- |    |              |                                |
|----|--------------|--------------------------------|
| 1層 | 10YR2/1黒色土   | 千曳軽石1mm1%、中掬軽石1%               |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土  | 千曳軽石1mm1%、中掬軽石1%               |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土  | 10YR4/6褐色土40%、千曳軽石1mm1%、中掬軽石1% |
| 4層 | 10YR6/8明黄褐色土 | 10YR3/4暗褐色土10%                 |
| 5層 | 10YR5/6黄褐色土  | 10YR2/3黒褐色土20%                 |
| 6層 | 10YR4/6褐色土   | 10YR3/4暗褐色土1%                  |
| 7層 | 10YR5/8黄褐色土  | 10YR3/4暗褐色土1%                  |
| 8層 | 10YR3/4暗褐色土  | 10YR5/8黄褐色土30%                 |

**第4号溝状土坑**

- |    |              |        |
|----|--------------|--------|
| 1層 | 10YR2/1黒色土   | ローム粒微量 |
| 2層 | 10YR2/3黒褐色土  | ローム粒中量 |
| 3層 | 10YR6/6明黄褐色土 |        |
| 4層 | 10YR2/3黒褐色土  | ローム粒中量 |
| 5層 | 10YR7/6明黄褐色土 | ローム粒多量 |
| 6層 | 10YR2/3黒褐色土  | ローム粒中量 |
| 7層 | 10YR7/6明黄褐色土 |        |
| 8層 | 10YR5/8黄褐色土  | ローム粒多量 |

図 265 溝状土坑



第5号溝状土坑

- 1層 10YR1.7/1黒色土 千曳軽石1~2mm1%、中掬軽石1%
- 2層 10YR1.7/1黒色土 10YR2/2黒褐色土10%、千曳軽石1~2mm1%、中掬軽石1%
- 3層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土5%、千曳軽石1~2mm1%
- 4層 10YR2/3黒褐色土 千曳軽石1~2mm1%

第6号溝状土坑

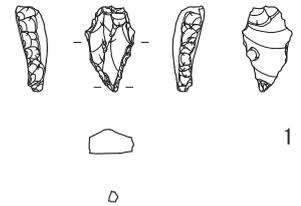
- 1層 10YR2/1黒色土 ローム粒微量
- 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 3層 10YR4/4褐色土
- 4層 10YR5/4にぶい黄褐色土

第7号溝状土坑

- 1層 10YR2/2黒褐色土 10YR2/1黒色土30%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土20%
- 3層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土1%
- 4層 10YR2/1黒褐色土 10YR4/6褐色土1%
- 5層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土10%
- 6層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土30%

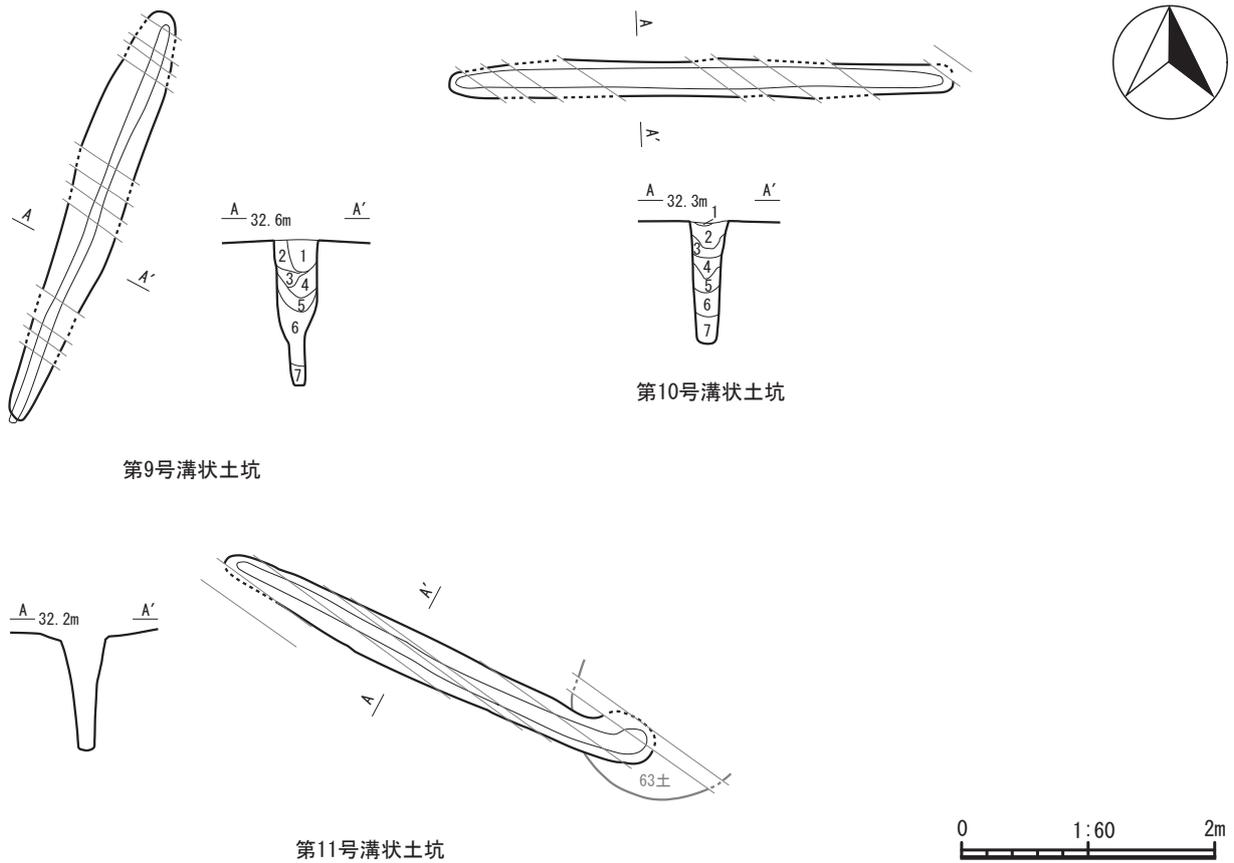
第8号溝状土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR2/3黒褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土
- 4層 10YR2/2黒褐色土
- 5層 10YR4/6褐色土
- 6層 10YR4/6褐色土
- 7層 10YR3/3暗褐色土
- 8層 10YR4/6褐色土
- 9層 10YR3/3暗褐色土
- 10層 10YR2/1黒褐色土



第5号溝状土坑出土遺物

図 266 溝状土坑



第9号溝状土坑

1層	10YR2/1黒色土	10YR2/2黒褐色土20%、千曳軽石1mm1%、中礫軽石1%
2層	10YR2/2黒褐色土	中礫軽石1%
3層	10YR2/2黒褐色土	10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%
4層	10YR2/2黒褐色土	10YR3/3暗褐色土7%、千曳軽石1~20mm2%、中礫軽石1%
5層	10YR2/3黒褐色土	10YR4/4褐色土7%、千曳軽石1~10mm2%、中礫軽石1%
6層	7.5YR5/8明褐色土	中礫軽石1~5mm1%
7層	10YR2/1黒色土	10YR2/3黒褐色土30%

第10号溝状土坑

1層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/2黒褐色土20%、ローム粒15%
2層	10YR3/1黒褐色土	10YR3/3暗褐色土20%
3層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/2黒褐色土10%、10YR5/8黄褐色土7%
4層	10YR2/1黒色土	10YR3/3暗褐色土15%
5層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/1黒色土5%
6層	10YR5/6黄褐色土	10YR3/3暗褐色土7%
7層	10YR2/1黒色土	10YR5/6黄褐色土7%

図 267 溝状土坑

## 第3節 遺構外出土遺物

### 1 土器 (図268～270、写真207)

本遺跡遺構外からは、縄文時代早期後葉～後期前葉および古代の土器が、総重量で約725kg出土している。縄文時代前期後葉～中期前葉を主体とするが、平成16年度の調査において検出された「斜面捨て場」の形成時期である縄文時代前期中葉のほか、縄文時代前期前葉、縄文時代中期後葉～後期前葉の破片も一定量含まれる。

1・2は、胎土に多量の繊維を含み、施文原体に太い縄を使用している。早稲田5類に比定される。

3・4は半裁竹管状工具による連続刺突を施す。表館式に比定される。5～7は、口縁部の文様帯に押し文を施す。8～11は、口縁部まで全体に縄文が施文され、胎土に繊維を含む。これらは、早稲田6類に比定される。

12～23は、縄文時代前期中葉の円筒下層a～b式に比定される。22・23は口縁部の施文にそれぞれ単軸絡条体第6類・第6A類を用いることから、円筒下層b式と考えられる。その他は、破片資料のため、型式単位の細別は行っていない。

24は、口唇部に刺突、口縁部に山形の縄文押圧が施される、円筒下層c式に比定される。

25～32は円筒下層d式に比定される。ほとんどが破片資料のため、型式単位の細別は行っていない。26・27は縦位に条痕文を施す。

33・34は円筒下層式のいずれかの時期と考えられるが、詳細は不明である。

35～44は、円筒下層d2～円筒上層a式に比定される。波状口縁の頂部から刺突による縦位区画を有するもの(36・39・40)、横位に平行に2～3本1単位の縄文を押圧し、その区画内に縦位に側面圧痕や爪形刺突を施すもの(41～44)などが確認されている。

45～51はいわゆる異系統土器である。45・47は、横位の沈線による文様区画帯の中に縦位の沈線を充填する。48は、隆沈線により幾何学的な文様を施文し、横位に三角形の刺突を施文する。これらは北陸地方の朝日下層式の影響を受けたものと考えられる。49・50は口縁部との文様区画に横位の刺突を施す。大木6式系と考えられる。

52・53は榎林式、54～57は最花式に比定される。

58～79は十腰内I式に比定される。単軸絡条体第5類を器面全体に施文するもの(58)や沈線により渦巻き状文を描出するもの(59～61)、横位に平行な沈線を施すもの(62～68)などが確認されている。また、67は、鉢である。

71～75は、胎土や焼成等の特徴から縄文時代に比定されるが、詳細は不明である。

76は土師器甕であり、底面に木葉痕が確認される。2は須恵器甕、3は須恵器短頸壺である。78の内面には自然釉が付着する。

### 2 土製品 (図270、写真207)

79は、土偶である。細沈線および沈線により文様が施文される。80はミニチュア土器の脚付き、81～88は土器片利用円盤である。穿孔が施されるもの、盲孔を有するものがそれぞれ確認されている。

また、本報告では紙幅の都合上掲載していないが、粘土が不整形に焼成された、いわゆる焼成粘土塊が遺構内から252.7g、遺構外から153.2g出土している。

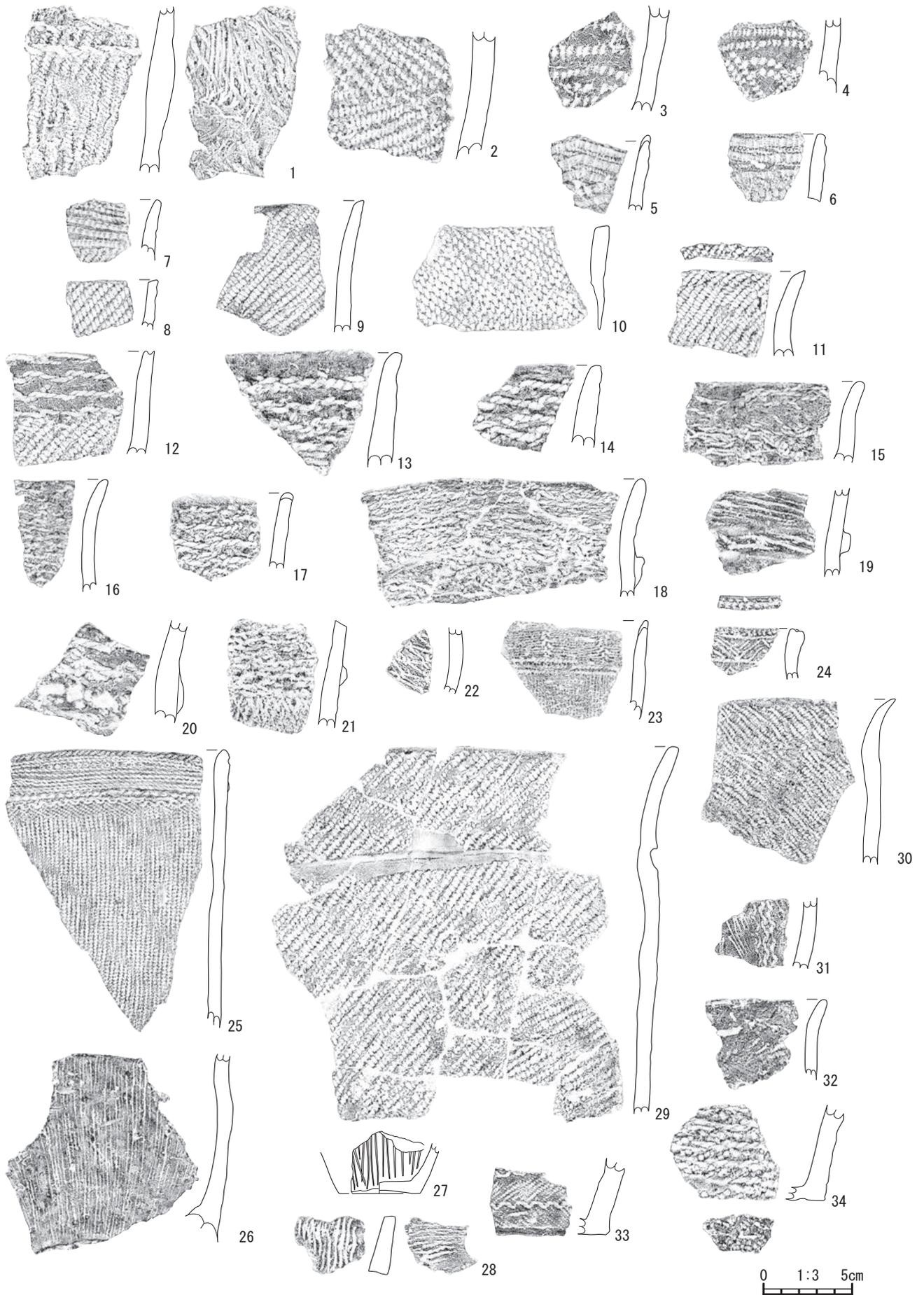


图268 遺構外出土遺物

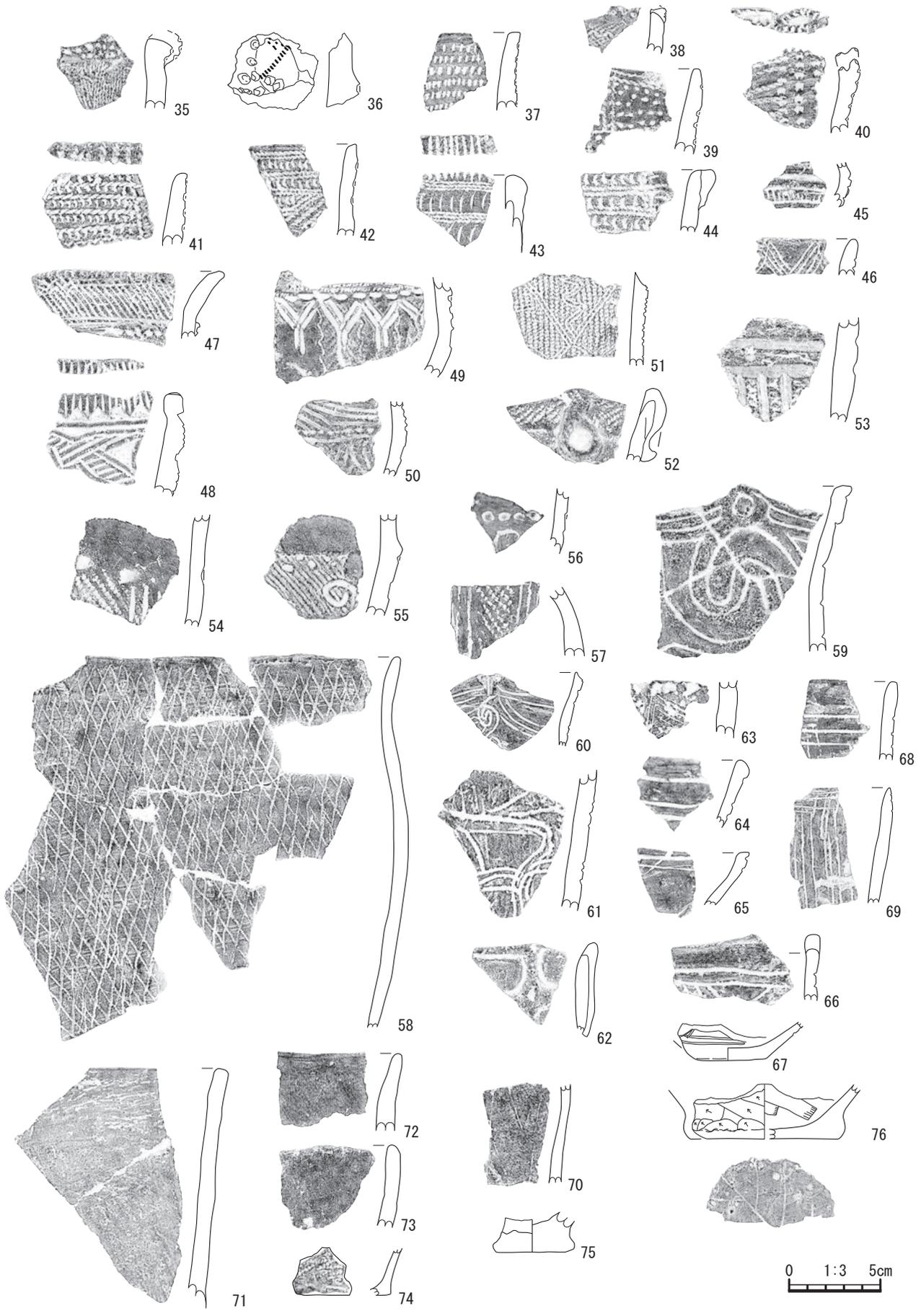
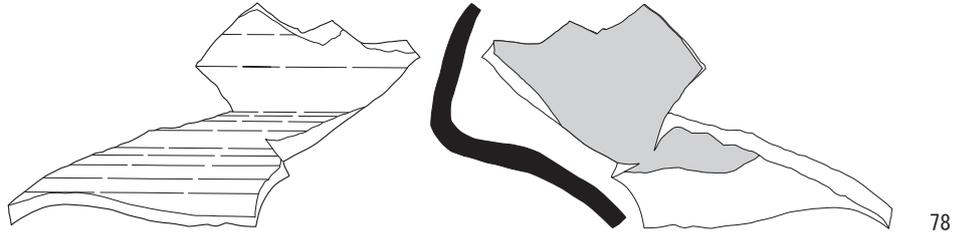


図269 遺構外出土遺物

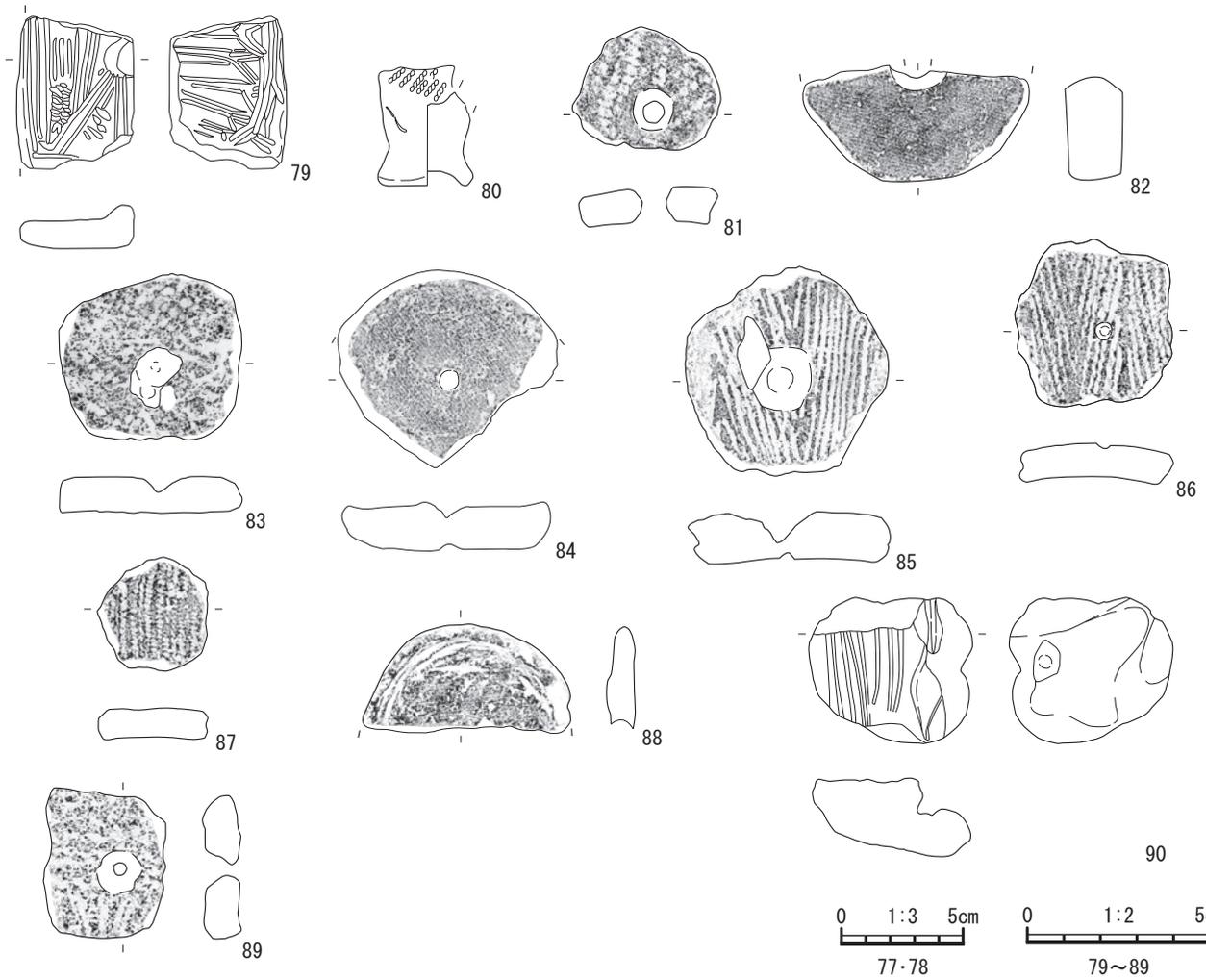


77



78

※アミカケ部分は自然袖付着範囲



0 1:3 5cm  
77・78

0 1:2 5cm  
79~89

図270 遺構外出土遺物

### 3 石器 (図271～図281)

本調査で出土した石器類は、剥片石器、礫石器、石製品あわせて1,306点である。これらの石器は、各遺構および調査区内から満遍なく出土しており、遺構外のもは出土土器と層位を同じくする。各石器の帰属時期は詳細にできないが、出土土器の主体が、縄文時代前期後葉～中期前葉であることから、大多数の石器がその時期に帰属するものと考えられる。また、上記の時期以外に、縄文時代早期末葉、前期前葉～中葉、およびに中期後葉～後期前葉の土器も出土していることから、それらの時期に帰属するものも包括されている。

以下に遺構外出土石器、石製品について記述する。出土位置や石材等は観察表に記載した。

#### 1 石器 (図271～281、写真208～210)

剥片石器は、石鏃32点、石槍6点、石篋1点、石匙12点、石錐4点、楔形石器3点、スクレイパー類54点、石核3点、R・F 17点、U・F 3点、剥片と碎片が11842.9g出土している。

礫石器は、打製石斧1点、磨製石斧10点、扁平打製石器45点、扁平磨製石器1点、磨石19点、敲石11点、凹石15点、砥石6点、擦切具2点、礫器5点、台石5点、柱状節理礫4点が出土している。

石鏃(91～120) 91～105は無茎鏃、106～120は有茎鏃である。91・92は凹基、93～98は平基。93と94は凹基との境が難しいが、五角形状の器体から平基とした。加えて形状の類似性から、縄文時代早期に帰属する可能性がある。99～105は尖基無茎鏃。器体は細長く流線形を基調とする。形状の類似性から、器体断面の厚さが薄いものは円筒下層期に、厚さのある104と105は円筒上層期に帰属する可能性がある。106～120は有茎鏃。112・115、116は平基有茎、118～120は凹基有茎鏃で量的には少なく、それ以外のなで肩状の凸基有茎が多数を占める。

石槍(121～125) すべて破片である。121は基部破片で、122～125は小型石槍の部類である。

石篋(126) 短冊形で刃部を欠失する。石槍の可能性もあるが断面形状から区別した。

石匙(127～134) 127～132は縦型。133と134は横型。127～130は背面全面の調整剥離と、腹面一側縁調整の特徴から早期の松原型石匙に比定される。131と132は背面両側縁と摘み部だけの簡易な剥離である。133と134は摘み部と対する一側縁を両面調整し刃部としている。

石錐(135・136) ともに素材剥片の端部を両面調整して錐部を作り出したもので、対する端部は無加工のままで保持する摘み部になっている。

楔形石器(137～139) 四辺形状で、上下二ヶー対の刃部には細かな階段状剥離が認められる。

スクレイパー類(140～178) 大きくは①両面調整剥離、②背面調整剥離、③腹面調整剥離が施されるものに分けられる。各々で更に、周縁、両側縁、一側縁、調整剥離が施されるものがある。両面調整剥離のものには、両側縁を片面調整した錯向剥離のもの(148・153・156・171・174)などがある。素材剥片は不定形で、二次加工の調整剥離も多様である。

石核(179・180) 179は原礫面が残る石核で、大きく分割した面を打面として周縁から剥離している。180は多方向から剥離作業が行われ立方形状の残核である。

打製石斧(181) 片面原礫面の打製石斧で、早期末～前期初頭に特徴的な石器である。

磨製石斧(182～186) 遺構内も含め、擦切、乳棒状、定格式の各磨製石斧が出土している。182は定格式で両端部の敲打痕は研磨成形後のものである。183～185は擦切磨製石斧である。186は所謂石鑿と呼ばれる小型磨製石斧の刃部破片である。

敲石（187～191）能動的敲打痕のあるもので使用部位により、礫の端部および両端が使用されるもの（187・191）、側縁や周縁が使用されるもの（189・190）、多面的に使われるものがあるほか、遺構内からは石核が転用されているものも出土している。

凹石（192～199）扁平礫の器面に受動的敲打痕があるもので、片面使用のもの（199）、両面使用のもの（196～198）、表裏及び側面の多面を使用するもの（192～195）があるが、多面を使用するものには、敲石と複合して機能するものが多い。

磨石（200～209）球状礫の器面全体が使われるもの（200・201）、礫の器面が使われるもの（202）、側縁が使われるもの（203～207）に分けられる。204～206のように端部に敲打痕を有し、敲石として複合的に使われるものもある。203は器面の敲打痕から所謂北海道式石冠といわれるものである。

半円状扁平打製石器（210～220）礫石器の中で出土数が一番多い。楕円状の扁平礫を素材とし、側縁と端部に剥離調整が施されるものが多い。直線的な側縁には、擦り面（磨り面）を有するものと無いものがあり、前者が多い。216は板状節理礫が素材で擦切具かも知れない。

抉入磨製石器（221）抉入加工部と先端部を欠失する破片である。

擦切具（222・223）222は薄い板状礫の側縁を刃部とし、刃部の擦痕が顕著である。223は側縁を両面調整している。扁平打製石器とも見れるが、薄さから本類に含めた。

礫器（224・225）224は側縁の両面剥離で石錘の可能性もある。225は周縁加工の半円状扁平打製石器とすることもできるが、全体形状から本類に含めた。

砥石（226～228）遺構内出土も含め、すべて砂岩を素材とし破片が多い。多面を使用し、顕著な使用部位はV字またはU字状を成している。

柱状節理礫（229）多角形の礫面と端部に、擦痕や敲打痕がみられるものである。が、前述した、敲石や磨石ほど使用の痕跡は顕著ではなく、遺構内出土も含め使用痕跡は不明瞭である。

台石（230・231）厚い板状礫の平坦な一面がそのまま機能面として使用されている。

#### 4 石製品（図281、写真210）

石棒3点、玦状耳飾り2点、有孔石製品1点、研磨製品1点、軽石製品1点が出土している。

232～234は石棒破片で、いずれも器面を敲打後研磨されている。232は基部で浅いグリップ状に作られている。233は片側の破損面が敲きに使用されている。234は楕円状の器体である。

238・239は玦状耳飾りで、いずれも片側を欠失している。238は短冊状、239は三角形を基調としており、入念に研磨されている。235の有孔石製品は、円礫を研磨後に器体の中央を両面から穿孔している。穿孔部を中心に器面に十字に薄く擦れた痕がみられる。

237は細長い板状礫の全面が研磨されている。小型磨製石斧の未製品の可能性もある。

236は巾着袋形状の軽石製品である。上端部に全周する抉り加工が施されている。対する端部は擦りにより平滑に仕上げられている。

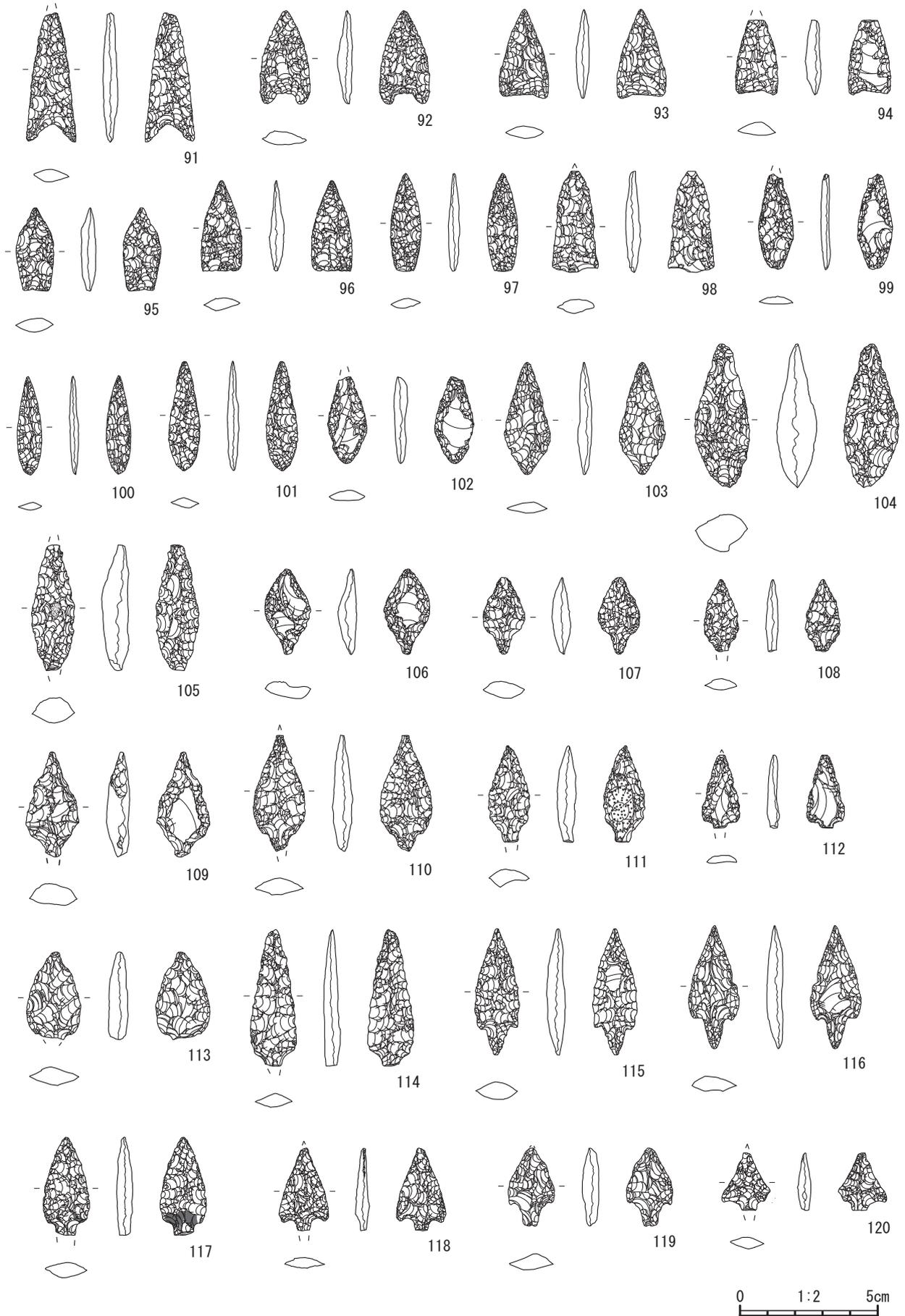


図 271 遺構外出土遺物

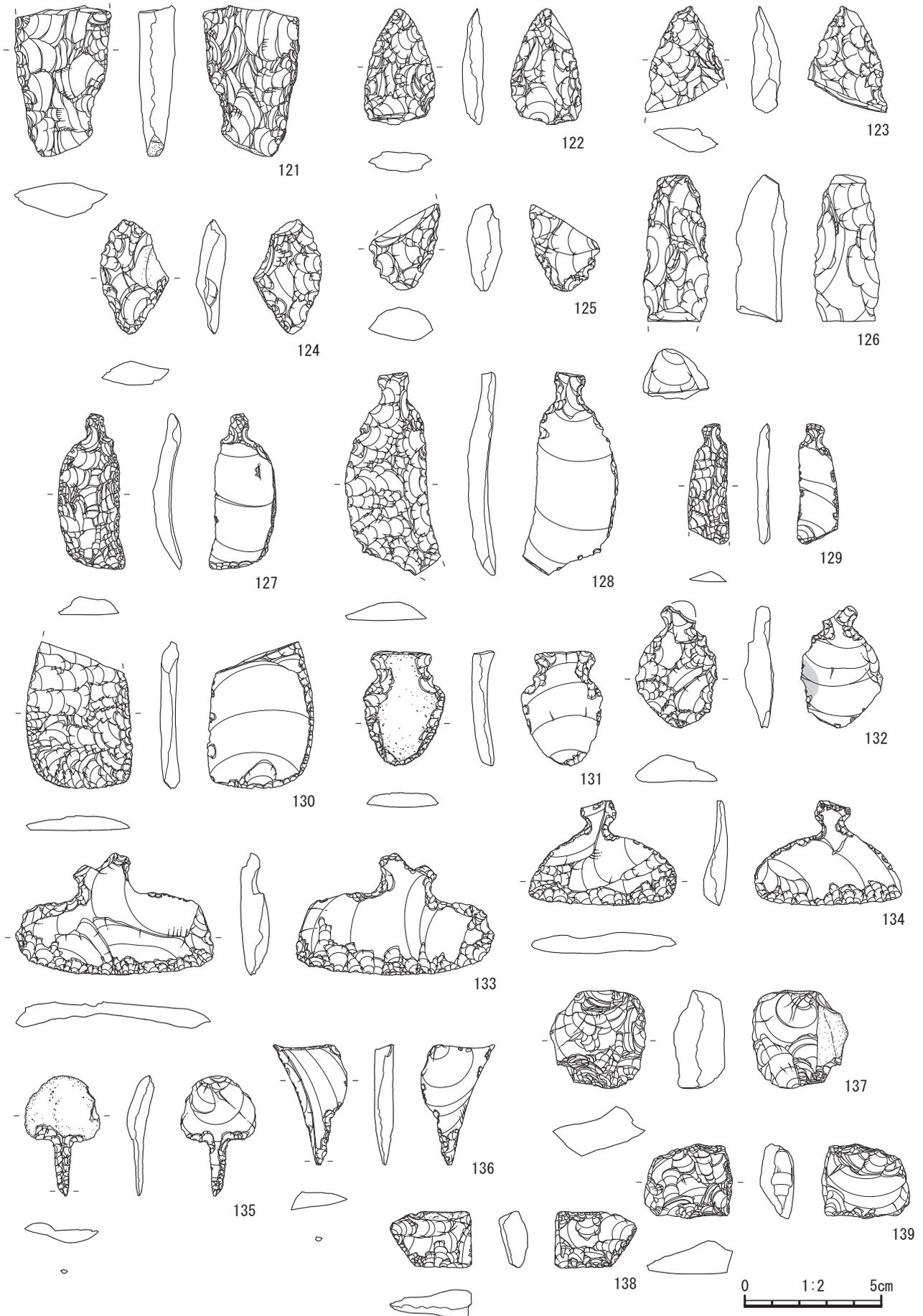


図 272 遺構外出土遺物

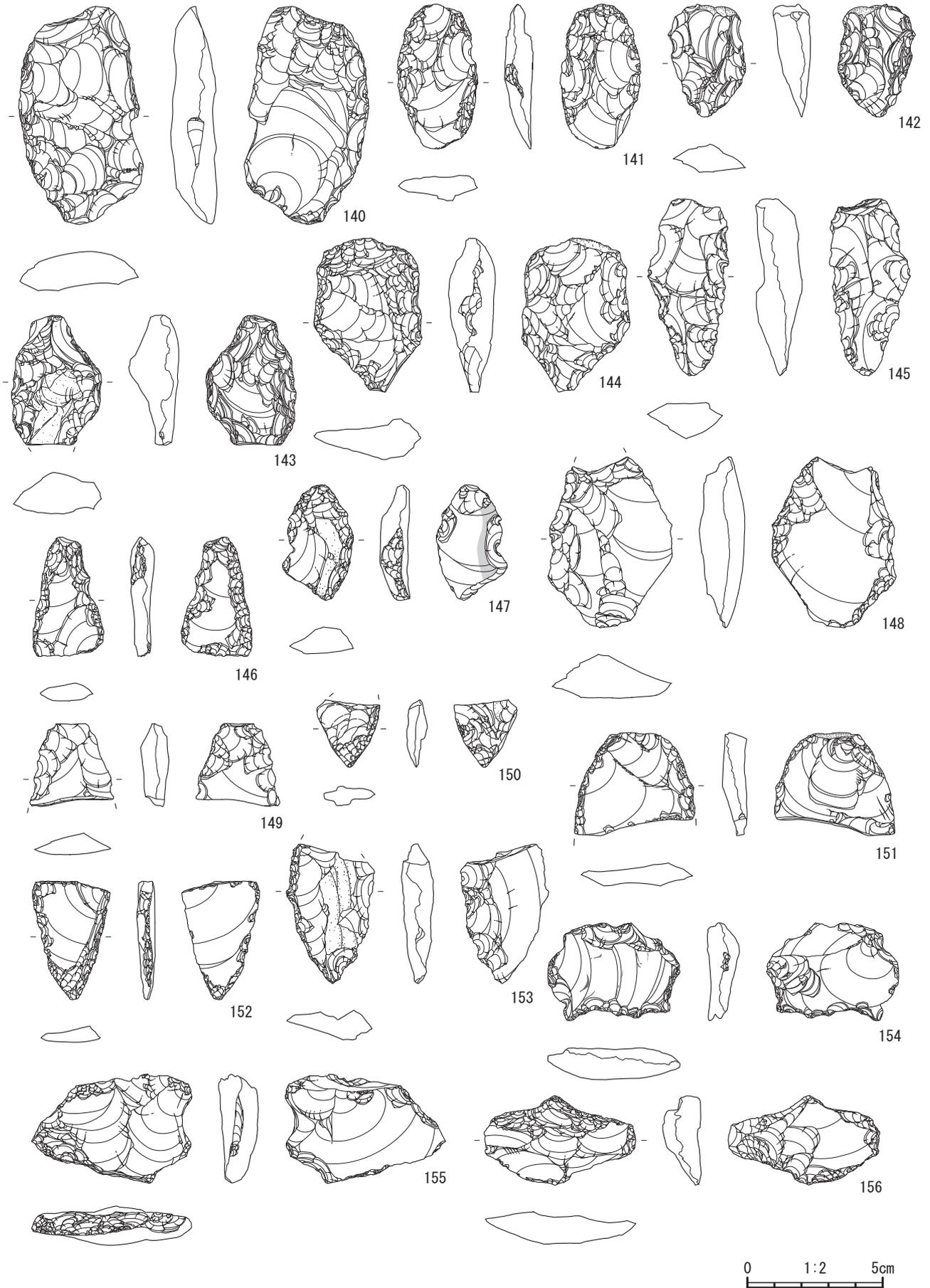


図 273 遺構外出土遺物

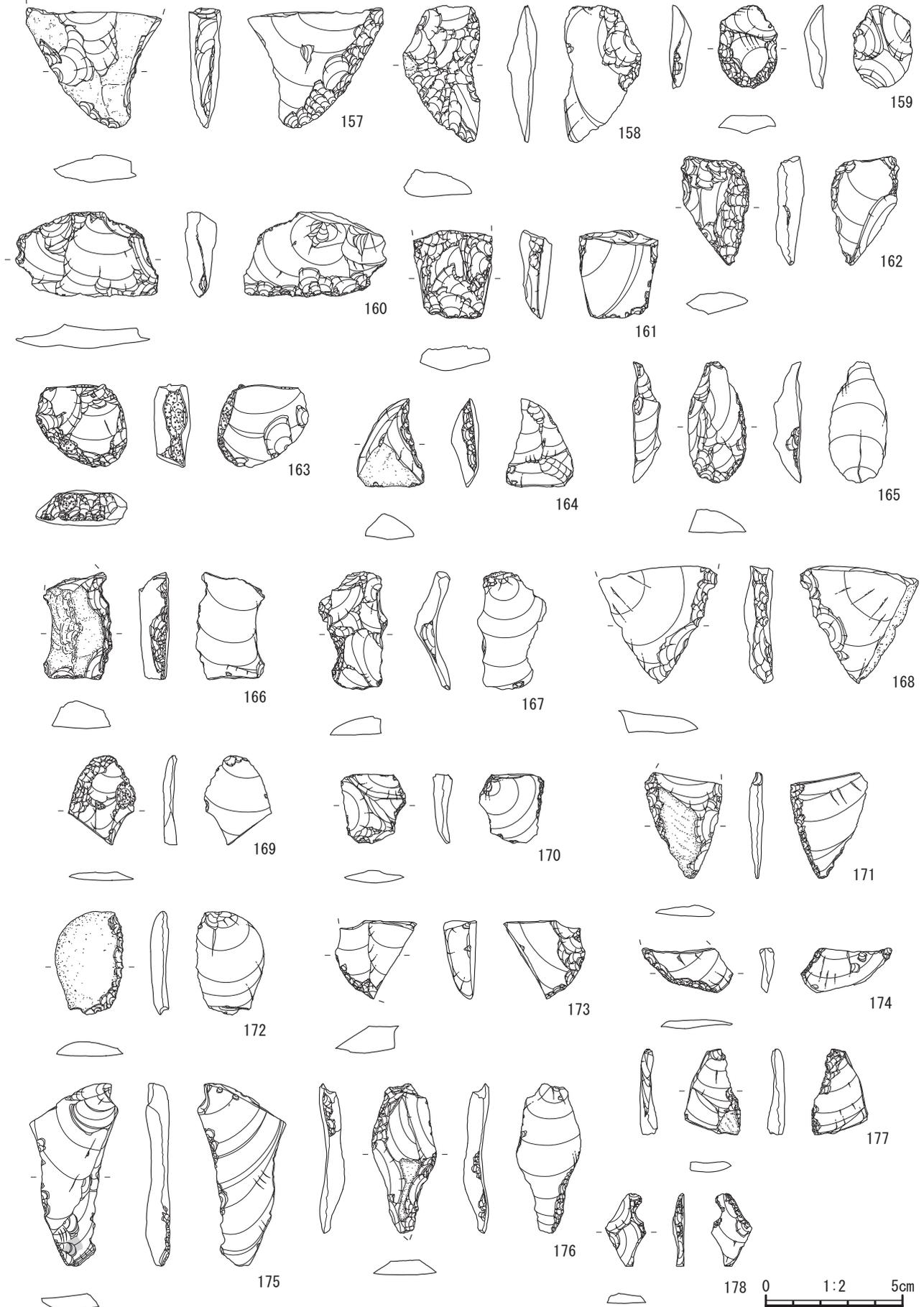


図 274 遺構外出土遺物

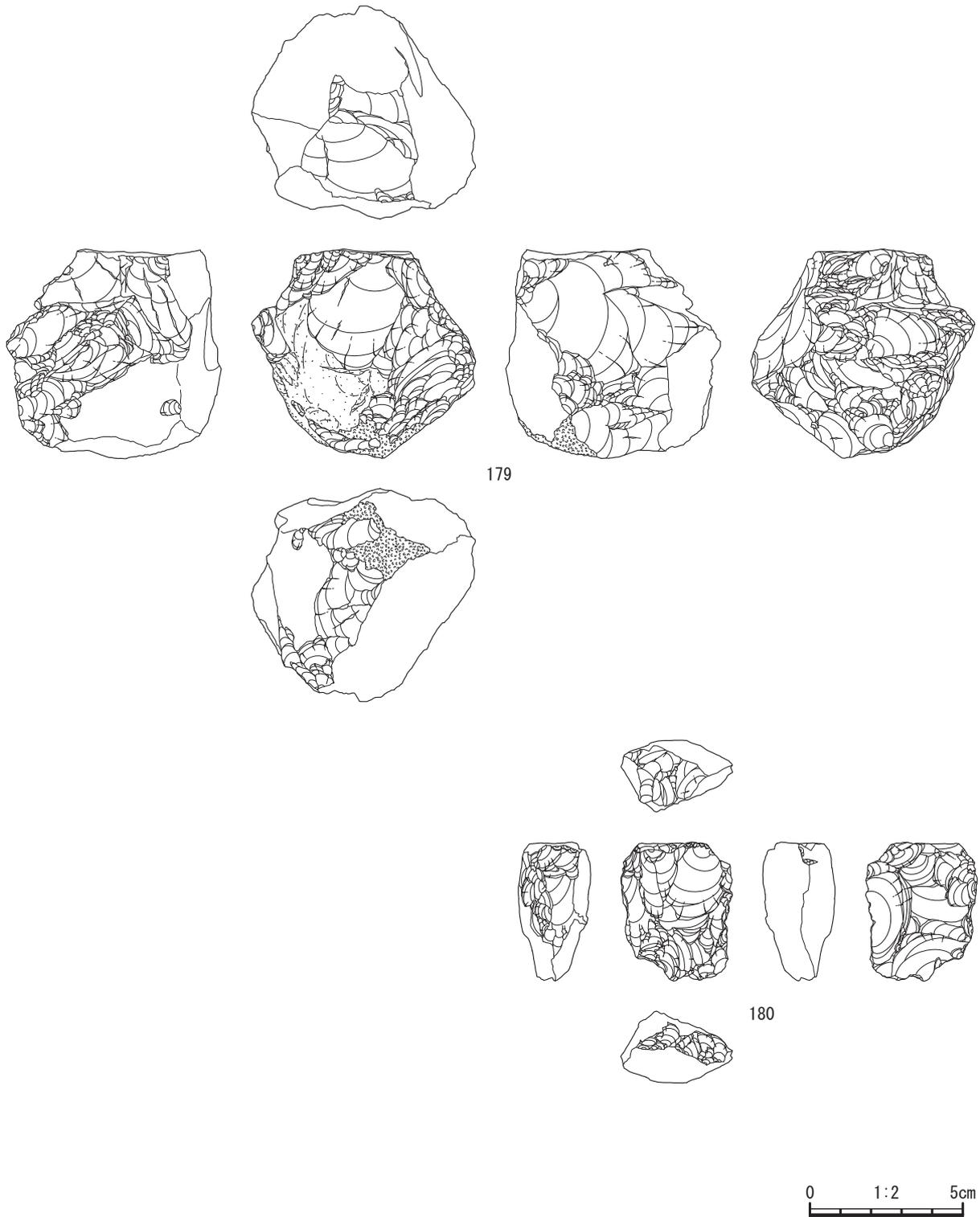


図 275 遺構外出土遺物



图 276 遺構外出土遺物

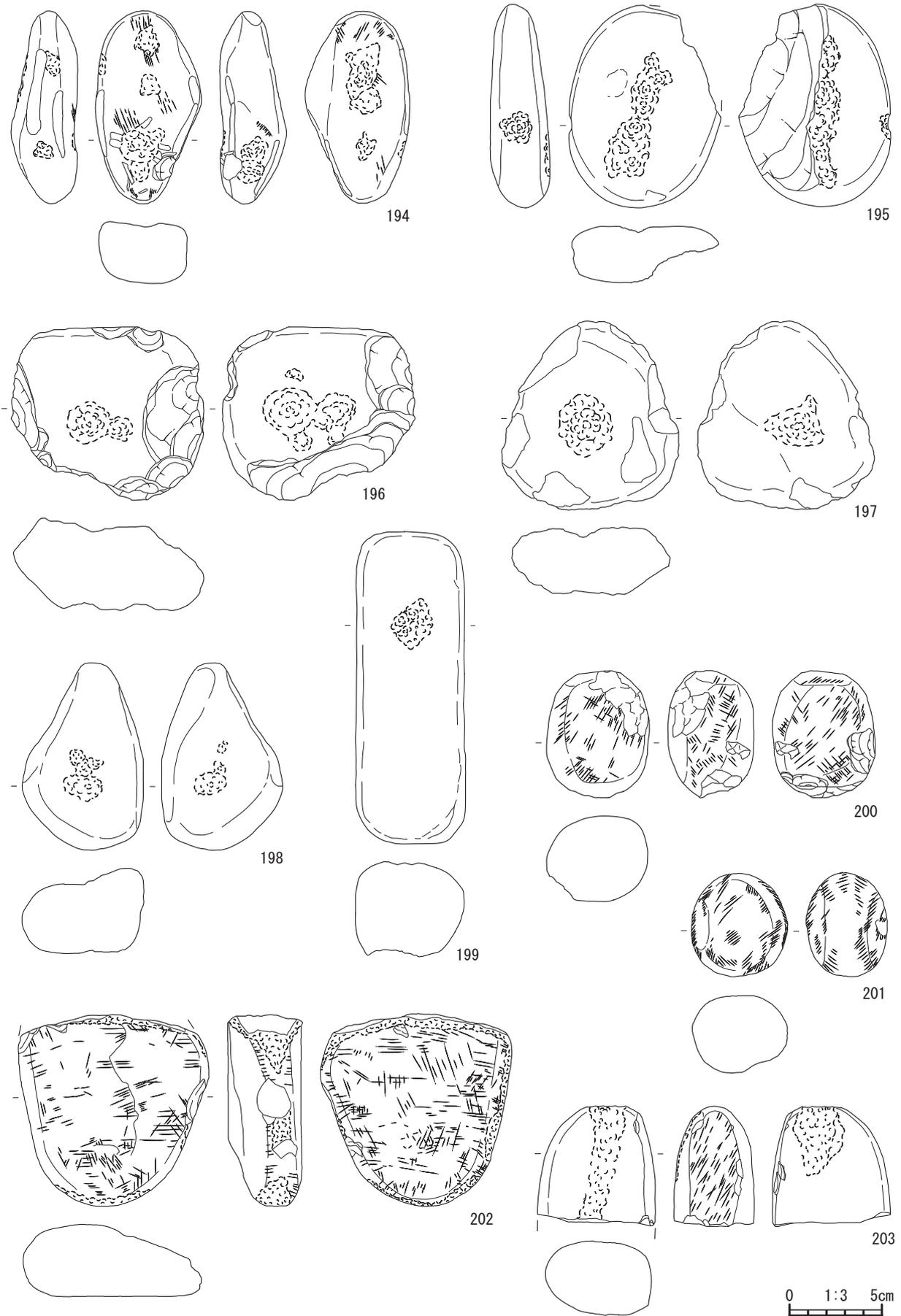


図 277 遺構外出土遺物

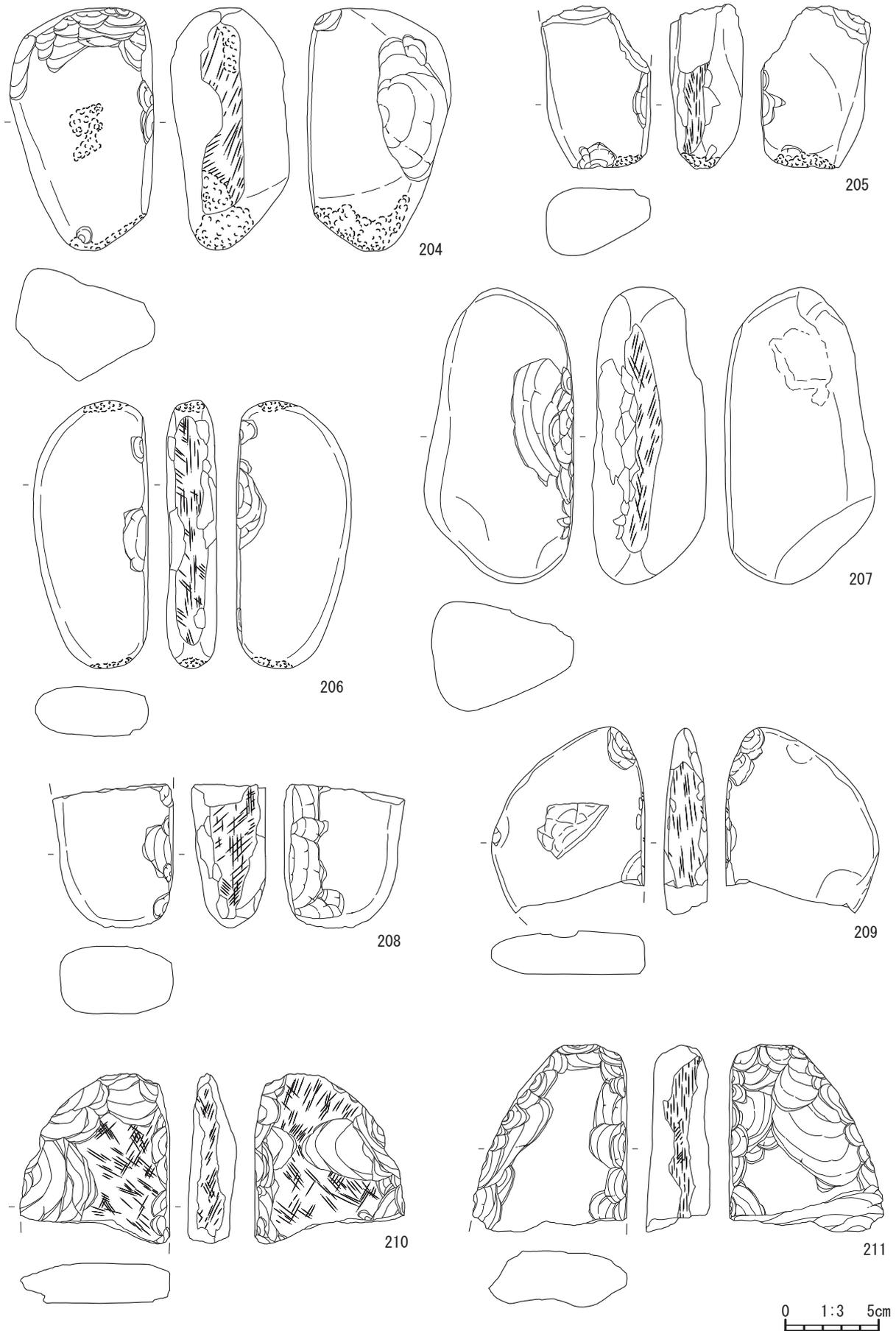


图 278 遺構外出土遺物

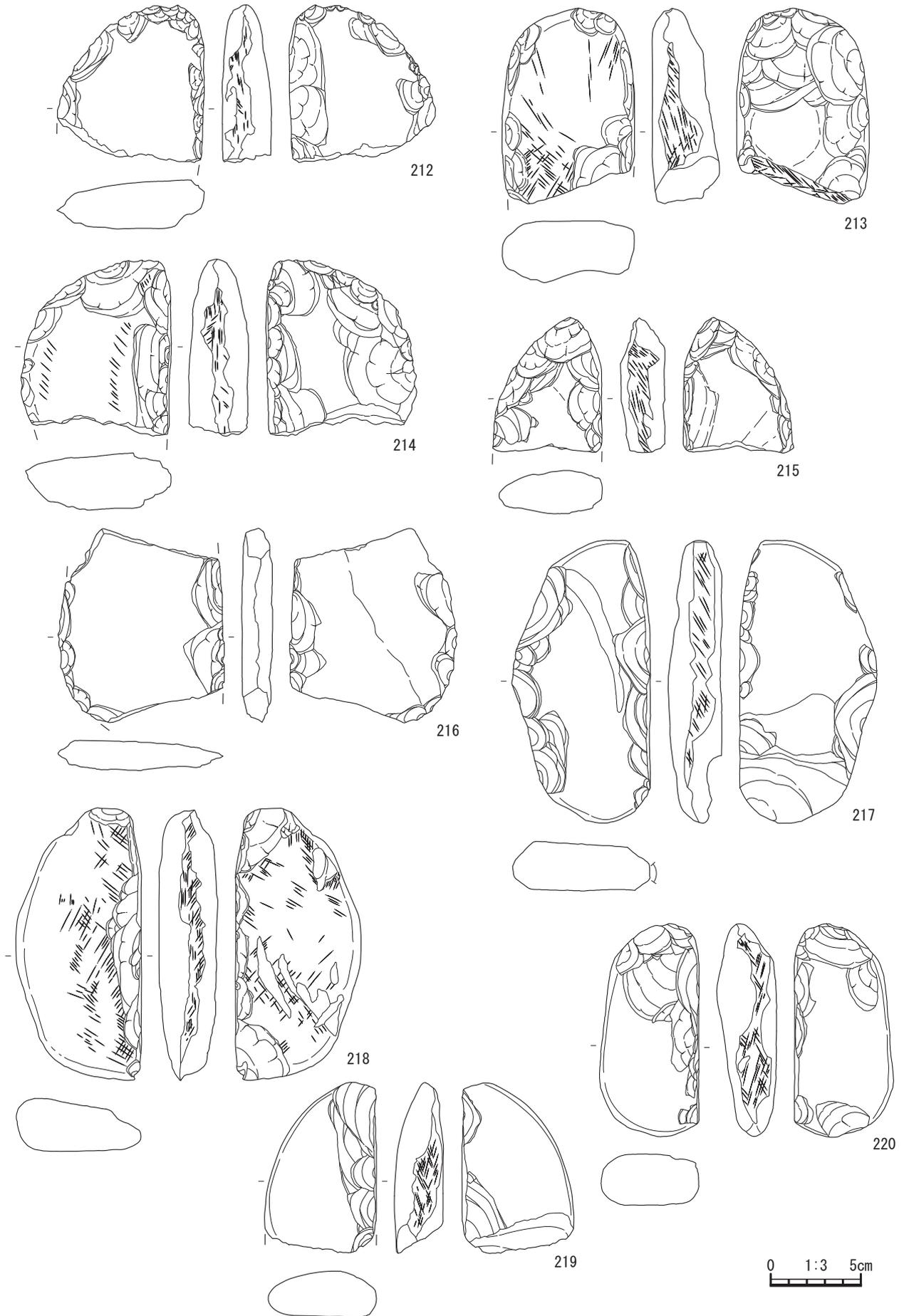


図 279 遺構外出土遺物



图 280 遺構外出土遺物

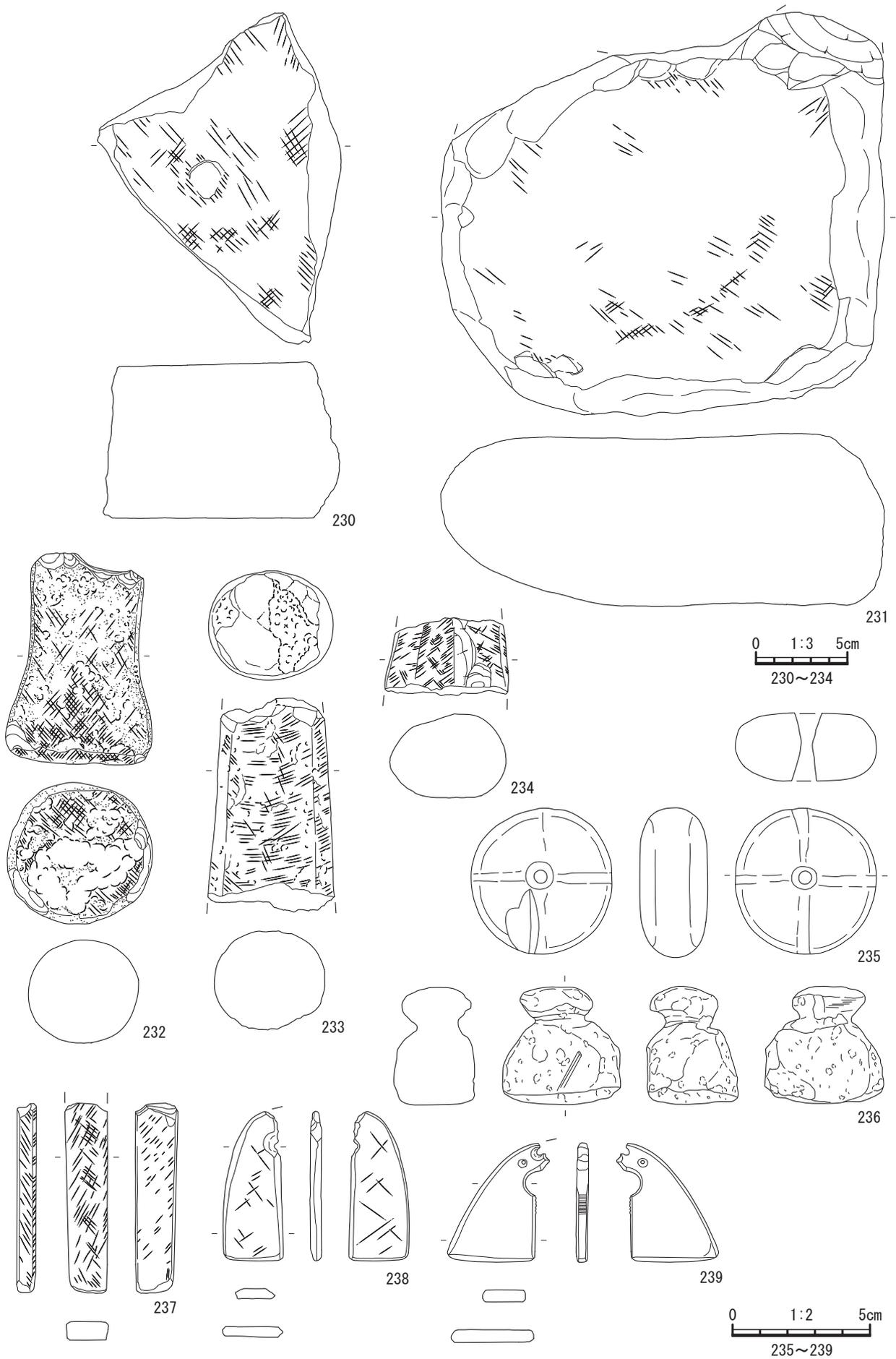


図 281 遺構外出土遺物

## 第4章 自然科学分析

### 第1節 東道ノ上(3)遺跡出土炭化材の樹種同定

株式会社 パレオ・ラボ

#### 1. はじめに

東北町に所在する東道ノ上(3)遺跡から出土した縄文時代中期初頭の炭化材について樹種同定を行った。

#### 2. 試料と方法

試料は第2号竪穴住居跡から出土した炭化材7点である。焼失家屋の建築材の可能性あり、時期は縄文時代中期初頭(円筒上層a式期)と推測されている。

樹種同定に先立ち、肉眼観察と実体顕微鏡観察による形状の確認と、残存年輪数および残存径の計測を行った。その後、カミソリまたは手で3断面(横断面・接線断面・放射断面)を割り出し、直径1cmの真鍮製試料台に試料を両面テープで固定した。その後、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡(KEYENCE社製 VE-9800)を用いて樹種の同定と写真撮影を行った。残りの試料は、青森県埋蔵文化財調査センターに保管されている。

#### 3. 結果

樹種同定の結果、広葉樹のハンノキ属ハンノキ亜属(以下、ハンノキ亜属)とクリの2分類群が確認された。

結果の一覧を表1に示す。角状と棒状の試料は、6点ともハンノキ亜属であった。角状の試料は2~4cm角で、残存年輪数は15~28年であった。棒状の試料は、半径3cmのみかん割り状で、残存年輪数は25年であった。また、1点のみ確認されたクリは、取上げ時は丸太および角状であったが、乾燥によって割れ、2cm角の破片になっていた。

表1 第2号竪穴住居跡出土炭化材の樹種同定結果

試料番号	層位	取上げ時の状態	採取日	樹種	サイズ	残存年輪数
1	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	3~4cm角	<28
2	床面直上	棒状(みかん割り状)	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	半径3cm	25
3	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2.5cm角	<15
4	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	3.5cm角	<15
5	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2cm角	<22
6	床面直上	角状	150421	ハンノキ属ハンノキ亜属	2cm角	<27
7	床面直上	丸太・角状	150415	クリ	2cm角	<10

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、走査型電子顕微鏡写真を図版に示す。

(1) ハンノキ属ハンノキ亜属 *Alnus* subgen. *Alnus* カバノキ科 図版1 1a-1c (No. 1)、2a-2c (No. 2)

小型の道管が放射方向に数個複合して分布する散孔材である。軸方向柔組織は短接線状もしくは散在状となる。道管の穿孔は10～20段程度の階段状である。放射組織は単列同性で、集合放射組織が存在する。

ハンノキ亜属は主に温帯に分布する落葉高木または低木で、ハンノキやヤマハンノキなど7種がある。材は全般に硬さおよび重さが中庸で、加工は容易である。

(2) クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科 図版1 3a-3c (No.7)

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で主に単列である。

クリは温帯下部から暖帯に分布する落葉高木である。材は重硬で、耐朽性および耐湿性に優れ、保存性が高い。

#### 4. 考察

縄文時代中期初頭（円筒上層a式期）の第2号竪穴住居跡から出土した炭化材7点はハンノキ亜属が6点、クリが1点であった。青森県を含む東北地方では縄文時代の建築材にクリを多用する傾向があり、柱材ではクリの利用は8割以上である（伊東・山田編，2012）。青森県内の遺跡で縄文時代の建築部材にハンノキ亜属が使用されている例は少なく、八戸市の丹後谷地遺跡から縄文時代後・晩期の建築部材で2点、青森市の近野遺跡から縄文時代中期の建築部材で1点確認されているのみである（伊東・山田編，2012）。したがって今回の分析結果は、周辺地域の木材利用傾向とはやや異なっていた。

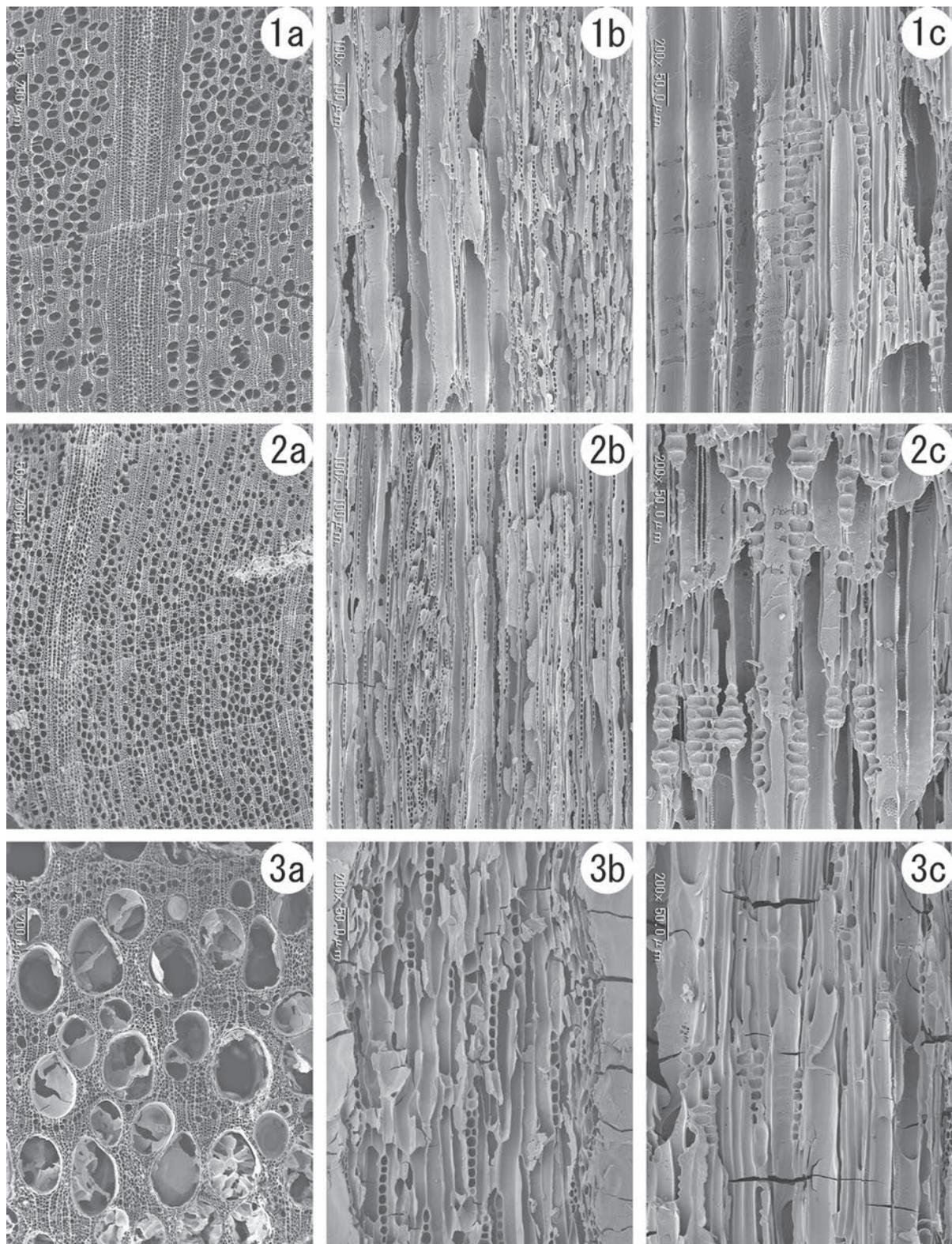
ハンノキ亜属は川岸や湿地など湿潤な土地に多く生育する。東道ノ上(3)遺跡は砂土路川右岸の標高20mほどの河岸段丘上に立地しており、遺跡周辺にもハンノキ亜属の樹木が多く生育していたと考えられる。また、今回の試料では角状や棒状の試料はハンノキ亜属、丸木の試料はクリで木取りによって樹種が異なっていたため、建築材の部位によって異なる樹種が用いられていた可能性がある。

黒沼保子

#### 参考・引用文献

平井信二（1996）木の大百科．394p，朝倉書店．

伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学－出土木製品用材データベース－．449p，海青社．



図版1 東道ノ上(3)遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

1a-1c. ハンノキ属ハンノキ亜属 (No. 1)、2a-2c. ハンノキ属ハンノキ亜属 (No. 2)、3a-3c. クリ (No. 7)

a : 横断面、b : 接線断面、c : 放射断面

## 第2節 東道ノ上 (3) 遺跡第21号竪穴住居跡から出土した骨片

株式会社 パレオ・ラボ

### 1. はじめに

第21号竪穴住居跡では、細かい骨片が出土した。ここでは、骨片が、人骨か獣骨か、および被熱の有無を確認するために、骨片を観察し、特徴の記載と同定を行った。

### 2. 試料と方法

試料は、第21号竪穴住居跡から出土した骨片である。第21号竪穴住居跡の時期は、縄文時代前期末(円筒下層d式期)である。試料番号1は、2層のVIJ-220から出土した骨片2片である。試料番号2は1層のVIK-219から出土した骨片10片である。

試料の観察は、肉眼および実体顕微鏡で行った。同定は、試料とヒトや獣骨(シカ、イノシシ、イヌ、タヌキなど)標本との比較および文献との照合により行った。

### 3. 結果

同定した結果を表1に、写真を図版1に示す。骨片は、12片とも破砕しており、20mmに満たなかった。12片とも白色であり、焼けていると判断された。一部の試料には、収縮による亀裂が見られた。

試料番号1の2片(図版1-1a、1b)は、哺乳綱の部位不明破片であった。つまり、ヒトか獣骨かの識別はできなかった。

試料番号2のうち、2片(図版1-2a、2b)はヒトの四肢骨片であった。哺乳綱の四肢骨の緻密質の中には、骨の長軸に平行して走る管腔があり、ハバース管と呼ばれる。ハバース管の周囲には同心円状の構造が見られ、オステオンと呼ばれる。ヒト四肢骨の特徴として、ハバース管とオステオンのサイズが大きく、かつオステオンの面積に対するハバース管の面積が大きい点が知られている(澤田, 2013)。焼けによる変形があり、厳密な計測はしていないものの、図版1に示した2a、2bのハバース管は、肉眼でも存在が確認できるほどにサイズが大きく、ヒト四肢骨の特徴と一致したため、ヒトと同定した。

試料番号2のうち、残りの8片(図版1-2c~j)はヒトの特徴が確認できず、哺乳綱の同定に留めた。つまり、ヒトか獣骨かの識別はできなかった。

表1 第21号竪穴住居跡出土骨片

試料番号	出土地点	層位	時期	分類群	部位	部分・状態	数量	備考
1	VIJ-220	2層	縄文時代前期末 (円筒下層d式期)	哺乳綱	不明	破片	2	焼, 白色
2	VIK-219	1層		ヒト	四肢骨	破片	2	焼, 白色
				哺乳綱	不明	破片	8	焼, 白色

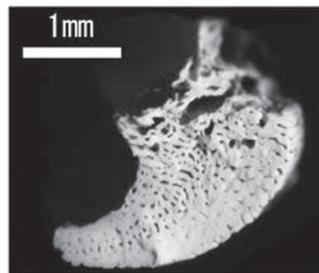
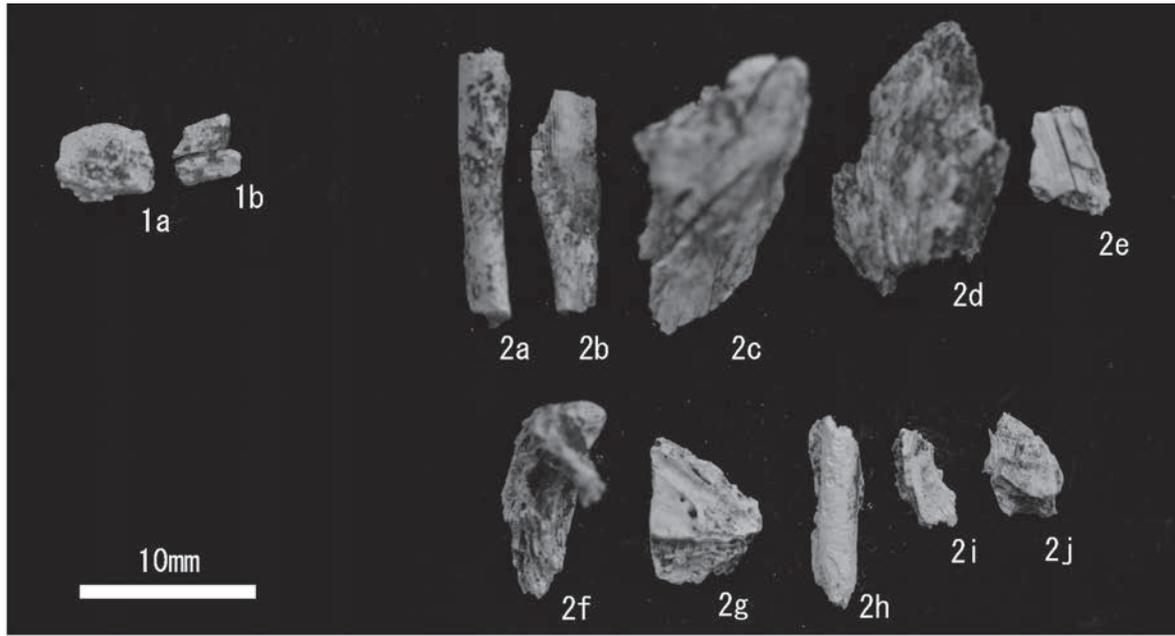
### 4. おわりに

縄文時代前期末の第21号竪穴住居跡から出土した骨片を同定した結果、1層から焼けたヒト四肢骨片が確認された。どのような経緯でヒトの骨片が焼け、第21号竪穴住居跡の1層に堆積したかについては、骨片の特徴からは考察できなかった。同層から出土する他の遺物と合わせた考察が望まれる。

中村賢太郎

### 引用文献

澤田純明 (2013) 微小骨片がヒトか動物かを識別する一骨のマイクロ形態学的研究一. 考古学ジャーナル, 645, 25-29, ニューサイエンス社.



2a表面と断面の  
実体顕微鏡写真

図版1 第21号竪穴住居跡出土骨片

1a・b. 哺乳綱部位不明 2a・b. ヒト四肢骨 2c-j. 哺乳綱部位不明

## 第5章 総括

### 1 概要

東道ノ上(3)遺跡は、砂土路川右岸に発達した標高20~40mの河岸段丘上に立地している。平成26・27年度の調査区は、東西が急峻な段丘崖となる台地上に位置しており、縄文時代前期後葉から中期前葉を主体とした集落跡を確認した。検出された縄文時代の遺構は、竪穴住居跡48軒、土坑217基、埋設土器13基、焼土遺構13基、捨て場1箇所、溝状土坑11基などである。これらの遺構は重複し、複雑な様相であった。出土遺物は、後期旧石器時代、縄文時代早期から後期、古代の遺物が出土している。

### 2 後期旧石器時代

遺構は検出されなかったが、細石刃石核とそれに接合するスキ状削片、剥片が出土した。これらは加工や接合状況から、湧別技法による細石刃関連資料と考えられる。

### 3 縄文時代前期後葉

第35・37号竪穴住居跡、第26・91・95号土坑などである。竪穴住居は廃絶後、捨て場として使用されており、土器などの遺物が廃棄されていた。土坑は断面がフラスコ状であり、底面や底面付近から個体土器が出土している。

### 4 縄文時代前期末~中期前葉

台地平坦部から南東側の緩斜面にかけて、竪穴住居跡や土坑などが重複し、密に分布している。竪穴住居は主に南東側の台地縁辺から緩斜面に分布しており、土坑などは北西側の台地平坦部に分布している。竪穴住居には、10mを超える大型住居も確認された。また、廃絶後には、捨て場として使用されたものがあり、土器など多量の遺物が廃棄されていた。土坑は断面がフラスコ状となるものが大半であり、底面や底面付近、中位、上位から、個体土器が出土するものが多く確認されている。台地平坦部では、複数の土坑を掘り込んで竪穴住居が構築されており、居住域が南東から北西に変遷したことが考えられる。遺物は円筒下層d2~上層a1式と考えられる変遷期の土器が多数出土した。また、北陸系土器や大木系土器、軟玉製の玦状耳飾りなど、遠隔地との交流を示唆する遺物が出土している。

### 5 まとめ

本遺跡は、後期旧石器時代から古代の遺跡であり、今回の調査では縄文時代前期後葉から中期前葉の集落跡が確認された。特に前期末から中期前葉には、多数の遺構が重複した状況であった。また、多量の遺物とともに、大木系土器など、遠隔地との交流を示唆する遺物が出土している。これらのことから、本遺跡は上北地域における該期の拠点的な集落であったと考えられる。

引用・参考文献

- 青森県 2017 『青森県史 資料編 考古1－旧石器・縄文草創期～中期』
- 青森県教育委員会 2003 『檜館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第342集
- 青森県教育委員会 2006 『潟野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第412集
- 青森県教育委員会 2006 『東道ノ上(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第424集
- 青森県教育委員会 2010 『明戸遺跡・高屋遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第488集
- 青森県教育委員会 2011 『山田(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第508集
- 青森県教育委員会 2013 『三内丸山遺跡40』青森県埋蔵文化財調査報告書第533集
- 青森県教育委員会 2016 『東道ノ上(3)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第562集
- 岩田安之 2012 「三内丸山遺跡のミニチュア土器に関する予察」『特別史跡三内丸山遺跡年報』15  
青森県教育委員会
- 小笠原雅之 2017 「円筒上層式土器」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財  
調査報告書第588集 青森県教育委員会
- 小笠原雅之 2017 「土偶」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財調査報告書  
第588集 青森県教育委員会
- 茅野嘉雄 2017 「円筒下層式土器」『三内丸山遺跡44 総括報告書第1分冊』青森県埋蔵文化財調  
査報告書第588集 青森県教育委員会
- 小林達雄編 2008 『総覧縄文土器』 『総覧縄文土器』刊行委員会

竪穴住居跡観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)		重複	平面形状	主軸方位	検出面		床面		深さ (cm)	床面積 (㎡)	時期	備考
		長軸 (cm)	短軸 (cm)				長軸 (cm)	短軸 (cm)						
第1号竪穴住居跡	SI1	VIN-228外		無し	円形か楕円形	[N-17° -E]	—	(309)	—	(293)	23	(3.55)	前期末～ 中期初頭	
第2号竪穴住居跡	SI2	VIR-211外	163・166・207土→2住 5・164土		隅丸方形	N-42° -E	(877)	707	(820)	630	57	[41.69]	中期初頭～前葉	
第3号竪穴住居跡	SI3	VIM-207外	3住→4墳		[円形]	N-118° -E	(288)	—	—	—	14	[5.7]	中期後葉か	
第4号竪穴住居跡	SI4	VIIJ-206外	4住→5墳		不明	—	—	—	—	—	—	—	前期末以降	
第5号竪穴住居跡	SI5	VIII-208外	5住→5溝土		不明	[N-118° -E]	(418)	(514)	—	(490)	44	—	前期末	
第6号竪穴住居跡	SI6	VIF-214外	無し		[楕円形]	[N-35° -E]	—	(579)	—	(570)	53	(5.906)	前期末	
第7号竪穴住居跡	SI7	VIF-221外	38土→7住→37土		[楕円形]	N-75° -E	(1068)	[772]	—	—	108	[65]	前期末	
第8号竪穴住居跡	SI8	VIP-206外	34土→33土→8住、 18・19・20・213土→8住		[楕円形]	[N-105° -E]	(438)	(654)	(380)	(598)	84	—	前期末～ 中期前葉	
第9号竪穴住居跡	SI9	VIM-211外	31土→32土→9住、 41土→49土→9住、 21・28・30・47・48・78・81 土→9住		隅丸長方形	N-35° -E	1464	892	1404	800	72	96.02	中期前葉以前	
第10号竪穴住居跡	SI10	VII-224外	無し		楕円形	古: N-48.6° -E 新: N-35.3° -E	古:576 新:868	古:460 新:766	古:560 新:817	古:446 新:701	古:(14) 新:85	古:20.15 新:45.73	前期末～ 中期前葉	
第11号竪穴住居跡	SI11	VIQ-209外	45・67・110・115土→ 11住→46土		楕円形	N-74° -E	740	506	656	416	108	22.172	前期末～ 中期初頭	
第12号竪穴住居跡	SI12	VII-222外	無し		円形	N-126° -E	323	290	308	274	38	6.955	前期末	
第13号竪穴住居跡	SI13	VID-222外	17土→13住、13・16土 不明		[円形か楕円形]	[N-126° -E]	—	—	—	—	36	—	前期末以降	
第14号竪穴住居跡	SI14	VIK-208外	14住→24土、35土不 明		[楕円形]	N-52° -E	(512)	366	(454)	308	60	[13.22]	中期前葉以前	
第15号竪穴住居跡	SI15	VIC-219外	56土→15住→42・43土		[楕円形]	N-34° -E	(556)	(668)	(536)	(657)	51	(25.39)	前期末	
第16号竪穴住居跡	SI16	VID-217外	18・19住→16住		[楕円形]	N-37° -E	(842)	(701)	(820)	(646)	121.6	(55.32)	前期末	
第17号竪穴住居跡	SI17	VIG-213外	36土不明		不明	—	—	—	—	—	(24)	—	前期末	
第18号竪穴住居跡	SI18	VIF-218外	18住→19住→16住、 59土不明		[楕円形]	N-40° -E	(416)	(340)	—	—	64	—	前期末以前	
第19号竪穴住居跡	SI19	VIE-218外	18住→19住→16住		不明	—	—	—	—	—	(15)	—	前期末以前	
第20号竪穴住居跡	SI20	VIIH-214外	30住・57土→20住→ 58土		[円形か楕円形]	[N-31° -E]	—	—	—	—	(29.6)	—	前期末～ 中期初頭	
第21号竪穴住居跡	SI21	VIJ-219外	21住→9・10・12埋		楕円形	N-62° -E	1420	(1072)	1385	(1027)	132	(120.472)	前期末	
第22号竪穴住居跡	SI22	VIN-217外	23住→22住		[隅丸長方形 か楕円形]	—	900	600	—	—	72	63.2	前期末～ 中期初頭	
第23号竪穴住居跡	SI23	VIN-216外	23住→22住		長楕円形	N-31° -E	1100	750	—	—	72	63.1	前期末	
第24号竪穴住居跡	SI24	VIG-217外	無し		楕円形	N-4° -E	432	354	427	328	49	11.28	前期末～ 中期初頭	
第25号竪穴住居跡	SI25	VII-217外	60土→25住		[円形]	N-126° -E	(385)	428	(362)	390	57	(12.417)	中期後葉～末	

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)		重複	平面形状	主軸方位	検出面		床面		深さ (cm)	床面積 (㎡)	時期	備考	
		長軸 (cm)	短軸 (cm)				長軸 (cm)	短軸 (cm)							
第26号竪穴住居跡	SI26	VIIH-214外		61土→26住→5埋	楕円形	N-16° -E	(995)	(646)	962	614	33	[51.547]	前期末～ 中期初頭		
第27号竪穴住居跡	SI27	VIG-216外		無し	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第28号竪穴住居跡	SI28	VII-214外		29住・45住・183土→28住 →88・182土・217不明	[楕円形]	N-7° -E	-	531	-	492	13.4	-	中期初頭～前葉		
第29号竪穴住居跡	SI29	VIN-214外		45住→29住→28住・88・ 182土・217土不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	前期末～ 中期初頭		
第30号竪穴住居跡	SI30	VIIH-214外		30住→20住・57・58土 不明	[円形か楕円形]	[N-35° -E]	-	(226)	-	(185)	16	-	中期初頭以前		
第31号竪穴住居跡	SI31	VII-211外		33住・117土不明	[楕円形か偶 丸長方形]	N-69° -E	-	-	(290)	(216)	14	-	縄文時代		
第32号竪穴住居跡	SK144	VIIU-208外		無し	[楕円形]	[N-19° -E]	(152)	(206)	(146)	(196)	20	-	前期末以降		
第33号竪穴住居跡	SI33	VII-211外		31住・111・117土不明	不明	-	-	-	-	-	14	-	前期後葉以降		
第34号竪穴住居跡	SI34	VIT-206外		無し	[楕円形]	[N-95° -E]	(228)	(328)	(204)	(274)	23	-	前期末以降		
第35号竪穴住居跡	SI35	VIJ-214外		35住→138土・137土 不明	円形	N-146° -E	664	612	644	592	44	29.78	前期後葉以前		
第36号竪穴住居跡	SI36	VII-213外		36住→8溝土・123・ 128・130・134土不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	前期末		
第37号竪穴住居跡	SI37	VII-213外		37住→181土	偶丸長方形	N-66° -E	498	322	474	304	42	[13.1]	前期後葉以前		
第38号竪穴住居跡	SI38	VIN-220外		無し	円形	N-143° -E	(332)	328	(310)	308	17	[3.941]	前期末		
第39号竪穴住居跡	SI39	VIP-219外		48住→39住	[楕円形]	N-25° -E	(509)	439	(492)	415	14	[6.962]	前期末		
第40号竪穴住居跡	SI40	VIO-216外		205土→40住→46 住・185土・23住 ・217・218土不明	[楕円形]	N-8° -E	(903)	575	(739)	558	28	[34.044]	前期末～ 中期前葉		
第41号竪穴住居跡	SI41	VIP-216外		144土→41住	楕円形	N-120° -E	793	657	737	650	49.5	40.96	前期末	床面積の計測値は最大値	
第42号竪穴住居跡	SI42	VIQ-211外		無し	不明	-	-	-	-	-	-	-	前期末		
第43号竪穴住居跡	SI43	VIR-209外		206土→101土→43住→188 土・11住・110土不明	不明	-	-	-	-	-	66	-	前期末～ 中期初頭		
第44号竪穴住居跡	SI44	VIT-207外		44住→141土・74土不 明	不明	-	-	-	-	-	-	-	前期末以降		
第45号竪穴住居跡	SI45	VIM-214外		45住→28・29住・9溝、 182・217土不明	楕円形	N-120° -E	-	-	-	-	-	-	前期末		
第46号竪穴住居跡	SI46	VIN-217外		40住→46住・23住不 明	不明	-	(364)	(37)	(347)	(31)	24	(1.210)	前期末～ 中期初頭		
第47号竪穴住居跡	SI47	VIT-210		219土→47住	[偶丸長方形]	[N-21.5° -E]	(88)	-	(80)	(180)	62	-	中期初頭以降		
第48号竪穴住居跡	SK205	VIP-220外		48住→39住	[楕円形]	N-33° -E	(381)	353	(371)	274	71	(5.240)	前期末		

土坑観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状		断面形状	検出面		底面		底面積 (㎡)	時期	備考	
				検出面	底面		長軸 (cm)	短軸 (cm)	長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第1号土坑	SK1	VIM-200	1土→溝	[楕円形]	楕円形	箱形	(86)	(90)	78	56	0.363	縄文時代か、 前期後葉以降		
第2号土坑	SK2	VIQ-212	無し	[円形]	[円形]	フラスコ	(76)	(156)	(70)	(136)	—	前期後葉以降		
第3号土坑	SK3	VIQ-213外	無し	円形	不整円形	フラスコ	172	160	214	200	3.147	前期未以降	底面にピット1基	
第4号土坑	SK4	VIQ-211	無し	不整円形	円形	フラスコ	104	100	146	140	1.675	前期未以降		
第5号土坑	SK5	VIR-210	120土→116土→5土、2 住→5土	不整円形	不整円形	フラスコ	319	294	286	255	6.020	中期前葉以降		
第10号土坑	SK10	VIY-207外	無し	円形	円形	逆台形	120	110	90	86	0.607	縄文時代か、 縄文時代か、		
第11号土坑	SK11	VIM-204外	無し	楕円形	楕円形	逆台形	136	114	120	98	0.993	縄文時代か、 縄文		
第12号土坑	SK12	VIF-229外	無し	円形	円形	逆台形	106	96	80	72	0.47			
第13号土坑	SK13	VID-222	13住不明	円形	円形	フラスコ	102	96	88	84	0.613	前期後葉～中期前葉 前期後葉以降		
第14号土坑	SK14	VE-222外	無し	不整円形	[円形]	フラスコ	136	122	154	142	1.74	前期未		
第15号土坑	SK15	VE-222外	15土→16土	[円形]	[円形]	フラスコ	(120)	172	216	190	3.151	前期未以降		
第16号土坑	SK16	VID-222外	15土→16土、13住不明	[円形]	円形	フラスコ	(204)	(174)	200	190	3.128	前期未以降		
第17号土坑	SK17	VID-222外	17土→13住	楕円形	楕円形	逆台形	118	70	(78)	50	(32)	(0.12)	前期未以前	
第18号土坑	SK18	VIP-206	18土→8住	円形	[フラスコ]	フラスコ	174	174	170	158	2.153	中期前葉以前		
第19号土坑	SK19	VIQ-206外	19土→8住、213土不明	不整円形	楕円形	フラスコ	128	116	206	182	2.877	前期未		
第20号土坑	SK20	VIQ-206外	20土→8住・186土	円形	円形	フラスコ	116	108	170	156	2.073	前期未		
第21号土坑	SK21	VIN-212外	21土→9住	円形	円形	フラスコ	88	82	190	176	104	2.774	中期前葉以前	底面にピット1基
第22号土坑	SK22	VII-208	22土→65土	[円形]	不整円形	フラスコ	(56)	(90)	164	146	[2.002]	前期未以降		
第23号土坑	SK23	VIL-208外	ピ→23土	不整形	円形	フラスコ	134	108	192	174	2.664	前期後葉～未		
第24号土坑	SK24	VIK-208外	14住→24土	—	円形	箱形	(142)	(60)	134	120	1.255	中期初頭以降	重複か	
第25号土坑	SK25	VIL-208外	54土→25土	楕円形	楕円形	フラスコ	(142)	128	268	234	5.006	中期初頭以降		
第26号土坑	SK26	VIM-207外	26土→51土	[楕円形]	楕円形	フラスコ	(100)	80	(242)	212	[3.836]	前期後葉	底面にピット2基	
第27号土坑	SK27	VIL-207	無し	—	円形	フラスコ	(134)	(40)	210	202	3.463	前期未		
第28号土坑	SK28	VIN-211外	28土→9住	不整円形	楕円形	フラスコ	138	122	234	218	4.107	前期未		
第29号土坑	SK29	VIQ-210	無し	不整楕円形	楕円形	フラスコ	198	182	246	216	4.246	前期未以降		
第30号土坑	SK30	VIK-210外	30土→9住、31土不明	不整楕円形	偶丸方形	楕円形	170	156	232	226	4.208	中期前葉以前		
第31号土坑	SK31	VIL-210外	31土→32土→9住、30土不明	[円形]	[円形]	フラスコ	(188)	166	190	174	(52)	前期未		
第32号土坑	SK32	VIL-211外	31土→32土→9住	[円形]	不整円形	フラスコ	(162)	178	216	212	3.853	前期未～中期初頭		
第33号土坑	SK33	VIP-206	34土→33土→8住	[楕円形]	[円形]	フラスコ	(90)	(96)	(160)	(56)	(64)	—	中期前葉以前	
第34号土坑	SK34	VIP-206外	34土→33土→8住	[円形]	楕円形	フラスコ	118	(96)	154	138	1.684	中期前葉以前		
第35号土坑	SK35	VIK-208外	14住不明	楕円形	不整円形	フラスコ	176	146	228	222	3.98	中期前葉		
第36号土坑	SK36	VIG-212外	17住不明	[円形]	楕円形	フラスコ	(150)	—	150	144	1.608	前期後葉～中期前葉		
第37号土坑	SK37	VIF-220外	7住→37土	円形	円形	フラスコ	112	100	128	110	(70)	前期未以降		
第38号土坑	SK38	VIF-220	38土→7住	円形	楕円形	フラスコ	72	60	132	110	(74)	前期未以前		
第39号土坑	SK39	VIP-215	無し	不整円形	楕円形	フラスコ	126	122	200	168	(50)	前期未		
第40号土坑	SK40	VIP-213外	77土→40土	楕円形	楕円形	フラスコ	184	172	226	190	2.379	中期初頭		
第41号土坑	SK41	VIL-210外	41土→49土→9住	円形	楕円形	フラスコ	168	164	172	160	(44)	[2.262]	前期未～中期初頭以前	
第42号土坑	SK42	VIB-219外	15住→42土	[楕円形]	[円形]	フラスコ	96	68	(170)	(134)	(166)	(1.388)	前期未以降	
第43号土坑	SK43	VIB-219外	15住→43土	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(68)	74	182	(120)	(172)	(1.838)	前期未以降	
第44号土坑	SK44	VIQ-212外	無し	不整楕円形	楕円形	フラスコ	204	182	218	204	146	2.379	中期初頭～前葉	
第45号土坑	SK45	VIQ-209	45土→11住	楕円形	楕円形	フラスコ	212	210	224	216	(20)	3.823	中期初頭以前	
第46号土坑	SK46	VIQ-208	11住→46土	楕円形	楕円形	箱形	230	150	220	142	(26)	2.475	前期未以降	

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)		重複	平面形状		断面形状	検出面		底面		底面積 (m <sup>2</sup> )	時期	備考	
		検出面	底面		長軸 (cm)	短軸 (cm)		長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)					
第47号土坑	SK47	VIN-212		47土→9住	凹形	不整形凹形	フラスコ	70 (66)	70 (72)	70 (72)	70 (72)	[0.235]	中期前葉以前		
第48号土坑	SK48	VIN-212		48土→9住	—	楕円形	箱形	(90)	(82)	70	58	(50)	0.331	中期前葉以前	
第49号土坑	SK49	VIL-211外		41土→49土→9住	[不整形凹形]	凹形	フラスコ	(188)	(184)	256	242	(72)	5.159	前期末～中期初頭	
第50号土坑	SK50	VIN-207外		142土不明	[楕円形]	凹形	フラスコ	222	(132)	238	234	180	4.385	中期初頭～前葉	
第51号土坑	SK51	VIN-208外		26・95土→51土	不整形凹形	不整形凹形	フラスコ	182	174	242	238	170	4.264	中期前葉	
第52号土坑	SK52	VIL-207外		53土→52土	—	不整形凹形	フラスコ	(108)	(20)	96	88	80	0.678	前期末以降	
第53号土坑	SK53	VIL-206外		53土→52土	隅丸方形	凹形	フラスコ	84	76	188	180	(104)	2.7	前期末以降	
第54号土坑	SK54	VIM-208外		54土→25土	不整形	凹形	フラスコ	(144)	(98)	190	(170)	140	[2.539]	中期初頭	
第55号土坑	SK55	VIG-219外		無し	楕円形	楕円形	皿	(208)	184	(188)	160	36	1.131	前期末	
第56号土坑	SK56	VIC-219		56土→15住	凹形	凹形	フラスコ	80	74	164	162	(138)	2.074	前期末以前	
第57号土坑	SK57	VIH-213外		57土→20住、30住不明	凹形	凹形	フラスコ	172	164	204	194	(44)	3.144	前期末～中期初頭以前	
第58号土坑	SK58	VIG-214外		20住→58土、30住不明	[楕円形]	凹形	フラスコ	(104)	70	220	190	190	3.854	中期初頭～前葉	
第59号土坑	SK59	VIF-218		18住不明	[楕円形]	[楕円形]	逆台形か	(156)	(172)	(134)	(144)	(46)	(0.147)	縄文	
第60号土坑	SK60	VIH-218		60土→25住	凹形	凹形	フラスコ	126	126	100	90	(55)	0.717	前期末以前	
第61号土坑	SK61	VIJ-215		61土→26住	[凹形]	凹形	[フラスコ]	88	(33)	136	127	(58)	1.354	前期末～中期初頭以前	
第62号土坑	SK62	VIH-211外		62土→63土	[凹形]	[凹形]	皿	82	(30)	72	(28)	(22)	(0.053)	前期末～中期前葉	
第63号土坑	SK63	VIH-211外		62土→63土→11溝土	凹形	凹形	フラスコ	146	(140)	202	192	(78)	3.022	前期末～中期前葉	
第64号土坑	SK64	VII-210外		無し	[凹形]	[凹形]	フラスコ	(120)	(56)	(190)	(80)	86	(1.128)	前期末～中期初頭	
第65号土坑	SK65	VIJ-208		22土→65土	—	[凹形]	フラスコ	(102)	(36)	(144)	130	—	—	前期末以降	
第66号土坑	SK66	VIM-207		66土→68土	[楕円形]	凹形	フラスコ	(88)	96	160	142	[1.814]	前期末		
第67号土坑	SK67	VIQ-210外		115土→67土→11住、114土不明	[凹形]	[不整形凹形]	フラスコ	(44)	(60)	196	(132)	90	—	前期末～中期初頭	
第68号土坑	SK68	VIM-206外		66土→68土	[不整形凹形]	楕円形	フラスコ	90	(68)	164	124	122	1.673	前期末以降	底面にピット1基
第69号土坑	SK69	VIO-210外		無し	[凹形]	不整形凹形	フラスコ	(60)	(100)	214	210	178	3.573	前期末以降	
第70号土坑	SK70	VIM-209		無し	[凹形]	[凹形]	箱形	76	(60)	(50)	(28)	40	[0.193]	前期末以降	
第71号土坑	SK71	VIS-206外		71土→ピ	楕円形	凹形	フラスコ	166	148	224	214	92	3.766	中期初頭	
第72号土坑	SK72	VIS-206外		無し	凹形	凹形	フラスコ	212	208	194	180	72	2.78	中期初頭	
第73号土坑	SK73	VIR-207外		無し	楕円形	凹形	フラスコ	150	128	228	214	186	3.783	中期初頭～前葉	
第74号土坑	SK74	VIT-208		44住不明	凹形	凹形	逆台形	(198)	186	172	158	42	2.141	中期初頭～前葉	
第75号土坑	SK75	VIS-209		83土→75土	楕円形	不整形楕円形	フラスコ	120	110	206	180	144	2.907	前期末～中期初頭	
第76号土坑	SK76	VIT-209外		無し	凹形	凹形	逆台形	236	(194)	214	(186)	30	[3.402]	前期末以降	
第77号土坑	SK77	VIP-213外		77土→40土	楕円形	楕円形	フラスコ	182	138	206	172	74	[2.83]	前期末	
第78号土坑	SK78	VIM-210外		78土→9住	—	凹形	フラスコ	(112)	(116)	204	188	(116)	3.027	中期前葉以前	
第79号土坑	SK79	VIP-212外		無し	不整形凹形	凹形	フラスコ	126	120	160	160	108	2.122	前期末	
第80号土坑	SK80	VIS-208外		無し	凹形	不整形凹形	フラスコ	(110)	114	232	216	142	4.187	前期後葉以降	
第81号土坑	SK81	VIM-212外		81土→9住	楕円形	楕円形	フラスコ	204	172	248	206	(60)	3.902	中期前葉以前	
第82号土坑	SK82	VIL-207外		無し	—	—	逆台形	(120)	(34)	26	(34)	26	—	縄文時代	
第83号土坑	SK83	VIS-209外		83土→75・189土	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	166	(116)	(184)	166	134	[2.593]	中期初頭以前	
第84号土坑	SK84	VIK-207外		無し	—	凹形	フラスコ	(198)	(38)	180	180	94	2.602	前期末以降	
第85号土坑	SK85	VIP-212		無し	凹形	凹形	フラスコ	198	184	244	226	104	4.489	前期末～中期初頭	
第86号土坑	SK86	VIS-207外		86土→2焼	楕円形	楕円形	フラスコ	332	196	372	294	108	8.192	中期初頭	重複か
第87号土坑	SK87	VIO-206		無し	凹形	凹形	フラスコ	162	158	224	200	160	3.654	前期後葉以降	
第88号土坑	SK88	VIL-214		29住→28住→88土	凹形	不整形楕円形	フラスコ	114	112	112	102	38	0.936	中期初頭以降	
第89号土坑	SK89	VIQ-206		90土→89土か	凹形	不整形凹形	フラスコ	134	124	166	144	76	1.993	前期末	
第90号土坑	SK90	VIQ-206外		90土→89土・98土か	[楕円形]	不整形凹形	フラスコ	(190)	(164)	(186)	176	98	[2.595]	前期末以前	

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状		断面形状	検出面		底面		深さ (cm)	底面積 (m <sup>2</sup> )	時期	備考
				検出面	底面		長軸 (cm)	短軸 (cm)	長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第91号土坑	SK91	VI0-208外	91土→161土	楕円形	円形	フラスコ	120	(100)	210	(204)	136	[3.36]	前期後葉	底面にピット1基
第92号土坑	SK92	VIK-207外	無し	—	円形	フラスコ	(118)	(38)	204	204	130	3.339	前期末以降	
第93号土坑	SK93	VIP-213外	無し	楕円形	楕円形	逆台形	162	124	134	84	26	0.839	前期末以降	
第94号土坑	SK94	VI0-208	94土→100・150土	[円形]	円形	フラスコ	120	(86)	204	180	128	[2.886]	前期末以降	底面にピット1基
第95号土坑	SK95	VIN-208外	95土→51・149・161土	楕円形	不整形円形	フラスコ	212	150	260	(232)	160	[5.076]	前期後葉	底面にピット1基
第96号土坑	SK96	VIM-217外	96土→22・23住	不整形円形	円形	フラスコ	104	54	196	184	(130)	2.715	前期末以前	
第97号土坑	SK97	VIM-209外	無し	[円形]	[円形]	箱形	(32)	(58)	(38)	(38)	50	—	前期末以降	
第98号土坑	SK98	VIQ-206外	90土→98土→ピ	不整形円形	不整形円形	フラスコ	176	142	186	176	112	2.756	前期末以降	
第99号土坑	SK99	VI0-213外	無し	円形	円形	逆台形	150	134	120	118	50	1.191	前期末以降	
第100号土坑	SK100	VI0-208外	94・119土→100土	不整形円形	楕円形	フラスコ	154	148	202	180	158	2.86	中期初頭以降	
第101号土坑	SK101	VIR-208外	206土→101土→43住	不整形円形	円形	フラスコ	140	102	176	158	72	2.214	中期初頭以前	
第102号土坑	SK102	VIK-209外	無し	円形	円形	フラスコ	130	118	255	236	(124)	4.458	中期初頭～前葉	
第103号土坑	SK103	VIJ-209	無し	不整形円形	円形	フラスコ	124	122	190	184	(80)	2.697	前期後葉～末	
第104号土坑	SK104	VIJ-209	無し	円形	円形	皿	96	90	80	75	(8)	0.667	縄文	
第105号土坑	SK105	VIJ-210外	121土不明	不整形	円形	フラスコ	142	118	222	210	(124)	[3.746]	中期初頭	
第106号土坑	SK106	VIP-212	無し	不整形円形	楕円形	逆台形	100	82	78	48	26	0.285	前期末以降	
第107号土坑	SK107	VIR-207外	107土→200土	—	不整形円形	フラスコ	—	—	260	260	(44)	5.181	前期末	
第108号土坑	SK108	VIQ-208外	200土→108土,156・188土不明	不整形楕円形	円形	フラスコ	158	140	200	198	128	3.174	前期末以降	
第109号土坑	SK109	VIR-207外	無し	円形	円形	フラスコ	104	96	218	206	128	3.62	前期末以降	
第110号土坑	SK110	VIQ-208外	110土→11住	—	[楕円形]	上部:箱形 下部:フラスコ	—	—	(134)	(112)	—	—	中期初頭以前	上部43住か
第111号土坑	SK111	VII-212	33住不明	[円形]	円形	フラスコ	(92)	80	126	122	92	1.259	前期末	
第112号土坑	SK112	VI0-213外	113土→112土	楕円形	円形	フラスコ	228	182	232	210	134	3.782	前期末以降	
第113号土坑	SK113	VIP-213	113土→112土	楕円形	楕円形	フラスコ	(200)	184	234	206	126	3.919	前期末～中期初頭	
第114号土坑	SK114	VIQ-210	67・202土不明	楕円形	円形	フラスコ	146	114	156	150	138	1.853	前期末以降	底面にピット1基
第115号土坑	SK115	VIP-210外	115土→67土→11住	[楕円形]	円形	フラスコ	202	(146)	192	180	102	2.678	前期末	
第116号土坑	SK116	VIR-210外	120土→116土→5土	[円形]	不整形円形	フラスコ	126	(96)	200	190	158	3.098	中期初頭	
第117号土坑	SK117	VII-212外	31・33住不明	[円形]	[円形]	フラスコ	100	84	134	118	34	[1.254]	前期末～中期前葉	
第118号土坑	SK118	VII-212外	118土→122土	[円形]	円形	フラスコ	(144)	(96)	244	240	170	4.567	前期末	
第119号土坑	SK119	VIP-208外	119土→100土	[楕円形]	[楕円形]	逆台形	(134)	112	(112)	88	38	—	—	
第120号土坑	SK120	VIR-210	120土→116土→5土	[円形]	[円形]	—	(220)	(190)	(204)	(170)	(30)	[2.662]	中期初頭以前	
第121号土坑	SK121	VIJ-210外	105土不明	不整形円形	不整形円形	フラスコ	94	88	202	184	(152)	[2.97]	前期末～中期前葉	底面にピット1基
第122号土坑	SK122	VII-212外	118土→122土	不整形	円形	フラスコ	(168)	(88)	186	178	168	2.6	前期末以降	
第123号土坑	SK123	VII-213外	123土→8溝土,36住不明	[楕円形]	[円形]	フラスコ	106	(69)	134	(109)	63	[1.409]	前期末～中期初頭	
第124号土坑	SK124	VIJ-211外	無し	[楕円形]	不整形円形	フラスコ	110	96	198	190	104	2.872	前期末	
第125号土坑	SK125	VIK-211	無し	円形	円形	箱形	146	142	(122)	124	34	[0.238]	縄文	
第126号土坑	SK126	VIK-211外	無し	円形	円形	フラスコ	78	72	216	214	158	3.818	前期か	底面にピット2基
第127号土坑	SK127	VIK-212外	無し	楕円形	楕円形	逆台形	187	170	165	148	30	[2.016]	縄文	
第128号土坑	SK128	VII-213	128土→130土	[円形]	円形	フラスコ	(118)	(64)	188	176	140	2.655	前期末	
第129号土坑	SK129	VIK-212外	無し	[円形]	円形	フラスコ	160	(106)	216	204	104	3.363	前期末～中期前葉	
第130号土坑	SK130	VII-213	128土→130土	円形	円形	フラスコ	106	(96)	180	170	64	2.433	前期末	
第131号土坑	SK131	VIK-210	132土・ピ→131土	円形	円形	箱形	124	120	110	104	36	0.949	前期後葉～末	
第132号土坑	SK132	VIK-209外	132土→131土	[円形]	円形	フラスコ	(118)	(71)	190	180	102	2.681	前期後葉以前	
第133号土坑	SK133	VIJ-210外	無し	楕円形	円形	フラスコ	100	70	184	168	140	2.439	前期末～中期前葉	底面にピット1基
第134号土坑	SK134	VII-212外	36住不明	円形	円形	フラスコ	94	92	166	150	94	1.924	前期末～後期前葉	

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)		重複	平面形状		断面形状	検出面		底面		深さ (cm)	底面積 (m <sup>2</sup> )	時期	備考	
		検出面	底面		長軸 (cm)	短軸 (cm)		長軸 (cm)	短軸 (cm)	長軸 (cm)	短軸 (cm)					
第135号土坑	SK135	VIL-212	凹形	無し	凹形	凹形	フラスコ	86	78	160	160	104	2.058	前期末～中期前葉		
第136号土坑	SK136	VIL-212外	[凹形]	無し	[凹形]	[凹形]	フラスコ	88	53	138	138	52	1.438	前期末～中期前葉		
第137号土坑	SK137	VIL-214外	[凹形]	35住不明	[凹形]	[凹形]	箱形	96	100	82	82	26	0.774	前期末		
第138号土坑	SK138	VIK-214	[凹形]	35住→138土、28住不明	[凹形]	[凹形]	[フラスコ]	99	138	186	186	88	2.646	前期末		
第139号土坑	SK139	VIK-213外	凹形	無し	凹形	凹形	逆台形	110	108	80	78	60	0.512	前期末～中期前葉	底面にピット1基	
第140号土坑	SK140	VIN-214	凹形	無し	凹形	凹形	逆台形	88	80	76	56	33	0.358	前期末		
第141号土坑	SK141	VIT-207外	不整形凹形	44住→141土	不整形凹形	不整形凹形	逆台形	188	134	164	116	32	1.41	前期末以降		
第142号土坑	SK142	VIN-207	[凹形]	50・154土不明	[凹形]	凹形	フラスコ	170	88	210	206	142	3.453	中期初頭～前葉		
第143号土坑	SK143	VIL-209	凹形	無し	凹形	凹形	逆台形	96	100	90	80	20	[0.59]	縄文時代		
第144号土坑	SK225	VIP-216外	[凹形]	144土→41住	[凹形]	凹形	フラスコ	84	80	190	180	140	2.720	前期末以前		
第145号土坑	SK145	VIM-209外	凹形	無し	凹形	不整形凹形	フラスコ	86	80	164	152	80	2.012	前期末以降		
第146号土坑	SK146	VIM-210外	凹形	無し	凹形	不整形凹形	フラスコ	94	90	230	220	126	3.994	前期末～中期初頭		
第147号土坑	SK147	VIM-209	凹形	無し	凹形	凹形	逆台形	56	64	64	52	46	20	[0.203]	前期末以降	
第148号土坑	SK148	VIN-210	[凹形]	無し	[凹形]	凹形	フラスコ	82	40	190	188	142	3.007	前期末以降		
第149号土坑	SK149	VIN-209外	[不整形]	95土→149土	[不整形]	不整形凹形	フラスコ	164	134	188	172	142	2.636	中期初頭以降		
第150号土坑	SK150	VI0-208	凹形	94土→150土	凹形	凹形	箱形	122	94	114	84	28	0.822	前期末以降		
第151号土坑	SK151	VIN-208	—	151土→161土・ビ	[不整形凹形]	[不整形凹形]	フラスコ	136	108	146	134	92	[1.38]	中期前葉以前		
第152号土坑	SK152	VI0-209	[凹形]	ビ→152土	凹形	凹形	フラスコ	146	192	194	184	132	2.865	前期末以降		
第153号土坑	SK153	VIS-213外	[凹形]	220土→153土	[凹形]	凹形	フラスコ	120	39	194	184	140	2.791	前期末		
第154号土坑	SK154	VIN-207	[凹形]	142・172土不明	[凹形]	[凹形]	フラスコ	82	80	144	118	134	[1.401]	前期末～中期前葉		
第155号土坑	SK155	VIQ-214外	[不整形]	無し	[不整形]	[不整形]	フラスコ	63	27	71	57	28	0.158	縄文		
第156号土坑	SK156	VIQ-208	凹形	156土→11住、108土不明	凹形	不整形凹形	フラスコ	102	90	162	162	66	[2.073]	中期初頭以前		
第157号土坑	SK157	VIP-215	不整形	無し	不整形	凹形	フラスコ	151	114	167	162	120	2.004	前期末以降		
第158号土坑	SK158	VIQ-212外	不整形	211土→158土	不整形	凹形	フラスコ	246	171	221	220	168	2.546	前期末～中期初頭		
第159号土坑	SK159	VIN-205外	不整形凹形	159土→160土	不整形凹形	凹形	フラスコ	76	70	172	150	116	[2.014]	前期末以降		
第160号土坑	SK160	VIN-206外	[凹形]	7壊・159土→160土→ビ	[凹形]	[凹形]	フラスコ	136	68	208	186	176	—	前期末以降		
第161号土坑	SK161	VIN-208	凹形	91・95・151土→161土	凹形	不整形凹形	フラスコ	116	108	192	188	152	2.733	前期末以降		
第162号土坑	SK162	VI0-209外	不整形	無し	不整形	凹形	フラスコ	102	94	170	154	118	2.052	前期末～中期初頭		
第163号土坑	SK163	VIS-212外	不整形	163土→2住	不整形	凹形	フラスコ	129	98	183	180	83	2.441	中期初頭以降		
第164号土坑	SK164	VIR-211外	凹形	2住→164土	凹形	凹形	フラスコ	112	109	121	119	44	1.121	中期初頭以降	底面にピット1基	
第165号土坑	SK165	VIQ-214	[凹形]	173土→165土	[凹形]	凹形	フラスコ	90	85	129	119	108	1.241	前期末以降		
第166号土坑	SK166	VIQ-211外	[凹形]	166土→2住	[凹形]	不整形凹形	フラスコ	160	156	246	194	99	3.4	中期前葉以前	底面にピット2基	
第167号土坑	SK167	VIQ-214外	凹形	無し	凹形	凹形	フラスコ	213	207	232	218	135	4.059	前期末～中期初頭		
第168号土坑	SK168	VIQ-215	凹形	無し	凹形	凹形	フラスコ	187	160	187	180	116	2.559	前期末～中期初頭		
第169号土坑	SK169	VIP-207	不整形凹形	178土→169土	不整形凹形	凹形	フラスコ	146	134	220	210	136	3.517	前期末		
第170号土坑	SK170	VIP-208外	凹形	無し	凹形	不整形凹形	フラスコ	130	108	174	170	75	2.464	前期末以降		
第171号土坑	SK171	VIP-207外	凹形	178土→171土	凹形	凹形	フラスコ	150	98	188	172	90	2.665	前期末以降		
第172号土坑	SK172	VI0-207外	凹形	154土不明	凹形	凹形	フラスコ	90	78	212	210	154	3.609	前期末以降		
第173号土坑	SK173	VIQ-214	不整形凹形	173土→165土	不整形凹形	不整形凹形	フラスコ	96	75	114	91	105	[0.88]	前期末～中期前葉		
第174号土坑	SK174	VIQ-214外	[凹形]	無し	[凹形]	凹形	フラスコ	97	72	142	121	109	1.337	縄文前期		
第175号土坑	SK175	VIQ-213	凹形	無し	凹形	不整形	フラスコ	143	125	205	197	131	2.961	前期末		
第176号土坑	SK176	VIR-214	凹形	無し	凹形	不整形凹形	フラスコ	154	152	190	185	127	2.811	縄文	底面にピット1基	
第177号土坑	SK177	VIR-215外	凹形	無し	凹形	凹形	フラスコ	249	208	261	260	150	5.515	前期末～中期初頭		
第178号土坑	SK178	VIP-207	—	178土→169・171土	[凹形]	[凹形]	フラスコ	78	40	94	94	64	—	前期末以前		
第179号土坑	SK179	VIR-213外	不整形凹形	180土→179土	不整形凹形	不整形凹形	フラスコ	175	158	238	200	137	3.612	中期初頭		

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状		断面形状	検出面		底面		深さ (cm)	底面積 (m <sup>2</sup> )	時期	備考
				検出面	底面		長軸 (cm)	短軸 (cm)	長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第180号土坑	SK180	VIR-213外	180土→179土	不整形	不整形	フラスコ	240	227	205	(180)	80	0.945	中期初頭以前	
第181号土坑	SK181	VIM-213外	37住→181土	楕円形	円形	フラスコ	84	66	168	164	104	2.12	前期後葉以降	
第182号土坑	SK182	VIN-214外	28・29住→182土、45住不明	円形	不整形楕円形	フラスコ	122	118	196	178	72	2.694	前期末	
第183号土坑	SK183	VIK-215外	183土→28住	[円形]	円形	フラスコ	102	(62)	134	134	124	1.372	前期末	
第184号土坑	SK184	VIN-213	ビ→184土	円形	逆台形	逆台形	56	52	36	36	50	0.109	前期末～中期前葉	
第185号土坑	SK185	VI0-215	40住→185土	楕円形	円形	フラスコ	229	193	179	167	113	2.426	前期末以降	
第186号土坑	SR11	VIQ-206外	20土・ビ→186土	楕円形	楕円形	逆台形	110	76	90	52	25	0.391	前期末～中期初頭	
第187号土坑	SK187	VI0-208外	無し	隅丸方形	円形	フラスコ	72	60	126	118	82	1.176	前期後葉以降	
第188号土坑	SK188	VIR-208	43住→188土、108・200土不明	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(144)	(180)	(184)	(190)	76	—	前期末以降	重複か
第189号土坑	SK189	VIR-209外	83土・ビ→189土	[楕円形]	円形	フラスコ	(90)	96	198	192	152	3.111	中期初頭	
第190号土坑	SK190	VIP-210外	無し	不整形楕円形	円形	フラスコ	120	104	156	152	82	1.949	前期末	
第191号土坑	SK191	VIQ-210	無し	楕円形	円形	フラスコ	100	74	148	148	80	1.821	前期末以降	
第192号土坑	SK192	VIQ-207外	無し	隅丸方形	円形	フラスコ	106	106	136	126	64	1.393	前期末以降	
第193号土坑	SK193	VIN-212外	無し	[楕円形]	[楕円形]	フラスコ	(100)	102	(100)	102	36	[1.13]	中期前葉	
第194号土坑	SK194	VIN-212外	無し	円形	円形	フラスコ	80	76	154	136	128	1.71	前期後葉～中期前葉	底面にピット1基
第195号土坑	SK195	VI0-211外	無し	不整形円形	不整形円形	フラスコ	90	88	180	170	108	2.516	前期末	
第196号土坑	SK196	VI0-211外	196土→198土	不整形円形	不整形円形	フラスコ	84	80	(178)	190	136	[2.765]	前期末～中期初頭以前	
第197号土坑	SK197	VIP-210	無し	不整形円形	円形	フラスコ	128	114	170	164	140	2.298	前期末以降	
第198号土坑	SK198	VI0-211外	196土→198土	不整形円形	不整形円形	フラスコ	134	114	184	174	150	2.476	前期末～中期初頭	
第199号土坑	SK199	VIS-211外	無し	[楕円形]	不整形円形	フラスコ	126	(92)	212	202	132	3.648	中期初頭～前葉	
第200号土坑	SK107	VIR-207外	107土→200土→108土、188土不明	円形	—	フラスコ	200	178	—	—	128	—	前期末以降	
第201号土坑	SK201	VI0-212外	無し	楕円形	円形	フラスコ	82	72	176	158	88	2.166	中期初頭～前葉	底面にピット1基
第202号土坑	SK202	VIQ-210	114土不明	[不整形]	[楕円形]	フラスコ	(116)	(92)	(134)	140	88	[1.744]	前期後葉以降	
第203号土坑	SK203	VI0-212外	無し	[円形]	不整形円形	フラスコ	(88)	84	166	150	80	2.018	前期末～中期初頭	
第204号土坑	SK223	VIT-212	無し	[円形]	[円形]	フラスコ	(104)	(67)	(188)	(103)	136	[1.55]	中期初頭	
第205号土坑	SK224	VIN-215	205土→40住	円形	円形	フラスコ	82	(49)	182	156	116	1.911	前期末以前	
第206号土坑	SK222	VIR-209外	206土→101土→43住	楕円形	楕円形	フラスコ	(212)	194	(214)	186	(34)	[3.043]	中期初頭以前	
第207号土坑	SK207	VIR-211	207土→2住	不整形	皿	フラスコ	127	81	89	84	27	0.604	中期前葉以前	
第208号土坑	SK208	VIR-205外	無し	—	[円形]	フラスコ	(92)	(40)	(134)	(214)	160	—	中期初頭～前葉	底面にピット1基
第209号土坑	SK209	VIQ-206外	無し	[楕円形]	不整形円形	フラスコ	(68)	(64)	161	148	82	1.91	前期末以降	
第210号土坑	SK210	VI0-212	無し	[円形]	円形	フラスコ	90	(46)	168	156	88	2.002	前期末～中期前葉	
第211号土坑	SK211	VIQ-212	211土→158土	—	[不整形円形]	フラスコ	(80)	(18)	(180)	(135)	(67)	[1.552]	中期初頭以前	
第212号土坑	SK212	VIM-216外	23住不明	不整形円形	不整形円形	逆台形	109	94	88	76	50	0.312	前期末	
第213号土坑	SK213	VI0-205外	213土→8住、19土不明	[円形]	[円形]	フラスコ	(86)	(204)	(156)	(204)	(102)	—	中期前葉以前	
第214号土坑	SK214	VIQ-220	無し	[円形]	[円形]	フラスコ	(124)	(76)	(174)	(113)	146	(1.083)	中期初頭	
第215号土坑	SK215	VIQ-221外	215土→48住	[円形]	[円形]	フラスコ	(109)	(49)	(169)	(90)	124	(1.330)	前期末以前	底面にピット1基
第216号土坑	SK216	VI0-214外	無し	[円形]	円形	フラスコ	46	(26)	173	164	114	2.273	縄文	
第217号土坑	SK217	VIN-215外	28・40住不明	円形	円形	箱形	219	200	213	195	40	3.275	前期末～中期初頭以降	
第218号土坑	SK218	VIN-216	40住不明	楕円形	円形	フラスコ	97	76	162	156	127	1.925	前期末～中期初頭	
第219号土坑	SK219	VIT-210外	219土→47住	[円形]	[円形]	フラスコ	(216)	(142)	(290)	(158)	168	—	中期初頭	
第220号土坑	SK220	VIS-212	220土→153土	[不整形円形]	円形	フラスコ	121	(80)	186	178	108	2.689	前期末以前	
第221号土坑	SK221	VIR-215外	無し	[円形]	[円形]	フラスコ	123	(70)	209	(127)	91	[2.322]	前期末～中期初頭	

埋設土器観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	検出面		深さ (cm)	埋設土器	時期	備考
					長軸 (cm)	短軸 (cm)				
第1号埋設土器	SR13	VIJ-207	無し	[楕円形]	(100)	86	14	凹筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	
第2号埋設土器	SR2	VII-209	無し	[円形]	50	(41)	29	凹筒下層d	前期末	
第3号埋設土器	SR3	VII-209	無し	[円形]	(36)	(35)	17	凹筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	炉の可能性あり
第4号埋設土器	SR4	VII-216	無し	[円形]	(39)	(20)	8	凹筒下層d2	前期末	
第5号埋設土器	SR5	VII-215	26住→5埋	[円形]	(34)	(18)	23	凹筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	
第6号埋設土器	SR6	VII-208	ビ→6埋	[円形]	—	—	39	凹筒上層a2	中期前葉	
第7号埋設土器	SR7	VIS-213	無し	[円形]	(43)	42	13	凹筒下層d	前期末	
第8号埋設土器	SR8	VII-218	21住→8埋	楕円形	33	26	(22)	凹筒下層d2	前期末	
第9号埋設土器	SR9	VII-218	21住→9埋	[円形]	27	25	29	凹筒下層d2	前期末	
第10号埋設土器	SR10	VII-219	21住→10埋	[円形]	23	20	11	凹筒下層d	前期末	
第11号埋設土器	SR12	VII-218	21住→11埋	楕円形	30	21	14	凹筒上層a1	中期初頭	
第12号埋設土器	SR14	VII-216	—	[円形]	30.3	(21.6)	20.7	凹筒下層d	前期末	
第13号埋設土器	SR15	VII-216	—	[円形]	(36.6)	(27)	11.2	凹筒下層～上層	前期後葉～中期前葉	

焼土遺構観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	検出面		時期
					長軸 (cm)	短軸 (cm)	
第1号焼土遺構	SN1	VIS-206	無し	円形	50	44	縄文時代
第2号焼土遺構	SN2	VIS-207	86住→2焼	楕円形	56	38	中期初頭以降
第3号焼土遺構	SN3	VII-209	無し	楕円形	(32)	32	縄文時代
第4号焼土遺構	SN4	VII-208	無し	円形	50	48	縄文時代
第5号焼土遺構	SN5	VII-209	無し	[円形か楕円形]	46	(22)	縄文時代
第6号焼土遺構	SN6	VII-206	6焼→ビ	不整形	82	(70)	縄文時代
第7号焼土遺構	SN7	VIN-205外	7焼→160土か	—	(58)	(40)	縄文時代
第8号焼土遺構	SN8	VII-211外	無し	東側：不整形 西側：[楕円形]	(126)	58	縄文時代
第9号焼土遺構	SN9	VIN-214外	45住→9焼	楕円形	(28)	(20)	前期末以降
第10号焼土遺構	SN14	VIP-208	無し	不整形	60	48	縄文時代
第11号焼土遺構	SN15	VIP-208	無し	不整形	54	42	縄文時代
第12号焼土遺構	SN12	VIR-209外	無し	北側：円形 南側：楕円形	30	26	縄文時代
第13号焼土遺構	SN13	VII-214	無し	円形	28	24	縄文時代
					34	16	
					30	28	

溝状土坑観察表

遺構名	旧遺構名	位置 (グリッド)	重複	平面形状	断面形状	主軸方位	検出面		深さ (cm)	時期	備考		
							長軸 (cm)	短軸 (cm)					
第1号溝状土坑	SV1	VII-203外	無し	長楕円形	Y字	N-25° -E	340	56	158	縄文時代			
第2号溝状土坑	SV2	VIIQ-201外	無し	長楕円形	Y字	N-56° -E	(338)	(40)	(330)	(16)	縄文時代		
第3号溝状土坑	SV3	VIN-202外	無し	長楕円形	Y字	N-94° -E	380	62	360	20	縄文時代		
第4号溝状土坑	SV4	VIM-223外	無し	長楕円形	Y字	N-100° -E	397	47	388	14	縄文時代		
第5号溝状土坑	SV9	VII-208外	5住→5溝土	長楕円形	Y字	N-125° -E	80	350	340	24	112	前期末以降	
第6号溝状土坑	SV6	VII-229外	無し	長楕円形	Y字	N-45° -E	(294)	43	286	6	98	縄文時代	
第7号溝状土坑	SV7	VIP-214外	無し	長楕円形	Y字	N-91° -E	(350)	38	346	10	70	縄文時代	
第8号溝状土坑	SV12	VII-212外	123土→8溝土	長楕円形	Y字	N-120° -E	368	(39)	366	7	100	前期末以降	
第9号溝状土坑	SV9	VIN-220外	無し	長楕円形	Y字	N-21° -E	344	49	339	7	118	縄文時代	
第10号溝状土坑	SV10	VIN-222外	無し	長楕円形	Y字	N-90° -E	398	27	384	16	98	縄文時代	
第11号溝状土坑	SV11	VII-211外	63土→11溝土	長楕円形	Y字	N-116° -E	370	36	354	12	88	前期末以降	

※長軸・短軸は、部分的な最大幅を計測。

竪穴住居跡出土土器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
9	1	1住	床面	深鉢	口縁	突起(2単位)、口唇部:RL押、口縁部:RL押	ミガキ	—	—	(6.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	
9	2	1住	床面	深鉢	口縁	隆帯(LR押)、口唇部:LR押、口縁部:LR押、竹管刺突	ナデ	—	—	(6.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
11	1	2住 炉1	炉体	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、隆帯・橋状把手(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横・斜、L結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[33]	15.8	50.7	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、外面中央・胴内下炭化物少量付着
11	2	2住	11 覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、貼付・隆帯(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横・斜、結回(R)縦	ミガキ	—	—	(14.9)	円筒上層a1	中期初頭	繊維含
11	3	2住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	突起(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(RL・LR)	ミガキ	—	—	(18)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含
13	1	3住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、口縁部:無文、刺突、胴部:RL斜、沈線	ミガキ	—	—	(8.6)	最花	中期後葉	胴外にごく微量の炭化物付着
14	1	4住	床面直上	深鉢	胴部	単絡1A(R2本・L2本)、結回(R)縦	ミガキ	—	—	—	円筒下層d	前期末	繊維含
14	2	4住	床面直上	深鉢	底部	底面:ミガキ	ミガキ	—	[13.5]	(1.4)	円筒下層d	前期か	繊維含
14	3	4住	覆土	深鉢	胴～底部	胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	8.5	(17.4)	円筒下層d	前期末	海綿骨針含
16	1	5住 埋1	埋設土器	深鉢	胴～底部	結束1(LR+R・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	—	15.8	(19.1)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
16	2	5住 埋6	覆土	鉢	底部	結束1(RL+r・LR)、底面:ミガキ	ミガキ	—	5.1	(4)	円筒下層d	前期末	繊維微量含
16	3	5住	2 覆土	深鉢	胴～底部	RL斜・縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	11.8	(29.9)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	繊維・海綿骨針含
17	1	6住	検出面	深鉢	口縁～胴部	波状口縁、口縁部:R・L押、結回(R)、胴部:単絡1A(R・L)	ミガキ	—	—	(19.1)	円筒下層d1	前期末	海綿骨針含
20	1	7住 炉1	炉体	深鉢	頸～底部	口縁部:単絡5(R)・LR押、結束2(LR・RL)横、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	17	(37.9)	円筒下層d1	前期末	外面摩滅
20	2	7住 炉2	炉体	深鉢	胴～底部	多絡(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	18.1	(34.4)	円筒下層d	前期末	繊維含
20	3	7住 炉3	炉体	深鉢	胴～底部	結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	—	10.2	(22)	円筒下層d	前期末	繊維含
20	4	7住 炉4	炉体	深鉢	胴～底部	単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	10.8	(18)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
20	5	7住 炉7	炉体 床面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	微隆帯(刺突)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	[25.4]	15.2	33.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
20	6	7住 炉9	炉体	深鉢	胴～底部	単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ か(摩滅)	—	12.5	(18.9)	円筒下層d	前期末	繊維含、外面摩滅
21	7	7住	床面直上	深鉢	口縁～底部	口縁部:LR押・RL押、刺突、胴部:結束1(LR+R+RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	28.1	11.6	38	円筒下層d1	前期末	繊維含
21	8	7住	3 トレン チャー	浅鉢	口縁～底部	口縁～胴部:無文、ミガキ、底面:ミガキ	ミガキ	短:[17]	短:11.5	8.7	円筒下層d2 か	前期末か	繊維・海綿骨針含
21	9	7住	3	鉢	胴部上～ 底部	結束1(RL・LR)、底面:ミガキ	ナデか	—	5.4	(9.7)	円筒下層d	前期末	海綿骨針微量含
21	10	7住	2 覆土	浅鉢か (片口)	口縁～ 底部 付近	無文、ミガキ	ミガキ	長:14.2 短:10.5	—	(5.25)	円筒下層d2	前期末か	底部打ち欠きか、海綿骨針含
21	11	7住	2	鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部:L押(横位)、胴部:単絡1A(L・R)底面:ミガキ	ミガキ	11.1	6.8	10.9	円筒下層d	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
21	12	7住	2	鉢	口縁～底部	波状口縁か、無文、ナデ顕著、底面:ミガキ	ナデ	[9.8]	6.3	10.95	円筒下層d2 か	前期末か	繊維含
21	13	7住	2 覆土	鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、口唇部:LR横、口縁部:LR押(横位)、胴部:単絡1A(L)、底面:ミガキ	ミガキ	12.9	6.5	19.1	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
21	14	7住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	4単位突起、貼付(LR横・縦)、口唇部:LR横、口縁部:LR横・縦	ミガキ	18.8	7.7	20.2	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
21	15	7住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	4単位突起、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	16.8	9	22.8	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
21	16	7住	2・3	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L)、底面:ミガキ	ナデ (口縁 ミガキ)	16.7	7.8	25.3	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
21	17	7住	2・3 覆土	深鉢	口縁～底部	口唇部:刺突、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(R)、結回(R)縦(一部)、底面:ミガキ	ナデ	18	10.4	27.1	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
22	18	7住	2・3 覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(L押)、口唇部:刺突、口縁部:L押、胴部:単絡1A(L)、結回(L)横、底面:ミガキ	ミガキ	[20]	[10.4]	27.2	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
22	19	7住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(R)、底面:ミガキ	ミガキ	21.1	10	30.4	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
22	20	7住	2	深鉢	口縁～底部	口唇部:RL+L横、口縁部:RLR押、胴部:結束1(LR+R・RL+L)横、結回(LR)横	ミガキ	27.5	[16]	32	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着・内面炭化物少量付着
22	21	7住	2・3	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口唇部:LR押、口縁部:LR押、胴部:RLR横、結回(LR)縦	ミガキ	[27.9]	[12.4]	36.2	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
23	22	7住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇部:刺突、口縁部:LR押、刺突、胴部:単絡1A(R)、底面:ミガキ	ミガキ	28	11.8	39.4	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
23	23	7住	1	浅鉢	口縁～底部	RL押(横)	ミガキ	短軸 14.6	長:17 短:11	8.8	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
23	24	7住	1・2・3 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、隆帯・貼付(RL押)、口縁部:単絡1(R)押、RL横、胴部:RL横、結回(RL)縦	ミガキ	21.8	9.2	27.2	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物付着
23	25	7住	1・2 トレン チャー	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、隆帯(刺突)、口唇部:LR押、口縁部:LR押、刺突、胴部:単絡1A(L)、結回(L)縦、底面:ミガキ	ミガキ	22.1	[11.6]	35.5	円筒下層d2	前期末	繊維含
24	26	7住	1・2	深鉢	口縁～底部	口唇部:R押、口縁部:単絡1(L)押、RL押、結回(R)横、胴部:結束1(LR+R・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	24.7	11.5	35.6	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
24	27	7住	1 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[30]	14.5	35.8	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
24	28	7住	1・3 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、口縁部:RLR横	ミガキ	25.5	[10.6]	37.2	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
24	29	7住	1・2 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(4単位)、貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	27.3	12	38	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物・胴内下炭化物少量付着
25	30	7住	覆土	鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、隆帯(刺突)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・LR)横、結回(L)横	ナデ	[10.8]	4.8	13.7	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
25 31	7住	覆土	鉢	口縁～底部	口縁:LR押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	[11.8]	6.2	19	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外 面・内面炭化物少量 付着
25 32	7住	覆土 トレン チャー	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(透孔)、隆帯・貼付(LR押)、口 縁部:LR・R押、胴部:LR横・斜、結回(R) 縦	ミガキ	35	—	(41.4)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含
30 1	8住	床面	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇:半竹刺突、口縁部:沈線、半竹刺 突、胴部:条痕(縦)、刺突	ミガキ	—	—	(9.5)	円筒下層d2 か	前期末か、	図30-2同一か、
30 2	8住	床面	深鉢	底部	条痕(縦)、底面:ミガキ	ミガキ	—	[9.7]	(12.1)	円筒下層d2 か	前期末か、	図30-1同一か、底面 穿孔か、
30 3	8住	床面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位)、隆帯(R押)、口唇:r 横、口縁部:R押、胴部:LR横・斜、底面: ミガキ	ミガキ	13.7	[7.8]	23.2	円筒上層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
30 4	8住	床面 覆土	浅鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口唇R押、口縁～ 胴部:LR(多条)横	ミガキ	[19.6]	8.5	10.8	大木7式系	中期前葉	繊維含
30 5	8住	床面 床面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、隆帯(LR押)、口縁 部:LR押、LR馬蹄押、胴部:LR横、結回 (RL多条)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[22.5]	9.8	28.1	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、補修孔1ヶ所
30 6	8住	床面 床面直上	深鉢	口縁～底部	口縁傾斜、隆帯(R押)、胴部:R(多条)横、 結回(r)横、LR結回(LR)横	ミガキ	[19]	10	30.9	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
30 7	8住	床面 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、隆帯・貼付(L押)、 口縁部:L押、LR馬蹄押、胴部:LR・L縦・ 横、結回(L)縦底面:ミガキ	ミガキ	[21.9]	12.5	(31.6)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
30 8	8住	床面 床面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(4単位)、隆帯・貼付(LR押)、口縁 部:LR押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	27.4	12.3	33.5	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上・胴内 下炭化物付着、補修 孔1ヶ所
31 9	8住	床面 床面直上 覆土	深鉢	口縁(欠) ～底部	波状口縁、隆帯・貼付(LR(多条)横、L・R 押)、口縁部:L・R押、刺突列、胴部:LR横、 底面:網代痕	ミガキ	—	17	(55)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物付着
31 10	8住	床面 床面直上 覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(2単位残)、隆帯・貼付(L押) 口縁部:LR押、刺突、胴部:LR横	ミガキ	[44]	—	(59.4)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
31 11	8住	床面 床面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(LR押)、口縁 部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)横、LR横、 結回(R)横、底面:スダレ状圧痕	ミガキ	38	16	65	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
32 12	8住	床面 床面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(R押)口縁部:R押、 胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[34.7]	15	46.5	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
32 13	8住	覆土	鉢	口縁～ 胴部下	口縁部:RL横、胴部:結束1(LR多条・RL 多条)	ミガキ	[12]	—	(12)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
32 14	8住	覆土	深鉢	胴～底部	胴部:LR横、結回(R)横、底面:ミガキ	ナデ	—	10	(14.4)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量・胴内下炭化 物付着
32 15	8住	覆土	深鉢	胴～底部	結束1(LR多条・RL多条)、底面:ミガキ	ミガキ	—	12	(15)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
32 16	8住	覆土	深鉢	胴～底部	LR多条、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	—	10.5	(17.8)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	
32 17	8住	覆土	深鉢	胴～底部	結束1(LR・RL)縦	ミガキ	—	[11]	(18)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物付着
32 18	8住	覆土	鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、貼付、竹管?刺突、 口唇LR横、口縁～胴部:LR横	ミガ キ、ナ デ	[16.6]	8.2	18.3	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上・胴内下炭化物 少量付着
32 19	8住	覆土	鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、隆帯、橋状把手(R 押)、口縁部:R押、R馬蹄押、胴部:LR横	ミガキ	[18.6]	8.2	18.8	円筒上層a2 ～b	中期前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量付着
32 20	8住	5	深鉢	口縁～胴部	隆帯(LR(多条)押)、口縁:LR(多条)押、 胴部:結束1(L・R)横	ミガキ	28	—	(20.6)	円筒上層a2 ～b	中期前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物付着
33 21	8住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(R押)、 口縁部:R・L押、胴部:結束1(LR多条 ・RL)、結回(R)横	ミガキ	16.6	7.8	22.3	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量付着、補修孔 2ヶ所
33 22	8住	覆土	深鉢	口縁(欠) ～底部	隆帯(L押)、口縁部:L押・R押、胴部:LR 横、結回(R)縦	ナデ	—	11.4	(29)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物付着
33 23	8住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯、貼付(R押)、口 縁部:R押、R馬蹄押、胴部:LR(多条)横、 結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	40.5	15.7	64.1	円筒上層a2 ～b	中期前葉	繊維・海綿骨針含
36 1	9住	覆土	深鉢	口縁(欠) ～底部	波状口縁、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R 押、R馬蹄押、胴部:結束1(LR多条・RL)、 結回(L)横、底面:ミガキ	ミガキ	—	[8.4]	(19)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物付着
36 2	9住	覆土	深鉢	口縁～底部	LR横	ナデ	[17.6]	10.3	22.4	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量・内面炭化物 付着
36 3	9住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、貼付・隆帯(L押)、口縁部:L 押、胴部:RL横	ミガキ	—	—	(10.8)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	海綿骨針微量含
36 4	9住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、隆帯・貼付(L・R押)、口縁 部:L・R押、胴部:RL横	ミガキ	—	—	(11)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	
36 5	9住	床面直上 覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、突起、貼付、隆帯(L押)、口縁 部:L押、胴部:L斜	ミガキ	[23.1]	—	(12.8)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
36 6	9住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、突起、貼付(L押)、隆帯(L馬蹄 押、L押)、口縁部:L押、刻み、竹管刺突か、 胴部:RL横・斜	ミガキ	—	—	(15.4)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
36 7	9住	覆土	深鉢 か	口縁～ 胴部上	波状口縁か、沈線	ミガキ	—	—	(3)	十腰内Iか	後期前葉か	図36-8と同一か、
36 8	9住	覆土	深鉢 か	口縁～ 胴部上	波状口縁か、沈線	ミガキ	—	—	(3.3)	十腰内Iか	後期前葉か	図36-7と同一か、
36 9	9住	覆土	鉢類	胴部	沈線、ミガキ	ミガキ	—	—	—	十腰内I	後期前葉	
36 10	9住	覆土	浅鉢	口縁～底部	沈線、底面ナデ	ミガキ	[15.5]	7.3	8.2	十腰内I	後期前葉	底面2ヶ所に穿孔
40 1	10住	覆土上位 覆土	2 深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口唇LR押、口縁 部:LR・RL押、胴部:単絡1A(L・R)、底面: ミガキ	ミガキ	[23.2]	13.4	35.2	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
40 2	10住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	突起(2単位残)、隆帯(L押)、口縁部:LR 横、L結回(R)横、胴部:LR横	ミガキ	[28.4]	—	(39)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着、 補修孔4ヶ所(内面2ヶ 所未貫通)
40 3	10住	1・2	深鉢	口縁～胴部	波状口縁、隆帯(刺突)、口縁部:LR押、 胴部:LR横・斜、結回(Lか)縦	ミガキ	[25.6]	—	(22.3)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	海綿骨針含
40 4	10住	覆土	深鉢	口縁～胴部	波状口縁、突起(2単位残)、隆帯(LR押)、 貼付、口唇:LRか押、口縁部:LR押、胴 部:LR横・斜、結回(L)縦	ミガキ	—	—	(16.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考	
40	5	10住	覆土上位	深鉢	口縁～胴部上	隆帯・貼付(LR押) 口縁部:LR押、胴部:RLR横	ミガキ	—	(16.9)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含	
45	1	11住 炉1	覆土	深鉢	頭～底部	隆帯(R押)、頭部:R押、胴部:LR横・斜・ 結回(LR)縦、底面:ミガキ(網代痕)	ミガキ	—	18.4 (39.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含	
45	2	11住 ピ3	覆土	深鉢	胴～底部	RLR横、結回(L)縦	ミガキ	—	18.2 (27.8)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外面・ 内面炭化物少量付着	
45	3	11住	床	鉢か	口縁～胴部	波状口縁(2単位残、頂部欠)、隆帯・貼 付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横	ミガキ	[15.5]	—	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量付着	
45	4	11住	7	鉢	口縁～底部	突起状隆帯(2単位残)、隆帯(LR押)、胴 部:LR横、結回(R)横、底面:ミガキか	ミガキ	15.5	8.4	19.7	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	海綿骨針含、胴外上 炭化物少量付着
45	5	11住	7 覆土	浅鉢	口縁～底部	RLR横	ミガキ (摩滅)	短:25.4 長:28.3	—	10.8	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、外面摩滅顕 著
46	6	11住	6 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、隆帯・貼付(LR押)、 口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)横、 底面:ミガキ	ミガキ	[18.8]	10.6	24	円筒上層a か	中期初頭～ 前葉か	胴内下炭化物少量付 着、補修孔2ヶ所
46	7	11住	6	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残、頂部欠)、隆帯(LR 押)、口縁部:R・LR押、R馬蹄押、胴部:結 束1(LR・LR(端部結節))横、底面:ミガキ	ミガキ	—	11.1 (29.5)	円筒上層a か	中期初頭～ 前葉か	繊維・海綿骨針含	
46	8	11住	覆土中位 覆土	鉢か	口縁～胴部	隆帯(刺突)、口縁:沈線、胴部:沈線	ミガキ ナデ	12.5	—	(13.7)	大木7式系 か	中期前葉	繊維含、胴外上炭化 物少量付着
46	9	11住	覆土	深鉢	口縁～胴部	波状口縁(4単位)、隆帯(L押)、口縁部:L 押、胴部:RLR横	ミガキ	24.5	—	(22.3)	円筒上層a か	中期初頭～ 前葉か	胴外上炭化物少量付 着、外面摩滅
46	10	11住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、隆帯(指頭圧痕か、 R押)、貼付(R押)、口縁部:R押、R馬蹄押、 胴部:RLR横・斜	ミガキ	[26.4]	[10.3]	24.5	円筒上層a か	中期初頭～ 前葉か	海綿骨針含、胴外上 炭化物少量付着
46	11	11住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	口縁部:R押、胴部:LR横・斜、結回(L)縦	ミガキ	[22.6]	—	(28.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
49	1	12住	床面直上	深鉢	口縁	波状口縁、隆帯(LR押)、口縁部:LR押、 刻み、胴部:単絡1A(R)	ミガキ	—	—	(7.7)	円筒下層d2	前期末	繊維含
49	2	12住	覆土	深鉢	口縁	RLR横	ミガキ	—	—	(7.7)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	繊維含
49	3	12住	覆土	深鉢	口縁	隆帯(LR押)、口唇:LR押、口縁部:LR押	ミガキ	—	—	(7.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期前葉	
49	4	12住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口縁部:LR押、結束1(LR・RL)	ミガキ	—	—	(8)	円筒下層d	前期末	海綿骨針含
50	1	13住	覆土	深鉢	胴部	結束1(RL・LR)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	海綿骨針含
50	2	13住	覆土	深鉢	胴部	単絡1(R)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d	前期末	繊維含
51	1	14住	2	鉢か	口縁～ 胴部下	隆帯(R押)、胴部:結束1(LR・RL)、結回 (L)横	ナデ	[14.1]	—	(15.8)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
51	2	14住	2	深鉢	口縁～胴部	口縁部:隆帯(R押)、胴部:LR(多条)横	ミガキ	[24.7]	—	(20.8)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含、胴外下炭化 物少量付着
54	1	15住 炉1	炉体	深鉢	口縁～胴部	口唇:LR横、口縁部:LR押、竹管刺突、胴 部:単絡1A(L・R)、結回(R)縦	ミガキ	[38.7]	—	(29.9)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面・胴内下炭化物少 量付着
54	2	15住	4 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(R押)、口縁部:R 押、刺突、胴部:LR横・斜、結回(R)縦、底 面:ミガキ	ミガキ	[28]	12.3	39.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
54	3	15住	4	深鉢	口縁～ 胴部下	口唇:LR横、口縁部:LR横	ミガキ	27.3	—	(41.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
54	4	15住	4	深鉢	口縁～胴部	突起(4単位)、口縁部:LR押、刺突、胴部: 単絡1(R)	ミガキ	12.5	—	(10.1)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
54	5	15住	4 覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR横、底面:ミ ガキ	ミガキ	[11.3]	5.5	14.6	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
55	6	15住	4	深鉢	口縁～ 胴部下 底部	突起状貼付(3単位残、R押)、口縁部:R 押、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガ キ	ミガキ	35.6	15	口縁 (43.5) 底部 (12.7) [52.8]	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外 面中央炭化物付着、胴 内下炭化物少量付着 図上復元
55	7	15住	4 覆土	深鉢	口縁～底部	突起状貼付(3単位残、R押)、口縁部:R 押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	37.1	13.2	53.2	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、口 縁外面に爪痕
55	8	15住	4	浅鉢	口縁～底部	口唇:LR押、口縁部:LR押、胴部:LR横、 底面:ミガキ	ミガキ	短軸 15.5	8.3	10	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
56	9	15住	2・4	深鉢	口縁～底部	口縁部:RL押、胴部:RL横	ミガキ	25.8	[12.3]	35.8	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
56	10	15住	2	深鉢	口縁～底部	口唇LR横、口縁部:LR押、胴部:LR横	ミガキ	[18.5]	[10.1]	24.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
56	11	15住	2・4	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(2単位残、R押)、口唇:R押、 口縁部:R押、刺突、胴部:LR横	ミガキ (摩滅)	22.7	10.9	33.4	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	
56	12	15住	2 覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	口唇:R押、口縁部:R押、刺突、胴部:LR 横、結回(R)横・縦	ミガキ	33.8	—	(43.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、補 修孔2ヶ所
56	13	15住	2・4 ピット1 覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部:R押、刺突、胴部:LR横・斜、底面: ミガキ	ミガキ	28.5	13	45.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 内下炭化物少量付着
57	14	15住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、口唇:L押、胴部:反撚 RR横、底面:ミガキ	ミガキ	[20.1]	9.4	27.8	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、 胴外上炭化物少量付 着、外面風化
57	15	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、口縁部:刺突、LR 押、胴部:LR横、結回(L)横、底面:ミガキ	ミガキ	—	11	24.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴外上・内 面炭化物少量付着
57	16	15住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:R横、口縁部:R横・斜、底面: ミガキ	ミガキ	[21.4]	9.5	29.9	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
57	17	15住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(2単位残、R押)、貼付(R押)、 口縁部:R押、刺突、胴部:LR横・斜、結回 (R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[25.8]	12.3	35.2	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
57	18	15住	2・4	深鉢	口縁～底部	突起(4単位)、口縁部:LR押、胴部:LR横 ～斜、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	21.8	10.2	30.7	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
57	19	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、口唇:LR押、刺突、沈線、 胴部:LR斜、底面:ミガキ	ミガキ	[12.8]	5.7	18.1	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
57	20	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:R押、刺突 (一部)、胴部:L横、底面:ミガキ	ミガキ	[13.7]	6.9	16.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 内上炭化物少量付着
57	21	15住	2	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、貼付、口縁部:R押、刺 突、胴部:LR横、結回(L)縦(一部)r	ミガキ	[25.7]	—	33.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴内下炭化 物少量付着
58	22	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯(R押)、口唇:R 押、口縁部:LR縦、結回(R)縦、底面: ミガキ	ミガキ	29.1	11.5	39.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物付着、補 修孔1ヶ所
58	23	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	突起状貼付(3単位残)、貼付(R押)、口縁 部:R押、胴部:LR横、R横	ミガキ	28.8	—	36.7	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
58 24	15住	2・4 覆土	深鉢	口縁～胴部	突起(4単位)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:L・R・RL押、胴部:RLR横、結回(L?)縦	ミガキ	45.5	—	(46)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含
59 25	15住	2 覆土	深鉢	口縁～胴部下底部	突起(3単位残)、貼付(R押)、口縁部:R・RRL押、胴部:LR横・斜、結回(L)縦・横、底面:ミガキ	ミガキ	32	13	口縁(50.5)底面(8.2)[58.9]	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維含、図上復元
59 26	15住	2 覆土	深鉢	口縁～胴部下	突起(4単位)、隆帯(L・R押)、貼付(R押)、口縁部:L・R・LR押、胴部:LR横・斜、結回(R)縦・横	ミガキ	32.1	—	(46.4)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着、口縁外面に爪痕
59 27	15住	2 覆土	深鉢	口縁～胴部	突起(2単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)縦・横	ミガキ	[39.4]	—	(37.8)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含、外面炭化物少量付着
63 1	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、微隆帯(刺突)、口唇:L・R横、口縁部:L・R・RL押、胴部:多絡、結回(R)横	ミガキ	23.8	15.1	30.7	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
63 2	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部:単絡5(R)・RL押、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	[15.9]	12.7	25.1	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
63 3	16住	2b・2c・3	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(LR押)、口唇:単絡1(LR)回か、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	25.4	15.1	29.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
63 4	16住	2c・3	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(刺突、単絡5(L・R)押)、口唇:L・R・RL横、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)、結束1(LR+L・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	13.5	7.6	20.1	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
63 5	16住	2c	深鉢	口縁～底部	口唇:Lか、口縁部:L押、竹管刺突、胴部:結束1(LR・LR)横か、L結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	14.6	10.5	25.2	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
63 6	16住	2b	深鉢	口縁～胴部下	口縁部:L押、胴部:ミガキ	ミガキ	12.7	—	(20.2)	円筒下層c～d1	前期後葉～末	繊維・海綿骨針含
63 7	16住	2a～c	深鉢	口縁～底部	波状口縁、口縁部:LR押、刺突、胴部:結回(L)横、結束1(LR+R・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	28.4	15.2	36.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
63 8	16住	2b 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口縁部:R・LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	33.5	16.1	40.8	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
64 9	16住	2b	深鉢	口縁～底部	口縁部:RL・R・LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	18.4	9.2	27.2	円筒下層d1	前期末	繊維含
64 10	16住	2b	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口唇:LR押、結束2(LR・RL)、胴部:単絡1A(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	18.7	12.9	35.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
64 11	16住	2a・2b 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口唇:RL横、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	15.4	9.2	25.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
64 12	16住	2a・2b	深鉢	胴～底部	胴～底部:L押、単絡1(R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	7	(6.9)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
64 13	16住	2a・2b	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残、刺突)、隆帯(刺突)、貼付か、口縁部:R押、胴部:結束2(LR・LR)縦、底面:網代痕	ミガキ	[26]	12.5	27.2	円筒下層d 大木系か	前期末	繊維・海綿骨針含
64 14	16住	2a 覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	12.3	7.8	17.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
64 15	16住	2 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(LR押)、口唇:RL横、口縁部:LR押、胴部:多絡、底面:ミガキ	ミガキ	19.7	11.7	33.7	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、内面中央炭化物少量付着
64 16	16住	2a	台付鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口縁部:R押、刺突、胴部:結束1(LR・RL)、結回(R)横、結束1(LR)、台部:波状(4単位)、L結回(R)横、刺突、底面:ミガキ	ミガキ	19.8	[15]	18.4	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
68 1	19住	検出面	深鉢	胴部	単絡1A(L・R)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d	前期末	繊維含
69 1	20住 炉1	覆土	深鉢	胴部	結束2(RL・LR)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	
69 2	20住 炉1	覆土	深鉢	口縁	突起(単絡1(LR)押)、LR押	ミガキ	—	—	(3.8)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	図69-3、4同一か
69 3	20住 炉1	覆土	深鉢	口縁(欠)	隆帯(LR?押)、LR押	ミガキ	—	—	(5.6)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	図69-2、4同一か 繊維含
69 4	20住 炉1	覆土	深鉢	胴部	LR横・斜	ミガキ	—	—	(9.1)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	図69-2、3同一か 繊維含
69 5	20住 炉1	覆土	深鉢	胴部	RLR横・斜	ミガキ	—	—	—	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維少量含
73 1	21住 ビ3	覆土	深鉢	口縁～底部	微隆帯、口唇RL横、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	19.5	11.4	26.8	円筒下層d1	前期末	繊維含、外面炭化物少量付着
73 2	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	22.8	12.7	27.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、未貫通の補修孔1ヶ所
73 3	21住 ビ3	覆土	深鉢	口縁(欠)～底部	口縁部:結束2(LR・RL)横、竹管刺突、胴部:単絡1A(LLR)、底面:ミガキ	ミガキ	—	12.3	(23.9)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
73 4	21住 ビ3	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(LR押)、口縁部:L・R押、刺突、胴部上:結回(LR)横、結束1(RL+R・LR+R)、胴部下:条痕(縦)	ミガキ	[27.6]	16.6	37.7	円筒下層d1	前期末	海綿骨針含
73 5	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:LR横、口縁部:単絡1(R)押、刺突、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	18	12.8	29.5	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
73 6	21住 ビ3	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横か、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L)、結束2(LR・RL)横	ミガキ	[16.4]	—	28.3	円筒下層d	前期末	繊維含、外面摩滅
73 7	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(刺突)、口唇:RLR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	20.8	12.5	28.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
73 8	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:RL横、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	21.8	13.8	31.1	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
74 9	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(結束2(LR・RL)横)、口唇:LR横、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	30.4	20.1	32.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
74 10	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:単絡1(R)押、口縁部:単絡1(R)押、刺突、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	20.2	9.8	25.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、補修孔3ヶ所(1ヶ所未貫通)
74 11	21住	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:半竹刺突、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキか(摩滅)	12.5	7.5	17.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考	
74	12	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	19.8	12.3	28	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
74	13	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:RL横、口縁部:結束2(LR・RL)横、結回(R)横、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	16.4	8.9	21.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
74	14	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(4単位)、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	17.6	8.8	22.6	円筒下層d1	前期末	植外物繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
74	15	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口縁部:LR押(横位)、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	10.8	5.3	12.5	円筒下層d1	前期末	繊維含
74	16	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR押、胴部:LR縦、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	10	6.1	14.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
74	17	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR横、口縁部:RL押、胴部:結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	10.3	5.9	13.2	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
74	18	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、単絡2(一部L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	29	11.5	40.8	円筒下層d	前期末	繊維含、未貫通の補修孔2ヶ所
75	19	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(3単位残)、透孔、口唇:単絡1(L)か、口縁部:単絡1(L)押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	[31.4]	14.5	38.9	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、補修孔2ヶ所
75	20	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(3単位残)、透孔、口唇:LR横(ナデ)、口縁部:R・LR・L押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	29.9	15	42.3	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
75	21	21住埋1	埋設土器	深鉢	口縁~胴部	波状口縁(2単位残)、口縁部:R押、胴部:単絡1(L・R)	ミガキ(摩滅)	27.5	-	(24.3)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
75	22	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(3単位残)、隆帯、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	18.7	11	26.6	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
75	23	21住	覆土	台付鉢	口縁~底部	波状口縁(4単位)、隆帯(単絡5(R)押)、口唇:LR押、口縁部:単絡5(R)押、胴部:結束1(LR・R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	12.2	7.5	12.6	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
75	24	21住	覆土	鉢	口縁~胴部	無文・ミガキ	ミガキ	9.5	-	(6.6)	円筒下層dか	前期末か	海綿骨針含
75	25	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起(1単位残)、橋状把手(刺突)、口唇:R押、胴部:単絡1A(L)、底面:ミガキ	ミガキ	[18.2]	9.3	19.7	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
76	26	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(2単位残)、隆帯(刺突)、口唇:RL押、口縁部:LR・RL押、刺突、胴部:単絡1A(R)、結回(R)横(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	[22.7]	11.6	32.5	円筒下層d2	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
76	27	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起(4単位)、隆帯(LR押)、口唇:LR押、口縁部:LR・R押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	24	[9.8]	29.3	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
76	28	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:突起(3単位残)、隆帯(LR押)、口唇部:LR押、口縁部:単絡1(R)・LR押、胴部:LR横・斜、底面:ミガキ	ミガキ	30.6	15.1	51.3	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維・海綿骨針含
76	29	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	13.7	6.5	20.7	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
76	30	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁か、貼付(LR押)、胴部:RLR横・結回(LR)縦、底面:ミガキ	ミガキ	14.8	7.6	22.3	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
76	31	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR押、口縁部:LR横、LR押、胴部:LR横・斜、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	22	11.5	27.2	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維・海綿骨針含
77	32	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起状隆帯(2単位残、単絡1(R)押)、口唇:単絡1(R)押、口縁部:単絡1(R)・LR押、胴部:LR横・斜、底面:ミガキ	ミガキ	[33.8]	16	54.9	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維・海綿骨針含
77	33	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁、隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:RLR・LR横、L結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	16	8.8	18.2	円筒上層a1	中期初頭	繊維含、胴外上炭化物少量付着
77	34	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起状隆帯(4単位、R押、貼付(R)押)、口唇:R押、口縁部:R・L押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	26.5	13.3	38.2	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維含
77	35	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起(2単位残)、隆帯(R押)、口唇:R押、口縁部:R押、胴部:結束1(LR・LR)横、R横、底面:ミガキ	ミガキ	[41.4]	15.1	59.6	円筒下層d2~上層a1	前期末~中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、補修孔2ヶ所
78	36	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	突起(3単位残)、隆帯(LR押)、貼付(LR)押、口縁部:LR押、胴部:LR横、L結回(R)縦、結束1縦、底面:ミガキ	ミガキ	40	16.8	52.5	円筒上層a1	中期初頭	海綿骨針含、外面摩滅
78	37	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	波状口縁(3単位残)、折返、隆帯、横位橋状把手、口縁~胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	(21.9)	10.2	(22.8)	円筒上層a1	中期初頭	胴外上炭化物少量付着
78	38	21住	覆土	鉢	口縁~底部	口縁~底部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	13.8	9.7	17	円筒下層d2~上層a	前期末~中期前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
78	39	21住	覆土	鉢	口縁~底部	突起(2単位残)、口唇:LR横、口縁~胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	[13.4]	[6.4]	13.3	円筒下層d2~上層a	前期末~中期前葉	繊維・海綿骨針含
78	40	21住	覆土	深鉢	口縁~底部	口唇:LR横、口縁~底部:LR横、縦、底面:ミガキ	ミガキ	27.4	12.8	31.8	円筒下層d2~上層a	前期末~中期前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、補修孔2ヶ所
78	41	21住	覆土	深鉢	胴部	LR多条横	ナデ	-	-	(5.1)	早稲田5類か	早期末か	繊維多量含
78	42	21住	覆土	深鉢	胴部	単絡1(L・R)	ミガキ	-	-	(8.6)	円筒下層	前期	繊維・海綿骨針含
78	43	21住	覆土	深鉢	口縁	LR多条横、押	ナデ	-	-	(7.5)	早稲田5類か	早期末か	繊維多量含
78	44	21住	覆土	深鉢	口縁	LR押、結回	ナデ	-	-	(4.1)	円筒下層b~d	前期中葉~末	繊維多量含
78	45	21住	覆土	深鉢	胴部	LR多条斜	ナデ	-	-	(6)	早稲田5類か	早期末か	繊維多量含
78	46	21住	覆土	深鉢	胴部	R押か、器面摩滅	ナデ	-	-	(3.3)	円筒下層a~b	前期中葉	繊維含
78	47	21住ピ8	覆土	深鉢	口縁	結回(R)横	ナデ	-	-	(6.8)	円筒下層a~b	前期中葉	繊維含
78	48	21住	覆土	深鉢	口縁~胴部上	口縁部:結回(R)横、胴部:LR	ナデ	-	-	(6.1)	円筒下層a~b	前期中葉	繊維含
78	49	21住	覆土	深鉢	胴部	隆帯(沈線か)、単絡1押か	ミガキ	-	-	(4.2)	円筒下層a~bか	前期中葉か	繊維含
78	50	21住	覆土	深鉢	胴部	隆帯(沈線か)、竹管刺突	ミガキ	-	-	(4.8)	円筒下層a~bか	前期中葉か	繊維・海綿骨針含
79	51	21住	覆土	深鉢	口縁~胴部上	RRL横	ミガキ	-	-	(7)	前期前葉か	前期前葉か	繊維・海綿骨針含、図79-52と同一か
79	52	21住	覆土	深鉢	胴部	RRL横	ミガキ	-	-	(11.3)	前期前葉か	前期前葉か	繊維・海綿骨針含、図79-51と同一か
79	53	21住	覆土	深鉢	口縁	LR押、竹管刺突	ミガキ	-	-	(3.8)	円筒下層b~c	前期中葉~後葉	
79	54	21住	覆土	深鉢	口縁	波状口縁か、口唇部:刻み、口縁部:単絡1押、LR押、胴部:単絡1か	ミガキ	-	-	(4.7)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
79 55	21住	覆土	台付鉢	底部(台付)	無文、ミガキ	ミガキ	—	—	(4.8)	円筒下層か	前期か	繊維多量含
79 56	21住	覆土	台付鉢	底部(台付)	結束1(LR+Lか、RL+R)	ミガキ	—	—	(4.3)	円筒下層か	前期か	繊維含
79 57	21住	攪乱	台付鉢	底部(台付)	RL横、底面ミガキ	ナデ?	—	—	(6.7)	円筒下層か	前期か	繊維、海綿骨針含
79 58	21住	覆土	深鉢	口縁	橋状把手(沈線)、突起、波状口縁か、口唇部:刻み、口縁部:沈線	ミガキ	—	—	(6)	朝日下層式系	前期末	海綿骨針含
79 59	21住	覆土	深鉢	口縁	突起、透孔、貼付(刺突)、口唇部:刻み、口縁部:R・L押	ミガキ	—	—	(4.6)	円筒下層d2	前期末	
79 60	21住	覆土	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁か、口縁部:刺突、沈線、胴縁部:RRL、結回	ミガキ	—	—	(9.9)	大木7a式系	中期前葉	
79 61	21住	覆土	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁か、口縁部:単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(9.9)	大木7a式系	中期前葉	図79-62～63同一個体か
79 62	21住	覆土	深鉢	口縁	波状口縁か、透孔、口縁部:単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(7.1)	大木7a式系	中期前葉	図79-61, 63, 64同一個体か
79 63	21住	覆土	深鉢	口縁～胴部上	口縁部:刺突、単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(7.7)	大木7a式系	中期前葉	図79-61, 62, 64同一個体か
79 64	21住	覆土	深鉢	胴部	口縁部:刺突、単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(4.2)	大木7a式系	中期前葉	図79-61～63同一個体か、補修孔有り
79 65	21住	覆土	深鉢	胴部	口縁部:刺突、単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(7.8)	大木7a式系	中期前葉	図79-66～68同一個体か
79 66	21住	覆土	深鉢	胴部	口縁部:刺突、単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(6.2)	大木7a式系	中期前葉	図79-65, 67, 68同一個体か
79 67	21住	攪乱	深鉢	口縁	口縁部:刺突、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(3.9)	大木7a式系	中期前葉	図79-65, 66, 68同一個体か
79 68	21住	覆土	深鉢	胴部	口縁部:刺突、単絡1(Rか)押、胴部:単絡1A(L・R)、沈線	ミガキ	—	—	(4.3)	大木7a式系	中期前葉	図79-65～66同一個体か
79 69	21住	覆土	深鉢	胴部下～底部	結回(R)横・縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	[7.6]	(7.6)	円筒下層dか	前期末か	繊維、海綿骨針含
79 70	21住	覆土	深鉢	口縁	折返、隆帯(LR)、LR横	ミガキ	—	—	(4.2)	榎林か	中期後葉か	海綿骨針含
79 71	21住	覆土	深鉢	口縁	LR横、沈線	ミガキ	—	—	(4.6)	榎林か	中期後葉か	海綿骨針含
79 72	21住	覆土	深鉢	口縁	LLR	ミガキ	—	—	(4)	円筒下層dか	前期末か	繊維含
79 73	21住	覆土	深鉢	口縁	RL、沈線	ミガキ	—	—	(3)	円筒下層dか	前期末か	繊維含
79 74	21住	覆土	深鉢	胴部	沈線	ミガキ	—	—	(3)	大木系か	前期末か	海綿骨針含
79 75	21住	覆土	深鉢	胴部か	LRか、沈線	ミガキ	—	—	(2.4)	榎林か	中期後葉か	
79 76	21住	覆土	深鉢	胴部	LR横	ミガキ	—	—	(5.4)	縄文	縄文	繊維含
79 77	21住	覆土	深鉢	胴部	無節Lか	ミガキ	—	—	(4.5)	円筒下層dか	縄文	繊維、海綿骨針含
79 78	21住	覆土	深鉢	胴部	LR、結回横	ミガキ	—	—	(4.8)	縄文	縄文	摩滅顕著
79 79	21住	覆土	深鉢	胴部	無文	ミガキ	—	—	(5.4)	円筒下層	前期	繊維、海綿骨針含
79 80	21住	覆土	深鉢	胴部	条痕か	ミガキ	—	—	(6.5)	円筒下層dか	前期末か	繊維、海綿骨針含
79 81	21住	覆土	深鉢	口縁	結回(R)横・縦	ミガキ	—	—	(4.3)	円筒下層dか	前期末か	図79-82同一か
79 82	21住	覆土	深鉢	口縁	結回(R)横・縦	ミガキ	—	—	(4.7)	円筒下層dか	前期末か	図79-81同一か
79 83	21住	覆土	深鉢	口縁	口唇部:刻み、口縁部:LR押、結回縦、沈線	ミガキ	—	—	(3.1)	大木6式系	前期末	
79 84	21住	覆土	深鉢	口縁	口唇部:刻み、口縁部:結回か	ミガキ	—	—	(3)	大木6式系	前期末	
96 1	22住炉1a	炉体	深鉢	口縁(欠)～胴部上	隆帯(R押)、貼付(LR・R押)、口縁部:R・LR押、胴部:結束1(LR・LR)横、結回(R)縦	ミガキ	—	—	(24.4)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含
96 2	22住炉1b	炉体内	深鉢	胴部下(底部近)	胴部:LR横、結回縦、底部付近ナ消し、底面ミガキ	ミガキ	—	—	(14.5)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	図96-1同一個体、繊維含
96 3	22住炉3a	炉体	深鉢	口縁(欠)～胴部	隆帯(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横・斜、結回(L)縦	ミガキ	—	—	(20.7)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
96 4	22住炉3b	炉体	深鉢	胴部	LR縦、結回(L)縦	ミガキ	—	—	(14.7)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
96 5	22住炉4	炉体	深鉢	胴部	単絡1A(R)縦	ミガキ	—	—	(20.2)	円筒下層d	前期末	繊維含
96 6	22住炉5	炉体	深鉢	頸～胴部	頸部:結回(R)横、胴部:LR縦、結回(R)縦	ミガキ	—	—	(35.3)	円筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	繊維、海綿骨針含、胴外上・内面炭化物少量付着
96 7	22住炉5	覆土	深鉢	底部	多絡(R)、L結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	[14]	(10.9)	円筒下層d	前期末	繊維含
96 8	22住埋	埋設土器	深鉢	頸～底部	頸部:R結回(L)横、胴部:単絡1(R)、R結回(L)縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	12.1	(33)	円筒下層d	前期末	繊維含、外面摩滅
97 9	22住	床面	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁、突起、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横、結回縦	ミガキ	—	—	(13)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
97 10	22住	床面	深鉢	口縁	波状口縁、突起(R押)、口唇部:RL、口縁部:LR押、R押	ミガキ	—	—	(6.2)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
97 11	22住	床面	深鉢	頸～胴部上	貼付(L押)、口縁部:L押、胴部:LR横、結回縦	ミガキ	—	—	(9.2)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
97 12	22住	2	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:L結回(R)縦、LR横・斜	ミガキ	25.5	[12.9]	29.3	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	胴外上炭化物付着
97 13	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁、突起、隆帯(R押)、口縁部:R押、胴部:LR多条横、結回(R)縦	ミガキ	—	—	(21.7)	円筒上層a1	中期前葉	繊維、海綿骨針含
97 14	22住	2	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、口縁部:LR押、刺突(L押か)、胴部:RLR横・斜、底面:網代痕	ミガキ・ナデ	[18.5]	10	20.3	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含、補修孔1ヶ所
97 15	22住	2	深鉢	口縁～胴部下	突起(3単位残)、隆帯(LR押)、口唇部:R押、胴部:LR横、結回(R)縦	ミガキ	[21]	—	(27.5)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
97 16	22住	2	深鉢	口縁	波状口縁、突起(RL)、橋状把手(R押)、隆帯(R押)、口唇部:RL、口縁部:R押	ミガキ	—	—	(7.5)	円筒上層a	中期前葉	繊維、海綿骨針含
97 17	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	波状、突起(L押)、隆帯(L押)、口唇部:L押、口縁部:L押、胴部:LR多条横	ミガキ	—	—	(12.1)	円筒上層a	中期前葉	繊維、海綿骨針含
98 18	22住	2	深鉢	口縁～底部	口唇部:LR横、口縁部:LR横、底部付近ミガキ、底面:ミガキ	ミガキ	28.2	15	37.8	円筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	繊維、海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
98 19	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁か、突起(R押)、隆帯(R押)、口唇部:R押、口縁部:R押、胴部:RLR横、結回縦	ミガキ	—	—	(16.5)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維、海綿骨針含
98 20	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁か、LR横	ミガキ	—	—	(9)	円筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	繊維、海綿骨針含
98 21	22住	2	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁か、突起(Rか)押、LR横	ミガキ	—	—	(8.6)	円筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	繊維、海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考	
98 22	22住	2	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横(一部残)、口縁～胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	20.5	10.4	23.5	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	繊維・海綿骨針含	
98 23	22住	2	深鉢	胴部	LR横・斜・結回縦	ミガキ	—	—	(7.3)	円筒下層	前期	繊維・海綿骨針含	
98 24	22住	2	深鉢	胴部	LR横	ナデ	—	—	(4.1)	円筒下層か	前期か	繊維・海綿骨針含	
98 25	22住	2	深鉢	底部	胴部:LR縦・結回縦・底面ミガキ	ミガキ	—	—	[5.2]	円筒下層か	前期か	繊維・海綿骨針含	
98 26	22住	2	深鉢	胴部	隆帯(刺突)	ミガキ	—	—	(5.7)	円筒下層a ～b	前期中葉	繊維・海綿骨針含	
98 27	22住		トレン チャー	浅鉢片口 か	口縁～底部	無文、ミガキ、底面:ナデ	ミガキ	—	長:9.6 短:9	円筒下層d か	前期末か	繊維含	
101 1	23住		ビット5覆土 床面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	17.1	11.5	29.8	円筒下層d1	前期末	胴外上炭化物少量付着
101 2	23住		ビット5覆土 床面直上 3・4	鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(R押)口唇:LRか横、口縁部:R押、胴部:結束1(LR・RL)横、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	[15.5]	8.6	18.6	円筒下層d1	前期末	繊維含
101 3	23住 ビ1		覆土	鉢	口縁～底部	隆帯、口唇LR横、口縁～胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	12.1	9.5	19.4	円筒下層d1	前期末	繊維含
101 4	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	口縁部:L・R押(横位)、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	16.7	11	26.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
101 5	23住		床面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口唇:単絡1(R)回、口縁部:単絡1(R)押、胴部:結束1(LR・RL)横、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	18.7	12.2	29.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
101 6	23住		床面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:LR押、単絡5(R)押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	19.1	12.2	25.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外下・胴内下炭化物少量付着
101 7	23住		床面	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	[22]	13.5	28.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
101 8	23住		床面直上	鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	13.1	8.3	19.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
101 9	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(LR押)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	24.8	16.7	30.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
101 10	23住 ビ6		検出面 (床面)	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	[15]	9.5	26	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴外上炭化物少量付着、外面摩滅
102 11	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:多絡・結束2(LR・RL)横	ミガキ	25.4	14.3	38.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
102 12	23住		5	鉢	口縁～底部	口縁:結束1(LR・RL)横、胴部:LR斜・縦	ミガキ	13.4	8.1	18.7	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面炭化物付着
102 13	23住 ビ1		検出面 (床面)	深鉢	口縁～ 胴部下 底部	波状口縁か(4単位)、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:LR押、結回(R)横、胴部:多絡(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	27.9	[17.4]	口縁 (33.6) 底部 (12) [37.9]	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、図上復元
102 14	23住		床面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口唇:LR横、口縁部:R・L押、結束2(LR・RL)横、胴部:多絡(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	18.3	11	28.6	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
102 15	23住		床面 床面直上	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁か、隆帯(竹管刺突)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)横	ミガキ	16.3	—	27.2	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
102 16	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、隆帯(刺突)、口縁部:単絡1(R)押、胴部:単絡1A	ミガキ	[15.7]	—	(16.6)	円筒下層c ～d1	前期後葉～ 末	繊維・海綿骨針含
102 17	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯、口唇部:LR押、胴部:結束1(LR・RL+R)、単絡1(L)	ミガキ	—	—	(14.6)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
102 18	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:LR押、単絡5押、胴部:単絡1(L)	ミガキ	—	—	(18.7)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
102 19	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:LR・単絡5押、半竹刺突、胴部:単絡1(L)、結回横・縦	ミガキ	—	—	(21.4)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 20	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:LR押、胴部:単絡5(L)	ミガキ	—	—	(16.8)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 21	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部:LR押、胴部:結回横、単絡1A(L・R)	ミガキ	—	—	(14.5)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 22	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、口唇部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	—	—	(6.3)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 23	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇部:L押、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	—	—	(16.5)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
103 24	23住		床面	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:刺突、LR押、胴部:結束2(LR・RL)	ミガキ	—	—	(10.1)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 25	23住		床面	深鉢	口縁	口唇:刺突、口唇部:RL横	ミガキ	—	—	(4.1)	円筒下層	前期	繊維含
103 26	23住		2	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、口唇部:LR押、胴部:刺突、単絡1A(R・L)	ミガキ	—	—	(14.8)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
103 27	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、隆帯(刺突)、口唇部:LR押、胴部:単絡1(R)	ミガキ	—	—	(9.4)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 28	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:LR押、刺突、胴部:多絡	ミガキ	—	—	(7.1)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
103 29	23住		床面直上	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、隆帯(R押)、口唇部:LR押、単絡5押、胴部:多絡(L)	ミガキ	—	—	(16)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
103 30	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、口唇部:単絡5押、LR押、L押、胴部:単絡1A(L)	ミガキ	—	—	(6.1)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
104 31	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(LR押)、口唇部:LR押、胴部:結束1(LR+R・RL)	ミガキ	—	—	(10.4)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
104 32	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇部:刺突、LR押、胴部:結束2(LR・RL)、結束1(LR・RL)	ミガキ	—	—	(11.5)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
104 33	23住		4	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇部:LR押、胴部:単絡1(L)	ミガキ	—	—	(10.4)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
104 34	23住		3・4	深鉢	口縁～ 胴部上	口唇部:R・L押、胴部:単絡1(L)、沈線	ミガキ	—	—	(7.8)	大木6式系	前期末	繊維・海綿骨針含
104 35	23住		覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口唇部:LR押、刺突、胴部:多絡(R)	ミガキ	—	—	(7.9)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
104 36	23住		覆土	深鉢 か	胴部	貼付、単絡1(R)	ミガキ	—	—	(2.2)	円筒下層か	前期か	海綿骨針含
104 37	23住		3・4	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、口唇部:R押、胴部:RRL	ミガキ	—	—	(10.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
104 38	23住	3・4	鉢か	口縁～ 胴部上	波状口縁か、口縁部：LR押、胴部：単絡1A(R・L)	ミガキ	—	—	(6.7)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、ミニチュアの可能性有り
104 39	23住	2	深鉢	口縁	隆帯(LR押)、口唇部：刻み、口縁部：LR押、胴部：単絡1か	ミガキ	—	—	(6.8)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
104 40	23住	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁、突起、隆帯(刻み、刺突)、口縁部：LR押、胴部：単絡1(Lか)、結回縦	ミガキ	—	—	(6.5)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
104 41	23住	2	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部：結回(R)、胴部：LRLか	ミガキ	—	—	(6.4)	円筒下層a ～b	前期中葉	繊維・海綿骨針含
107 1	24住 炉1	炉体	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁、突起(2単位残)、隆帯(単絡1(R)押)口縁部：単絡1(R)押、胴部：L横、R横、結回(R)縦、一部LR斜、底面：ミガキ	ミガキ	[31.1]	13	45.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物付着
107 2	24住	1～3・ 3a	深鉢	口縁～ 底部	突起(3単位残)、隆帯(単絡1(R)押)、口唇部：単絡1(R)押、口縁部：単絡1(R)・LR押、胴部：LR横、底面：ミガキ	ミガキ	27.5	[14.1]	37.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
107 3	24住	1	深鉢	口縁	隆帯(RL押)、口縁部：RL押、沈線	ミガキ	—	—	(6.8)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
110 1	25住	2・3	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁、口縁部：R・L押、LR押、胴部：単絡1(L)	ミガキ	[15.4]	—	(15.3)	円筒下層c ～d1	前期後葉～ 末	繊維・海綿骨針含
110 2	25住	2・3	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、口縁部：LR押、結束1(LR・RL)、胴部：結束1(LR・RL)横、単絡1(R)	ミガキ	[19.4]	—	(11.4)	円筒下層d1	前期末	繊維多量含
110 3	25住	2	深鉢	口縁～ 胴部	口縁部：刺突、LR押、胴部：多絡(L)	ミガキ	17.7	—	(14.2)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
110 4	25住	2	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁か、口縁部：L・R押、胴部：単絡1(L)	ミガキ	[20.2]	—	(24.5)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
110 5	25住	2 覆土	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(4単位)、隆帯(LR押)、口唇部：LR横、口縁部：LR押、胴部：多絡(R・L)、底面：ミガキか	ミガキ	23.3	13.2	39.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
110 6	25住	2	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(3単位残)、口唇部：LR横か、口縁部：L・R押、刺突、胴部：単絡1(LR)、結束2(LR・RL)横、底面：ミガキ	ミガキ	[22.6]	13.6	37.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
110 7	25住	2	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁(4単位)、口縁部：L・R押、刺突、胴部：結束1(LR・RL)	ミガキ	27	—	(27.7)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
110 8	25住	2	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、口縁部：沈線、L・R押、胴部：単絡1(L)	ミガキ	—	—	(23)	円筒下層c	前期後葉	繊維多量・海綿骨針含
110 9	25住	2	深鉢	口縁～ 胴部	隆帯(竹管刺突)、口縁部：LR押、胴部：結束2(RL・LR)縦、単絡1(LR)	ミガキ	—	—	(22)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
110 10	25住	2	台付	底部	単絡1A(R)、底面ミガキ	ミガキ	—	[10.8]	(7)	円筒下層d	前期末	海綿骨針含
110 11	25住	覆土	深鉢	胴部	LR斜、沈線(麻手状)	ミガキ	—	—	—	最花	中期後葉	
112 1	26住 炉1	炉体	深鉢	頭～ 胴部下	貼付(LR押)、口縁部：LR押、胴部：単絡1A(L)、結回(LR)縦	ミガキ	—	—	—	円筒下層d2	前期末	繊維含
112 2	26住 炉2	炉体	深鉢	胴部	LR横・斜、結回(R)縦	ミガキ	—	—	—	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
113 1	27住 炉1	炉体	深鉢	口縁(欠) ～胴部上	隆帯・貼付(LR押)、口縁部：LR押、胴部：前々段合捲RLRか	ミガキ	—	—	(25.8)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
115 1	28住 ビ6	覆土上位	深鉢	口縁～ 底部	口唇部：LR横、口縁部：LR横、底面：ミガキ	ミガキ	21.7	10.5	27.3	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
115 2	28住	1	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(3単位残)、R押・RL横、隆帯・橋状把手(R押)、口唇部：R押、口縁部：R押、胴部：結束1(LR・RL)縦、底面：ミガキ	ミガキ	[24.5]	13.2	28.8	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
115 3	28住	1	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(1単位残)、隆帯(R押)、口唇部：R押、胴部：RLR横・斜、底面：ナデか	ヘラナ デか	[20.3]	9	20.7	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
115 4	28住	覆土	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(2単位残)、隆帯・貼付(R・LR押)、口縁部：R・LR押、LR横、胴部：LR横・斜、底面：ミガキか	ミガキ か (摩滅)	[15.5]	8.5	21.4	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
115 5	28住	1	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(4単位)、隆帯・貼付(R押)、口唇部：LR横、R押、胴部：結束1(LR・RL)	ミガキ	37.8	—	47.4	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
116 6	28住	覆土	深鉢	口縁～ 底部	口縁部：RL横、底面：ミガキ	ミガキ	[15.2]	7.7	17.1	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含
116 11	29住 炉3	炉体	深鉢	口縁～ 胴部	隆帯・貼付(LR押)、口縁部：LR押、胴部：結束1(LR・RL)横	ミガキ (剥落)	—	—	(36.7)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
116 12	29住 炉3	炉内 覆土	深鉢	底部	結束1(LR・RL)横か、底面：ミガキ	ミガキ (摩滅)	—	12.8	(10)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、剥落頭著
116 13	29住 1 覆土	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部：LR押、胴部：LR横	ミガキ	26.5	—	(25)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着	
116 16	45住	床面	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯、口唇部：LRか押、胴部：結回か、単絡(Lか)、器面摩滅	ミガキ	—	—	(4.9)	円筒下層d1	前期末	海綿骨針含
116 17	45住	床面	深鉢	口縁	波状口縁、透孔、隆帯(刺突)、口縁部：RL・L押、刺突	ミガキ	—	—	(4.9)	円筒下層d2	前期末	海綿骨針含
119 1	33住	覆土	深鉢	口縁	LR押	ミガキ	—	—	(4.7)	円筒下層cか	前期後葉か	繊維含
122 1	35住	1	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、口縁部：結束1(LR・RL)、R押	ミガキ か (摩滅)	13.4	—	(19.9)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
122 2	35住	1	深鉢	胴～ 底部	多絡(R)、結束1(LR・RL)	ミガキ か	—	[6.7]	(20.4)	円筒下層c	前期後葉	繊維含
122 3	35住	1	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁、口縁部：LR押(横位)、単絡6A(R)横、胴部：結束1(LR・RL)	不明 (摩滅)	17.8	—	(21.1)	円筒下層c	前期後葉	繊維含
122 4	35住	1下位	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁か、口縁部：LR押、胴部：単絡1(R)	ミガキ	16.3	—	(21.2)	円筒下層c	前期後葉	繊維含
122 5	35住	1	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁、口唇部：LR横、口縁部：結束1(LR・RL)、胴部：単絡1(LR)	ミガキ	17.4	[9.1]	21.3	円筒下層c	前期後葉	繊維含
122 6	35住	1	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(2単位残)、口縁部：単絡6A(R)横、LR・RL押、胴部：単絡1(R)底面：ミガキ	ミガキ	15.6	8.5	26.1	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
122 7	35住	1	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁か、口縁部：L・R押、胴部：結束1(LR・RL)	ミガキ	16	—	(33.2)	円筒下層c	前期後葉	繊維含、胴外上炭化物少量付着
122 8	35住	1	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁、隆帯(R押)、口縁部：R押、胴部：結束1(LR+R・RL+L)横、底面：ミガキ	ミガキ	22.5	9.8	39.4	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
124 1	36住 炉1	炉体	深鉢	口縁(欠) ～胴部	隆帯(LRか押)、口縁部：LR押、胴部：多絡(R)	ミガキ	—	—	(18.3)	円筒下層d	前期末	図124-2同一か、繊維・海綿骨針含
124 2	36住 炉1	炉体	深鉢	胴部下 ～底部	多絡(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	—	15.2	(19.5)	円筒下層d	前期末	図124-1同一か、繊維・海綿骨針含、外面摩滅
126 1	37住	1	深鉢	口縁～ 胴部	隆帯(LR押)、口縁部：L押、胴部：単絡1(R)	ミガキ	—	—	(23.5)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
126 2	37住	1	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、口縁部：結束1(LR・RL)横、胴部：結束1(LR・RL)横	ミガキ	[20.5]	—	(21.8)	円筒下層c	前期後葉	繊維多量含、海綿骨針含

図番	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
126 3	37住	1	深鉢	口縁～ 胴部下	口縁部：R押、胴部：単絡1(R)、結回(R) 横	ミガキ	17.8	—	(23)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
126 4	37住	1	深鉢	胴部上 ～底部	胴～底部：R押、RL縦・斜、底面：ミガキ	ミガキ	—	10.8	(25.3)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
126 5	37住	1	深鉢	胴部上 ～底部	胴～底部：結束1(LR・RL)	ミガキ	—	9.2	(25.4)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含、外面 摩滅
126 6	37住	1	深鉢	口縁～底部	波状口縁、円形の凹、胴部：条痕(櫛歯 状)、底面：ミガキ	ミガキ	20.3	12.4	32.6	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
126 7	37住	1	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(3単位残)、口唇：R押、口縁： 結束1(LR+R・RL+L)押、胴部：単絡1(R)	ミガキ	[22.2]	—	(33.3)	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
126 8	37住	1	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部：LR押、胴部：多絡(L・R)	ミガキ	[21.7]	—	36.3	円筒下層c	前期後葉	繊維含
127 9	37住	覆土	深鉢	胴部	沈線	—	—	—	—	大木6式系か	前期末か	
128 1	38住 炉	炉体	深鉢	底部	胴部：単絡1A(R)、底面ミガキ	ミガキ	—	15.8	(16.6)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
130 1	39住 38住 覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(4単位)、透孔、口唇：R横、口縁 部：LR押、竹管刺突、胴部：結束2(LR・RL)縦	ミガキ	31.7	—	(41.3)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含	
133 1	40住 炉1	炉体	深鉢	口縁(欠) ～胴部	LR横	ミガキ	[29.8]	—	(25.5)	円筒上層か	中期か	繊維含
133 2	40住 炉1	炉体	深鉢	口縁(欠) ～胴部	LR横・斜	ミガキ	—	—	(24.5)	円筒上層か	中期か	繊維含
134 3	40住 炉2	土器内4 土器内	深鉢	頸～胴部下	隆帯(刺突か)、胴部：LR横・縦、結回(R) 縦	ミガキ	—	—	(38.9)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
134 4	40住 炉3	土器内	深鉢	頸～底部	隆帯(刺突)、R押、胴部：LR横、結回(R) 縦	ミガキ	—	14.4	(34.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、補 修孔1ヶ所、外面摩滅
134 5	40住 炉4	炉体	深鉢	頸～底部	貼付(単絡(R)押)、胴部：単絡1(R)、結 回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	—	14.3	(45.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外 面風化
134 6	40住 炉5	炉体	深鉢	胴部下 ～底部	単絡1A(L)、結回(R)縦、底部付近ナデ消 し、底面ミガキ	ミガキ	—	[13.4]	(11.5)	円筒下層d	前期末	繊維微量含
134 7	40住 炉6	炉体	深鉢	胴部	不明(摩滅)	不明 (摩滅)	—	—	(8.5)	不明	不明	
134 8	40住 炉6	炉体	深鉢	底部	不明(摩滅)	不明 (摩滅)	—	12.4	(4.6)	不明	不明	
134 9	40住	覆土	深鉢	口縁～胴部	口唇：L押、口縁～胴部：RL横	ミガキ	—	—	(14.7)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
134 10	40住	覆土	深鉢	胴部	貼付(R押)、LR・R押、LR横、RL縦・斜、結 回(R)縦	ミガキ	—	—	—	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
134 11	40住	覆土	深鉢	頸部	隆帯(単絡1(R)押)、口縁部：LR(多条か) 押、単絡1(R)押	ミガキ	—	—	(7.3)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
138 1	41住 炉1	炉体	深鉢	胴部	単絡1A(L)	ミガキ (磨滅)	—	—	(25.3)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面摩滅・剥落
138 2	41住 炉2	炉体	深鉢	胴部	単絡1A(R)	ミガキ	—	—	(20.6)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面摩滅・剥落
138 3	41住 炉3	炉体	深鉢	胴部	単絡1A(R)	ミガキ	—	—	(13.6)	円筒下層d	前期末	繊維含、外面剥落
138 4	41住 炉4	炉体	深鉢	頸～胴部	刺突か、胴部：LR横、L結回(R)縦	ミガキ	—	—	(22.5)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
138 5	41住 炉5	炉体	深鉢	胴～底部	単絡1A(R)	ミガキ	—	12.7	(20.4)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含
138 6	41住 炉6	炉体	深鉢	口縁(欠) ～胴部	口縁：単絡1(R)押、刺突、胴部：単絡1A (R)	ミガキ (磨滅)	—	—	(28.6)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面剥落
138 7	41住	覆土	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、隆帯(単絡1(R)押)、口唇： 単絡1(R)押、口縁部：単絡1(R)押、R押、刺 突、胴部：R横・斜、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	28.5	12.3	35.2	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、 胴外上炭化物少量付 着、補修孔3ヶ所(1ヶ 所未貫通)
139 8	41住	覆土	深鉢	口縁～胴部	突起(4単位)、隆帯・貼付(LR押)、口唇： LR押、口縁部：LR押、胴部：LR横、結回(R) 縦	ミガキ	22.6	—	(25.1)	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維含
139 9	41住	覆土	鉢	口縁～底部	口唇：LR押、口縁～胴部：LR横、一部LR 押か、底面：ミガキ	ミガキ	14.8	7.7	17.2	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外 面剥落顕著
140 1	42住 炉1	炉体	深鉢	口縁～ 胴部下	口縁：LR押、胴部：LR+R・RL+R結束1(LR+ R・RL+R)、結回(R)横	ミガキ	[23.6]	—	(32.1)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面摩滅
141 1	43住 埋1	埋設土器	深鉢	胴部	結束1(LR・RL)	ミガキ (磨滅)	—	—	(23.6)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴外上・胴内 下炭化物少量付着
141 2	43住 埋1	土器内	深鉢	口縁～ 胴部下	貼付(R押)、口縁部：LR横、胴部：LR縦	ミガキ	22	—	(25.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
144 1	44住 炉1	炉体	深鉢	胴～底部	胴～底部：LR横・斜、結回(R)縦	不明 (磨滅)	—	[20]	(21.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外 面摩滅
144 2	44住 炉1	炉体	深鉢	口縁(欠) ～底部	隆帯(R押)、口縁部：R押、胴部：LR横・斜、 底面：ミガキ	ミガキ	—	18.5	口縁 (26.8) 底部 (17)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、外面摩滅、図 上復元
144 3	44住 炉2	炉体	深鉢	頸～胴部下	隆帯(刺突)、頸部：L押、胴部：単絡1A(L)	ミガキ	—	—	(27.5)	円筒下層d2	前期末	繊維含
144 4	44住 炉3	炉体	深鉢	胴～底部	胴部：LR縦、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	—	15.9	(41.4)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
144 5	44住 埋1	埋設土器	深鉢	胴部	RLR横、結回(R)縦(LR)	ミガキ	—	—	(13.6)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
144 6	44住 埋2	埋設土器	深鉢	胴部	LR横・斜	ミガキ	—	—	(22)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	図144-7同1か、海綿 骨針微量含
144 7	44住 埋2	埋設土器	深鉢	底部	底面：ミガキ	ミガキ	—	11.5	(1.5)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	図144-6同1か
147 1	48住 ビ5	埋設土器	深鉢	胴～底部	単絡1A(L+L・R)、底面：ミガキ	ミガキ	—	11.3	(24.1)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面摩滅
147 2	48住	床面	深鉢	口縁～底部	口縁部：LR押、口縁～胴部：結束1 (LR+L+RL+R)横、底面：ミガキ	ミガキ	24	12.7	29.7	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
147 3	48住	床面 ビット1 検出面	深鉢	口縁～底部	口唇：LR横か(摩滅)口縁部：LR押、胴部： 単絡1A(L・R)、底面：ミガキ	ミガキ	26.6	13.5	35.9	円筒下層d1	前期末	

竪穴住居跡出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
12	4	2住	覆土	スクレイパー類	両面一側縁調整	45.5	30.6	12.5	13.3	珩質頁岩	
12	5	2住	覆土	楔形石器		23.9	26.4	11.5	7.9	玉髓質珩質頁岩	
12	6	2住	7	磨製石斧	小型石鑿	57	19	16	32.5	緑色岩	
12	7	2住	覆土下位	半円状扁平打製石器		140	72	30	464.3	安山岩	使用痕顕著
12	8	2住	覆土下位	磨石		174	78	43	1041.6	安山岩	使用痕顕著
12	9	2住	床面直上	台石		236	180	105	7020.0	安山岩	
16	4	5住	覆土	スクレイパー類	腹面一側縁(遠端)調整	30.8	40.9	11.4	9.3	珩質頁岩	
16	5	5住 ヒ2	覆土	凹石		197	89	48	378.7 437.3	凝灰岩	
17	2	6住	覆土	石鏃	有茎凹基	47.5	17.6	7.4	4.4	珩質頁岩	
17	3	6住	覆土	スクレイパー類	両面一側縁調整(交互)	29.1	23.2	6.5	5.0	珩質頁岩	
17	4	6住	床面直上	磨石		142	95	46	850.2	安山岩	
17	5	6住	覆土	磨石		172	74	43	756.0	安山岩	黒色物質付着
25	33	7住	1	石鏃	無茎凹基	22.8	15.2	3.5	1.0	珩質頁岩	
25	34	7住	2	石鏃	無茎凹基	29.2	18	5.8	2.0	珩質頁岩	
25	35	7住	2	石鏃	無茎尖基か平基	26.9	10.2	2.8	0.8	頁岩	被熱
25	36	7住	1	石鏃	有茎平基	40	15.3	3.9	2.3	珩質頁岩	
25	37	7住	1	石鏃	有茎平基	46.1	17.4	7.3	4.5	珩質頁岩	
25	38	7住	1	石鏃	有茎平基	46.7	17.8	5.3	3.5	珩質頁岩	
25	39	7住	カクラン	石鏃	有茎凸基	27.4	12.9	7	2.1	珩質頁岩	
25	40	7住	1	石鏃	有茎凸基	36.4	17.2	6	2.9	珩質頁岩	黒色物質付着
25	41	7住	1	石鏃	有茎凸基	47.2	15.1	7.1	4.5	珩質頁岩	
25	42	7住	1	石匙	縦形石匙	69	26.5	5.5	10.4	珩質頁岩	松原形
25	43	7住	覆土	石匙	斜軸形石匙	65.7	39.6	8	21.3	珩質頁岩	周縁急角度調整
26	44	7住	2	スクレイパー類	両面調整	31.2	16.5	6.2	3.1	珩質頁岩	
26	45	7住	覆土	スクレイパー類	背面周縁調整	34.1	22.3	11.2	7.4	珩質頁岩	急角度調整、搔器
26	46	7住	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整	38.5	25.3	6.8	5.6	珩質頁岩	急角度調整
26	47	7住	2	スクレイパー類	背面一側縁調整	69.2	34.1	9.2	25.5	珩質頁岩	
26	48	7住	風倒木	スクレイパー類	両面調整	88	40.9	18.8	58.0	珩質頁岩	石槍未製品か
26	49	7住	2	石篋	撥形	51.1	33.6	11.6	18.6	玉髓質珩質頁岩	円刃風
26	50	7住	2	楔形石器		26.6	29	6.8	6.0	珩質頁岩	
26	51	7住	3	石鏃	石鏃転用型	32.4	13.5	7.7	3.4	珩質頁岩	石鏃転用
26	52	7住	1	打製石斧		49	34	18	37.9	花崗閃緑岩	
26	53	7住	2	磨製石斧	擦切石斧、小型石鑿	86	18.5	13	36.4	緑色岩	
26	54	7住	2	敲石		119	56	31	230.4	流紋岩	
26	55	7住	2	磨石		92	38	26	119.9	安山岩	端部敲きの可能性有り
26	56	7住	覆土	磨石		115	80	41	569.0	安山岩	
26	57	7住	確認面	半円状扁平打製石器		82	60	27	199.9	凝灰岩	
27	58	7住	覆土	半円状扁平打製石器		103	69	30	255.0	凝灰岩	
33	24	8住	覆土	石鏃	有茎凸基	34.4	13.9	7.5	2.2	珩質頁岩	
33	25	8住	覆土	石鏃	無茎尖基	53.5	15.2	9.4	5.1	珩質頁岩	
33	26	8住	覆土	石槍		68.3	19.9	11.8	14.4	珩質頁岩	柳葉形
33	27	8住	覆土	石槍		72	21	9.4	14.2	黒曜石	
33	28	8住	覆土	石匙	斜軸形石匙	27.4	42.2	9	8.7	珩質頁岩	
33	29	8住	覆土	楔形石器か		25.9	28.3	13.7	11.6	珩質頁岩	未使用か
34	30	8住	覆土	石鏃		43.2	20.2	8	5.2	珩質頁岩	剥片端部利用
34	31	8住	覆土	石鏃		45.3	24.6	10.7	11.0	珩質頁岩	
34	32	8住	床面直上	打製石斧		75	36	15	46.3	安山岩	
34	33	8住	覆土	磨製石斧		124.5	52.5	28.5	330.0	閃緑岩	基部再調整
34	34	8住	床面直上	敲石		63	60	54	228.1	凝灰岩	
34	35	8住 ヒ2	覆土	敲石		78	59	46	275.9	チャート	
34	36	8住	覆土	凹石		65	60	21	96.1	安山岩	
34	37	8住	覆土	磨石		68	64	58	346.0	安山岩	
34	38	8住	覆土	磨石		98	69	36	353.6	安山岩	
34	39	8住	覆土	磨石		100	70	50	311.8	凝灰岩	
34	40	8住	覆土	砥石		89	71	36	182.0	中粒砂岩	
34	41	8住	覆土	石鏃		85	77	104	96.5	凝灰岩	
34	42	8住	床面	石鏃		89	62	26	207.1	チャート	
36	11	9住	覆土	石鏃	無茎凹基	28.1	15	4.5	1.8	珩質頁岩	
36	12	9住	覆土	石鏃	有茎凸基	33	16.3	5.5	2.7	緑色細粒凝灰岩	
36	13	9住	覆土	石鏃	有茎凸基	43	12.7	5.4	3.0	珩質頁岩	
36	14	9住	覆土	石槍		38.2	34	15.8	26.8	珩質頁岩	
36	15	9住	覆土	スクレイパー類	両面一側縁調整	52.3	56.2	20.7	41.9	珩質頁岩	
37	16	9住	覆土	石篋	撥形	77.7	38	10.4	29.5	珩質頁岩	ほぼ直刃
37	17	9住	覆土	敲石		104	100	43	590.7	安山岩	
37	18	9住	覆土	磨石		113	63	52	501.3	安山岩	
37	19	9住	覆土	磨石		132	82	42	504.9	安山岩	
40	6	10住	覆土上位	石鏃		30.9	24.2	9.1	4.9	珩質頁岩	石鏃の転用か
40	7	10住	1	石篋		39	27.6	10.9	7.8	珩質頁岩	
41	8	10住	覆土	磨製石斧		65	34.5	13	46.1	粘板岩	被熱
41	9	10住	覆土上位	敲石		119	45	36	208.8	安山岩	
41	10	10住	覆土上位	磨石		114	61	59	493.8	安山岩	
41	11	10住	3	半円状扁平打製石器		137	70	22	317.5	安山岩	
41	12	10住	覆土	半円状扁平打製石器		172	72	31	505.8	安山岩	
41	13	10住	覆土	半円状扁平打製石器		155	79	28	453.6	安山岩	
41	14	10住	覆土上位	石鏃		94	78	37	279.5	凝灰岩	
41	15	10住	2	砥石		64	58	32	68.5	細粒凝灰岩	
47	12	11住	覆土	石鏃	無茎尖基	45.9	16.9	10.7	8.0	珩質頁岩	器厚、粗い急角度調整
47	13	11住	覆土	石鏃	有茎凸基	46.9	13.2	6.2	3.6	珩質頁岩	

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
47	14	11住	4	石匙	縦形石匙	43.8	20.4	5	4.6	珪質頁岩	
47	15	11住	1	石匙	縦形石匙	61.8	20.4	5.3	7.3	珪質頁岩	松原形
47	16	11住	覆土	スクレイパー類	腹面一側縁調整	36.6	40.1	8.4	10.5	珪質頁岩	
47	17	11住	床面直上	石核		29.1	42.3	38.4	52.5	珪質頁岩	
47	18	11住	覆土	磨製石斧		152	56	31.5	381.7	閃緑岩	
47	19	11住	4	磨製石斧		95	52	37	290.0	閃緑岩	
47	20	11住	覆土	磨製石斧		68	35	179.8	179.8	閃緑岩	
47	21	11住	7	敲石		92	60	52.5	348.8	安山岩	
47	22	11住	7	凹石		74	54	55	266.9	安山岩	
47	23	11住	7	凹石		65	43	37	139.1	安山岩	
47	24	11住 ピ4	床面	凹石		124	100	56	645.0	安山岩	
48	25	11住	覆土	磨石		94	85	58	633.2	安山岩	
48	26	11住	覆土	半円状扁平打製石器		108	43	22	127.4	安山岩	
48	27	11住	7	磨石		129	83	36	600.1	安山岩	
48	28	11住	床面直上	半円状扁平打製石器		149	69	29	400.2	安山岩	
48	29	11住	覆土	半円状扁平打製石器		180	79	38	576.7	凝灰岩	
49	5	12住	覆土	磨製石斧		90	53	38	274.6	花崗閃緑岩	
49	6	12住	覆土	磨製石斧		74	24	13	33.2	緑色岩	
49	7	12住	覆土	磨製石斧		58	43	12	47.1	粘板岩	定角式基部破片
49	8	12住	床面	砥石		141	73	46	522.4	中粒砂岩	
51	3	14住	トレンチャー	石鏃	有茎平基	38.4	16.9	7.6	4.5	珪質頁岩	
60	28	15住	ビット内	石鏃	有茎凸基	52.8	15.8	4.9	3.6	珪質頁岩	
60	29	15住	2	石鏃	短冊形	78.5	41.5	21.1	68.0	珪質頁岩	円刃
60	30	15住 ピ1	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整	52	28.5	6.2	9.6	玉髄	
60	31	15住	床面	敲石		121	73	42	298.6	凝灰岩	
60	32	15住	床面	敲石		85	64	44	317.6	頁岩	
60	33	15住	覆土	挟入扁平磨製石器		89	73.5	28	262.4	凝灰岩	
60	34	15住 ピ4b	覆土	台石		176	154	93	2809.4	凝灰岩	
65	17	16住	2	石鏃	無茎平基	23	17.1	4.5	1.6	珪質頁岩	
65	18	16住	4	石鏃	無茎平基	40.5	18.1	5.2	3.7	珪質頁岩	基部再調整
65	19	16住	2	石鏃	無茎尖基	58.9	11.6	3.5	2.3	珪質頁岩	柳葉形(細身)
65	20	16住	2b	石鏃	無茎尖基	49.2	18.1	5.3	4.2	珪質頁岩	流線形
65	21	16住	1	石鏃	無茎尖基	29.4	14.1	2.9	1.2	珪質頁岩	
65	22	16住	2b	石鏃	有茎平基	34.2	16.1	4.8	2.2	珪質頁岩	
65	23	16住	2a	スクレイパー類	背面一側縁調整	54.7	28.6	11.1	15.7	珪質頁岩	
65	24	16住	2b	スクレイパー類	両面周縁調整	62	41.4	12.1	26.7	珪質頁岩	小葉形石槍か
65	25	16住	覆土	スクレイパー類	両面一側縁調整(交互)	43.8	33.7	13.6	14.5	珪質頁岩	
65	26	16住	2上位	スクレイパー類	両面一側縁調整(背面主体)	26.9	25.2	6.0	4.5	珪質頁岩	
65	27	16住	2c	凹石		96	75	44	366.9	安山岩	
65	28	16住	覆土	磨石		123	61	25	277.7	凝灰岩	
65	29	16住	床面直上	凹石		83	63	49	245.1	安山岩	
65	30	16住	床面	敲石		99	69	63	601.3	凝灰岩	
65	31	16住	2c	半円状扁平打製石器		106	44	23	126.0	デイサイト	
65	32	16住	2b	半円状扁平打製石器		122	64	26	322.2	安山岩	
65	33	16住	覆土	半円状扁平打製石器		100	67	23	238.4	凝灰岩	
66	34	16住	覆土	砥石		59	55	12	61.6	細粒砂岩	
66	35	16住	覆土	台石		118	99	112	1333.7	凝灰岩	砥石か
69	6	20住	覆土	石鏃	有茎凸基	30.3	13.9	8.6	2.9	珪質頁岩	器厚
69	7	20住	覆土	磨製石斧		101	52	30	274.7	閃緑岩	
69	8	20住	覆土	台石		185	157	75	3311.2	安山岩	
69	9	30住 ピ1	覆土	半円状扁平打製石器		126	69	33	347.3	安山岩	
80	85	21住	2下位	石鏃	無茎凹基	37.6	18.4	5.5	3.1	珪質頁岩	
80	86	21住	覆土	石鏃	無茎凹基	36.0	19.7	5.4	2.3	珪質頁岩	
80	87	21住	2	石鏃	無茎凹基	19.8	13.2	3.8	1.0	珪質頁岩	
80	88	21住	1	石鏃	無茎平基	21.7	11.9	3.6	1.0	玉髄	
80	89	21住	1	石鏃	無茎平基	26.7	16.5	5.6	2.4	珪質頁岩	
80	90	21住	2	石鏃	無茎平基	38.5	26.9	6.7	5.3	珪質頁岩	小形石槍か
80	91	21住	2下位	石鏃	無茎尖基	34.4	14.3	5	2.3	珪質頁岩	
80	92	21住	1	石鏃	無茎尖基	34.4	11.8	3.6	1.5	珪質頁岩	
80	93	21住	覆土	石鏃	無茎尖基	32.1	14.8	5.0	1.7	珪質頁岩	
80	94	21住	トレンチャー	石鏃	有茎凸基	50.7	13.8	5.2	3.1	珪質頁岩	再調整品か、基部異形
80	95	21住	覆土	石鏃	有茎凸基	28.6	13.7	4.3	1.5	玉髄	
80	96	21住	1	石鏃	有茎凸基	37	15.1	4.3	2.2	珪質頁岩	
80	97	21住	2	石鏃	有茎凸基	47.8	15.1	7.7	4.2	珪質頁岩	基部にアスファルト付着か
80	98	21住	2	石鏃	有茎凸基	48.9	19.6	6.8	4.8	珪質頁岩	
80	99	21住	2	石鏃	有茎凸基	52	13.6	6.2	3.8	珪質頁岩	
80	100	21住	2下位	石鏃	有茎平基	63.9	17.1	6.8	5.8	珪質頁岩	
80	101	21住	覆土	石鏃	有茎平基	44.7	17.4	5.1	2.9	珪質頁岩	
80	102	21住	1	石槍		58.9	26.7	8.9	11.3	珪質頁岩	小型石槍
80	103	21住	トレンチャー	石槍		53.1	23.1	8.2	9.6	珪質頁岩	小型石槍
80	104	21住	1	石槍		100.7	22.6	9.7	20.3	珪質頁岩	
80	105	21住	2	石匙	縦形石匙	87.5	24.5	11.7	24.3	珪質頁岩	
80	106	21住	1	石匙	斜軸形石匙	76.5	37.5	8.8	20.0	珪質頁岩	
80	107	21住	2	石匙	縦形石匙	54.2	29.1	10.9	23.4	珪質頁岩	
80	108	21住	2下位	石匙	縦形石匙	61.8	36.1	8.6	13.9	珪質頁岩	
80	109	21住	トレンチャー	石匙	縦形石匙	80.1	31.2	10.6	25.8	珪質頁岩	腹面側縁に光沢有り
81	110	21住	1	石匙	縦形石匙	50.4	26.1	8.1	8.0	珪質頁岩	
81	111	21住	2	石匙	斜軸形石匙	25.7	52.4	10.3	13.3	珪質頁岩	
81	112	21住	1	石匙	横形石匙	30.1	41.8	9.7	8.8	珪質頁岩	

東道ノ上(3)遺跡Ⅲ

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
81	113	21住	4	石匙	横形石匙	44.8	47.8	10.6	17.0	珪質頁岩	
81	114	21住	覆土	石篋	棒状(柳葉形)	65.2	17.2	10.7	13.4	珪質頁岩	スクレイパー類の可能性有り
81	115	21住	1	石錐		41.8	16.2	8.3	4.6	珪質頁岩	
81	116	21住	2下位	石錐		27.7	9.2	5	1.7	玉髓質珪質頁岩	
81	117	21住	1	石錐		26.3	16.3	8.7	2.7	頁岩	
81	118	21住	トレンチャー	石錐		48.1	24.1	7.5	8.3	珪質頁岩	
81	119	21住	1	楔形石器		29.7	29.5	12.3	13.5	珪質頁岩	
81	120	21住	カクラン	楔形石器		34.6	42.9	13.1	17.7	珪質頁岩	
81	121	21住	カクラン	スクレイパー類	背面一側縁調整 腹面両側縁調整	39.8	26.4	6.8	7.1	珪質頁岩	
81	122	21住	1	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	66.8	41.4	15.3	45.7	珪質頁岩	
81	123	21住	カクラン	スクレイパー類	両面周縁調整	42.6	53.3	13.4	35.0	珪質頁岩	
81	124	21住	カクラン	スクレイパー類	両面一側縁調整(錯交)	39.2	21.0	9.3	6.7	珪質頁岩	
81	125	21住	1	スクレイパー類	背面両側縁調整	37.7	30.3	13.3	14.6	珪質頁岩	
81	126	21住	2	スクレイパー類	背面一側縁調整	79.0	60.0	20.8	82.4	珪質頁岩	
81	127	21住	1	スクレイパー類	背面周縁調整	35.1	27.8	9.4	11.1	珪質頁岩	ラウンドスクレイパー
81	128	21住	2	スクレイパー類	背面両側縁調整	22.6	26.0	4.4	2.1	珪質頁岩	
82	129	21住	1	スクレイパー類	腹面一側縁調整	42.8	18.4	6.5	5.6	珪質頁岩	
82	130	21住	2	スクレイパー類	背面一側縁調整(遠端部)	28.6	17.1	7.8	3.7	玉髓質珪質頁岩	
82	131	21住	1	石核		50.4	61.8	42.7	139.8	珪質頁岩	一部原礫面残
82	132	21住	I	打製石斧		74	57	16	70.3	粘板岩	接合
82	133	21住	覆土	磨製石斧		81	46	16	112.0	緑色岩	被熱
82	134	21住	覆土	磨製石斧		81	33	27	72.3	緑色岩	被熱破砕
82	135	21住	1	磨製石斧		107	54	33	307.2	緑色岩	
82	136	21住	3・4	敲石		73	56	62	294.8	チャート	
82	137	21住	2	敲石		104	79	54	575.3	チャート	
82	138	21住	床面直上	敲石		99	51	35	275.3	チャート	
82	139	21住	1	敲石		120	48	34	329.4	流紋岩	
82	140	21住	2	敲石		96	84.5	29	325.2	チャート	
83	141	21住	覆土	敲石		66	40	22	67.0	凝灰岩	
83	142	21住	2下位	敲石		130	69	39	355.0	凝灰岩	
83	143	21住	1	凹石		123	62	39	372.5	安山岩	
83	144	21住	2下位	凹石		68	57.5	28.5	181.5	凝灰岩	
83	145	21住	2下位	凹石		107	77	60.5	533.2	安山岩	
83	146	21住	2下位	凹石		96	78	55	387.3	安山岩	
83	147	21住	2下位	凹石		74	50	32	151.9	凝灰岩	
83	148	21住	1	凹石		101	63	44	340.8	安山岩	
83	149	21住	4	凹石		114	64	38	322.5	安山岩	
83	150	21住	床面直上	磨石		106	59	53	482.4	チャート	使用痕顕著
83	151	21住		磨石		100	80	48	575.8	安山岩	
84	152	21住	2	磨石		123	69	44	577.8	花崗閃緑岩	
84	153	21住	2	磨石		118	80	51	640.5	花崗閃緑岩	
84	154	21住	2 トレンチャー	半円状扁平打製石器		158	74	35	480.5	安山岩	
84	155	21住	床面直上	半円状扁平打製石器		118	91	35	556.7	凝灰岩	
84	156	21住	2下位	半円状扁平打製石器		180	70	18	304.7	凝灰岩	
84	157	21住	2	擦り切り具		110	98	2	81.0	安山岩	未製品か
84	158	21住	床面	挟入扁平磨製石器		110	67	20	194.2	凝灰岩	
84	159	21住	2	礫器		84	62	14	87.6	頁岩	
85	160	21住		台石		103	92	68	944.9	安山岩	
85	161	21住	カクラン	柱状節理		343	50	47	956.2	流紋岩	
98	28	22住	2	石鏃	有茎凸基	44	13.7	7.3	3.3	珪質頁岩	
98	29	22住	覆土	石鏃	有茎平基	37.8	19.0	6.7	3.5	玉髓	
98	30	22住	2	石錐		49.0	35.3	12.3	13.3	珪質頁岩	スクレイパーの可能性有り
98	31	22住	2	石錐		21.3	10.7	7.6	1.5	玉髓	
98	32	22住	2	石匙	横形か斜軸形	29.5	44.2	9.2	11.5	珪質頁岩	
98	33	22住	2	石匙	横形石匙	46.1	50.2	7	15.3	珪質頁岩	腹面縁辺に刃部調整、光沢
99	34	22住	覆土	楔形石器		30.4	36.0	8.3	8.4	珪質頁岩	
99	35	22住	2	スクレイパー類	背面両側縁調整	48.9	23.4	5.7	6.6	珪質頁岩	
99	36	22住	2	磨製石斧		62	46	14	78.7	粘板岩	
99	37	22住	1	磨製石斧		76	52	32	198.7	凝灰岩	
99	38	22住		敲石		104	59.5	32	273.0	チャート	
99	39	22住	2	敲石		97	70	35	341.2	チャート	
99	40	22住	2	敲石		179	57	50	795.3	流紋岩	
99	41	22住	床面	凹石		70	69	53	250.5	安山岩	
99	42	22住	床面	半円状扁平打製石器		89	88	27	324.5	安山岩	
99	43	22住	床面	半円状扁平打製石器		104	80	33	322.3	安山岩	
99	44	22住	2	半円状扁平打製石器		122	76	46	444.9	凝灰岩	
99	45	22住	1	礫器		87	59	24	139.5	頁岩	
100	46	22住	覆土	砥石		71	71	13	54.4	細粒砂岩	
104	42	23住	1	石鏃	無茎平基	43.1	15.6	5	3.4	珪質頁岩	
104	43	23住	1	石鏃	無茎尖基	37	16.1	3.9	2.3	珪質頁岩	
104	44	23住	2	石鏃	有茎凸基	38.2	17.2	3.9	1.9	珪質頁岩	
104	45	23住	2	石鏃	有茎凸基	44.8	17.1	5.6	3.2	玉髓	
104	46	23住	2	石槍		38.2	24.7	11.0	8.6	珪質頁岩	つまみ付
104	47	23住	2	石匙	縦形石匙	56.8	21.6	10.7	13.9	珪質頁岩	
104	48	23住	2	石匙	横形石匙	46.1	60.1	17.2	30.8	珪質頁岩	
104	49	23住	2	石篋	短冊形	79.3	37	13.7	44.8	珪質頁岩	ラウンドスクレイパー
104	50	23住	床面直上	スクレイパー類	背面両側縁調整	42.2	29.7	11.3	12.2	珪質頁岩	
104	51	23住	1	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	60.5	37.7	11.4	20.5	頁岩	背面は急角度調整

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
105	52	23住 ピ4	覆土	スクレイパー類	背面周縁調整	28.1	57.0	13.5	21.1	珪質頁岩	
105	53	23住	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整(遠端部)	27.5	58.5	9.7	12.0	珪質頁岩	石匙の可能性有り
105	54	23住	2	スクレイパー類	背面両側縁調整	34.6	44.6	10.2	15.6	珪質頁岩	裏面に光沢
105	55	23住	2	スクレイパー類	腹面周縁調整	65	43.9	15.3	44.5	珪質頁岩	
105	56	23住	2	スクレイパー類	背面一側縁調整	80.9	23	9.3	11.9	珪質頁岩	スポールの可能性有り
105	57	23住	1	スポール		13.9	70.2	18.1	14.5	珪質頁岩	細石刃石核関連資料、図8-b
105	58	23住	3	磨製石斧		134	53	17	202.2	粘板岩	
105	59	23住	3	磨製石斧	擦切石斧	78	51	28	155.5	緑色岩	
105	60	23住	2	磨製石斧	小型石鑿	62	15.5	8	16.3	凝灰岩	
105	61	23住 ピ6	覆土	敲石		71	46	46	157.9	チャート	
105	62	23住	床面直上	敲石		81	60	48	287.5	チャート	
105	63	23住	1	敲石		115	81	49	546.6	安山岩	
105	64	23住	床面	磨石		137	63	39	449.5	安山岩	
106	65	23住		凹石		117	86	49	528.1	安山岩	
106	66	23住	床面	凹石		85	70	40	259.9	安山岩	
106	67	23住	2	台石		109	78	48	618.6	安山岩	
108	4	24住	床直	半円状扁平打製石器		107	80	32	399.1	安山岩	
108	5	24住	2	磨石		92	90	39	502.1	安山岩	
110	12	25住	覆土	スクレイパー類	背面両側縁調整	34.0	26.5	7.8	5.5	珪質頁岩	
110	13	25住	1	半円状扁平打製石器		119	79	17	275.2	安山岩	
112	3	26住	覆土	石鏃	無茎平基	26.4	18.6	4.4	2.0	珪質頁岩	
112	4	26住	覆土	スクレイパー類	両面両側縁調整	36.5	22.7	7.7	5.8	珪質頁岩	未製品か
112	5	26住	覆土	楔形石器		25.5	32.3	9.4	8.6	珪質頁岩	
112	6	26住	覆土	敲石		107	72	18	212.1	凝灰岩	
116	7	28住 ピ6	上部	石鏃	有茎凸(平)基	30.1	13.4	5.2	1.5	玉髓	
116	8	28住	1	石匙	縦形石匙	54.9	27	7	11.4	珪質頁岩	松原形
116	9	28住	覆土	凹石		92	67	41	333.0	安山岩	
116	10	28住	床面	磨石		89	75	33	311.4	閃緑岩	
116	14	28・29住	覆土	刮片		35.9	28.9	15.3	9.3	珪質頁岩	細石刃石核関連資料、図8-c
116	15	29住	覆土	磨石		62	54	20	119.8	安山岩	
118	1	32住	覆土	石鏃	有茎凸基?平基	34.7	14.5	6.8	2.5	珪質頁岩	アスファルト付着
120	1	34住	床面	石鏃	有茎凸基	32.2	17.5	6.5	3.0	玉髓	
123	9	35住	覆土	石鏃	無茎尖基(平基)	31.6	16.6	5.5	2.7	珪質頁岩	無茎尖基を再調整
123	10	35住	覆土	石鏃	無茎尖基	40.9	14.9	5.0	2.8	珪質頁岩	
123	11	35住	1	石鏃	有茎凸基	33.2	14.4	4.5	1.5	珪質頁岩	
123	12	35住	覆土	石匙	縦形石匙	71.9	31.9	12.3	14.9	珪質頁岩	
123	13	35住	1	石匙	横形石匙	29.3	57.5	9.7	10.3	珪質頁岩	腹面一部に光沢有り
123	14	35住	覆土	石匙	横形石匙	44.3	50.1	10.5	18.6	珪質頁岩	腹面一部に光沢有り
123	15	35住	1	石匙	斜軸形石匙	43.7	56.0	10.2	20.5	珪質頁岩	
123	16	35住	覆土	スクレイパー類	片面両側縁調整(錯交)	16.2	23.2	5.4	2.2	珪質頁岩	
123	17	35住	1	スクレイパー類	両面周縁調整	36.6	33.2	12.0	13.7	珪質頁岩	
123	18	35住	1	スクレイパー類	背面両側縁調整	50.3	33.6	14.7	20.7	珪質頁岩	
123	19	35住	1	スクレイパー類	両面両側縁調整	51.1	57.8	18.7	59.8	珪質頁岩	
123	20	35住	覆土	スクレイパー類	背面周縁調整	78.4	35.6	13.7	40.9	珪質頁岩	
123	21	35住	1	半円状扁平打製石器		140	60	225	250.1	凝灰岩	
123	22	35住	覆土	磨石		66	57	53	169.5	安山岩	
127	10	37住	1	石匙	横形石匙	34.5	32.2	8.6	8.8	珪質頁岩	
127	11	37住	4	石匙	縦形石匙	48.6	36.4	7.1	10.4	珪質頁岩	異形か
127	12	37住	覆土	スクレイパー類	背面両側縁調整	57.0	28.0	18.7	23.7	珪質頁岩	
127	13	37住	1	磨製石斧		94	52	30	219.4	安山岩	
127	14	37住	覆土	凹石		94	60	43	281.0	安山岩	
135	12	40住	覆土	石鏃か		30.8	15.3	6.2	2.4	珪質頁岩	スクレイパーの可能性有り
135	13	40住	貼床	石鏃	有茎凸基	32.3	14.6	5.2	2.1	珪質頁岩	
135	14	40住	覆土	石鏃	無茎尖基	37.2	14.8	10.6	5.3	珪質頁岩	
135	15	40住	覆土	石核		45.6	46.1	46.7	101.0	珪質頁岩	
135	16	40住	確認面	磨製石斧		81	50	38	239.5	花崗閃緑岩	
135	17	40住	覆土	磨製石斧		77	51	34	172.9	花崗閃緑岩	
135	18	40住 ピ7	確認面	半円状扁平打製石器		139	80	35	586.2	安山岩	
135	19	40住	床面	台石		162	156	40	1495.1	安山岩	
135	20	40住	床面	台石		179	139	86	3399.5	安山岩	
139	10	41住	5	石鏃	有茎凸基	39.6	15.0	8.1	3.9	玉髓質珪質頁岩	
139	11	41住	覆土	石鏃	有茎凸基	36.2	15.7	6.0	2.8	珪質頁岩	
139	12	41住	覆土	石鏃	無茎平基か	25.3	9.5	3.7	1.0	珪質頁岩	
139	13	41住	5	石鏃か		61.8	25.9	10.6	13.8	珪質頁岩	
139	14	41住	覆土	スクレイパー類	両面両側縁調整	37.3	20.7	9.2	7.3	珪質頁岩	石鏃の可能性有り
139	15	41住	床面直上	磨製石斧		116	50	19	174.5	花崗閃緑岩	
139	16	41住	床面直上	敲石		80	58	44	266.8	チャート	
139	17	41住 ピ1	覆土	凹石		95	84	57	413.8	安山岩	
139	18	41住	覆土	半円状扁平打製石器		110	60	26	234.5	安山岩	
139	19	41住	床面直上	半円状扁平打製石器		136	79	28	368.4	安山岩	
140	2	42住 ピ4	覆土	スクレイパー類		47.0	25.0	7.4	6.7	珪質頁岩	
140	3	42住	床面直上	台石		160	95	36	851.0	安山岩	
147	4	48住	覆土	台石		120	113	74	1183.0	凝灰岩	

竪穴住居跡出土ミニチュア土器観察表

図	番号	遺構名	器種	口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	重さ (g)	外面文様			備考
								口縁部	胴部上半	胴部下半	
27	59	7住	脚付		23	(28)	14.8			無文	
27	60	7住	脚付		42	(36)	34.1			無文	
27	61	7住	脚付か			(41)	15.5			単絡1A(L・R)	
27	62	7住	脚付	53	30	51	53.4	無文	無文	無文	
27	63	7住	脚付		[44]	(55)	33.2			無文	
27	64	7住	脚付		48	(61)	66.3		RL斜	RL斜	
27	65	7住	脚付			(64)	84.9			結束1(RL,LR)	
27	66	7住	脚付	100	60	89	143.4	単絡1(R)	単絡1(R)	単絡1(R)	
37	20	9住	脚付			(42)	32.5			沈線	
37	21	9住	深鉢		43	(66)	67.3		RLR	RLR	内面に炭化物付着
37	22	9住 壁溝	深鉢		40	(80)	82.7		RL	RL	
60	35	15住	鉢		長軸(20) 短軸(28)	32	21	無文	無文	無文	
60	36	15住	深鉢			(45)	9.1	LRか	LRか	LRか	
60	37	15住	深鉢			(33)	8.7	LRか			
60	38	15住	深鉢			(43)	15.2		LRL	LRL	
66	36	16住	鉢			29	8.4	単絡1(R)	単絡1(R)	単絡1(R)	
66	37	16住	鉢			(27)	6.6		LR押		
66	38	16住	脚付		[54]	(32)	51.7			単絡1A(L)	
66	39	16住	脚付			(54)	26		RL	RL	
66	40	16住	脚付	40	30	61	57.9	無文	無文	無文	成形時の調整痕が明瞭に残る
85	162	21住	深鉢	80	61	100	229.6	LR押	単絡1A(L)	単絡1A(L)	繊維・海綿骨針含
85	163	21住	脚付	-	71	104	301.5	竹管刺突	LR横・斜	LR横・斜	繊維・海綿骨針含
85	164	21住	脚付	100	-	77	223.8	刺突	LR横	LR横	繊維・海綿骨針含
85	165	21住	脚付	[110]	59	[58]	99.8	口唇:刺突	無文	無文	
85	166	21住	深鉢			(84)	57.8	RL	結回(縦)		
85	167	21住	深鉢			(42)	19.3	単絡5(L)押	単絡6(L)	単絡6(L)	
85	168	21住	深鉢か			(28)	6.2	口唇部:刻み	沈線		
85	169	21住	深鉢か			(28)	4.2	無文	無文		
85	170	21住	深鉢か			(23)	2.7	無文	無文		
85	171	21住	深鉢			(43)	10.4		沈線		
86	172	21住	深鉢		38	(35)	20.5			沈線	
86	173	21住	脚付		30	(28)	19.2			沈線	
86	174	21住	脚付		[40]	(32)	55.1			単絡(R)	
86	175	21住	鉢か		[39]	(11)	5.6			刺突	
100	47	22住	深鉢か			(26)	8.7	無文	無文		
100	48	22住	脚付	88	33	58	119.6	無文	無文	無文	
106	68	23住	脚付	[50]	[32]	61	33	無文	無文	無文	
106	69	23住	深鉢			(47)	32.7		L押	L押	
106	70	23住	深鉢			(36.5)	7.3	無文	無文		
106	71	22・23住	深鉢			(42)	17.2	無文	無文		
106	72	23住	深鉢		[34]	(29)	12.9			沈線	
127	15	37住	深鉢か			(41)	20.7			沈線、結回(R)	

竪穴住居跡出土土製品観察表

図	番号	遺構名	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文 様		種 類	備 考
								表面	裏面		
12	10	2住	覆土	38	37	16	12.1	LR押, 刺突	LR押, 刺突	土偶 (腕部)	
27	67	7住	覆土上位	28.5	27	12	9.9	無文		土器片利用円盤	
27	68	7住		44	39	7	10.8	無文	無文 (剥落あり)	有孔土製品 (土製垂飾)	
27	69	7住	覆土上位	52	36	30	26.8	無文	無文	鐸形土製品	調整時の指頭圧痕? 有り
37	23	9住	覆土	41	38	8	14.1	沈線		土器片利用土製品	
41	16	10住	3	72	59	9	42.1	単絡1(L)		土器片利用土製品	
66	41	16住	2b	43	42.5	12	22.3	単絡1(R)		土器片利用円盤	
66	42	16住	2a	54	51	12	24.7	単絡1(R)		土器片利用土製品	
86	176	21住	1	24	22	10	4.6	単絡1(R)		土器片利用円盤	
86	177	21住	2下位	37	33	10	11.4	単絡1A(Lか・R)		土器片利用円盤	
86	178	21住		49	46	11	22.8	結回R		土器片利用円盤	
86	179	21住	2	(31)	(24)	15	8.8	RLか		土器片利用円盤か	
86	180	21住	2下位	51	48	12	31.5	単絡1A(R・L)		土器片利用円盤	
86	181	21住	2	34	31	12	13.8	結回L		土器片利用円盤	
86	182	21住	2	31.5	31	10	11.6	単絡1か		土器片利用円盤	
86	183	21住	2下位	30	29	9	7.5	結束1か		土器片利用円盤	
86	184	21住	2下位	33	27	10	9.0	単絡1A(R・L)		土器片利用円盤	盲孔有り
86	185	21住		34	32	8	7.5	多軸(L)		土器片利用円盤	
86	186	21住	1	27	24	13	8.4	単絡1A(R)		土器片利用円盤	
86	187	21住	2	32	32	11	9.2	単絡1(R)		土器片利用円盤	
86	188	21住	2	40	35	10.5	13.4	単絡1(R)		土器片利用円盤	
86	189	21住	2下位	(61)	(46)	11	24.6	結回Rか		土器片利用円盤	
86	190	21住	2	61	49	12	30.7	結束1(LR・RL)		土器片利用土製品	
86	191	21住	1	(44)	16	9	6.8	L押		環状土製品	
86	192	21住	1	(28)	16	14	5.8	無文		不明土製品	
86	193	21住	2	54	49	7	20.8	無文	無文	円盤状土製品か	調整時の指ナデが顕著に残る
86	194	21住	2	54	26	20	13.3	無文	無文	不明土製品	
100	49	22住	2	(40)	(26)	10	8.9	結束1(LR・RL)		土器片利用円盤	
100	50	22住	覆土	54	40	12	28.1	結束1(LR・RL)か		土器片利用土製品	
100	51	22住	覆土	(49)	(21)	14	12.5	結回(L)		土器片利用土製品	
100	52	22住	2	34	33	11	9.8	RLか		土器片利用土製品	
100	53	22住	2・4	58	33	14	27.4	RL		土器片利用土製品	斧状土製品の可能性有り

竪穴住居跡出土石製品観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分 類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	備 考
27	70	7住	覆土	石製品	軽石製品	58	29	26	14.4	軽石	
48	30	11住	床面直上	石製品	軽石製品	45	44	27	10.2	軽石	
60	39	15住	覆土	石製品	軽石製品	53	50	28	21.6	軽石	軽石製垂飾品
60	40	15住 ピット1	覆土	石製品	軽石製品	36	54	40	17.9	軽石	
86	195	21住	覆土	石製品	有孔石製品(垂飾)	65	43	16	39.3	流紋岩	勾玉様
87	196	21住	覆土	石製品	軽石製品	69	54	39	35.9	軽石	
87	197	21住	覆土	石製品	軽石製品	100	71	46	128.6	軽石	
87	198	21住	覆土	石棒		(148)	(92)	77	1081.6	凝灰岩	
100	54	22住	覆土	石製品	軽石製品	46	27	17	4.4	軽石	軽石製垂飾品、勾玉様
106	73	23住	1	石棒		(374)	133	75	5740.0	安山岩	
123	23	35住	覆土	石棒		(62)	(48)	56	193.1	凝灰岩	
147	5	48住	1	石棒		(182)	(106)	79	1984.6	凝灰岩	

土坑出土土器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
199	2	14土	覆土	鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁～胴部:結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	15	7.7	19.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
199	3	14土	覆土	鉢	口縁	波状口縁、沈線、ミガキ	ミガキ	—	—	(4.4)	十腰内I	後期前葉	
199	4	14土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	折返、沈線、ミガキ	ミガキ	—	—	(7.9)	十腰内I	後期前葉	
199	5	14土	覆土	深鉢	口縁～胴部	沈線、ミガキ	ミガキ	[20]	—	(10.9)	十腰内I	後期前葉	
199	8	19土	底面	深鉢	口縁～胴部上	隆帯(竹管刺突)、口縁部:RL・LR押、胴部:結束2(LR・RL)横	ミガキ	—	—	(11.4)	円筒下層d1	前期末	図199-9同一か繊維・海綿骨針含
199	9	19土	底面覆土	深鉢	胴～底部	結束2(LR・RL)横、底部付近ナデ	ミガキ	—	—	(31.6)	円筒下層d1	前期末	図199-8同一か繊維・海綿骨針含
200	13	20土	覆土	深鉢	口縁～胴部	口唇:RL横、口縁部:単絡5(R)押、LR押、胴部:単絡1A(L)	ミガキ	[21.2]	—	(25.1)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
201	16	23土	1	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口唇:RL横、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、結束1(LR・RL)横	ミガキ	23.5	12	36.2	円筒下層c～d1	前期後葉～末	繊維含、内面胴部に種実状の圧痕、胴外下・胴内上炭化物少量付着
201	17	23土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:RL横、口縁部:L・R押、刺突、胴部:多絡(L・R)、底面:ナデ	ミガキ	25.8	15.8	29.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
201	21	25土	覆土	深鉢	口縁(欠)～底部	折返か、口縁部・胴部:RL横・斜	ミガキ	—	7.2	(17.3)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
202	25	26土	底面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	16.1	11.1	31	円筒下層c	前期後葉	繊維含、外面炭化物付着・胴内下炭化物少量付着
202	26	26土	底面	深鉢	胴～底部	結束1(LR・RL)、底面ナデ	ナデ	—	9.2	(15.9)	円筒下層c	前期後葉	
202	27	26土	底面	深鉢	口縁～胴部	波状口縁か、口縁部:LR押、胴部:LR横・斜	ナデ	—	—	(18.4)	円筒下層c	前期後葉	繊維含
202	28	26土	底面	鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:LR押か、口縁部:LR横、LR押、胴部:単絡1(R)縦(底部付近一部横)、底面:ミガキ	ミガキ	15.9	8.4	20	円筒下層c	前期後葉	繊維含、胴内下炭化物少量付着、補修孔2ヶ所(片方は未貫通)
202	29	26土	5	深鉢	口縁(欠)～胴部	口縁部:LR押、胴部:結束1(RL・LR)	ナデ	—	—	(20.5)	円筒下層c	前期後葉	繊維含
203	30	26土	覆土	深鉢	口縁	LR横・斜	不明(摩滅)	—	—	(8)	円筒下層d～上層aか	前期末～中期前葉か	図203-31同一か繊維・海綿骨針含
203	31	26土	覆土	深鉢	胴～底部	LR横・斜	ミガキ(摩滅)	—	7.6	(14.8)	円筒下層d～上層aか	前期末～中期前葉か	図203-30同一か繊維・海綿骨針含
203	32	26土	覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部:結束1(LR・RL)横、胴部:LR横・斜、RL横	ナデ	[20]	10.4	23	円筒下層cか	前期後葉か	繊維多量含
203	34	27土	底面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口唇:RL横、口縁部:L・R押、LR押、竹管刺突、胴部:単絡1(L)、底面:ミガキ	ミガキ	16.6	10.3	26.7	円筒下層d1	前期末	繊維含
203	35	27土	覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)、単絡1(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	[16.4]	[12.1]	22.8	円筒下層d1	前期末	繊維含
203	36	27土	覆土	深鉢	口縁	口縁部:L・R押、沈線(鋸歯状)、頸部:RL斜、沈線(鋸歯状)	ミガキ	—	—	(3.4)	大木6式系	前期末	
203	38	28土	底面	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁:R押、LR押(一部)、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	27.7	11.8	40.5	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
204	42	31土	覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・L・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	23.2	10.7	25.4	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴外上炭化物少量付着
204	45	32土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:R押、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)横・縦(R)、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	27.4	11.9	35.7	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
205	50	39土	覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(半竹刺突)、口唇部:刻み、口縁部:LR押、結回(LR)横、胴部:単絡1A(R)	ミガキ	—	—	31.4	円筒下層d2	前期末	海綿骨針微量含
205	52	40土	底面覆土	深鉢	頸～底部	LR横～斜回、底面:ミガキ	ミガキ	—	7.5	(16.9)	円筒上層a1	中期初頭	繊維含
205	53	40土	覆土	鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、口縁:LR押、胴部:LR横、底部付近ミガキ、底面:ミガキ	ミガキ	[16.3]	7.8	19.4	円筒上層a1	中期初頭	繊維含、胴外上・胴内下炭化物付着
205	54	40土	覆土	深鉢	口縁～底部	折返、口唇:LR横、口縁～胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	23.8	14.1	31.8	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
205	55	40土	覆土	深鉢	口縁～胴部	口縁部:LR横、ナデによる段差、胴部:LR横・斜	ミガキ	[23.9]	—	(27.7)	円筒上層a1	中期初頭	繊維多量含、胴内下・ごく微量の炭化物付着
206	56	40土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁、橋状把手(LR?押)、貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(RL・LR)	ミガキ	—	—	(19.5)	円筒上層a1	中期初頭	海綿骨針含
206	60	49土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	突起(4単位残)、隆帯・貼付(単絡1(R)押)、口唇:RLR横、口縁部:単絡1(R)押、刺突(一部)、胴部:RLR横、結回(LR)横(一部)	ミガキ	49.2	—	(20)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含、外面風化
207	64	58土	5	深鉢か	口縁～胴部下	波状口縁(4単位)、隆帯(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)縦	ミガキか	15.6	—	(19.7)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
207	65	58土	5	深鉢	口縁～底部	突起(4単位)、隆帯・貼付(R押)、口唇・口縁部:R押、胴部:LR横	ミガキか(摩滅)	18.5	9	23.6	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
207	66	58土	3	鉢	口縁～底部	口唇LR横、口縁～胴部:LR横・斜	ミガキ	15.7	9.6	14.3	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
207	67	58土	6覆土	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁(1単位残、頂部欠損)、隆帯(R押、LR横)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(LR)縦	ミガキ	平縁部35.5	—	(27.2)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含
207	68	58土	3	深鉢	胴～底部	LR横・斜、底部付近ナデ消し、底面ミガキ	ミガキ	—	10.2	(20.8)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維多量含
207	69	58土	5・6	深鉢	口縁～胴部	口唇:LR横(一部ミガキ)、口縁～胴部:LR横、結回(R)横・縦	ミガキ	33	—	(27.4)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、内外面風化
207	70	58土	3覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯(R押)、口縁部:LR・R押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	30.7	15.5	38	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
208	71	58土	2・4	鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位残)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(RL(多条か))+RL(多条か)横、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ	15.1	8.1	18.2	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含、胴外上炭化物・胴内下炭化物少量付着
208	72	58土	3・4覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位、頂部欠)、透孔、隆帯(R押、一部にL押)、貼付、口縁部:R・L押、胴部:LR横・斜、結回(R)横(一部)、底面:ミガキ	ミガキ	波底部18.4	10.5	(25.5)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
208	73	58土	覆土	深鉢	口縁～胴部下	隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横・結回(R)横	ミガキ	24.2	—	(30.1)	円筒上層a	中期中初頭～前葉	繊維・海綿骨針含
208	76	64土	底面覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁・隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横・斜・結回(L)縦	ナデ	[24]	—	(27.8)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含
208	77	66土	7	深鉢	胴部	結束1(LR・RL)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d	前期末	海綿骨針含
209	78	67土	2覆土	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、口縁部:単絡1(R)押、胴部:LR横・縦・結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[21.8]	10	32.5	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
209	80	71土	底面直上6覆土	深鉢	口縁～胴部	口縁:突起(1単位残、L押)、隆帯(L押)、貼付、口唇:LR横、口縁部:LR横・胴部:LR横・縦	ミガキ	[21.5]	—	(19.7)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含
209	81	71土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:LR縦・結回(R)縦	ミガキ(摩滅)	20	9.7	23.7	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含、外面爪痕、外面風化
209	82	71土	覆土	鉢か	口縁～胴部下	突起(2単位残)、LR横・斜	ミガキ(摩滅)	14.1	—	(18.2)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、外面・内面炭化物付着
210	85	72土	底面直上	浅鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、橋状把手(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横・縦・結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	長軸(20.8)短軸16.5	長軸14.5短軸11.8	9.2	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含
210	86	72土	検出面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位・頂部欠)、隆帯(L押)、口唇:RL横、口縁部:L押、胴部:LR横・斜・底面:ミガキ	ミガキ	平線部20.7	9.7	(27.5)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、胴外上炭化物少量付着
210	92	73土	底面覆土	深鉢	胴部～底部	胴部～底部:LR横、L結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	13.6	(31.6)	円筒上層a	中期中初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
210	93	73土	8覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、透孔・隆帯(R押)、口縁部:R・LR押、胴部:結束1(LR・RL)、結回(R)横・底面:ミガキ	ミガキか(摩滅)	[18]	9.2	24.9	円筒上層a	前期末～中期中初頭	繊維含、隆帯上に種実状の圧痕、胴外上・胴内下炭化物少量付着
210	94	73土	覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(L押)、口縁部:L押、胴部:結束1(LR・RL)縦(一部横?)	不明(摩滅)	[15.7]	8.6	21.7	円筒上層a	中期中初頭～前葉	繊維含、胴外上・胴内下炭化物少量付着、外面風化顕著
211	95	73土	8覆土	深鉢	口縁～胴部	波状口縁(4単位)、隆帯・貼付(L押・刺突)、口縁部:L押、刺突、胴部:直前段合線L(RL・L)横・斜・結回(L)横、RL縦(一部)、L押、刺突(一部)	ミガキ	19.7	—	(26.1)	円筒上層a	中期中初頭～前葉	
211	96	73土	覆土	深鉢	胴部	突起(刻み)、半隆起線(半竹押か)横・縦、縦位区画内に格子目状の沈線	—	—	—	朝日下層式系	前期末～中期中初頭	図211-97と同一か	
211	97	73土	覆土	深鉢	胴部	突起(刻み)、半隆起線(半竹押か)横・縦、縦位区画内に縦位の刻み	—	—	—	朝日下層式系	前期末～中期中初頭	図211-96と同一か	
211	98	73土	覆土	深鉢	底部	LR横・斜、底部付近ナデ消し、底面ナデ	ミガキ	—	10.5	(6.7)	円筒下層d～上層a	前期末～中期中初頭	底面穿孔か
211	99	73土	覆土	深鉢	胴～底部	胴部:RRL横、底面ミガキ	ミガキ	—	11.5	(19.7)	円筒下層d～上層a	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
211	102	75土	底面	深鉢	口縁～底部	口縁:R押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	25.1	11	35.5	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含、胴内下炭化物少量付着
212	105	77土	底面直上	深鉢	口縁～底部	結束2(LR・RL)横、胴部下条痕、底面:ミガキ	不明(摩滅)	19.3	9.9	26.5	円筒下層d1	前期末	繊維含
212	106	77土	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR?、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(R)、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	—	9.7	30.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
212	107	77土	覆土	深鉢	口縁～底部	微隆帯(LR押)、口唇:LR横、口縁部:R・LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	[26.7]	15.4	33.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
212	108	77土	覆土	深鉢	口縁～胴部	微隆帯(LR押)、口縁部:R押、結回(L)、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	[26]	—	(17.7)	円筒下層d1	前期末	図212-109同一か、繊維・海綿骨針含
212	109	77土	覆土	深鉢	底部	単絡1A(L・R)	ミガキ	—	15.2	(15.3)	円筒下層d1	前期末	図212-108同一か、繊維・海綿骨針含、胴内下ごく微量の炭化物付着
213	110	79土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、透孔、口唇刻目、口縁部:LR押、刺突、胴部:単絡1A(L・R、R側に繊維束圧痕)、結回(L)縦(L)、底面:ミガキ	ミガキ	[32.3]	15.6	41.3	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
213	111	79土	覆土	台付鉢	胴部下～底部	単絡1(L)か	ミガキ	[8.4]	6	(5.3)	円筒下層dか	前期末か	
213	119	81土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	隆帯(RL押)、口縁部:RL・R押、胴部:結回横・結束1(LR+L・RL)	ミガキ	[32.8]	—	(12)	円筒下層d1	前期末	図213-120同一か、繊維多量含
213	120	81土	覆土	深鉢	胴部下	結束1(LR+L・RL)	—	—	—	(22.8)	円筒下層d1	前期末	図213-119同一か、繊維多量含
214	121	81土	2覆土	深鉢	口縁～胴部下	口縁部・胴部:LR横・斜	不明(摩滅)	[20]	—	(30.3)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期中初頭	外面摩滅、繊維含
214	122	81土	2	深鉢	口縁～胴部	波状口縁、口縁部:LR押、胴部:RL横・斜・結回(L)縦	ミガキ(摩滅)	—	—	(42.8)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
214	124	85土	8	深鉢	口縁～胴部	口縁:LR押、胴部:LR横	ミガキ	17.3	—	(20.4)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
214	125	85土	5	深鉢	口縁～胴部上	隆帯(ナデ顕著)、口縁部:RL押、竹管?刺突、胴部:LR横・結回(R)縦	ミガキ	—	—	(10.7)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	
214	126	85土	5	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁・突起・隆帯(L押)、口縁部:L押、胴部:LR横・結回(R)縦	ミガキ	—	—	(11.1)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	
214	127	85土	5覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部:LR横・L押、胴部:LR縦・横・結回(L)縦	ナデ	[21.9]	[6.5]	23.2	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	
214	128	85土	5	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、口唇:R押、口縁部:R押、胴部:LR横・結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[29.2]	13.1	31.4	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
215	129	85土	覆土	深鉢	口縁(欠)～胴部上	波状口縁・隆帯(L押)、口縁部:L押、竹管刺突、縦位に爪形の刻み、胴部:LR横	ミガキ	—	—	(12.8)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	図215-130同一か
215	130	85土	覆土	深鉢	口縁～胴部	隆帯(L押)、口縁部:L押、竹管刺突、縦位に爪形の刻み、胴部:LR横	ミガキ	—	—	(18.4)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	図215-129同一か
215	132	85土	5覆土	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残、LR横・LR押)、貼付(LR押)、口縁部:LR押、口縁～胴部:LR横	ミガキ	17.7	(8.8)	28	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
215	133	85土	覆土	深鉢	口縁～胴部下	口縁:裏面一部に刺突、口縁～胴部:LR横・斜、胴部下半ナデ	ミガキ	23.3	—	(26.3)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
215	134	86土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:LR押、胴部:LR横・結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	16.4	9.7	21.6	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含
215	135	86土72土	7覆土底面直上	深鉢	口縁～胴部	波状口縁(2単位残)、隆帯・橋状把手(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)横	ミガキ	24.7	—	(29)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含、外面口縁に爪痕、胴外上・胴内下炭化物少量付着
215	136	87土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	口縁部:結束1(RL・LR)LR押、縦位に爪形の刻み、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	—	—	(11.3)	円筒下層c	前期後葉	繊維多量、海綿骨針含

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
216	137	89土	5 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR+R・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	[20.8]	12.1	26.4	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
216	139	90土	覆土	深鉢	口縁～胴部上	波状口縁、突起、隆帯(RL押)、貼付(LR押)、口縁部:LR・R押、胴部:単絡1A(R)	ミガキ	—	—	(11.7)	円筒下層d2	前期末	図216-140同一か
	140	90土	覆土	深鉢	胴部	単絡1A(R)	ミガキ	—	—	(20.4)	円筒下層d2	前期末	図216-139同一か
216	142	91土	6上位	深鉢	口縁～底部	口縁部:LR・RL押、口縁～胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ	13.3	9.4	31.5	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
216	143	91土	6上位	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、LR押・RL押(三角・横位)、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ、ナデ	12.6	[8.6]	32	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含
216	144	91土	6上位	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:R押口縁部:R押・LR押、胴部:結束1(LR・RL)、単絡1A(L・R)	ミガキ	23.7	13.5	32	円筒下層c	前期後葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
217	145	95土	12	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:LR・RL(多条か)横、口縁～胴部:結束1(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	24.3	11.3	29.5	円筒下層c	前期後葉	繊維含、外面・胴内下炭化物少量付着、補修孔2カ所
217	146	95土	12 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(短沈線)、口唇:LR押、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	16.2	7.8	35.8	円筒下層c	前期後葉	繊維含、胴外上炭化物少量付着、胴内下炭化物少量付着
218	158	102土	底面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	口縁～胴部:LR横・斜、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[24.4]	13.2	34.4	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含
218	159	102土	6 覆土	深鉢	口縁～胴部下	突起(3単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R押、押引状突起、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ	21	—	(25.1)	円筒上層a	中期初頭～前葉	
218	160	102土	6 覆土	深鉢	底部	結束1(RL・LR)縦、底部付近ナデ、底面ミガキ	ミガキ	—	9.8	(12.7)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含 海綿骨針微量含
218	161	102土	底面直上 6	深鉢	口縁～底部	波状口縁(頂部欠)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:RL横	ミガキ(摩滅)	—	—	(18.2)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、外面風化
218	162	102土	6 覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(R押)、口縁～胴部:LR横	ミガキ	17.9	—	(13.7)	円筒上層a	中期初頭～前葉	外面炭化物少量付着
218	163	102土	5・6	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(4単位・頂部欠)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR・R押、爪形刺突(横位)、胴部:LR横・斜	ミガキ	平縁部 17.3	—	(21.7)	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含、胴外上炭化物少量付着、外面風化
219	164	102土	5・6	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇LR横、口縁～胴部:LR横	ミガキ	18.4	8.8	22.6	円筒上層a	中期初頭～前葉	繊維含、胴外上炭化物少量付着、外面風化
219	165	102土	5・6	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:R押、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ	[37]	—	(42.3)	円筒上層a2	中期前葉	繊維含
220	169	103土	覆土	深鉢	口縁～胴部	波状口縁か、口縁部:R押、胴部:単絡5(L)	ミガキ	[23]	—	(19)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
220	170	103土	覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:R・LR押、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	[15.9]	9.7	20.2	円筒下層c～d1	前期後葉～末	繊維含
220	171	103土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:LR横、口縁部:単絡6A(R)横、LR押、胴部:単絡1(R)、結回(LR)横、底面:ミガキ	ミガキ	18.8	10.8	34.5	円筒下層c～d1	前期後葉～末	繊維含
220	172	103土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁、口唇部:単絡6A(R)横、LR押、胴部:単絡1(R)、底面:ミガキ	ミガキ	20.5	11.9	37.7	円筒下層c～d1	前期後葉～末	繊維・海綿骨針含、外面胴部に種実状の圧痕
220	173	105土	覆土中位 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(1単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:LR押、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	[18.1]	8.3	19.7	円筒上層a1	中期初頭	繊維含
220	174	105土	覆土上位	鉢	口縁～底部	隆帯(R押、RL横)、隆帯か(LR押)、口唇:R押、LR横、胴部:LR横、結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	—	7	16.1	円筒上層a1	中期初頭	海綿骨針含
221	179	107土	底面直上	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部:R押、胴部:単絡1(R)、結回(R)横(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	13.4	8.8	20.8	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
221	180	107土	底面	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(LR・RL押)、口縁部:LR・RL押、胴部:単絡1(LR)、結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	18.8	9.7	29.7	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
221	181	107土	底面	深鉢	口縁～胴部下	波状(3単位残)、隆帯(刺突)、口唇:LR・RL横、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ	26	—	(34.7)	円筒下層d1	前期末	繊維含、胴内下炭化物少量付着
221	182	107土	覆土下位	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:R押、短沈線、胴部:結束2(LR・RL)横	ミガキ	19.2	10.2	24.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
221	183	107土	覆土下位	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:LR横か(摩滅)、口縁部:R押、胴部:結束1(LR・RL)、単絡1(R)	ミガキ	24.1	13	33.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、内面炭化物少量付着、外面風化顕著
222	184	107土	覆土下位	深鉢	口縁～底部	波状口縁、口唇:RL横、口縁部:L・R押、結回(R)横、胴部:多絡(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	22.8	13.2	37.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面風化
222	185	107土	覆土	深鉢	口縁～胴部下	口縁部:R押、胴部:単絡1(R)、結回(L)縦	ミガキ	[22]	—	(27)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
222	186	107土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(RL・LR)	ミガキ	[20.2]	[12.4]	28.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
222	188	112土	覆土	鉢か	口縁～胴部	波状口縁か、縦位条痕	ミガキ	[12]	—	(12.4)	円筒下層d2か	前期末	繊維含
223	190	113土	検出面 覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(1ヶ所残、単絡1(R)押)、口唇:LR横、口縁部:単絡1(R)押、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	—	13.1	(41.6)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、胴内下炭化物少量付着
223	197	115土	底面直上	深鉢	胴～底部	条痕(縦)、ミガキか、器面摩滅	ミガキか	—	8.8	(20.3)	円筒下層d2か	前期末	繊維含
224	198	116土	底面直上 5 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、隆帯(LR横・押)、貼付(LR押)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:LR横、底面:網代痕	ミガキ	[33]	14.5	39.7	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内下炭化物少量付着
	5土	覆土下位 覆土											
224	199	116土	底面直上 5 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横・斜、底面:ミガキ、フジツボ状かの圧痕	ミガキ	30.8	[11.8]	口縁 (36.3)・ 底部 (2.7)・ [40.3]	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、胴内下炭化物少量付着、図上復元
224	200	116土	底面	鉢か	底部	LR横、底部付近ナデ、底面ミガキ	ミガキ(摩滅)	—	5.8	(5.1)	円筒下層d～上層a	前期末～中期前葉	繊維・海綿骨針微量含
224	203	118土	底面 覆土	深鉢	口縁～胴部	隆帯(刺突)、口縁部:単絡1(R)押、胴部:多絡(L・R)	ミガキ	28.5	—	(23.1)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
224	204	118土 134土	底面直上 覆土	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)横(R)、底面:ミガキ	ミガキ	14.2	8.8	20.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
224	205	118土	覆土	鉢	底部	単絡1A(L・R)、底面ミガキ	ミガキ	—	5.9	(6.5)	円筒下層d1	前期末か	繊維・海綿骨針含
225	206	121土	覆土	鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:R押、口縁～胴部:LR横・縦、底面:ミガキ	ミガキ	[16.3]	7.5	14.1	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴内上炭化物少量付着
225	209	122土 118土	覆土 覆土	深鉢	口縁～底部	口縁部:RL多条押、LR押、胴部:結束1(RL・LR)	ミガキ	[18.6]	9.8	26.1	円筒下層d1	前期末	繊維含
225	210	122土 118土 108土	覆土 覆土 覆土下位	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、口縁部:LR押、結束1(LR・RL)押、胴部:多絡(R)、底面:ミガキ	ミガキ	[25.5]	[13.5]	口縁(43) 底部(4.2) [48]	円筒下層d1	前期末	繊維含、外面炭化物少量付着、図上復元
226	215	123土	3 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯(L押)、口唇:L押、口縁部:L押、刺突、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	29	13.8	43.8	円筒下層d2	前期末	繊維含
226	216	123土	覆土	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横、結回(R)縦	ミガキ	29.8	—	(37.7)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、補修孔2ヶ所
226	217	128土	底面直上	鉢	底部	結回か、ミガキ	ミガキ	—	5.6	(7.1)	円筒下層d1	前期末	繊維多量含
226	218	128土	底面直上 16	鉢	口縁～底部	口縁:LR・RL押(横位)、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横	不明(摩滅)	[12.7]	7.4	18.9	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、内面炭化物少量付着
226	219	128土	底面直上 16	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(LR・RL)、結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	23.8	14.5	32.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着、補修孔2ヶ所
226	220	128土	15	鉢か	底部	縦位条痕	ミガキ	—	8.2	(5.8)	円筒下層d	前期末	繊維含
226	221	128土	14 覆土	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(3単位残)、隆帯(刺突)、口縁部:L押、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ	13.4	—	(19.8)	円筒下層d1	前期末	胴外上炭化物少量付着
226	222	128土	覆土	深鉢	口縁	波状口縁、L押(波状)	ナデ	—	—	(8.2)	表脛X群	早期後葉	
227	226	131土	覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(2単位残)、口縁部:L押、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	15.4	7.8	26.9	円筒下層c ～d1	前期後葉～ 末	繊維含
227	227	138土	覆土	深鉢	口縁～胴部	波状口縁か、口縁部:R押、胴部:結回(LR)横、単絡1(L)	ミガキ	[21.4]	—	(22.4)	円筒下層d1	前期末	図227-228同一か、繊維・海綿骨針含
227	228	138土	覆土	深鉢	底部	単絡1(L)、底面ナデ	ミガキ	—	13.4	(3.6)	円筒下層d1	前期末	図227-227同一か、繊維・海綿骨針含
227	232	142土	底面	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残、LR押)、口縁～胴部:LR横・斜、底面:ミガキ	ミガキ	[26.6]	11.1	34.5	円筒上層a	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物付着、補修孔1ヶ所
227	233	142土	底面直上 覆土	鉢 深鉢	底部	無文	ナデか	—	6.5	(11.8)	円筒下層d2 ～上層a	前期末～ 中期前葉	繊維・海綿骨針含
228	234	142土	覆土	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(R押)、口縁部:R押、胴部:LR横、結回(R)横、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	[25.3]	13.1	26.7	円筒上層a 大木7式系 か	中期初頭～ 前葉	繊維・海綿骨針含、外面摩滅顕著
228	237	144土	覆土	深鉢	口縁～胴部	微隆帯(刺突)、口縁部:R押(横・縦)、胴部:RL縦・斜、結回(L)縦	ミガキ	—	—	(37.6)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	海綿骨針微量含
228	239	146土	覆土下位	深鉢	口縁～胴部上	突起(2単位)、隆帯・貼付(R押)、口縁部:単絡1(R)押、胴部:LR横・斜	ミガキ	[14]	—	(14.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	海綿骨針含、内面に補修孔か
228	240	146土	覆土下位	鉢	頭～底部	LR横、底面:ミガキ	ミガキ	—	6.7	(11.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
228	241	146土	覆土下位	深鉢	頭～底部	頭部:貼付、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキか(摩滅)	—	12	(23.9)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
228	242	146土	底面直上 覆土下位	深鉢	口縁(欠)～底部	貼付(L押)、口縁部:L押、単絡1(R)押、刺突、胴部:LR横、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	11.2	(30.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
229	243	146土	覆土下位 覆土	深鉢	口縁(欠)～底部	隆帯(単絡1(R)押)、口縁部:単絡1(R)押、胴部:LR横・斜、結回(R)縦(LR)、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	—	13.7	(38.6)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、外面に焼成前の圧痕と考えられる円形孔
229	244	146土	覆土	鉢か	底部	LR斜、底面ナデ	ミガキ	—	5	(4.8)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	底面穿孔、繊維・海綿骨針含
230	252	153土	7 覆土	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(3単位残、LR押)、貼付(LR押)、口縁部:LR・単絡1(R)押、胴部:単絡2(R)、結回(LR)縦、底面:ミガキ	ミガキ(摩滅)	24.3	11.2	35.3	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外面風化顕著
230	253	154土	3	深鉢	胴部～底部	LR横・斜、底面ミガキ	ミガキ	—	12.2	(27.6)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	繊維・海綿骨針含
230	255	157土	覆土	深鉢	口縁～胴部	隆帯(刺突)、口縁部:L押、胴部:多絡(R)	ミガキ	[26.4]	—	(26.6)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含
230	257	158土	覆土	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口縁:～胴部:RLR横、底面:ミガキ	ミガキ	24	12	29.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
231	259	158土	4 覆土	深鉢	口縁(欠)～底部	隆帯・貼付(LR押)、口縁:LR押、胴部:RLR横・斜、結回(R)縦(LR)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.7	(36)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着
231	264	162土	覆土	深鉢	胴～底部	RLR斜、結回(L)縦、底部付近ナデ、底面ミガキ	ミガキ	—	10.5	(19.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
232	268	167土	底面	深鉢	口縁～胴部上 胴部下 ～底部	突起(4単位、口唇にLR横、LR押)、隆帯(LR横・押)口縁部:LR押横、胴部:LR横、底面:ミガキ	ミガキ	29	13.2	口縁(15) 底部(13.2)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、図上復元
232	269	167土	底面 覆土下位 覆土	深鉢	胴～底部	LR横、RLR横、結回(LR)縦、底面:ミガキ	ミガキ	—	14	(31.2)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着
232	270	167土	底面 覆土	深鉢	口縁～底部	突起(4単位)、隆帯(単絡1(R)押)、貼付(LR押)、口縁部:LR押、刺突、胴部:結束1(LR・LR)横、結回(LR)縦、底部付近ミガキ、底面:ミガキ	ミガキ	19.2	9.3	23.6	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、胴内下炭化物少量付着
232	271	167土	覆土下位 覆土	深鉢	口縁～底部	波状口縁(剥落痕2ヶ所)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部:単絡1(LR)押、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.7	(34.3)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、胴内下炭化物少量付着
233	272	168土 113土	覆土 14	深鉢	口縁～胴部下	口縁～胴部:LR横・縦	ミガキ	23	—	(28.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
233	274	169土	覆土下位	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(刺突)、口唇:RL横か(摩滅)、口縁部:LR押、胴部:単絡1(LR)、結回(R)横	ミガキ(剥落)	23.8	14.1	38.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針含、外面風化
234	284	175土	覆土下位	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、口唇:単絡1(R)押、口縁部:単絡1(R)押、胴部:LR横・縦、単絡1(L)、単絡1(R)、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	30.3	14.3	36.2	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外面口縁に爪痕、胴外上炭化物少量付着
234	286	177土	覆土下位	鉢か	底部	LR斜か(摩滅)	ナデ	—	8.7	(6.7)	円筒下層か	前期か	

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
234	287	177土	5	深鉢	底部	LR横・斜、底部付近ナデ、底面ミガキ	ミガキ	—	13.9	(10.7)	円筒下層か	前期か	繊維含
234	288	177土	5	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(2単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部・R押、胴部・結束1(LR・RL)	ミガキ	[26]	—	(29.6)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、胴外上炭化物付着
235	289	177土	覆土	深鉢	口縁	貼付、口唇部にR?押、LR、沈線(横・波状)	ミガキ	—	—	(4.9)	大木5～6式系	前期後葉～末	
235	290	177土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	波状口縁か、突起、隆帯(R押)、口縁部・R押、胴部・LR横・斜	ミガキ(摩滅)	—	—	(10.6)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	海綿骨針含
235	291	177土	覆土	深鉢	底部	RL横か(摩滅)	ミガキ	—	9.9	(6.8)	縄文	縄文	
235	292	177土	覆土	深鉢	底部	RL横、底部付近ナデ消し、底面ミガキ	ミガキ	—	15.4	(10.1)	縄文	縄文	繊維極微量含
235	293	177土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、折返、RLか	ナデ	[14]	—	(10.6)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含
235	294	177土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	口縁部・RLR横、一部ナデ消し、胴部・RLR横	ミガキ	[20]	—	(12.2)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針微量含
235	295	177土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁、RL横、一部RLRか	ミガキ	[14.8]	—	(13.9)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含
235	296	177土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部	4単位波状口縁(突起、内面に隆帯)、隆帯(単絡1(rか)押)、口縁部・単絡1(rか)押、胴部・LR横、結回(R)縦	ミガキ	31	—	(25.2)	円筒上層a1	中期中初頭	海綿骨針含
235	299	179土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(R押)、口縁部・R押、胴部・結束1(LR・RL)	ミガキ	[24.3]	—	(18.5)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含、外面炭化物少量付着
235	300	179土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	口縁～胴部・LR横・斜、底部付近ミガキ、底面：ミガキ	ミガキ(摩滅)	18.6	10	28.2	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物付着、外面風化
236	301	179土	覆土	深鉢	胴～ 底部	LR横・斜、底面ミガキ	ミガキ	—	13.9	(22)	縄文	縄文	繊維含
236	303	182土 130土	底面直上 覆土	鉢	口縁～ 底部	波状口縁(2単位残)、隆帯(R押)、口唇・R押、口縁部・R押、胴部・反燃RR横、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	[13.3]	7.6	19	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
236	304	183土	底面	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁、隆帯(刺突)、透孔、口唇・単絡1(R)押、口縁部・単絡1(R)・LR押、刺突、胴部・単絡1A(L・R)、底面：ミガキ	ミガキ	35.3	14.5	44.4	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
236	307	188土 108土	覆土 覆土	深鉢	胴部下	単絡5(R)	ミガキ	—	—	—	十腰内I	後期前葉	
237	309	186土	1	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁か、隆帯、口縁部・Rか押、器面摩滅、胴部・LR横・斜	ミガキ	—	—	(39)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	図237-310同一か
237	310	186土	1	深鉢	底部	底面ミガキ	ミガキ	—	—	(3.5)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	図237-309同一か
237	311	189土	覆土	深鉢	口縁	波状口縁、突起(1単位残)、円形貼付、口唇(LR押)、口縁部・LR押	ミガキ	—	—	(6.9)	円筒上層a1	中期中初頭	図237-312同一か、繊維含
237	312	189土	底面直上	深鉢	胴～ 底部	RL横・斜、結回横か、底部付近ナデ、底面ミガキ	ミガキ	—	9.1	(16.4)	円筒上層a1	中期中初頭	図237-311同一か、繊維含
238	314	190土 115土	覆土 覆土	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(1単位残)、隆帯(刺突)、口唇・刺突、口縁部・LR・RL押、胴部・単絡1A(L・R)、結回(R)横、底面：ミガキ	ミガキ(摩滅)	[30.7]	15.3	40.1	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外面摩滅
238	315	193土	1 覆土	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁、隆帯・貼付(R押)、口唇・LR横、口縁部・R押、胴部・LR横、結回(R)横・縦、底面：ミガキ	ミガキ	48.1	20.5	60.2	円筒上層a2	中期中前葉	繊維含
239	320	195土	覆土下位 覆土	深鉢	口縁～ 底部	口唇・LR横、口縁部・LR押、刺突、胴部・単絡1A(R)、結回(R)縦	ミガキ(剥落)	24.2	11.5	31.5	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物少量付着、外面風化
239	323	197土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部上	隆帯(刺突)、口縁部・LR・R押、胴部・結束1(LR+R・RL+R)	ミガキ	—	—	(15.5)	円筒下層d2	前期末	繊維含
240	327	198土	覆土	深鉢	口縁～ 底部	突起(3単位残)、隆帯(R押)、口縁部・R押、刺突、胴部・LR横、底面：ミガキ	ミガキ(剥落)	24.3	10.6	34.9	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含、外面風化顕著
240	328	198土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	突起状隆帯(R・LR押)、貼付、口縁部・L・R押、半竹刺突、胴部・LR横、底面：ミガキ	ミガキ	[22.7]	10.8	35.3	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、外面口縁に爪痕
240	329	198土	覆土下位 覆土	深鉢	口縁～ 底部	口縁・R押、刺突(縄端部か)、胴部・LR横・斜、底面：ミガキ	ミガキ	24.5	12.3	37.6	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維含
240	330	198土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	口縁部・R押(横位)、胴部・LR横、底面：ミガキ	ミガキか(剥落)	36.5	11.7	51.3	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着、胴内下炭化物少量付着
241	331	198土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	口縁・LR・R押、半竹刺突、胴部・LR横・斜、底部付近ミガキ、底面：網代痕(ミガキによる摩消)	ミガキ	36.5	14.6	55.6	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含、胴外上炭化物付着
241	332	198土	覆土下位	深鉢	口縁～ 底部	突起状貼付(3単位残、R押)、口縁部・R押、胴部・LR横、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキか(剥落)	39.4	14.9	52.4	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
242	333	201土	覆土	鉢	口縁～ 底部	突起状貼付(2単位残、RL押)、口唇・RL横、口縁部・胴部・LR横、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	12.9	7.4	12.3	円筒上層a	中期中初頭～前葉	繊維・海綿骨針含、胴外上・胴内下炭化物少量付着
242	335	204土	覆土	鉢か	口縁～ 底部	突起(4単位、R押)、隆帯(LR押)、口縁部・R・LR押、胴部・LR横、結回(R)縦・横、底面：ミガキ	ミガキか(剥落)	15.2	6.9	口径(12.9)底面(6.4)[18.7]	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、胴内下炭化物少量付着、外面摩滅顕著 図上復元
242	342	214土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	突起(4単位)、貼付(R押)、口縁部・R押、胴部・LR縦、結回(R)縦	不明(摩滅)	20.4	—	(22.2)	円筒上層a1	中期中初頭	胴外上炭化物少量付着
242	343	214土 184土	覆土 3上面	深鉢	口縁(欠) ～胴部	口縁部・爪形刺突、胴部・LR横・斜、結回(R)縦	ミガキ	—	—	(24)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
243	347	218土	7	深鉢	口縁～ 底部	突起(2単位残)、隆帯(単絡1(R)押)、口縁部・単絡1(R)押、胴部・LR横、結回(R)縦(LR)、底面：ミガキ	ミガキ	16	9.3	21	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	繊維・海綿骨針含
243	348	218土	7	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(2単位残)、隆帯(R押)、貼付、口唇・R・LR押、口縁部・LR押、胴部・LR横、底面：ミガキ	不明(摩滅)	[21.3]	10.2	27.6	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、胴外上炭化物少量・内面炭化物付着
243	349	218土	7	深鉢	口縁～ 底部	突起(3単位残)、隆帯(LR縦)、貼付(LR押)、口縁部・LR押、胴部・LR横・縦、結回(R)縦、底面：ミガキ	ミガキ	26.4	10.5	32.4	円筒上層a1	中期中初頭	繊維・海綿骨針含
244	350	219土	5 覆土	深鉢	口縁～ 底部	波状口縁(3単位残)、隆帯・貼付(LR押)、口縁部・LR押、胴部・LR横、結回(R)横(一部に結回(LR)状の圧痕)、結回(LR)縦、底面：ミガキ	ミガキ	27.5	13.7	42.4	円筒上層a1	中期中初頭	繊維含、外面口縁に種実状の圧痕
244	351	219土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部下	口唇・L押、口縁部・L押、胴部・結束1(LR・RL)	ナデか	[23.4]	—	(27.9)	円筒上層a1	中期中初頭	繊維多量含
244	353	221土	覆土	深鉢	口縁～ 胴部	波状口縁、突起(R?押)、隆帯(RL押)、口縁部・RL押、胴部・RLR横	ナデ	—	—	(37.4)	円筒下層d2～上層a1	前期末～中期中初頭	海綿骨針微量含

## 土坑出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
199	1	3土	覆土	石錘		31.6	14.6	4.3	2.0	珉質頁岩	
199	6	16土	2	石槍		174.7	39.9	12.5	79.1	珉質頁岩	
199	7	16土	覆土	スクレイパー類	背面両側縁調整	28	23.9	5.7	3.5	珉質頁岩	
200	12	19土	覆土	半円状扁平打製石器		127	107	33	549.8	安山岩	
200	14	21土	覆土	礫器		184	115	40	1215.8	デイサイト	半円状扁平打製石器の可能性有り
200	15	22土	覆土	磨石		137	66	67	823.8	安山岩	北海道式石冠
201	18	23土	覆土	石篋	撥形	64	33.6	12.2	28.4	珉質頁岩	円刃
201	19	23土	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整	51	34.4	16.1	29.4	珉質頁岩	
202	22	25土	覆土	凹石		130	66	37	382.2	安山岩	
202	23	25土	覆土	磨石		107	83	32	429.3	安山岩	
202	24	25土	床面	台石		190	159	90	2853.8	安山岩	
203	33	27土	覆土	石匙	斜軸形石匙	28	63.1	10.2	11.8	珉質頁岩	
203	37	27土	覆土	半円状扁平打製石器		68	64	37	189.4	安山岩	
203	39	29土	覆土	スクレイパー類	両面周縁調整(両面調整)	54.5	25.6	14.2	15.7	珉質頁岩	小型石槍未製品の可能性有り
204	40	29土	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整	74.7	51.3	13.8	54.7	珉質頁岩	
204	41	29土	覆土	敲石		90	64	42	292.9	凝灰岩	
204	43	31土	覆土	スクレイパー類	両面両側縁辺・遠端部調整	30.9	22.8	10.2	6.7	頁岩	被熱
204	44	32土	覆土	石鏃	無茎平基	42.2	19.9	5.8	3.9	珉質頁岩	凹基か
204	46	34土	覆土	石鏃	無茎尖基	52.3	16.5	8.5	6.4	珉質頁岩	小型石槍
204	47	34土	覆土	磨製石斧	擦切石斧	52	23	13	24.9	緑色岩	
204	48	37土	覆土	スクレイパー類	両面周縁調整(全面)/腹面一側縁調整	41.7	23.4	8.2	7.6	珉質頁岩	
204	49	38土	覆土	敲石		55	46	45	128.5	チャート	
205	51	39土	覆土	台石		259	193	101	7340.0	安山岩	2面使用
206	58	49土	覆土	石鏃	有茎平基	24.6	15.6	4.8	1.5	珉質頁岩	
206	61	49土	覆土	半円状扁平打製石器		99	78	25	280.7	安山岩	
206	62	52土	覆土	打製石斧		58	38	9	26.2	花崗閃緑岩	
206	63	54土	覆土	柱状節理		204	52	36	444.5	流紋岩	
208	74	58土	3	石鏃	有茎凸基	29.6	13.8	6.1	1.8	珉質頁岩	
208	75	58土 112土	3 覆土	磨石		148	92	53	1084.3	安山岩	接合
209	79	67土	覆土	凹石		98.5	69	54	454.0	安山岩	
209	83	71土	覆土	磨石		110	91	26	437.2	安山岩	
210	87	72土	覆土	石鏃	有茎平基	50.1	16.8	6.3	3.9	珉質頁岩	
210	88	72土	覆土	スクレイパー類	両面周縁調整	47.9	28.6	14.9	20.9	珉質頁岩	粗い調整で短冊形に成形
211	100	74土	覆土	石鏃	有茎凸基	39.7	15.4	5.8	3.5	珉質頁岩	
211	101	74土	覆土	半円状扁平打製石器		118	51	27	217.8	凝灰岩	
211	103	75土	覆土	磨石		83	75	44	482.0	安山岩	
211	104	75土	覆土	半円状扁平打製石器		103	68	41	385.8	安山岩	
213	112	79土	覆土	石鏃	有茎凸基か	51.4	15.8	4.6	2.9	珉質頁岩	
213	114	79土	覆土	台石		181	120	54	1802.5	安山岩	
213	115	80土	覆土	石匙	斜軸形石匙	32.2	65.5	17.4	28.9	珉質頁岩	変形型、縦長剥片素材
213	116	81土	覆土	磨製石斧		83	49	16	106.9	粘板岩	
213	117	81土	覆土	砥石		88	70	14	106.0	中粒砂岩	
213	118	81土	覆土	半円状扁平打製石器		80	67	22	124.9	凝灰岩	
214	123	83土	覆土	磨製石斧	擦切石斧、小型石鏃	97	19	17	61.7	粘板岩	片刃
215	131	85土	床面	磨製石斧		70	33.5	11	48.5	緑色岩	剥離痕、器面に成形後の敲打痕
217	147	95土	覆土	石匙	横形石匙	35	45.4	11.4	13.6	珉質頁岩	
217	148	95土	覆土	スクレイパー類	両面両側縁調整	29.7	43.4	13.8	14.4	珉質頁岩	
217	149	96土	覆土	石匙	縦形石匙	63.7	18.1	7.7	7.8	珉質頁岩	異形石器の可能性有り
217	150	96土	覆土	磨製石斧		116	49	29	314.6	閃緑岩	
217	151	97土	覆土	半円状扁平打製石器		116	73	22	277.3	安山岩	
217	152	98土	覆土	砥石		82	81	33	163.3	中粒砂岩	
217	153	98土	覆土	石槍		70.2	48.9	12.2	38.2	珉質頁岩	小葉形か
218	154	99土	底面直上	磨製石斧		70	44	16	91.7	凝灰岩	
218	155	100土	覆土	凹石		92	82.5	43	336.0	凝灰岩	
218	156	101土	覆土	石鏃	無茎尖基	41.8	15.6	7.8	4.2	珉質頁岩	
219	166	102土	覆土	凹石		117	66	51	391.7	安山岩	
219	167	102土 VIS-207 III	6 III	砥石		178	88	71	1073.5	凝灰岩	接合
219	168	103土	覆土	磨石		166	58	55	857.4	凝灰岩	砥石か
220	175	105土	覆土	凹石		97	65	43	385.9	安山岩	
220	176	105土	覆土	砥石		102	81	46	543.6	凝灰岩	
220	177	105土	覆土	凹石		110.5	66	45	414.0	安山岩	
221	178	105土	覆土	台石		174	116	70	1443.6	安山岩	
222	187	107土	覆土	台石		241	179	78	4352.5	安山岩	
222	189	112土	覆土	スクレイパー類	腹面一側縁調整	34.6	31.2	11.7	15.5	珉質頁岩	
223	191	114土	覆土	磨製石斧		136	45	32	335.9	安山岩	
223	192	115土	覆土	石鏃	無茎平基	21.6	17.9	4.7	1.8	珉質頁岩	
223	193	115土	覆土	石鏃	無茎尖基	39	15.3	4.8	3.3	珉質頁岩	基部再調整
223	194	115土	覆土	半円状扁平打製石器		134	79	32	472.1	凝灰岩	
223	195	115土	10	石錘		134	86	35	554.8	チャート	
223	196	115土	10	台石		272	184	61	4149.8	安山岩	

東道ノ上(3)遺跡Ⅲ

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
224	201	118土	覆土	打製石斧		101	72	28	276.8	安山岩	
224	202	118土	覆土	石匙	縦形石匙	59.3	28.1	9	15.0	珪質頁岩	
225	213	122土	覆土	凹石		107	104	35	526.7	安山岩	
225	214	123土	底面近く	石鎌	有茎平基	33.6	16.7	5.4	2.5	珪質頁岩	
227	224	129土	覆土	石鎌	有茎凸基	39.2	16.5	4.4	2.1	珪質頁岩	
227	225	129土	覆土	石匙	縦形石匙	65.0	33.7	8.1	12.4	珪質頁岩	
227	229	138土	覆土	半円状扁平打製石器		154	85	31	456.5	安山岩	
227	230	141土	覆土	石鎌	有茎凸基	27.8	15.6	5.1	2.1	玉髓質珪質頁岩	アスファルト付着か
227	231	141土	覆土	スクレイパー類	両面周縁調整	26.2	17.3	10.2	4.5	珪質頁岩	
228	235	143土	床面直上	半円状扁平打製石器		96	55	24	190.0	砂岩	
228	236	144土	覆土	石槍		44.6	26.8	13.8	13.8	珪質頁岩	小型石槍か石筥未製品の可能性有り、背面の一部に光沢か
228	238	145土	覆土	磨製石斧		75	45	15	64.1	粘板岩	被熱
229	246	148土	覆土	石匙	縦形石匙	42.2	29.2	6.7	6.5	珪質頁岩	
229	248	149土	覆土	スクレイパー類	両面周縁調整(背面主体)	23.4	22.9	7.9	4.1	玉髓質珪質頁岩	
229	249	152土	覆土	スクレイパー類	両面両側縁調整	53.4	59.1	16.6	45.6	珪質頁岩	両面に黒色物質付着
229	250	152土	覆土	半円状扁平打製石器		100	72	31	361.7	閃緑岩	使用痕顕著
229	251	152土	覆土	砥石		94	87	43.5	124.9	細粒砂岩	接合
		1捨	Ⅲ						124.8		
230	254	156土	覆土	磨石		78	73	41	309.8	安山岩	
230	256	157土	覆土	スクレイパー類	片面一側縁調整(錯交)	35.6	28.4	7.1	6.1	珪質頁岩	
230	258	158土	覆土	凹石		117	91	35	518.9	凝灰岩	
231	260	159土	覆土	スクレイパー類	背面両側、腹面一側縁調整	30.0	19.4	7.8	3.2	珪質頁岩	
231	261	162土	覆土	石鎌	有茎凸基	27.9	15.1	5.0	1.5	珪質頁岩	
231	262	162土	覆土	スクレイパー類	両面両側縁調整	22.5	42.7	10.2	7.9	珪質頁岩	異形石器の可能性有り
231	263	162土	覆土下位	台石		137	102	80	1410.4	デイスait	
231	265	167土	覆土	半円状扁平打製石器		131	60	32	342.5	凝灰岩	
231	266	167土	覆土	半円状扁平打製石器		78	76	46	332.6	安山岩	
233	275	169土	覆土	磨石		61	55	33	165.5	安山岩	
233	278	170土	覆土	敲石		69	49.5	35	173.6	チャート	磨石の可能性有り
233	279	170土	覆土	半円状扁平打製石器		89	84	33	334.0	安山岩	
233	280	171土	覆土	凹石		171	65	49	696.6	流紋岩	
234	281	172土	覆土	スクレイパー類	片面一側縁調整(錯交)	55.4	29.4	16.3	23.9	珪質頁岩	
234	282	172土	覆土	凹石		89	62	40	204.2	凝灰岩	
234	285	176土	覆土	細石刃石核		36.8	43.5	21.2	30.7	珪質頁岩	細石刃石核関連資料、図8-a
235	297	177土	覆土	敲石		87	69	32	240.2	チャート	
235	298	177土	覆土	凹石		91	74	24	208.0	安山岩	
236	302	181土	覆土	スクレイパー類	腹面周縁調整(一側両面)	44.0	23.9	10.0	9.0	珪質頁岩	尖頭器
236	306	187土	底面	石槍		93.3	38.7	13.6	45.9	黒曜石	側縁に擦れ
236	308	188土	覆土	礫器(剥離礫)		90	52	20.5	135.9	頁岩	
237	313	189土	覆土	磨石		143	70	61	839.2	凝灰岩	
239	316	194土	覆土	スクレイパー類	背面一側縁調整	67.1	33.6	8.4	17.1	珪質頁岩	
239	318	195土	覆土	石鎌	有茎凸基	32.8	13.4	5.6	1.7	珪質頁岩	
239	319	195土	覆土	半円状扁平打製石器		103	54	28	222.2	安山岩	
239	321	196土	覆土	石鎌か	無茎尖基か	33.4	16.8	7.5	3.9	珪質頁岩	未製品か
239	322	196土	覆土	磨石		86	68	30	226.8	凝灰岩	
239	325	199土	覆土	凹石		72	66	52	295.6	安山岩	
242	334	201土	覆土	石鎌	有茎凸基	49.9	18.2	5.2	3.8	珪質頁岩	基部にアスファルト付着か
242	336	204土	覆土	砥石		79	59	14	76.4	中粒砂岩	
242	337	208土	覆土	石鎌	無茎凹基	33.3	19.7	5.2	2.7	珪質頁岩	
242	338	208土	覆土	打製石斧	礫片石斧	80	54	14	87.8	安山岩	
243	344	217土	覆土	石槍		79.8	31.1	14.0	26.0	珪質頁岩	尖頭器
243	345	218土	3	敲石		79.5	51	38	261.9	閃緑岩	石斧転用
243	346	218土	6	半円状扁平打製石器		80	72	28	232.0	安山岩	
244	352	220土	覆土	石鎌	有茎平基	33.7	11.4	5.2	1.7	珪質頁岩	

## 土坑出土ミニチュア土器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	重さ (g)	外面文様			備考
									口縁部	胴部上半	胴部下半	
209	84	71土	覆土	鉢			(43)	19.6	無文	無文	無文	突起
210	89	72土	覆土	脚付か			(27)	4.9	無文	無文		
210	90	72土	床面直上	深鉢		53	(19)	40.1			LR	
210	91	72土	底面直上	深鉢			(75)	21.2		沈線	沈線	
218	157	101土	覆土	深鉢			(56)	18.4	L押(横位)	L押(横位)	L押(横位)	
225	211	122土	覆土上位	台付鉢	-	53	-	90.1			単絡1A(R)	
231	267	167土	覆土	鉢	100.1	59	93	118.6	無文	無文	条痕?	
233	276	170土	覆土	脚付		[50]	(15)	7.1			無文	
239	317	194土	覆土	脚付		32	(39)	48.5			無文	
239	324	197土	覆土下位	脚付	43	32	50	58.8	無文	無文	無文	調整時のナデ痕顕著
242	340	210土	覆土	鉢か		長軸(38) 短軸(25)	(26)	13.3			無文	

## 土坑出土土製品観察表

図	番号	遺構名	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文様		種類	備考
								表面	裏面		
199	10	19土	覆土	46	43.5	8	18.8	LR, 沈線		土器片利用土製品	
199	11	19土	覆土	45	25	12	12.2	LR, RL		土器片利用土製品	
206	59	49土	覆土	41	39	14	16.4	不明		土器片利用円盤	器面摩滅
213	113	79土	覆土	31	27	13	7.2	無文	無文	不明土製品	
216	138	89土	5	31	28	13	9.3	単絡1(RLか)		土器片利用円盤	
225	207	121土	覆土	34	32	10	9.6	結回か		土器片利用円盤	器面摩滅
225	212	122土	覆土	(52)	41	11.5	19.2	多絡(L)		土器片利用円盤	
226	223	128土	覆土	52	50.5	7	20.4	無文か		土器片利用円盤	
229	247	148土	覆土	40	38	16	22.2	(細)沈線、刺突	(細)沈線、刺突	土偶(腕部)	
233	277	170土	覆土	36	36	11	11.0	結束1(LR・RL)		土器片利用円盤	
236	305	183土	覆土	36	32	10	14.0	単絡1A(R・L)		土器片利用円盤	
239	326	198土	覆土	37	29	13	15.1	無文		土器片利用円盤か	
242	339	210土	覆土上位	46	45	14	27.8	細沈線、刺突	細沈線、刺突	土偶(腕部)	

## 土坑出土石製品観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
201	20	23土	1	石棒か		(197)	(81)	75	1532.7	安山岩	被熱剥離
206	57	40土	覆土	石棒		(76)	(54)	61	430.1	凝灰岩	
216	141	91土	底面	石製品	岩偶か	(118)	(84)	18	127.7	シルト岩	
225	208	121土	覆土	石製品	板状石製品	108	(64)	36	247.6	凝灰岩	
229	245	142土	覆土	石棒		(228)	89	67	896.7	凝灰岩	遺構間接合
	148土	底面	1255.8								
233	273	168土	覆土	石棒か		(108)	(95)	71	907.4	凝灰岩	石棒破片の可能性有り
234	283	172土	底面	石棒		(118)	75	65	762.1	凝灰岩	142土出土破片と接合の可能性有り
242	341	210土	覆土下位	石製品	板状石製品	(79)	44	22	130.6	粗粒玄武岩	

埋設土器出土土器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
247	1	1埋	埋設土器	深鉢	胴部	結束1(RL・LR)	ミガキ (摩滅)	—	—	—	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	図247-2同一
247	2	1埋	埋設土器	深鉢	底部	胴部:結束1(RL・LR)、底面ミガキ	ミガキ (摩滅)	—	9.8	(6.9)	円筒下層d ～上層a	前期末～ 中期前葉	図247-1同一
247	3	2埋	埋設土器	深鉢	胴～底部	単絡1A(L・R)	ミガキ (摩滅)	—	15.5	(30.1)	円筒下層d	前期末	繊維・海綿骨針含、 外面風化
247	4	3埋	埋設土器	深鉢	口縁(欠) ～胴部上	貼付(LR多条押)、口縁部:LR 多条押、刺突、胴部:LR斜	ミガキ	—	—	(8.1)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-5・6同一か 繊維含
247	5	3埋	埋設土器	深鉢	胴部	LR斜・横・結回(L)縦	ミガキ	—	—	(8.7)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-4・6同一か 繊維含
247	6	3埋	埋設土器	深鉢	底部	LR斜・横・結回(L)縦、底部付 近ナデ消し	ミガキ	—	—	(13.2)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	図247-4・5同一か 繊維含
247	8	4埋	埋設土器	深鉢	口縁～頸 部	波状口縁(2単位残)、隆帯(刺 突)、口唇:LR横、刺突、口縁部: 単絡5押、L押(一部)、刺突、胴 部:単絡1A(L)	ミガキ	[31.4]	—	(12.8)	円筒下層d2	前期末	海綿骨針含、内面 炭化物少量附着
247	9	5埋	埋設土器	深鉢	口縁～胴 部	口縁部:LR押、胴部:LR横	ミガキ	32.2	—	(25.5)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、 外面炭化物少量付 着
248	10	6埋	埋設土器	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(2単位残)、隆帯・ 貼付(LR押)、口縁部:LR押、 胴部:RL横	ミガキ (摩滅)	[37.3]	—	(38.3)	円筒上層a2	中期前葉	繊維含、胴外上炭 化物少量附着、外 面磨滅顕著
248	12	7埋	埋設土器	深鉢	胴部下～ 底部	単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.2	(20)	円筒下層d	前期末	繊維含
248	13	8埋	埋設土器	深鉢	口縁(欠) ～底部	隆帯(刺突)、口縁部:LR押、胴 部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	—	14.5	(32.7)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
248	14	9埋	埋設土器	深鉢	口縁～底 部	波状口縁(2単位残)、隆帯、口 唇、刺突、口縁部:LR押、胴部: 単絡1A(L)、底面:ミガキ	ミガキ	[26]	11.2	39	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
248	15	10埋	埋設土器	深鉢	胴～底部	結束1(LR+R・RL+L)横、底面: ミガキ	ミガキ	—	10.5	(14.9)	円筒下層d	前期末	繊維含
249	16	11埋	埋設土器	深鉢	口縁～底 部	突起(2単位残、R押)、隆帯(LR 押)、貼付(R押)、口縁部:LR押、 胴部:LR横・斜、L結回(R)縦	ミガキ (摩滅)	[31]	14.7	口縁 (24.5) 底部 (15.6)	円筒上層a1	中期初頭	繊維・海綿骨針含、 外面摩滅、図上復 元
249	17	12埋	埋設土器	深鉢	胴部下	単絡1A(L2本・R2本)	ミガキ	—	—	—	円筒下層d	前期末	
249	18	13埋	埋設土器	深鉢	胴部下～ 底部	結束1(LR・RL)	ミガキ	—	[13]	(12)	円筒下層～ 上層	縄文	繊維含

埋設土器出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
247	7	3埋	1	礫器(剥離礫)		121	60	38	406.0	凝灰岩	
248	11	6埋	1	磨石		63	62	27	138.9	安山岩	

ピット出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
251	1	47ピット	覆土	磨製石斧		78	51	17	122.3	粘板岩	
251	2	54ピット	覆土	石鏃	無茎尖基	36.9	19.5	10.8	6.5	珪質頁岩	
251	3	57ピット	覆土	スクレイパー	両面周縁調整	42.2	24.2	13.2	12.0	珪質頁岩	石筭未製品か
251	4	79ピット	覆土	石鏃	無茎尖基	37.6	12.7	4.2	1.6	珪質頁岩	
251	5	80ピット	覆土	磨製石斧		87	38	17	99.0	緑色岩	

## 捨て場出土土器観察表

図	番号	遺構名	出土地点 層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考	
	253	1	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突列)、口縁:R・LR押(横位)、胴部:単絡1A(L・R)	ナデ	[16.3]	[7.8]	18.2	円筒下層d1	前期末	繊維合、補修孔1ヶ所
	253	2	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	口縁:R押(横位)、胴部:結束1(LR・RL)、底面:ミガキ	ミガキ	[15.1]	8.8	20.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴内下炭化物少量付着
	253	3	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突)、口縁部:L・R押、刺突、胴部:結束1(LR+L・RL+L)横、結回(L)横、底面:ミガキ	ミガキ	15.2	9	21	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	253	4	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(刺突)、口縁部:L・R押、胴部:結束1(LR+R+RL+L)横	ミガキ	20.2	—	(21.5)	円筒下層d1	前期末	繊維合、胴外上・胴内下炭化物少量付着
	253	5	捨	VIV-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突)、口縁:L・R押、胴部:結束1(LR+L・RL+L)、結回(L)横、底面:ミガキ	ナデ	16.3	10	24.2	円筒下層d1	前期末	繊維合
	253	6	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	口縁:L押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	19	11	24.4	円筒下層d1	前期末	繊維合、胴内下少量炭化物付着
	253	7	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	口縁部:L・LR押、胴部:結束1(LR+L・RL+L)横、底面:ミガキ	ミガキ	[18]	9.4	24.4	円筒下層d1	前期末	繊維合、胴内下炭化物少量付着
	253	8	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	口唇:L横、口縁部:L・R・LR押、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	22.8	13.2	24.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	253	9	捨	VIU-207-208 III	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(4単位)、口唇:LR+R横、口縁部:RL押、刺突、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横、結回(R)横	ミガキ	[22]	—	(25)	円筒下層d1	前期末	繊維合、胴内下炭化物少量付着
	254	10	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁か、隆帯(刺突)、口唇:RL横、口縁部:L・R押、胴部:結束1(LR多条・RL多条)	ミガキ	22.3	—	(26.7)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	254	11	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(刺突)、口唇:L押、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)	ミガキ	22.3	—	(26.8)	円筒下層d1	前期末	繊維合
	254	12	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(結束2(LR・RL)横)、口唇:LR横、口縁部:LR・LRL押、胴部:結束2(LR・RL)、結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	24	14.4	27.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	254	13	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口唇:RL横、口縁部:LR押、胴部:結束2(LR・RL)横、底面:ミガキ	ミガキ	23.3	13.8	27.8	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴内下炭化物付着
	254	14	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(L)横(RL)、底面:ナデ	ミガキ	21.4	13.2	27.9	円筒下層d1	前期末	繊維合、胴外上炭化物少量付着
	254	15	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口唇:LR横、口縁部:L・R押、胴部:RL斜、結束1(LR・RL)	ミガキ	22.3	12.3	28	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、内面炭化物付着、補修孔1ヶ所
	255	16	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(単絡5(R)押)、口唇LR横、口縁部:単絡5(R)・単絡1(R)押、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横	ミガキ	[18.3]	12	29.2	円筒下層d1	前期末	繊維合
	255	17	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	口縁:L押、刺突、胴部:結束1(LR多条・RL多条)、底面:ミガキ	ミガキ	18.4	11	29.2	円筒下層d1	前期末	胴外上・胴内下炭化物少量付着
	255	18	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(刺突)、口縁部:単絡1(L)押、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ナデ	ミガキ	15.4	[12.3]	30.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴内下炭化物少量付着
	255	19	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(R押)、口唇:LR横、口縁部:L・R押、胴部:単絡1A(L・R)、結束2(L・R)横	ミガキ	26.5	16	31.2	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴外上炭化物少量付着
	255	20	捨	VIU-207-208 III	深鉢	口縁～底部	波状口縁か、隆帯(L押)、口唇:RL横、口縁部:L押、胴部:結束1(LR多条・RL多条)、底面:ミガキ	ミガキ	[16]	12.6	(31.7)	円筒下層d1	前期末	胴外上炭化物付着
	255	21	捨	VIU-206-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横	ミガキ	[17.6]	11.6	32.5	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴外上炭化物少量付着
	256	22	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(L)横	ミガキ	25.5	11.2	33.1	円筒下層d1	前期末	繊維合
	256	23	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(RL横)、口唇:RL横、口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L・R)、口縁部:底面:ミガキ	ミガキ	[20.3]	13.5	34.6	円筒下層d1	前期末	繊維合
	256	24	捨	VII-V-207 III	深鉢	口縁～底部	透孔、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:L・R・LR・単絡5(R)押、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)横	ミガキ	[21.4]	[12.5]	35.1	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	256	25	捨	VIU-206 III	深鉢	口縁～底部	隆帯(LR押)、口縁部:LR押、胴部:結束1(LR+L・RL+L)横	ミガキ	[26.7]	[15.7]	36.3	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合、胴外上炭化物少量付着
	257	26	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～胴部下	隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:R押、胴部:単絡1A(L・R)、結束2(L・R)縦	ミガキ	[26.5]	—	(36.8)	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	257	27	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	波状口縁(3単位残)、隆帯(刺突)、口唇:LR横、口縁部:R・LR押、胴部:結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	27	14.9	37.4	円筒下層d1	前期末	繊維・海綿骨針合
	257	28	捨	VIU-207 III	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁部:LR押、刺突、胴部:RL斜、結束1(LR+R・RL+R)横、底面:ミガキ	ミガキ	26.3	16	(43.5)	円筒下層d1	前期末	繊維合
	257	29	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、口唇:刺突、口縁部:L・R・LR押、刺突、胴部:単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	[29.4]	12.2	43.6	円筒下層d2	前期末	繊維合
	258	30	捨	VIX-207 III	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(1単位残)、隆帯(L押)、口縁部:L押、刺突、胴部:LR縦、結回(L)縦	ミガキ	[18.5]	—	(23.4)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針合
	258	31	捨	VIW-206-207 III	深鉢	口縁～胴部下	波状口縁(4単位)、隆帯(L押、貼付(LR押))、口縁部:LR・RL押、刺突、胴部:単絡1A(L・R)、結回(R)縦(LR)	ミガキ	21.5	—	(25.6)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針合、胴外上炭化物少量付着
	258	32	捨	VIV-206 III	深鉢	口縁～底部	4単位突起、口縁部:沈線(横位)、胴部:LR+R縦、結回(R)縦、底面:網代痕	ミガキ	22.8	12.2	24.6	円筒下層d2	前期末	内面炭化物付着
	258	33	捨	VIX-207 III	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(2単位残、LR・RL押)、口唇:L・LR横、口縁部:R・LR・RL押、胴部:結束1(LR・RL)	ミガキ ナデ	[19]	[10.5]	29.1	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針合、胴外上炭化物少量付着

図	番号	遺構名	出土地点 層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
258	34	1捨	VIX-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(1単位残)、隆帯(刺突、LR押)、 口縁部:LR押、胴部:単絡1A(L)、LR横 底面:ミガキ	ミガキ	[22.5]	10	29.4	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴 内下炭化物少量付着
258	35	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口縁部:R押、刺突、胴部:単絡 1(R)、結回(LR)縦	ミガキ	21.4	[10]	32.2	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
258	36	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	口縁～ 胴部下	波状口縁(2単位残)、透孔、隆帯 (刺突、LR押)、口縁部:LR押、胴 部:単絡1A(L・R)、結回(L)横	ミガキ	[27.7]	—	(35)	円筒下層d2	前期末	繊維含、補修孔3ヶ所
259	37	1捨	VIW- 206・207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(2単位残)、隆帯(LR押)口縁 部:L押、半竹刺突、胴部:単絡1A (L)、底面:ミガキ	ミガキ	[27.9]	12.8	40.2	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、胴 内下炭化物少量付着、 補修孔2ヶ所
259	38	1捨	VIW-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	波状口縁(4単位)、隆帯(刺突)、 口唇刻目、口縁部:LR押、胴部: 単絡1A(R)、底面:ミガキ	ミガキ	27.5	17	41.1	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
259	39	1捨	VIX-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起状隆帯(2単位残、LR押)、貼付 (LR押)、口縁部:LR押、胴部:LR横、 単絡1A(L・R)、底面:ミガキ	ミガキ	[41.2]	13.8	54	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含、外 面中央部炭化物付着・ 胴内下炭化物少量付着
260	40	1捨	VIW-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口唇LR横、口縁部:L押、刺突、胴 部:LR横、結回(R)横	ミガキ	29	[16]	44.1	円筒下層d2	前期末	繊維含
260	41	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	胴部～底部	結回(LR)横、結回(LR)押、LR横、 LR押	ナデ	—	8	(14)	円筒下層d2	前期末	繊維含
260	42	1捨	VIU-206 Ⅲ	深鉢	口縁(欠) ～ 底部	隆帯(単絡1(R)・LR押)、口縁:単 絡1(R)・LR押、胴部:LR横、底面: ミガキ	ミガキ	—	9.8	(19.1)	円筒下層d2	前期末	繊維・海綿骨針含
260	43	1捨	VIX-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	4単位突起、隆帯・貼付(LR押)口 唇:LR押、口縁部:LR押、結回(LR) 横、胴部:RLR横、結回(LR)縦 底面:ミガキ	ミガキ	24	11.5	32.5	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 内下炭化物付着
260	44	1捨	VIX-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	突起(3単位残)、貼付(R押)、口 唇:R押、口縁部:R押、胴部:LR横 ・斜、結回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	24.6	10.5	37.7	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴内下炭化物 少量付着
261	45	1捨	VIX-206 Ⅲ	鉢	口縁～底部	結束1(LR・RL)、結回(L)横	ミガキ	[15.3]	7.4	18.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含、胴内下炭化物少 量付着、補修孔1ヶ所
261	46	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	LR横・斜、底面:ミガキ	ナデ	[19]	[9.4]	(25.8)	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維含
261	47	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	LR横、底面:ミガキ	ミガキ	[20.7]	[10.6]	27.3	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含、胴 外上炭化物少量付着
261	48	1捨	VIX-207 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	LR(多条)横	ミガキ	[24.5]	[12.2]	29	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含
261	49	1捨	VIX-206 Ⅲ	深鉢	口縁～底部	口唇:LR横、口縁～胴部:LR横、結 回(R)縦、底面:ミガキ	ミガキ	[21.5]	[11.4]	30.1	円筒下層d2 ～上層a1	前期末～ 中期初頭	繊維・海綿骨針含

捨て場出土土製品観察表

図	番号	遺構名	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文様		種類	備考
									表面	裏面		
261	50	1捨	VIW-206	Ⅲ	33	32.5	10	12.1	単絡1A(L・R)		土器片利用円盤	盲孔有り
261	51	1捨	VIU-207	Ⅱ	34	33.5	9	11.9	沈線		土器片利用円盤	
261	52	1捨	VIV-206	Ⅲ	52	47	14	29.8	多絡(R)		土器片利用円盤	
261	53	1捨	VIU-206	Ⅲ	60	52	12	24.8	結回(LR・RL)		土器片利用円盤	
261	54	1捨	VIV-207	Ⅱ	(38)	(32)	9	8.0	単絡1(R)		土器片利用土製品	

捨て場出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
262	55	1捨	Ⅲ	石鏃	無茎凹基	22.9	17.8	4	1.4	珪質頁岩	
262	56	1捨	Ⅲ	石鏃	無茎尖基	49.8	18.6	5.5	4.2	珪質頁岩	柳葉形
262	57	1捨	Ⅲ	石鏃	有茎凸基	39.5	18.9	8.2	4.8	珪質頁岩	
262	58	1捨	Ⅱ	石鏃	有茎凸基	32.8	14.9	5.5	2.2	珪質頁岩	
262	59	1捨	Ⅲ	石鏃	無茎尖基	24.2	14.3	7.6	2.5	玉髓	
262	60	1捨	Ⅲ	石槍		31.1	14.9	9.2	4.1	黒曜石	小型石槍か、柳葉形
262	61	1捨	Ⅲ	石槍		56.2	29.1	15.2	18.1	玉髓質珪質頁岩	
262	62	1捨	Ⅱ	石篋	撥形	55.4	31.7	10.8	19.6	珪質頁岩	直刃
262	63	1捨	Ⅲ	石匙	縦形石匙	70	21.4	10.7	15.3	珪質頁岩	腹面に光沢
262	64	1捨	Ⅱ	石匙	縦形石匙	57.6	34	6.4	13.1	珪質頁岩	周縁急角度調整
262	65	1捨	Ⅲ	石匙	横形石匙	38.4	50	9.4	13.6	珪質頁岩	腹面に光沢
262	66	1捨	Ⅲ	石匙	横形石匙	29.5	52.7	6.8	8.8	珪質頁岩	腹面に光沢
262	67	1捨	Ⅱ	石匙	斜軸形石匙	37	65.2	13.7	25.6	玉髓	
262	68	1捨	Ⅲ	石匙	斜軸形石匙	26.4	43.6	7.5	8.1	珪質頁岩	
262	69	1捨	Ⅲ	石錐		21.1	14.2	4.5	1.4	珪質頁岩	
262	70	1捨	Ⅱ	楔形石器		34	24.5	11.1	8.4	珪質頁岩	
262	71	1捨	トレン チャー	スクレイパー類	両面周縁調整	33.3	18.3	6.8	4.6	珪質頁岩	
262	72	1捨	Ⅰ	スクレイパー類	両面周縁調整	40.4	25.4	8.3	8.2	珪質頁岩	木葉形
262	73	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両面周縁調整	40.8	45.5	15.4	28.2	珪質頁岩	
262	74	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両面調整	41.5	16.5	7.8	5.7	珪質頁岩	刺突具か石匙破片再調整品の可能性有り
262	75	1捨	Ⅱ	スクレイパー類	両面周縁調整	45	33.2	16.1	23.2	珪質頁岩	
262	76	1捨	Ⅱ	スクレイパー類	両面両側縁調整	50.4	26.8	16.9	20.3	珪質頁岩	
263	77	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面両側縁調整	29.4	52.6	6.5	11.7	珪質頁岩	
263	78	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	腹面両側縁調整(基端部)	29.9	33.5	10.2	13.9	珪質頁岩	
263	79	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両面両側縁調整	29.4	32.3	15.7	10.6	珪質頁岩	再調整か
263	80	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整(端部)	65.8	54	18.3	50.0	珪質頁岩	
263	81	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	腹面両側縁調整/背面一側縁調整(一部)	25.4	19.8	6.1	3.6	珪質頁岩	
263	82	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	28.6	16.3	5.8	3.1	珪質頁岩	
263	83	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	40.4	35.2	11.1	11.7	珪質頁岩	
263	84	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両側縁片面調整	23.9	26	9.6	3.9	珪質頁岩	
263	85	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	44	28	11.9	9.4	珪質頁岩	
263	86	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	45.4	25.4	5.6	6.0	珪質頁岩	
263	87	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面周縁調整	78.5	60.5	25.1	102.5	頁岩	
263	88	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	背面周縁調整	58	19.4	8.8	6.6	珪質頁岩	
263	89	1捨	Ⅲ	スクレイパー類	両面一側縁調整(遠端部)	26.8	36	8.8	7.0	珪質頁岩	
263	90	1捨	Ⅱ	磨製石斧		83	38	12	52.8	頁岩	抉入扁平磨製石器の可能性有り
263	91	1捨	Ⅲ	磨製石斧	石刃か	44	15	10	10.1	緑色岩	
263	92	1捨	Ⅲ	凹石		73	48	44	132.6	安山岩	線条痕有り
263	93	1捨	Ⅲ	敲石		85	45	41	111.1	凝灰岩	
264	94	1捨	Ⅲ	磨石		88	67	29	273.1	凝灰岩	
264	95	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		111	85	37	491.2	安山岩	
264	96	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		90	79	22	236.6	安山岩	
264	97	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		121	51	25	177.2	安山岩	
264	98	1捨	Ⅲ	半円状扁平打製石器		94	83	21	207.0	安山岩	
264	99	1捨	Ⅱ	半円状扁平打製石器		104	92	22	271.0	安山岩	
264	100	1捨	Ⅲ	撥り切り具		104	59	13	115.2	安山岩	未使用品か
264	101	1捨	Ⅲ	砥石		75	71	40	126.4	凝灰岩	
264	102	1捨	Ⅲ	礫器		95	81	18	211.5	デイサイト	

溝状土坑出土石器観察表

図	番号	遺構名	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
266	1	5溝土	覆土	石錐		22.1	12.9	6.8	2.2	玉髓	

遺構外出土土器観察表

図	番号	出土地点	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
268	1	VIQ-208	IV	深鉢	頸～胴部	頸部：R押、胴部：LR(斜)	指頭圧痕 条痕			(9.4)	早稲田5類	早期末	繊維含
268	2	VIQ-214	IV	深鉢	胴部	LR、RL(横)	ナデ			(7.2)	早稲田5類か	早期末か	繊維含
268	3	VIL-201	II	深鉢	胴部	半竹刺突	ナデ			(5.9)	表館	前期前葉	
268	4	VIN-207	I	深鉢	頸～胴部	半竹刺突、刺突	ナデ			(4.3)	表館	前期前葉	繊維含
268	5	VIN-201	II	深鉢	口縁	波状口縁、押しき沈線	ナデ			(4.2)	早稲田6類b	前期前葉	繊維含
268	6	VIM-202	III	深鉢	口縁	波状口縁、押しき沈線	ナデ			(3.8)	早稲田6類b	前期前葉	繊維含
268	7	VIL-206	III	深鉢	口縁	波状口縁、押しき沈線	ナデ			(3.4)	早稲田6類b	前期前葉	繊維含
268	8	VIN-203	III	深鉢	口縁	LR(横)	ミガキ			(2.4)	早稲田6類c	前期前葉	繊維含
268	9		表探	深鉢	口縁	LR(横)	ミガキ			(7.5)	早稲田6類c	前期前葉	繊維含
268	10	VIO-202	II	深鉢	口縁	RL(横)、組縄か	ミガキ			(5.7)	早稲田6類c	前期前葉	繊維含
268	11	VIT-208	II	深鉢	口縁	口唇部：LR、口縁部：LR	ミガキ			(4.8)	早稲田6類c	前期前葉	繊維含
268	12	VIO-222		深鉢	口縁	口唇部：沈線、口縁部：R結回、胴部上半：LR	ミガキ			(5.5)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	13	VIS-214	I	深鉢	口縁	口唇部：RL押か、口縁部：R結回	ミガキ			(6.5)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	14	VIT-207	II	深鉢	口縁	口縁部：R結回	ミガキ			(4.6)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	15	VIR-213	III	深鉢	口縁	口縁部：R結回、上半部にR押	ミガキ			(4.6)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	16	VIT-206	III	深鉢	口縁～頸部	口縁部：結回(R)	ミガキ			(6.4)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	17	VIS-207	III	深鉢	口縁	口縁部：結回(R)	ミガキ			(4.3)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	18	VIR-213	III	深鉢	口縁～頸部	隆帯、口縁部：結回か	ミガキ			(6.7)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	19	VIO-211	IV	深鉢	頸部	隆帯(単絡1(R))、口縁部：単絡1(R)	ナデ			(5)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含、外面に微量の炭化物付着
268	20	VIS-207	I	深鉢	頸部	隆帯(刺突)、口縁部：結回(R)	ナデ			(5.9)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	21	VIT-206	III	深鉢	頸部	隆帯(R押)、口縁部：単絡1(R)、胴部上半：付加条	ナデ			(6.1)	円筒下層a～b	前期中葉	繊維含
268	22	VIH-220	III	深鉢	口縁部	単絡6(R)	ナデか				円筒下層b	前期中葉	
268	23	VIH-218	III	深鉢	口縁部	口縁部：単絡6A(R)、R押、胴部上半：単絡1(R)	ミガキ			(5.6)	円筒下層b	前期中葉	繊維含
268	24	VIG-217	III	深鉢	口縁部	口唇：刺突、口縁部：R押	ミガキ			(2.9)	円筒下層cか	前期後葉か	口唇部にも施文有り
268	25	VIH-219	IV	深鉢	口縁～胴部	隆帯(竹管刺突)、口縁部：LR押、竹管刺突、胴部上半：RL、単絡1(LRL)	ミガキ			(15.8)	円筒下層d1	前期末	
268	26	VIG-217	III	深鉢	胴～底部	櫛歯状?沈線	ナデ			(10.7)	円筒下層d	前期末	繊維含
268	27	VIT-207	III	深鉢か	胴～底部	櫛歯状?沈線	ナデ			(3.5)	円筒下層d	前期末	
268	28	VIS-208	II	深鉢	頸部	単絡1(L)	単絡1Aか(L・R)			(3.3)	円筒下層d	前期末	繊維含
268	29	VIH-219	III	深鉢	口縁～胴部	口縁部：LR、胴部：LR	ミガキ			(20.7)	円筒下層d	前期末	
268	30	VIL-215	III	深鉢	口縁～胴部	RL(横)	ミガキ			(9.4)	円筒下層d	前期末	繊維含
268	31	VIG-217	IV	深鉢	頸部か	単絡1A(R・L)、結回(L)					円筒下層d	前期末	
268	32	VIR-211	III		口縁	口縁部：LR押か	ミガキ			(4.6)	円筒下層d	前期末	繊維含
268	33	VIT-208	II	深鉢か	胴～底部	胴部下半：結回(L)、r	ミガキ			(4.3)	縄文	縄文	
268	34	VIT-207	III	深鉢	胴～底部	胴部下半：結回(R)、底部：LRか	ミガキ			(5.4)	円筒下層	前期	内面付着炭化物有り
269	35	VIK-220	IV	深鉢	口縁	突起(刺突)、単絡1Aか(L・R)	ミガキ			(4.1)	円筒下層d2	前期末	繊維含
269	36			深鉢	口縁	竹管刺突、刺突、R押	ミガキ				円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	37	VIO-220	II	深鉢	口縁	口唇部：短沈線、口縁部：短沈線	ミガキ			(4.3)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	繊維含
269	38	VIL-203	I	深鉢	口縁	突起(竹管刺突)、結回(L)	ミガキ			(2.4)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	繊維含
269	39	VIF-217	III	深鉢	口縁	透孔、口唇：LRか押、口縁部：LR押、刺突、RL押	ミガキ			(4.7)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	40	VIT-206	III	深鉢	口縁	突起、口唇部：R押、口縁部：Rか・LR押	ミガキ			(4.7)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	41	VIY-207	III	深鉢	口縁	口唇部：R押、口縁部：R押、馬蹄形状の短沈線	ミガキ			(4)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	42	VIQ-203	III	深鉢	口縁	L押、R馬蹄押	ミガキ			(5.1)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	43	VIT-207	III	深鉢	口縁	口唇部：R押、口縁部：R・L押、爪形押	ミガキ			(4.2)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	44	VIR-211	III	深鉢	口縁	突起(L押)、L押、L馬蹄押	ミガキ			(3.4)	円筒下層d2～上層a	前期末～中期前葉	
269	45	VIK-213	IV	深鉢	頸部か	沈線、刻み	ミガキ			(2.5)	朝日下層式系	前期末～中期初頭	
269	46	VIH-217	III	深鉢	口縁	口唇：RL押か、口縁部：沈線	ミガキ			(1.9)	朝日下層式系	前期末～中期初頭	
269	47	VIG-217	III	深鉢	口縁～頸部	隆帯(刺突)、口縁部：沈線	ミガキ			(4.1)	朝日下層式系	前期末～中期初頭	
269	48	VIG-216	III	深鉢	口縁	口唇～口縁部：沈線、一部を三角形にナデ消し	ミガキ			(5.7)	朝日下層式系	前期末～中期初頭	
269	49	VIF-217	III	深鉢	頸～胴部	RL押・刺突、胴部上半：「Y」字状の沈線、R結回(縦)	ミガキ			(5.5)	大木6式系	前期末～中期初頭	

図	番号	出土地点	層位	器種	部位	外面文様・調整	内面調整	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	型式名	時期	備考
269	50	VIG-217	III	深鉢	頸～胴部	口縁部：沈線、胴部：刺突、沈線	ミガキ			(4.15)	大木6式系	前期末～中期初頭	
269	51	VI0-208	III	深鉢	胴部	単絡1(L)、沈線	ミガキ			(5.1)	大木6式系	前期末～中期初頭	
269	52	VIT-207	III	深鉢	口縁部	折返、突起、渦巻き状の隆帯、LR	ミガキ			(4.1)	榎林か	中期後葉か	
269	53	VIM-206	III	深鉢	頸部	沈線	ナデ			(6)	榎林か	中期後葉か	
269	54	VIE-220	II	深鉢	口縁	上部無文帯、刺突、RL、沈線	ミガキ				最花	中期後葉	
269	55	VIM-207	II	深鉢	頸～胴部	無文帯、刺突、RL、蕨手状の沈線	ミガキ			(5.6)	最花	中期後葉	
269	56	VIT-206	II	深鉢	頸部	竹管刺突、逆「U」字状の沈線	ミガキ			(3.3)	最花	中期後葉	
269	57	VIP-219	III	深鉢	胴部	RLR、沈線	ミガキ			(3.9)	最花	中期後葉	外面に炭化物付着
269	58	VIM-207	II・III	深鉢	口縁～胴部	単絡5(R)	ミガキ			(20.5)	十腰内I	後期前葉	
269	59	VIR-207	II	深鉢	口縁	波状口縁、沈線	ミガキ			(9.1)	十腰内I	後期前葉	
269	60	VIC-218	III	深鉢	口縁	波状口縁、沈線	ミガキ			(3.9)	十腰内I	後期前葉	
269	61	VIM-211 付近	試掘Tr	深鉢	胴部	沈線	ミガキ			(7.8)	十腰内I	後期前葉	
269	62	VIT-207	II	深鉢	口縁	突起、沈線	ミガキ			(5.2)	十腰内I	後期前葉	
269	63	VI0-219	I	深鉢	頸部か	沈線、R押か	ナデ			(3.1)	十腰内Iか	後期前葉か	
269	64	VIQ-217	I	深鉢	口縁	沈線(横位)	ミガキ			(3.6)	十腰内I	後期前葉	
269	65	VIT-212	III	鉢か	口縁	横位の沈線、沈線	ミガキ			(2.9)	十腰内I	後期前葉	
269	66	VIM-211 付近	試掘Tr	深鉢	口縁	波状口縁、沈線	ミガキ			(3.7)	十腰内I	後期前葉	
269	67	VIE-218	III	鉢	底～胴部	沈線(横位)	ミガキ	(4.2)	(2.1)	(2.1)	十腰内I	後期前葉	
269	68	VII-215	III	深鉢	口縁	沈線(横位)	ミガキ			(4.3)	十腰内I	後期前葉	
269	69	VIE-217	III	深鉢	頸～胴部	沈線(横位・縦位)	ミガキ			(6.4)	十腰内I	後期前葉	
269	70	VID-217	III	深鉢	胴部	沈線(斜位)	ミガキ			(5.4)	十腰内I	後期前葉	
269	71	VIQ-213	IV	深鉢	口縁～胴部	無文	ミガキ			(13.2)	縄文	縄文	
269	72	VIM-207	III	深鉢か	口縁	無文	ミガキ			(4.3)	縄文	縄文	
269	73	VIH-218	III	深鉢か	口縁	波状口縁か、無文	ミガキ			(4.5)	縄文	縄文	
269	74	VIX-206	III	鉢か	底～胴部	LRか	ミガキ			(2.6)	縄文	縄文	ミニチュアの可能性有り
269	75	VIS-206	IV	深鉢	底部	無文	ミガキ		4.5	(2.2)	縄文	縄文	
269	76	MIL-205	III	甕	底部	ケズリ	ハケナデ		(8.8)	(3)	土師器	古代	底部に木葉根有り
270	77	VIS-212	I	甕	胴部	タタキ	ロクロ			(4.9)	須恵器	古代	
270	78	VIN-201	カクラン	短頸壺	頸部	ロクロ	ロクロ			(8.9)	須恵器	古代	

遺構外出土ミニチュア土器観察表

図	番号	出土地点	層位	器種	口径 (mm)	底径 (mm)	器高 (mm)	重さ (g)	外面文様			備考
									口縁部	胴部上半	胴部下半	
270	80	VIG-219	III	脚付		26	(33)	21.3			LR	

遺構外出土土製品観察表

図	番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	文様		種類	備考
								表面	裏面		
270	79	VIS-207	III	(42)	(32)	12	12.0	沈線、細沈線	沈線	土偶	
270	81	VIT-209	II	41	34	11	13.6	単絡1か(Rか)		土器片利用土製品	表面摩耗
270	82	VII-218	III	(61.5)	(32)	16	29.8	無文		土器片利用円盤	
270	83	VIG-215	III	50	46	10	26.0	RL		土器片利用円盤	
270	84	VIT-207	III	(60)	(55)	13	33.3	無文		土器片利用円盤	底部、盲孔有り
270	85	VII-213	III	(56)	(56)	14	39.3	単絡1A(L・R)		土器片利用円盤	盲孔有り
270	86	VIG-216	III	46	43	11	20.2	単絡1A(L・R)		土器片利用円盤	盲孔有り
270	87	VIP-208	IV	31	30	9	7.8	単絡1(R)		土器片利用円盤	
270	88	VIS-220	III	42	34	10	15.7	単絡1Aか		土器片利用円盤	
270	89	VIN-208		(57)	(30)	8	12.4	不明		土器片利用土製品	
270	90	VIP-210	II	45	40	21	25.9	沈線		不明土製品(土偶か)	裏面に盲孔、貫通孔有り

遺構外出土石器観察表

図	番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
271	91	VIJ-212	Ⅲ	石鏃	無茎凹基	40.9	17.8	5	3.5	珩質頁岩	
271	92	VIR-208	Ⅲ	石鏃	無茎凹基	30	17.9	5	2.6	黒曜石	
271	93	VII-218	Ⅲ	石鏃	無茎平基	32.7	17.9	4.8	2.4	珩質頁岩	平基か
271	94	VIII-202	V	石鏃	無茎平基	26.1	15.2	5.3	2.2	珩質頁岩	
271	95	VII-211	Ⅲ	石鏃	無茎平基	29.9	13.6	5.2	2.3	珩質頁岩	
271	96	VIT-207	Ⅱ	石鏃	無茎平基	32.8	14.7	5	2.0	珩質頁岩	
271	97	VIJ-215	Ⅲ	石鏃	無茎平基	35.6	10.9	3.9	1.5	珩質頁岩	柳葉形
271	98	VIF-217	Ⅲ	石鏃	無茎平基	36.9	16.6	5.1	2.8	珩質頁岩	
271	99	VII-222	Ⅲ	石鏃	無茎尖基	34.2	12.6	3	1.4	緑色凝灰岩	
271	100	VIJ-215	カクラン	石鏃	無茎尖基	36.1	8.9	3.4	1.0	珩質頁岩	
271	101	VII-207	Ⅲ	石鏃	無茎尖基	39.9	11.1	4	1.5	珩質頁岩	柳葉形(細身)
271	102	VIR-216	I	石鏃	無茎尖基	31.4	14	4.8	2.0	珩質頁岩	
271	103	VIQ-212	Ⅳ	石鏃	無茎尖基	41.1	16.7	5.2	2.9	珩質頁岩	
271	104	VIP-219	Ⅱ	石鏃	無茎尖基	51.9	19.4	14.2	11.9	珩質頁岩	器体肥厚
271	105	VIN-205	Ⅱ	石鏃	無茎尖基	45.7	15.2	9.3	6.4	珩質頁岩	器体肥厚
271	106	VIT-207	Ⅱ	石鏃	有茎凸基	31.1	16.4	6.6	2.4	珩質頁岩	
271	107	VII-201	Ⅱ	石鏃	有茎凸基	27.9	15	6.2	2.1	珩質頁岩	
271	108	VIG-218	Ⅲ	石鏃	有茎凸基	26.2	12.3	4.2	1.2	珩質頁岩	
271	109	VIR-209	Ⅱ	石鏃	有茎凸基	38	19.1	8.1	3.1	珩質頁岩	器体肥厚
271	110	VII-214	Ⅲ	石鏃	有茎凸基	42.2	18.6	6.8	4.3	珩質頁岩	
271	111	VIP-209	Ⅱ	石鏃	有茎凸基	35	14.7	6.7	2.8	珩質頁岩	被熱
271	112	VIM-214	Ⅲ	石鏃	有茎平基	26.6	13.6	4.2	1.1	珩質頁岩	
271	113	VIP-217	Ⅲ	石鏃	有茎凸基	32.1	19.7	7.2	4.4	珩質頁岩	
271	114	VIE-221	I	石鏃	有茎凸基	49.9	16.5	5.5	4.1	珩質頁岩	
271	115	VII-218	Ⅲ	石鏃	有茎平基	46.1	15.9	6.5	3.8	珩質頁岩	
271	116	VIT-206	Ⅲ	石鏃	有茎平基	45.2	18.4	5.9	3.5	珩質頁岩	
271	117	VII-219	Ⅲ	石鏃	有茎凸基	35.6	16.7	5.6	2.7	珩質頁岩	アスファルト付着
271	118	VIO-216	Ⅲ	石鏃	有茎凹基	29.9	17.7	4.7	1.7	珩質頁岩	
271	119	VIO-217	Ⅲ	石鏃	有茎凹基	28.7	16.8	6.1	2.5	玉髄質珩質頁岩	
271	120	VIO-201	Ⅲ	石鏃	有茎凹基	20.9	16.6	4.7	1.0	黒曜石	
272	121	VIF-217	Ⅲ	石槍		55.9	35.6	13.6	29.6	珩質頁岩	
272	122	VIO-207	トレンチャー	石槍		42.6	25.6	7.5	8.1	珩質頁岩	小型石槍
272	123	VIT-206	Ⅲ	石槍		35	27.1	10.4	8.0	珩質頁岩	小型石槍
272	124	VIT-206	Ⅲ	石槍		41.5	24.6	9.2	8.2	珩質頁岩	小型石槍
272	125	VIR-211	Ⅱ	石槍		26.4	23.6	12.2	7.6	珩質頁岩	小型石槍
272	126	VIS-212	Ⅲ	石筥	短冊形	54.2	23.6	18	24.2	頁岩	石槍の可能性有り
272	127	VIQ-213	Ⅳ	石匙	縦形石匙	57.8	24.6	10.7	10.0	珩質頁岩	松原型
272	128	VIP-212	Ⅲ	石匙	縦形石匙	73	29.9	7.7	18.4	珩質頁岩	松原型
272	129	VIR-210	Ⅳ	石匙	縦形石匙	44.6	15.2	5.0	3.5	珩質頁岩	松原型
272	130	VIQ-214	I	石匙	縦形石匙	51.1	38.2	6.1	15.1	珩質頁岩	松原型
272	131	VIB-220	Ⅱ	石匙	縦形石匙	42.1	29.7	7.3	10.3	玉髄質珩質頁岩	周縁急角度調整
272	132	VIK-217	Ⅲ	石匙	縦形石匙	43.8	29.8	10.7	10.8	珩質頁岩	腹面に光沢有り
272	133	VIF-214	Ⅲ	石匙	横形石匙	44.7	71.5	10.2	20.5	珩質頁岩	縦長剥片
272	134	VIG-218	Ⅲ	石匙	横形石匙	38.4	53.2	7.9	12.3	珩質頁岩	
272	135	VIT-207	Ⅱ	石錐		44.2	27.4	7.3	4.9	珩質頁岩	
272	136	VIK-214	Ⅲ	石錐		43.9	22.6	6.8	5.6	珩質頁岩	
272	137	VIT-207	V上位	楔形石器		36.4	35.3	18.8	20.4	珩質頁岩	
272	138	VIJ-219	Ⅲ	楔形石器		20.8	29.4	9.3	5.9	珩質頁岩	1辺が箭断
272	139	VII-221	トレンチャー	楔形石器		27.8	32.4	12.6	10.8	珩質頁岩	
273	140	VIM-219	IV~V	スクレイパー類	両面両側縁調整	81.3	46.2	17.1	65.0	珩質頁岩	
273	141	VIN-215	カクラン	スクレイパー類	両面両側縁調整	53.8	29.2	10.1	13.6	珩質頁岩	木葉形
273	142	VIP-207	Ⅳ	スクレイパー類	両面両側縁調整	42.1	28.9	13.9	14.2	珩質頁岩	
273	143	VIT-207	V上	スクレイパー類	両面両側縁調整	48.6	33.5	18.6	24.2	珩質頁岩	
273	144	VIS-206		スクレイパー類	両面周縁調整	56.4	39.5	16.9	36.6	珩質頁岩	
273	145	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	両面両側縁調整	65.7	28.8	16.6	26.0	珩質頁岩	粗い調整
273	146	VIO-207	トレンチャー	スクレイパー類	両面両側縁調整	44.3	26	8.7	8.0	珩質頁岩	石筥か
273	147	VIG-220	Ⅱ	スクレイパー類	背面両側縁調整	42.7	24.8	10.3	10.5	珩質頁岩	腹面光沢、石匙の欠失か
273	148	VIP-216	Ⅲ	スクレイパー類	両側縁調整(錯交)(交互)	61.4	44.8	16.8	43.5	珩質頁岩	
273	149	VIL-211		スクレイパー類	腹面両側縁調整	29.6	30.4	9.8	8.2	珩質頁岩	
273	150	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	両面一側縁調整	23.8	23.1	7.2	3.3	珩質頁岩	
273	151	VIM-209	Ⅳ	スクレイパー類	腹面両側(背面一側縁)錯交	38.6	44.7	9.2	14.0	珩質頁岩	
273	152	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	両面両側縁調整/腹面調整(遠端部)	43.9	28.6	6.5	4.5	珩質頁岩	石錐の可能性有り
273	153	VIS-206	I	スクレイパー類	背面両側縁調整/腹面一側縁調整	48.9	31.8	11.4	14.1	珩質頁岩	
273	154	VIO-209	Ⅳ	スクレイパー類	背面両側(腹面一側縁)調整(錯交)	36.6	48.9	12.0	20.9	珩質頁岩	
273	155	VIO-219	I	スクレイパー類	背面一側縁調整(遠端部)	40.5	58.3	13.8	30.6	珩質頁岩	
273	156	VIJ-218	Ⅲ	スクレイパー類	腹面一側縁調整(遠端部)	33.1	55.6	13.8	17.5	珩質頁岩	
274	157	VIT-206	Ⅱ	スクレイパー類	両面一側縁調整	42.6	49.4	11.8	21.2	頁岩	欠失、先端部摩耗
274	158	VIK-213	Ⅲ	スクレイパー類	背面両側縁調整(遠端部)/腹面基端調整	50.2	26.6	10.2	10.9	珩質頁岩	
274	159	VIG-219	Ⅲ	スクレイパー類	背面両側縁調整	30.6	21.1	7	4.5	珩質頁岩	再調整か
274	160	VIQ-206	Ⅳ	スクレイパー類	腹面一側縁調整(遠端部)	31.2	49.1	11.3	14.1	珩質頁岩	
274	161	VIS-212	Ⅲ	スクレイパー類	背面周縁調整	32.2	28.5	11.7	11.3	珩質頁岩	楔形石器未製品か
274	162	VIS-212	I	スクレイパー類	背面一側縁調整/腹面一側縁調整(一部)	38.3	23.9	9.3	7.5	珩質頁岩	
274	163	VIS-210	トレンチャー	スクレイパー類	背面周縁調整	30.1	32.1	13.2	15.5	珩質頁岩	ラウンドスクレイパー
274	164	VIP-218	I	スクレイパー類	背面一側縁調整	32.5	24.2	9.8	5.6	珩質頁岩	
274	165	VIE-217	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	44.5	21	10.1	7.7	チャート	
274	166	VID-217	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	39	22.4	10.6	11.9	珩質頁岩	

図	番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
274	167	VIG-217	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	43.5	23.4	7.8	6.2	珪質頁岩	
274	168	VIR-213	Ⅱ	スクレイパー類	背面一側縁調整	42.6	43	9.6	16.3	頁岩	
274	169	VIS-209	Ⅲ	スクレイパー類	背面一側縁調整	32.5	23.6	4.3	2.9	珪質頁岩	
274	170	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	25.4	22.7	6.8	3.1	珪質頁岩	
274	171	VIO-214	Ⅳ	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)	36.3	27.8	5.1	4.5	珪質頁岩	
274	172	VIS-208	Ⅰ	スクレイパー類	背面一側縁調整	37.8	24.6	6.3	7.1	玉髄質珪質頁岩	
274	173	VIQ-217	Ⅰ	スクレイパー類	両面一側縁調整(交互)	28.5	26.9	11.8	7.9	珪質頁岩	
274	174	VII-219	Ⅲ	スクレイパー類	両側縁片面調整(基端部・遠端部)	16	27.8	5	2.0	珪質頁岩	
274	175	VIN-213	カクラン	スクレイパー類	腹面両側調整	67.6	32.4	9.0	15.2	珪質頁岩	
274	176	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	両側縁片面調整(錯交)(交互)	54.5	23.2	7.2	8.2	珪質頁岩	
274	177	VIT-207	Ⅱ	スクレイパー類	腹面一側縁調整(交互)	31.1	20.4	6	3.1	珪質頁岩	
274	178	VIO-208	Ⅳ	スクレイパー類	両側縁片面調整	26.6	14.1	4	1.1	珪質頁岩	
275	179	VIM-211	表採	石核		68.1	69	68.8	355.0	珪質頁岩	
275	180	VIR-214	Ⅰ	石核		45.2	36.3	23.1	38.5	珪質頁岩	原礫面残
276	181	トレンチ16		打製石斧		112	68	29	268.7	凝灰岩	
276	182	VIG-222	Ⅲ	磨製石斧		96	46	29	214.9	緑色岩	刃部側敲き石として再利用
276	183	VIP-217	Ⅰ	磨製石斧		80	21	12	35.2	凝灰岩	
276	184	VIS-212	Ⅰ	磨製石斧		65	47	17	78.7	粘板岩	
276	185	VIS-214	Ⅰ	磨製石斧		67	47	24	123.9	緑色岩	
276	186	VIL-222	トレンチャー	磨製石斧	小型石鑿	36	20	6	6.3	粘板岩	
276	187	VIS-206	Ⅲ	敲石		91	71	61	488.7	安山岩	
276	188	VII-214	Ⅲ	敲石		91	77	34	341.7	凝灰岩	
276	189	VIG-219	Ⅲ	敲石		102	59.5	24	207.4	凝灰岩	
276	190	VIJ-205	Ⅱ	敲石		89	55	17	133.5	凝灰岩	
276	191	VIL-215	Ⅲ	敲石		96	51	30.5	217.0	安山岩	
276	192	VIR-213	Ⅰ	凹石		80	73	39	241.7	凝灰岩	
276	193	VIN-214	Ⅲ	凹石		101.5	88	39	366.3	安山岩	
277	194	VIP-214	Ⅳ	凹石		106	58	36	254.3	安山岩	
277	195	VIS-211	Ⅲ	凹石		112	83	33	191.6	安山岩	
277	196	VIH-213	Ⅲ	凹石		104	95	52	512.5	凝灰岩	
277	197	VIQ-216	Ⅰ	凹石		104	97	37	360.9	凝灰岩	
277	198	VIT-207	V上位	凹石		103	66	47	422.0	安山岩	
277	199	VIR-213	Ⅳ	凹石		172	60	52	876.8	流紋岩	被熱
277	200	VIQ-207	Ⅳ	磨石		70	56	47	265.4	安山岩	器面摩耗、被熱ハジケ
277	201	VIS-208	Ⅳ	磨石		57	52	45	172.7	安山岩	
277	202	VIS-207	Ⅱ	磨石		105	104	40	715.5	閃緑岩	
277	203	VIL-216	Ⅲ	磨石		66.5	65	44	286.2	閃緑岩	北海道式石冠か
278	204	VIG-217	Ⅲ	磨石		132	81	66	824.1	凝灰岩	
278	205	VIS-211	Ⅲ	磨石		89	59	40	295.4	安山岩	
278	206	VIR-207	Ⅲ	磨石		146	62	27	511.6	安山岩	
278	207	VIO-204	Ⅳ	磨石		161	81	62	1118.5	安山岩	
278	208	VIK-218	Ⅲ	磨石		78	65	40	308.5	安山岩	
278	209	VIS-207	Ⅲ	磨石		104	83	24	285.6	安山岩	
278	210	表採		半円状扁平打製石器		92	80	26	235.2	安山岩	
278	211	VII-128	Ⅲ	半円状扁平打製石器		101	83	34	365.6	安山岩	
279	212	VIR-210	Ⅱ	半円状扁平打製石器		88	81	27	270.3	安山岩	
279	213	VIG-217	Ⅲ	半円状扁平打製石器		109	73	34	408.3	安山岩	
279	214	VIT-206	Ⅲ	半円状扁平打製石器		99	84	33	376.7	安山岩	
279	215	VIS-207	Ⅰ	半円状扁平打製石器		75	61	25	146.6	凝灰岩	
279	216	VIO-217	Ⅲ	半円状扁平打製石器		109	93	17	250.6	安山岩	
279	217	VIR-210	Ⅱ	半円状扁平打製石器		159	77	30	463.6	安山岩	
279	218	表採		半円状扁平打製石器		153	70	30	496.5	安山岩	
279	219	VIS-209	Ⅳ	半円状扁平打製石器		95	62	27	201.8	砂岩	
279	220	VIN-218	Ⅲ	半円状扁平打製石器		119	55	33	321.2	安山岩	
280	221	VIS-207	Ⅱ	挟入扁平磨製石器		83	34.5	13	56.0	凝灰岩	
280	222	VIF-217	Ⅲ	擦切具		96	93	19	165.8	安山岩	
280	223	VIT-207	Ⅲ	擦切具		86	74	19	169.7	安山岩	未使用品か
280	224	VIO-214	Ⅳ	礫器(剥離)		78	75	9.5	61.3	頁岩	
280	225	VIL-218	Ⅲ	礫器		95	87	18	260.8	安山岩	
280	226	VII-218	Ⅲ	砥石		92	75	65	471.0	デイサイト	
280	227	VIG-218	Ⅲ	砥石		93	64	43	132.2	凝灰岩	
280	228	VIG-218	Ⅲ	砥石		58	41	18	53.7	細粒砂岩	
280	229	VIP-211	Ⅱ	柱状節理		385	55	52	1479.4	流紋岩	
281	230	VIR-213	Ⅳ	台石		184	134	87	2867.0	安山岩	
281	231	VIT-209	Ⅳ	台石		244	224	96	9460.0	安山岩	

## 遺構外出土石製品観察表

図	番号	出土地点	層位	器種	分類基準	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	備考
281	232	VIM-219	Ⅳ	石棒		(117)	(80)	57	842	流紋岩	有頭
281	233	VIS-212	Ⅰ	石棒		(119)	(69)	55	696	凝灰岩	
281	234	VII-208	Ⅲ	石棒		(68)	(43)	47	216	凝灰岩	
281	235	試掘Tr16	排土	石製品	有孔石製品	54	52	25	57	緑色凝灰岩	
281	236	VIG-218	Ⅲ	石製品		43	43	33	10	軽石	
281	237	VIK-218	Ⅲ	石製品		(70)	16	7	18	頁岩	
281	238	VIN-215	覆土	石製品	块状耳飾	55	(22)	4	10	軟玉	
281	239	VIN-218	Ⅰ	石製品	块状耳飾	44	(37)	5	9	軟玉	

## 報告書抄録

ふりがな	ひがしみちのかみかっこさんいせき							
書名	東道ノ上(3)遺跡Ⅲ							
副書名	一般国道45号上北天間林道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第589集							
編著者名	野村信生、濱松優介、小田川哲彦、秦光次郎、齋藤正							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	2018年3月23日							
ふりがな	ふりがな	コード		世界測地系(JGD2000)		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ひがしみちのかみ 東道ノ上 かっこさんいせき (3)遺跡	あおもりけんかみ 青森県上 きたぐんとうほく 北郡東北 まちおおあざおお 町大字大 うらあざひがしみち 浦字東道 のかみ ノ上	02408	408040	40° 42' 52.1"	141° 13' 47.7"	H26.4.30 ～11.21 H27.4.9 ～7.30	6,260	記録保 存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
東道ノ上 (3)遺跡	集落跡	縄文	竪穴住居跡	48軒	細石刃核、縄文土器 (早期～後期)、石器、 土偶、土製品、石製 品			
			土坑	217基				
			埋設土器	13基				
			焼土遺構	13基				
			捨て場	1箇所				
			溝状土坑	11基				
要約	東道ノ上(3)遺跡は、東北町の南に位置し、砂土路川右岸の標高20～40mの河岸段丘上に立地している。調査区は、砂土路川とその支流にあたる小さな沢によって浸食された舌状台地上にあり、縄文時代前期後葉～中期前葉を主体とした集落跡が確認された。竪穴住居跡やフラスコ状土坑などが多数確認され、多量の遺物が出土したことや前回調査においても縄文時代前期中葉～中期前葉にかけての遺構・遺物が多数確認されていることから、上北地域における該期の拠点的な集落であったことが想定できる。							

---

青森県埋蔵文化財調査報告書 第589集

## 東道ノ上(3)遺跡Ⅲ

—一般国道45号上北天間林道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—  
(第1分冊)

発行年月日 2018年3月23日

発行 青森県教育委員会

編集 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15

TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702

印刷 青森コロニー印刷

〒030-0943 青森市幸畑字松元62-3

TEL 017-738-2021 FAX 017-738-6753

---

